

令和6年度
柳川市民アンケート調査
報告書

令和6年10月
柳川市

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計	1
II. 調査結果の概要	2
1. 「暮らしについて」の結果・・・問 4～11	2
2. 「文化・歴史・景観・観光について」の結果・・・問 12～21	3
3. 「公衆衛生について」の結果・・・問 22～28	4
4. 「柳川市認定ブランドについて」の結果・・・問 29	4
5. 「公共交通について」の結果・・・問 30～33	4
6. 「市役所について」の結果・・・問 34～37	5
III. 調査結果	6
1. 回答者属性	6
2. 暮らしについて	7
(1) 担当民生委員の認知度（問 4）	7
(2) 地域活動への参加の有無（問 5）	10
(3) 柳川市への愛着や誇りの度合い（問 6）	13
(4) 人権が守られていると思う度合い（問 7）	16
(5) 柳川市は子育てしやすい環境であると思う度合い（問 8）	19
(6) 市内の道路を快適に通行できると思う度合い（問 10）	22
(7) 「柳川市公式LINE」の認知度（問 11）	25
3. 文化・歴史・景観・観光について	28
(1) 文化芸術活動が盛んに行われていると思う度合い（問 12）	28
(2) 柳川市の水辺の景観や掘割が保全されていると感じる度合い（問 13）	31
(3) 掘割への愛着や誇りの度合い（問 14）	34
(4) この1年以内の掘割に接する機会の有無（問 15）	37
(5) この1年以内の川下り経験の有無（問 16）	40
(6) 川下り全体の満足度（問 17）	43
(7) 柳川市の観光における市民生活への影響の度合い（問 19）	46
(8) 観光客へのおもてなしをして良かったと思う度合い（問 20）	49
(9) 柳川初代藩主「立花宗茂」とその妻「闇千代」の認知度（問 21）	52
4. 公衆衛生について	55
(1) 市のがん検診の認知度（問 22）	55
(2) この1年以内のがん検診の受診の有無（問 23）	58
(3) がん検診を受けた方法（問 24）	61
(4) がん検診を受けない理由（問 25）	64

(5) 国民健康保険か否か（問 2 6） ※40 歳以上.....	67
(6) 特定検診の受診の意思（問 2 7）	70
(7) 特定検診を受診しない理由（問 2 8）	73
5. 柳川市認定ブランドについて.....	76
(1) 「柳川ブランド認定品」の認知度（問 2 9）	76
6. 公共交通について.....	79
(1) 路線バス・電車などの公共交通機関を利用しようと思う度合い（問 3 0）	79
(2) 最近 3 か月間の公共交通機関の利用状況（問 3 1）	82
(3) 柳川市運行コミュニティバスの認知度（問 3 2）	85
(4) 市内の公共交通に対する満足度（問 3 3）	88
7. 市役所について	91
(1) この 1 年以内の来庁頻度（問 3 4）	91
(2) 来庁の目的（問 3 5）	94
(3) 来庁時の平均所要時間（問 3 6）	97
(4) 来庁時の職員の対応（問 3 7）	100
IV. 参考資料.....	103
1. 自由記述.....	103
(1) 子育てがしやすい環境への自由回答（問 9）	103
(2) 「柳川市公式 LINE」の登録理由、未登録理由（問 1 1）	115
(3) 川下り全体の満足度の理由（問 1 8）	116
(4) がん検診を受けていない理由（問 2 5）	121
(5) 特定検診を受診しない理由（問 2 8）	122
(6) 来庁の目的（問 3 5）	123
(7) 職員の対応に『不満』の理由（問 3 8）	124
(8) 行政への意見（問 3 9）	125
2. 調査表.....	156

I. 調査の概要

1. 調査の目的

第2次柳川市総合計画後期基本計画に掲げる施策の進捗や各施策分野における市民の実感等を把握するとともに市民の総合的な満足度やそれに寄与する要因を抽出、目標設定の基礎資料とするため調査及び調査結果に対する分析を実施するものです。

2. 調査設計

- | | |
|------------|--------------------------------|
| (1) 調査地域 | 柳川市全域 |
| (2) 調査対象者 | 市内に居住する 18 歳以上 |
| (3) 標本数 | 2,000 サンプル
※住民基本台帳より無作為抽出 |
| (4) 標本抽出台帳 | 令和 6 年 6 月 1 日現在の選挙人名簿 |
| (5) 調査方法 | 郵送法 |
| (6) 調査期間 | 令和 6 年 7 月 1 日～令和 6 年 7 月 22 日 |
| (7) 回収数（率） | 1,025 サンプル（51.3%） |
| (8) 調査主体 | 柳川市 総務部 企画課 |

【 調査結果利用上の注意 】

- (1) 回答結果は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計が 100.0%にならない場合があります。
 - (2) 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
 - (3) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合は『 』としています。
 - (4) 調査結果を図表に表示しておりますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網掛けをしています。
 - (5) 図表において、回答者数（n）が少数となる場合は、参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要します。

Ⅱ. 調査結果の概要

本調査の設問は、概ね 6 つの分野に大別されます。調査結果の概要は、分野ごとに、市民のニーズや今後の取り組むべき方針等をまとめました。

1. 「暮らしについて」の結果…問 4～11

担当民生委員の認知度（問 4）は、「知らない」の割合が 55.3%と半数を超えています。性別にみると、「知っている」の割合は、男性（37.9%）よりも女性（46.4%）の方が高くなっています。年齢別にみると、「知っている」の割合が最も高いのは 70 歳以上（68.7%）で、年代が下がるにつれて「知っている」の割合が減少しており、10 歳代・20 歳代においては「知っている」の割合が 8.2%で、1 割にも満たない結果となっています。民生委員においては、市民と行政を繋ぐ重要なパイプ役であることから年代によらず広く周知していく必要があります。

地域活動への参加の有無（問 5）は、「参加している」の割合が 37.8%、「参加していない」の割合が 59.2%となっています。令和 5 年度調査と比較すると、「参加している」の割合が減少し、「参加していない」の割合は増加しています。性別にみると、「参加している」の割合は、女性（34.4%）よりも男性（43.7%）の方が高く、年齢別にみると、「参加している」の割合において、30 歳以上は 30%～40%程となっていますが、10 歳代・20 歳代は 12.4%と顕著に低くなっており、若年層のボランティアへの関心を高めることが課題となっています。

本市への愛着や誇りの度合い（問 6）は、『感じる』の割合が 68.1%、『感じない』の割合が 17.9%となっており、令和 5 年度調査と比較すると、『感じる』の割合が減少し、『感じない』の割合が増加しています。性別にみると、『感じる』の割合は女性（69.0%）よりも男性（71.1%）の方が高くなっています。年齢別にみると、どの年代も『感じる』の割合が 60%以上となっており、70 歳以上にいたっては『感じる』の割合が 70%を超えており、年代が上がるとともに、市への愛着を感じる人の割合は高くなっています。

人権が守られていると思う度合い（問 7）は、『そう思う』の割合が 39.2%、『そう思わない』の割合が 7.5%となっています。令和 5 年度調査と比べると、『そう思う』の割合が増加しています。性別にみると、『そう思う』の割合は女性（37.8%）よりも男性（43.3%）の方が高くなっています。年齢別では、いずれの年齢も『そう思わない』は 1 割未満であるが、「分からない」の割合が約半数となっており、引き続き人権教育及び人権啓発を行っていく必要があると思われます。

柳川市は子育てしやすい環境であると思う度合い（問 8）は、『そう思う』の割合が 32.2%、「分からない」の割合が 42.8%、『そう思わない』の割合が 20.9%となっています。令和 5 年度調査と比較すると、『そう思わない』の割合が増加しています。性別にみると、『そう思う』の割合は男性（30.5%）よりも女性（35.1%）の方が高くなっています。年齢別にみると、年代が上がるにつれて『そう思う』の割合が高くなっており、最も高いのは 70 歳以上で 35.9%となっています。今後、さらに環境を整え、子育て世代に子育てしやすい環境であることを呼びかけ、移住・定住に繋げる取組が必要です。

市内の道路を快適に通行できると思う度合い（問 10）は、『そう思う』の割合が 48.0%、「分からない」の割合が 10.4%、『そう思わない』の割合が 37.2%となっています。令和 5 年度調査と比較すると、『そう思う』の割合はほぼ横ばい、『そう思わない』の割合が減少しています。性別にみると、『そう思う』の割合は女性（47.1%）よりも男性（51.8%）の方が高くなっています。年齢別にみると、

『そう思う』の割合が最も高いのは10歳代・20歳代（63.9%）で、年代が上がると『そう思う』の割合は低くなっています。引き続き道路整備を行っていく必要があります。

「柳川市公式LINE」の認知度（問11）は、「登録している」の割合は6.4%、「登録していない」の割合は89.9%となっています。性別による有意差はあまりなく、年齢別では、「登録している」の割合が最も高い年代の50歳代・60歳代でも8.8%で、年代によらない認知度を高める働きかけが必要です。

2. 「文化・歴史・景観・観光について」の結果・・・問12～21

文化芸術活動が盛んに行われていると思う度合い（問12）は、『そう思う』の割合が44.9%、「分からない」の割合が36.4%、『そう思わない』の割合が15.6%となっており、令和2年度調査以降、最も高い水準となっています。性別にみると、『そう思う』の割合は男性（43.3%）よりも女性（48.0%）の方が高くなっています。年齢別にみると、『そう思う』の割合が最も高いのは10歳代・20歳代で59.8%となっています。引き続き文化芸術活動を推進し、認知度を向上させる取り組みが必要です。

柳川市の水辺の景観や掘割が保全されていると感じる度合い（問13）は、『そう思う』の割合は48.4%、「分からない」の割合が20.3%、『そう思わない』の割合が28.7%となっています。この項目における性別や年代による有意差はみられません。

掘割への愛着や誇りの度合い（問14）は、『感じる』の割合は54.6%、「どちらでもない」の割合が20.3%、『感じない』の割合が22.0%となっています。『感じる』の割合は、性別による有意差はみられませんが、年代が下がるにつれて低くなっています。

この1年以内の掘割に接する機会の有無（問15）は、「ある」の割合は37.2%で、「ない」の割合は62.0%となっています。年齢別にみると、「ある」の割合は70歳以上が42.9%と最も高く、年代が下がるにつれて低くなっています。前項の傾向と似ていることから、若年層においては掘割に接する機会を増やし、理解を深めていくことで、愛着や誇りを持つきっかけになる可能性があります。

この1年以内の川下り経験の有無（問16）は、「ある」の割合は8.2%、「ない」の割合は91.2%となっており、過去の調査と比較しても、割合に大きな変化はみられず、市民の川下り離れが改善されていません。

川下り全体の満足度（問17）は、『満足』の割合が71.4%、『不満』の割合が10.7%で、令和5年度調査と比較すると「満足」の割合は高くなっています。

柳川市の観光における市民生活への影響の度合い（問19）は、『与えている』の割合が50.1%、「どちらでもない」の割合が28.4%、『与えていない』の割合が19.3%となっています。この項目における性別や年代による有意差はみられません。

観光客へのおもてなしをして良かったと思う度合い（問20）は、『感じる』の割合が33.0%、『感じない』の割合が16.1%、「おもてなしの機会がない」の割合が48.2%となっています。令和3年度調査以降、「おもてなしの機会がない」の割合が年々高くなっています。

柳川初代藩主「立花宗茂」とその妻「闇千代」の認知度（問21）は、『知っている』の割合が84.7%、「全く知らない」の割合が14.0%となっており、高い認知度を誇っています。年齢別にみると、40歳代以下の「全く知らない」の割合が高くなっており、引き続きエピソードを伴った宣伝活動が必要です。

3. 「公衆衛生について」の結果・・・問 22～28

市のがん検診の認知度（問 22）は、「知っている」の割合が 63.4%、「知らない」の割合が 35.9%で、性別にみると、「知っている」の割合は、男性は 49.8%で半数を超えていないのに対し、女性は 73.3%で男性よりも高い結果となりました。また、年齢別にみると 10 歳代・20 歳代の認知度は半数に満たない結果となっています。治療には早期発見が重要となることから、幅広い告知が必要です。

この 1 年以内のがん検診の受診の有無（問 23）は、「受けた」の割合が 29.2%、「受けていない」の割合が 70.3%となっています。性別にみると、「受けた」の割合は、男性（20.2%）よりも女性（36.4%）の方が高く、年齢別では 10 歳代・20 歳代が最も低く、前項の傾向と似寄る結果となりました。

がん検診を受けた方法（問 24）は、「市のがん検診」の割合（39.1%）が最も高くなっています。また、がん検診を受けない理由（問 25）は、「検診に行く時間がなかった」の割合（27.7%）が最も高くなっています。認知度を向上させるとともに、受診しやすくなる仕組み作りも必要です。

40 歳以上を対象とした、国民健康保険か否か（問 26）は、「はい」の割合が 49.1%、「いいえ」の割合が 47.5%となっています。性別による有意差は無く、年齢別にみると、年代が上がるにつれて「はい」の割合は増加し、60 歳代は約半数、70 歳以上になると 80%程になります。

国民健康保険に加入している人を対象とした、特定検診の受診の意思（問 27）は、「はい」の割合が 48.9%、「いいえ」の割合が 31.7%となっています。

特定検診を受診しない理由（問 28）は、「病院で定期的に検査を受けているから」の割合が 50.0%で最も高くなっています。年齢別では、60 歳以上以上は「病院で定期的に検査を受けているから」が高くなっていますが、40 歳代においては「健康だから検診は必要ない」の割合が最も高い結果となっていることから、早期発見、早期治療の重要性を啓蒙していく必要があります。

4. 「柳川市認定ブランドについて」の結果・・・問 29

「柳川ブランド認定品」の認知度（問 29）は、『知っている』の割合が 31.7%、『知らない』の割合が 66.5%となっています。令和 5 年度調査と比較すると、『知らない』の割合が増加しています。年齢別にみると、『知っている』の割合が最も高いのは 50 歳代・60 歳代（36.8%）で、どの年代も半数を超えていないことから認知度を向上させる広報活動が必要です。

5. 「公共交通について」の結果・・・問 30～33

路線バス・電車などの公共交通機関を利用しようと思う度合い（問 30）は、『思う』の割合が 49.4%、『思わない』の割合が 48.7%となっています。令和 5 年度調査と比較すると、『思わない』の割合が 5.1 ポイント増加しています。年齢別にみると、『思う』の割合が高いのは 10 歳代・20 歳代（66.0%）で、最も低いのは 70 歳以上（42.1%）となっています。

最近 3 か月間の公共交通機関の利用状況（問 31）は、「利用なし」の割合が 64.7%で、市民の半分以上が 3 ヶ月間に公共交通を利用していないという結果になっています。年齢別にみると、10 歳代・20 歳代（60.9%）が最も高くなっており、他の年代と比較すると、20 ポイント程高くなっています。30 歳以上への利用促進活動が必要となっています。

柳川市運行コミュニティバスの認知度（問 32）は、『知っている』の割合は 54.0%、『知らない』の割合は 44.5%となっています。年齢別にみると、『知っている』の割合が最も高いのは 70 歳以上（60.9%）で、年代が下がるにつれて低くなっていることから、若い世代への宣伝活動が必要です。

市内の公共交通に対する満足度（問 33）は、『満足している』の割合が 19.4%、「どちらでもない」の割合が 47.0%、『満足していない』の割合が 29.6%となっています。令和 5 年度調査と比較すると、『満足している』の割合が増加しています。年齢別にみると、『満足している』の割合が高いのは 10 歳代・20 歳代（40.2%）で、最も低いのは 70 歳以上（14.5%）となっていることから、利用している年代は満足度が高いものの、利用しない年代は不満の割合が高く、利用しない年代に向けて利用を促進する取り組みが必要です。

6. 「市役所について」の結果・・・問 34～37

この 1 年以内の来庁頻度（問 34）は、「行ったことがない」の割合が 17.2%で、1 年の内に 8 割の市民は来庁している結果となっています。年齢別にみると、「行ったことがない」の割合は、10 歳代・20 歳代は 33.0%で最も高く、30 歳以上は 20%未満となっています。

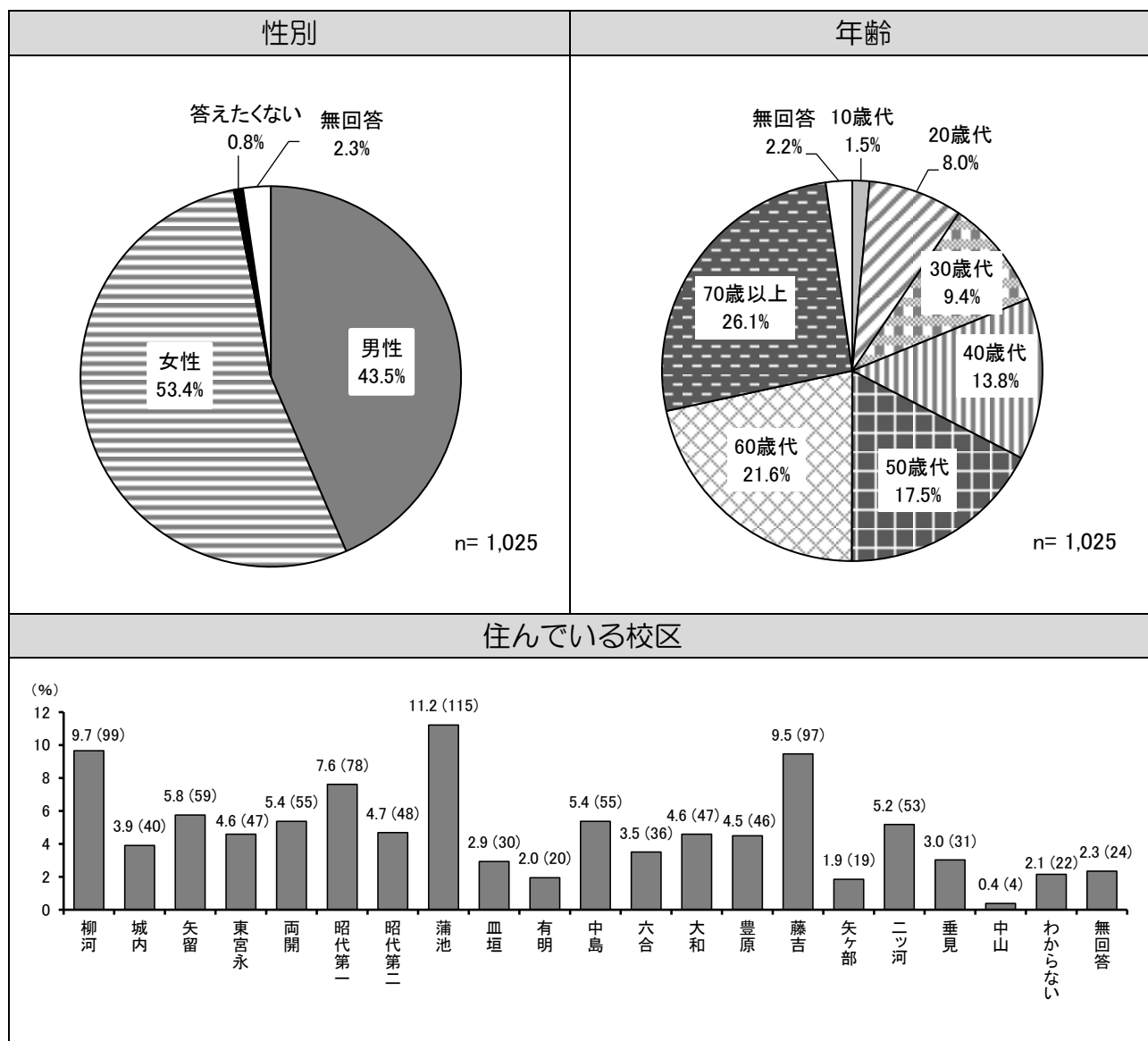
来庁の目的（問 35）は、「各種手続き」の割合が最も高く、性別、年齢別による有意差はみられません。

来庁時の平均所要時間（問 36）は、「15 分以内」の割合が約半数を占めています。年齢別にみると、年代が上がるにつれて所用時間が減少する傾向がみられます。

来庁時の職員の対応（問 37）は、『満足』の割合が 48.0%、「普通」の割合が 46.9%、『不満』の割合が 3.3%で、市民は市役所に概ね良い印象を抱いています。年齢別にみると、年代が上がるにつれて『満足』の割合が低くなりますが、70 歳以上になると再度高くなっています。市役所を来訪する回数が増えると、不満を持つ傾向がみられます。誰が来庁しても丁寧な対応を心掛ける必要があります。

Ⅲ. 調査結果

1. 回答者属性

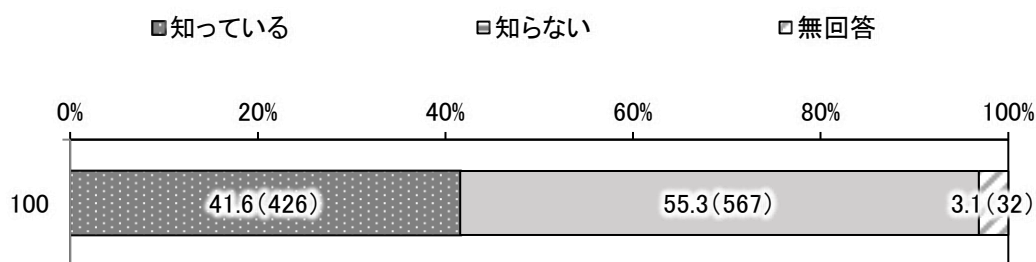


2. 暮らしについて

(1) 担当民生委員の認知度(問4)

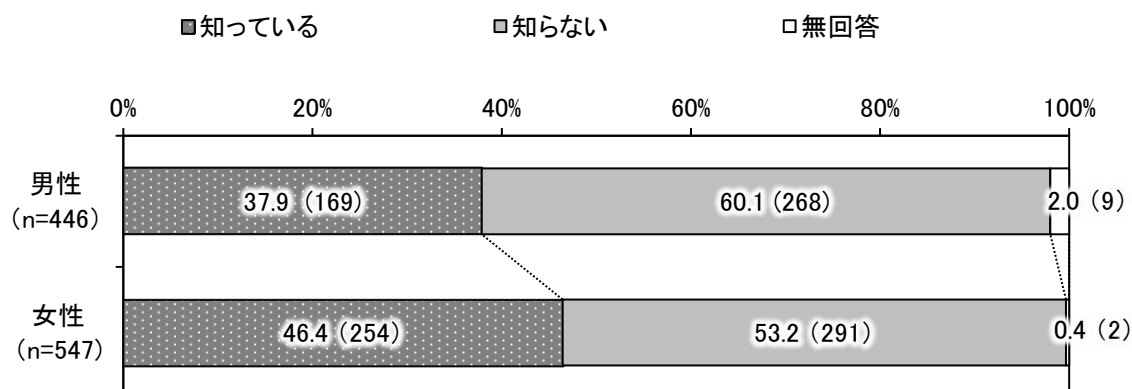
問4. 住んでいる地区の担当民生委員を知っていますか。(○を1つだけ)

「知らない」の割合が55.3%と半数を超えている。



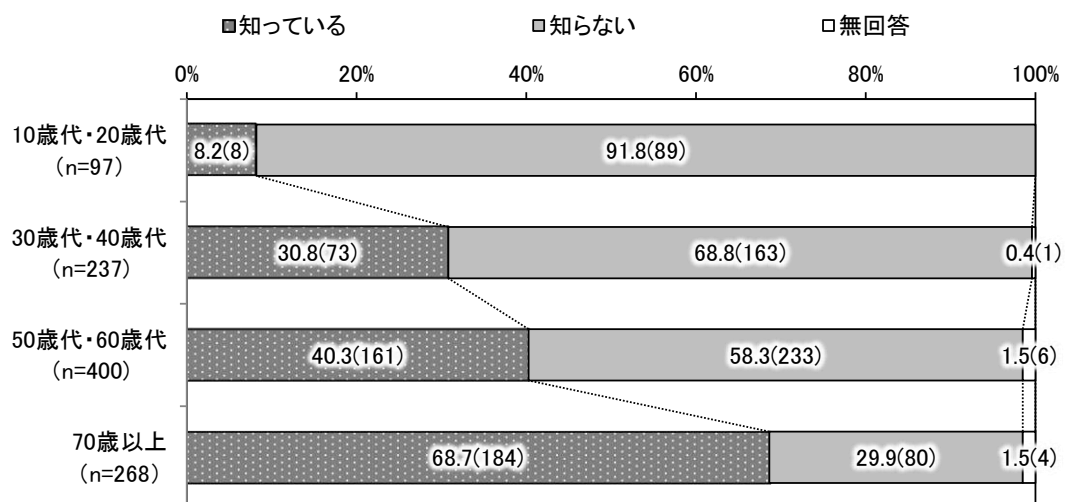
- ▶ 「知っている」の割合が41.6%、「知らない」の割合が55.3%となっています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、「知っている」の割合は、男性（37.9%）と比較すると女性（46.4%）の方が高くなっています。
- ▶ いずれの性別も「知らない」が半数を超えています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、「知っている」の割合が最も高いのは70歳以上（68.7%）で、年代が下がるにつれて「知っている」の割合も減少しています。
- ▶ 10歳代・20歳代においては「知っている」の割合が8.2%で、1割にも満たない結果となっています。

【居住小学校区別】

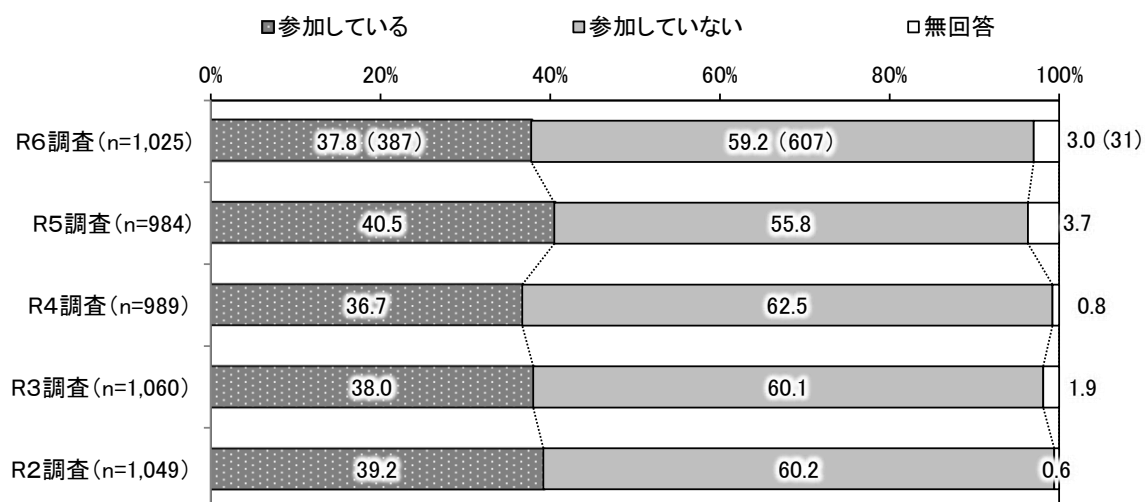
【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	知 つ て い る	知 ら な い	無 回 答
全 体		1025 100.0	426 41.6	567 55.3	32 3.1
居 住 小 学 校 区 別	柳河	99 100.0	40 40.4	57 57.6	2 2.0
	城内	40 100.0	13 32.5	27 67.5	0 0.0
	矢留	59 100.0	21 35.6	38 64.4	0 0.0
	東宮永	47 100.0	25 53.2	22 46.8	0 0.0
	両開	55 100.0	24 43.6	31 56.4	0 0.0
	昭代第一	78 100.0	35 44.9	41 52.6	2 2.6
	昭代第二	48 100.0	24 50.0	24 50.0	0 0.0
	蒲池	115 100.0	44 38.3	70 60.9	1 0.9
	皿垣	30 100.0	14 46.7	14 46.7	2 6.7
	有明	20 100.0	9 45.0	11 55.0	0 0.0
	中島	55 100.0	31 56.4	24 43.6	0 0.0
	六合	36 100.0	9 25.0	26 72.2	1 2.8
	大和	47 100.0	25 53.2	22 46.8	0 0.0
	豊原	46 100.0	28 60.9	17 37.0	1 2.2
	藤吉	97 100.0	30 30.9	66 68.0	1 1.0
	矢ヶ部	19 100.0	7 36.8	12 63.2	0 0.0
	二ッ河	53 100.0	23 43.4	30 56.6	0 0.0
	垂見	31 100.0	19 61.3	12 38.7	0 0.0
	中山	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0
	わからない	22 100.0	2 9.1	20 90.9	0 0.0
	無回答	24 100.0	2 8.3	0 0.0	22 91.7

(2) 地域活動への参加の有無(問5)

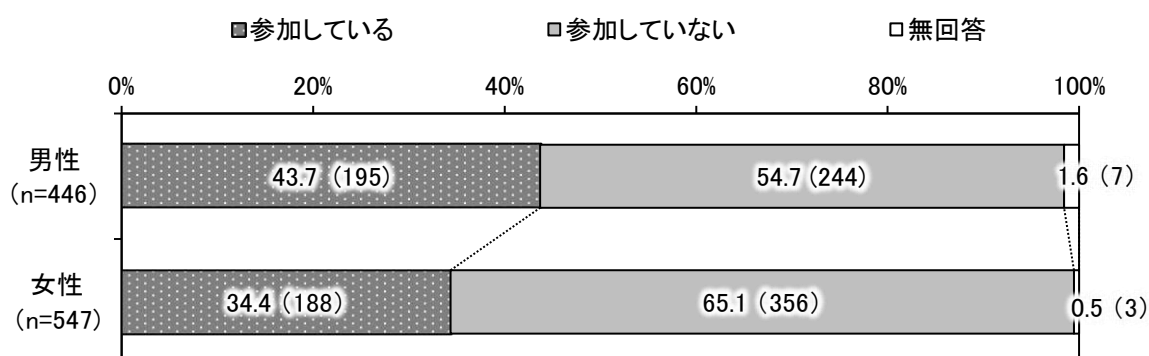
問5. 地域活動や地域ボランティアに参加していますか。(○を1つだけ)

「参加していない」の割合が59.2%と半数を超えている。



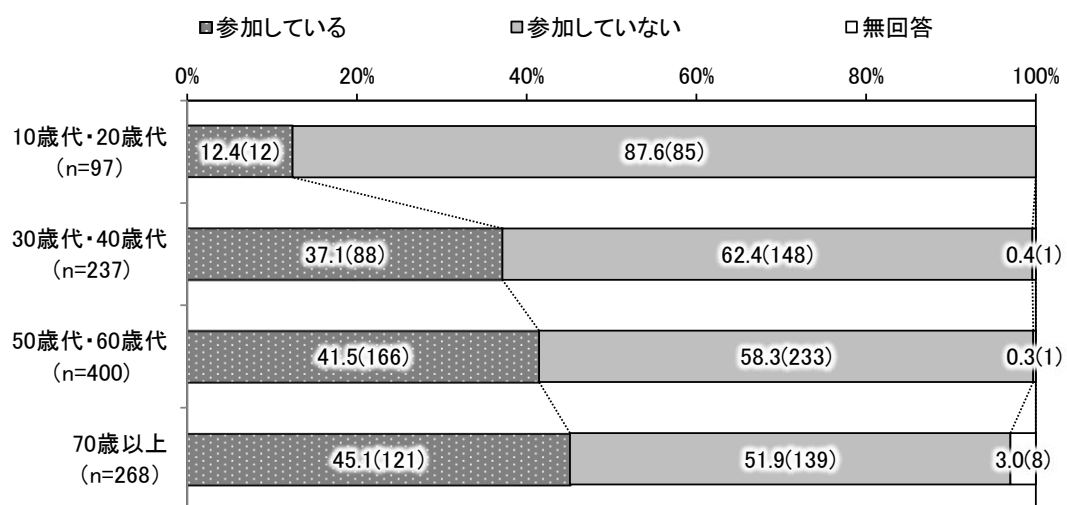
- ▶ 「参加している」の割合が37.8%、「参加していない」の割合が59.2%となっています。
- ▶ 令和5年度調査と比較すると、「参加している」の割合が減少し、「参加していない」の割合は増加しています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、「参加している」の割合は、女性（34.4%）と比較すると男性（43.7%）の方が高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、「参加している」の割合において、30歳以上は30%～40%程となっていますが、10歳代・20歳代は12.4%と顕著に低くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

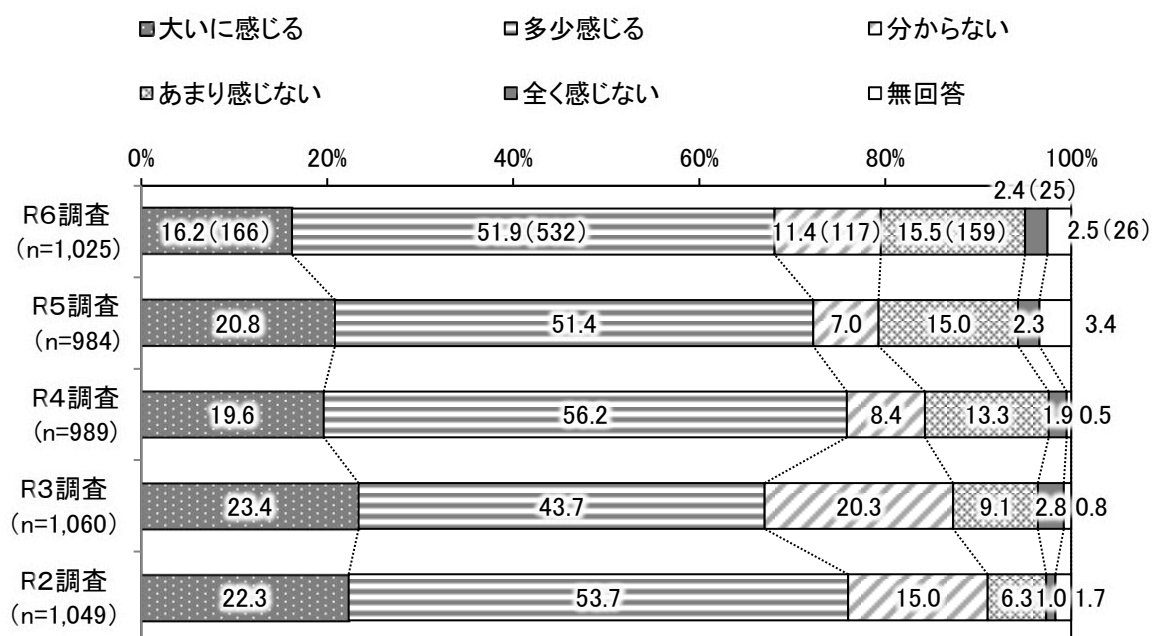
【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	参加 している	参加 していない	無 回 答
全 体		1025 100.0	387 37.8	607 59.2	31 3.0
居 住 小 学 校 区 別	柳河	99 100.0	33 33.3	66 66.7	0 0.0
	城内	40 100.0	14 35.0	26 65.0	0 0.0
	矢留	59 100.0	19 32.2	37 62.7	3 5.1
	東宮永	47 100.0	19 40.4	28 59.6	0 0.0
	両開	55 100.0	21 38.2	34 61.8	0 0.0
	昭代第一	78 100.0	32 41.0	44 56.4	2 2.6
	昭代第二	48 100.0	18 37.5	30 62.5	0 0.0
	蒲池	115 100.0	40 34.8	74 64.3	1 0.9
	皿垣	30 100.0	15 50.0	15 50.0	0 0.0
	有明	20 100.0	9 45.0	11 55.0	0 0.0
	中島	55 100.0	19 34.5	36 65.5	0 0.0
	六合	36 100.0	15 41.7	21 58.3	0 0.0
	大和	47 100.0	17 36.2	30 63.8	0 0.0
	豊原	46 100.0	22 47.8	22 47.8	2 4.3
	藤吉	97 100.0	36 37.1	61 62.9	0 0.0
	矢ヶ部	19 100.0	6 31.6	13 68.4	0 0.0
	二ッ河	53 100.0	29 54.7	24 45.3	0 0.0
	垂見	31 100.0	14 45.2	16 51.6	1 3.2
	中山	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0
	わからない	22 100.0	6 27.3	16 72.7	0 0.0
	無回答	24 100.0	2 8.3	0 0.0	22 91.7

(3) 柳川市への愛着や誇りの度合い(問6)

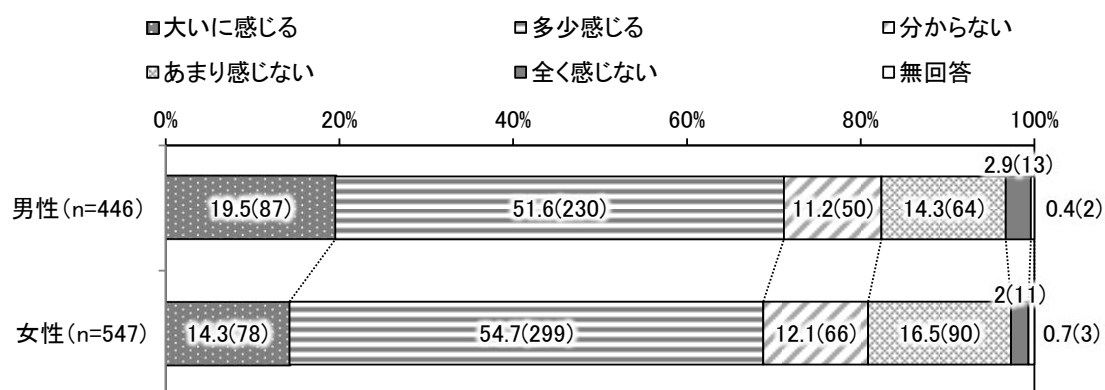
問6. 柳川市に愛着や誇りを感じますか。(○を1つだけ)

「多少感じる」の割合が51.9%で最も高くなっている。



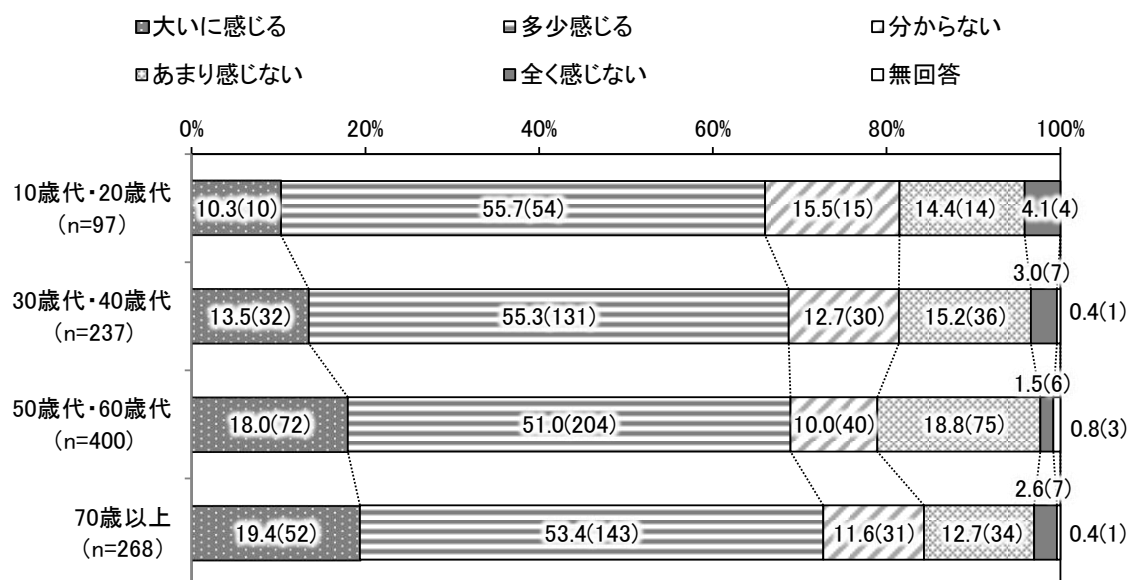
- ▶ 「大いに感じる」と「多少感じる」を合わせた『感じる』の割合が68.1%、「分からない」の割合が11.4%、「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた『感じない』の割合が17.9%となっています。
- ▶ 令和5年度調査と比較すると、『感じる』の割合が減少し、『感じない』の割合が増加しています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、『感じる』の割合は、女性（69.0％）と比較すると男性（71.1％）の方が高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、どの年代も『感じる』の割合が60％以上となっており、70歳以上は『感じる』の割合が70％を超えています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

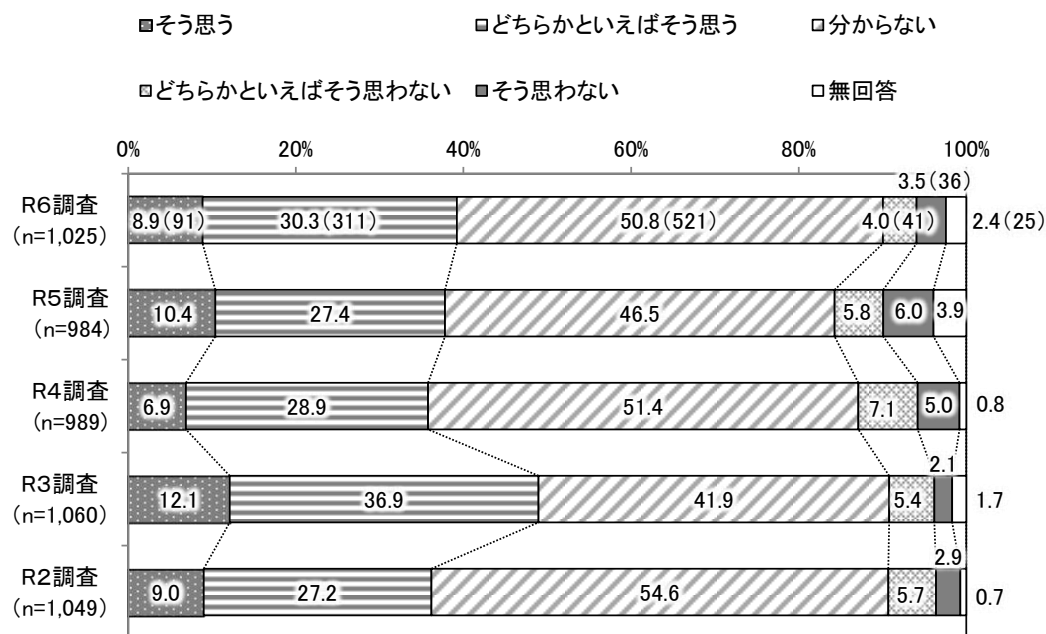
【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	大いに感じる	多少感じる	分からない	あまり感じない	全く感じない	無回答	『感じる』	『感じない』
全 体		1025	166	532	117	159	25	26	698	184
		100.0	16.2	51.9	11.4	15.5	2.4	2.5	68.1	18.0
居住小学校区別	柳河	99	23	47	7	12	9	1	70	21
		100.0	23.2	47.5	7.1	12.1	9.1	1.0	70.7	21.2
	城内	40	9	26	4	1	0	0	35	1
		100.0	22.5	65.0	10.0	2.5	0.0	0.0	87.5	2.5
	矢留	59	11	30	9	7	2	0	41	9
		100.0	18.6	50.8	15.3	11.9	3.4	0.0	69.5	15.3
	東宮永	47	10	24	3	7	2	1	34	9
		100.0	21.3	51.1	6.4	14.9	4.3	2.1	72.3	19.1
	岡開	55	12	28	8	7	0	0	40	7
		100.0	21.8	50.9	14.5	12.7	0.0	0.0	72.7	12.7
	昭代第一	78	11	44	10	12	1	0	55	13
		100.0	14.1	56.4	12.8	15.4	1.3	0.0	70.5	16.7
	昭代第二	48	9	25	5	7	2	0	34	9
		100.0	18.8	52.1	10.4	14.6	4.2	0.0	70.8	18.8
	蒲池	115	17	52	22	23	1	0	69	24
		100.0	14.8	45.2	19.1	20.0	0.9	0.0	60.0	20.9
	皿垣	30	3	18	4	4	1	0	21	5
		100.0	10.0	60.0	13.3	13.3	3.3	0.0	70.0	16.7
	有明	20	4	13	2	1	0	0	17	1
		100.0	20.0	65.0	10.0	5.0	0.0	0.0	85.0	5.0
	中島	55	8	29	2	15	1	0	37	16
		100.0	14.5	52.7	3.6	27.3	1.8	0.0	67.3	29.1
	六合	36	5	20	4	6	0	1	25	6
		100.0	13.9	55.6	11.1	16.7	0.0	2.8	69.4	16.7
	大和	47	3	35	5	3	0	1	38	3
		100.0	6.4	74.5	10.6	6.4	0.0	2.1	80.9	6.4
	豊原	46	7	28	4	5	2	0	35	7
		100.0	15.2	60.9	8.7	10.9	4.3	0.0	76.1	15.2
	藤吉	97	18	47	9	22	1	0	65	23
		100.0	18.6	48.5	9.3	22.7	1.0	0.0	67.0	23.7
	矢ヶ部	19	3	12	1	2	1	0	15	3
		100.0	15.8	63.2	5.3	10.5	5.3	0.0	78.9	15.8
	二ッ河	53	7	28	6	12	0	0	35	12
		100.0	13.2	52.8	11.3	22.6	0.0	0.0	66.0	22.6
	垂見	31	5	14	5	7	0	0	19	7
		100.0	16.1	45.2	16.1	22.6	0.0	0.0	61.3	22.6
	中山	4	0	2	1	1	0	0	2	1
		100.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0
	わからない	22	1	8	6	5	2	0	9	7
		100.0	4.5	36.4	27.3	22.7	9.1	0.0	40.9	31.8
	無回答	24	0	2	0	0	0	22	2	0
		100.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	91.7	8.3	0.0

(4) 人権が守られていると思う度合い(問7)

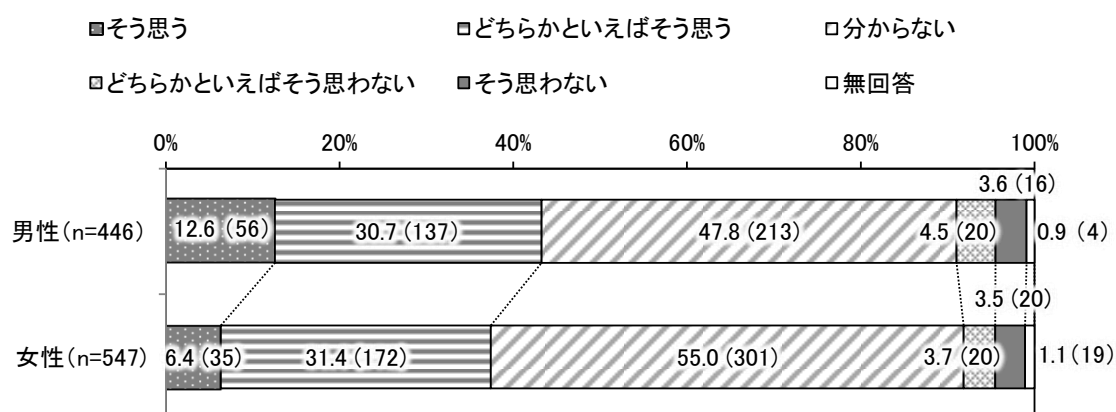
問7. 柳川市は人権が守られていると思いますか。(○を1つだけ)

「分からない」の割合が50.8%で最も高くなっている。



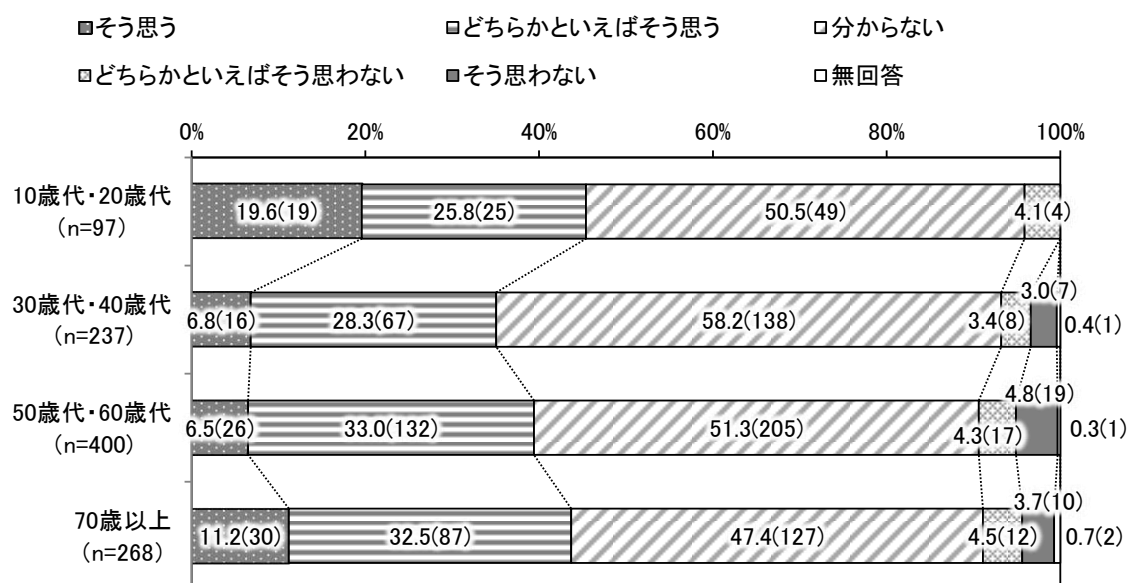
- ▶ 「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』の割合が39.2%、「分からない」の割合が50.8%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合が7.5%となっています。
- ▶ 令和5年度調査と比較すると、『思う』の割合が1.4ポイント増加し、令和4年度調査以降、増加の傾向がみられます。

【性別】



- ▶ 性別にみると、『そう思う』の割合は、女性（37.8％）と比較すると男性（43.3％）の方が高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、『そう思う』の割合が最も高いのは10歳代・20歳代（45.4％）で、最も低いのは30歳代・40歳代（35.1％）となっています。
- ▶ いずれの年代も、「分からない」の割合が約半数を占め、『そう思わない』は1割未満となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

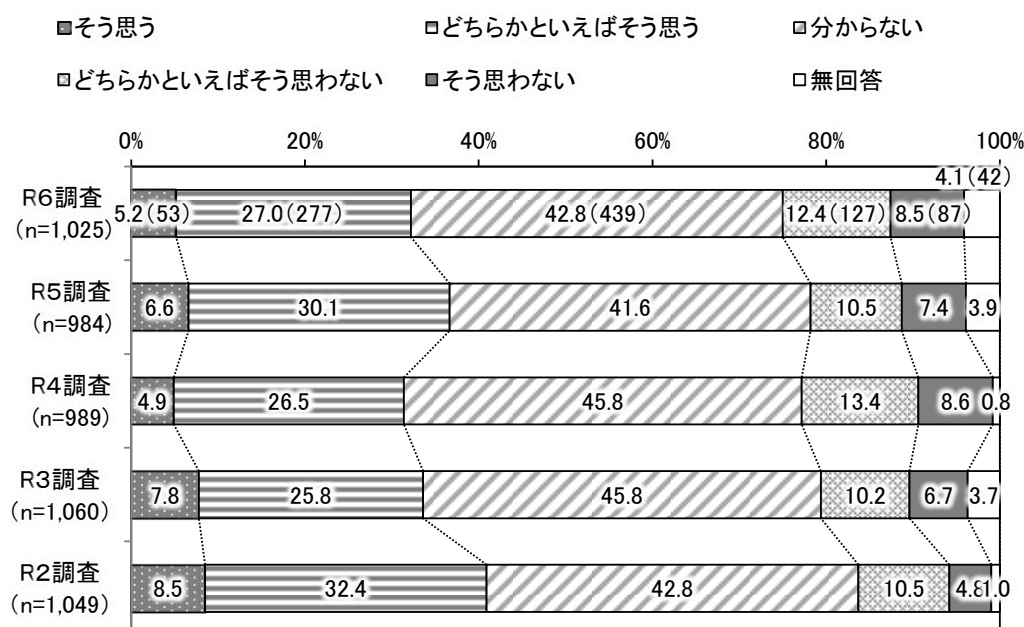
【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	そう 思う	どちら かとい えば そう 思う	分 か ら な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	『 そ う 思 う 』	『 そ う 思 わ な い 』
全 体		1025	91	311	521	41	36	25	402	77
		100.0	8.9	30.3	50.8	4.0	3.5	2.4	39.2	7.5
居 住 小 学 校 区 別	柳河	99	9	36	43	5	5	1	45	10
		100.0	9.1	36.4	43.4	5.1	5.1	1.0	45.5	10.1
	城内	40	6	15	15	4	0	0	21	4
		100.0	15.0	37.5	37.5	10.0	0.0	0.0	52.5	10.0
	矢留	59	3	22	29	2	2	1	25	4
		100.0	5.1	37.3	49.2	3.4	3.4	1.7	42.4	6.8
	東宮永	47	5	15	24	0	3	0	20	3
		100.0	10.6	31.9	51.1	0.0	6.4	0.0	42.6	6.4
	両開	55	5	23	23	3	1	0	28	4
		100.0	9.1	41.8	41.8	5.5	1.8	0.0	50.9	7.3
	昭代第一	78	6	21	44	4	3	0	27	7
		100.0	7.7	26.9	56.4	5.1	3.8	0.0	34.6	9.0
	昭代第二	48	8	9	25	3	3	0	17	6
		100.0	16.7	18.8	52.1	6.3	6.3	0.0	35.4	12.5
	蒲池	115	14	32	63	2	4	0	46	6
		100.0	12.2	27.8	54.8	1.7	3.5	0.0	40.0	5.2
	皿垣	30	0	7	19	1	3	0	7	4
		100.0	0.0	23.3	63.3	3.3	10.0	0.0	23.3	13.3
	有明	20	2	9	8	0	1	0	11	1
		100.0	10.0	45.0	40.0	0.0	5.0	0.0	55.0	5.0
	中島	55	2	18	30	3	2	0	20	5
		100.0	3.6	32.7	54.5	5.5	3.6	0.0	36.4	9.1
	六合	36	5	7	20	2	1	1	12	3
		100.0	13.9	19.4	55.6	5.6	2.8	2.8	33.3	8.3
	大和	47	2	16	26	1	2	0	18	3
		100.0	4.3	34.0	55.3	2.1	4.3	0.0	38.3	6.4
	豊原	46	3	12	29	0	2	0	15	2
		100.0	6.5	26.1	63.0	0.0	4.3	0.0	32.6	4.3
	藤吉	97	11	32	49	4	1	0	43	5
		100.0	11.3	33.0	50.5	4.1	1.0	0.0	44.3	5.2
	矢ヶ部	19	2	7	9	1	0	0	9	1
		100.0	10.5	36.8	47.4	5.3	0.0	0.0	47.4	5.3
	二ッ河	53	4	13	33	3	0	0	17	3
		100.0	7.5	24.5	62.3	5.7	0.0	0.0	32.1	5.7
	垂見	31	3	11	15	2	0	0	14	2
		100.0	9.7	35.5	48.4	6.5	0.0	0.0	45.2	6.5
	中山	4	0	1	3	0	0	0	1	0
		100.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	わからない	22	1	5	12	1	3	0	6	4
		100.0	4.5	22.7	54.5	4.5	13.6	0.0	27.3	18.2
	無回答	24	0	0	2	0	0	22	0	0
		100.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	91.7	0.0	0.0

(5) 柳川市は子育てしやすい環境であると思う度合い(問8)

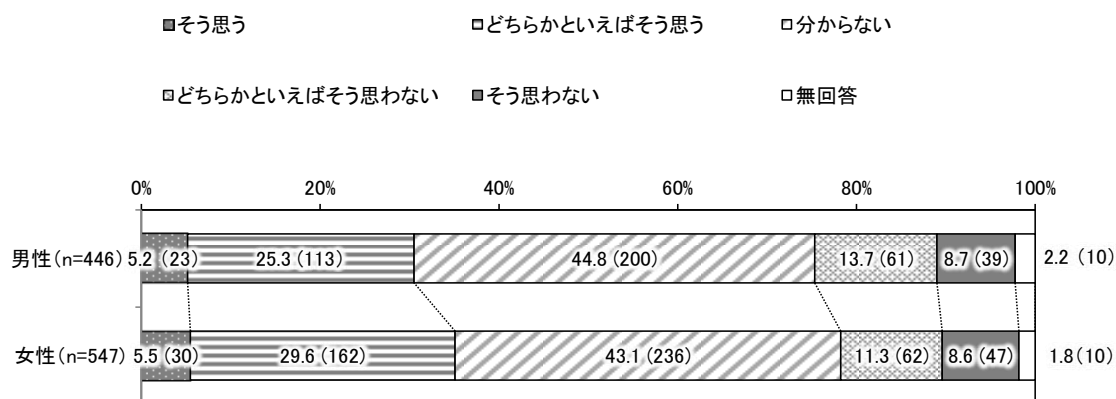
問8. 柳川市は子育てしやすい環境であると思いますか。(○を1つだけ)

「分からない」の割合が42.8%で最も高くなっている。



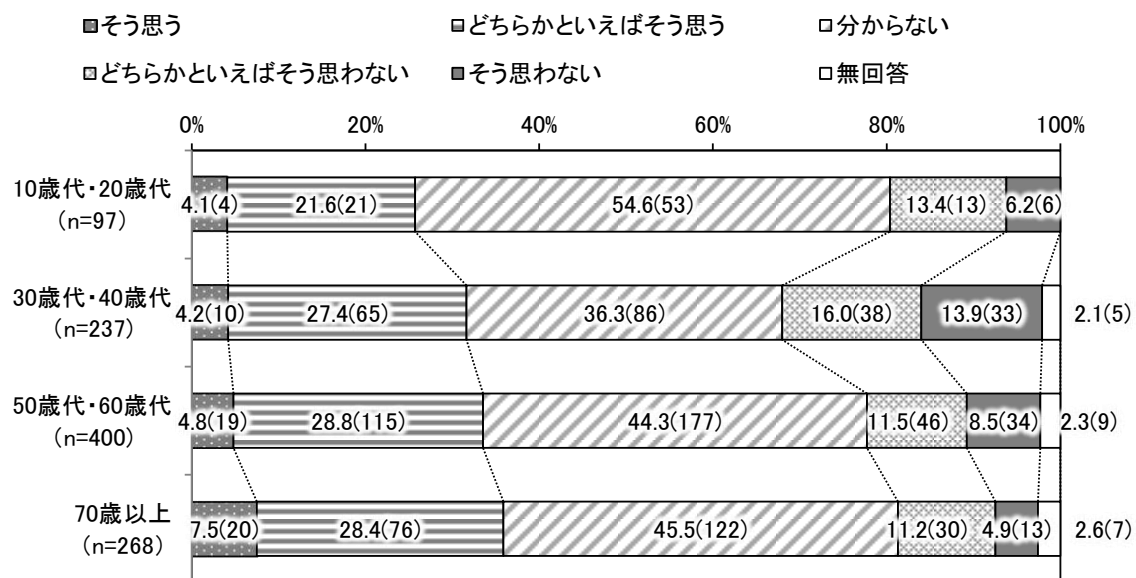
- ▶ 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合が32.2%、「分からない」の割合が42.8%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合が20.9%となっています。
- ▶ 令和5年度調査と比較すると、『そう思う』の割合が減少し、『そう思わない』の割合が増加しています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、『そう思う』の割合は、男性（30.5％）と比較すると女性（35.1％）の方が高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、年代が上がるにつれて『そう思う』の割合が高くなっており、最も高いのは70歳以上で35.9％となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

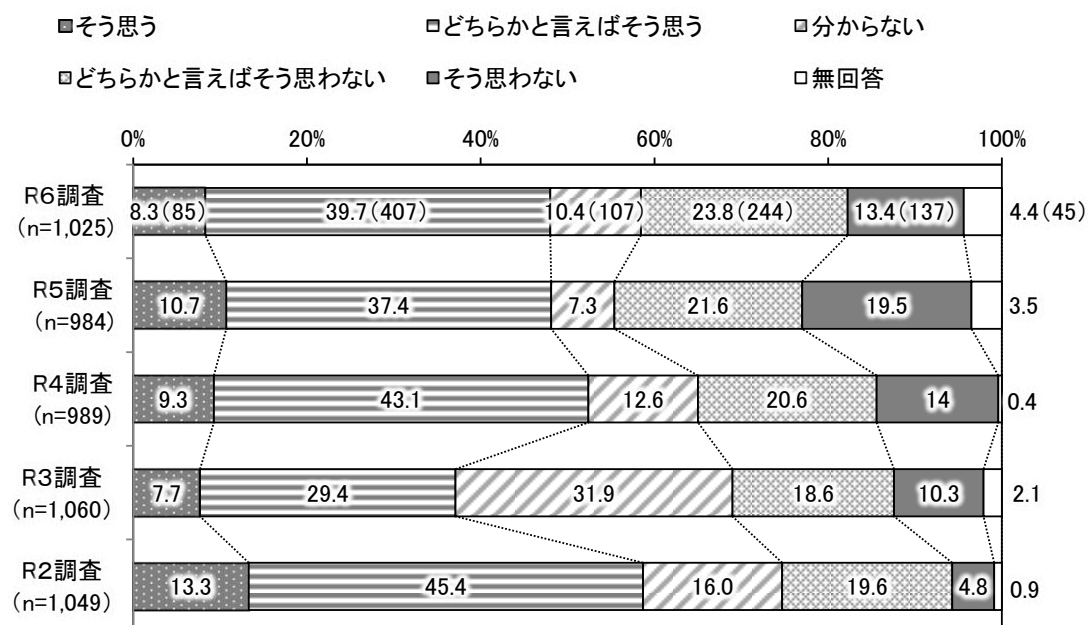
【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	そう 思う	どちら かとい えそう	分 から ない	どちら かとい えそう	そう 思わ ない	無 回 答	『そう 思う』	『そう 思わ ない』
全 体		1025	53	277	439	127	87	42	330	214
		100.0	5.2	27.0	42.8	12.4	8.5	4.1	32.2	20.9
居住小学校区別	柳河	99	7	30	46	4	10	2	37	14
		100.0	7.1	30.3	46.5	4.0	10.1	2.0	37.4	14.1
	城内	40	1	12	17	6	3	1	13	9
		100.0	2.5	30.0	42.5	15.0	7.5	2.5	32.5	22.5
	矢留	59	2	20	24	7	4	2	22	11
		100.0	3.4	33.9	40.7	11.9	6.8	3.4	37.3	18.6
	東宮永	47	3	20	16	3	3	2	23	6
		100.0	6.4	42.6	34.0	6.4	6.4	4.3	48.9	12.8
	岡開	55	7	14	21	6	6	1	21	12
		100.0	12.7	25.5	38.2	10.9	10.9	1.8	38.2	21.8
	昭代第一	78	1	16	36	18	6	1	17	24
		100.0	1.3	20.5	46.2	23.1	7.7	1.3	21.8	30.8
	昭代第二	48	4	13	16	7	8	0	17	15
		100.0	8.3	27.1	33.3	14.6	16.7	0.0	35.4	31.3
	蒲池	115	7	29	63	10	4	2	36	14
		100.0	6.1	25.2	54.8	8.7	3.5	1.7	31.3	12.2
	皿垣	30	1	13	9	4	3	0	14	7
		100.0	3.3	43.3	30.0	13.3	10.0	0.0	46.7	23.3
	有明	20	0	7	8	3	2	0	7	5
		100.0	0.0	35.0	40.0	15.0	10.0	0.0	35.0	25.0
	中島	55	1	14	23	8	6	3	15	14
		100.0	1.8	25.5	41.8	14.5	10.9	5.5	27.3	25.5
	六合	36	1	8	14	9	3	1	9	12
		100.0	2.8	22.2	38.9	25.0	8.3	2.8	25.0	33.3
	大和	47	1	14	20	8	4	0	15	12
		100.0	2.1	29.8	42.6	17.0	8.5	0.0	31.9	25.5
	豊原	46	1	8	26	6	2	3	9	8
		100.0	2.2	17.4	56.5	13.0	4.3	6.5	19.6	17.4
	藤吉	97	6	29	36	14	12	0	35	26
		100.0	6.2	29.9	37.1	14.4	12.4	0.0	36.1	26.8
	矢ヶ部	19	2	5	7	2	3	0	7	5
		100.0	10.5	26.3	36.8	10.5	15.8	0.0	36.8	26.3
	二ッ河	53	4	11	27	7	4	0	15	11
		100.0	7.5	20.8	50.9	13.2	7.5	0.0	28.3	20.8
	垂見	31	3	10	11	4	2	1	13	6
		100.0	9.7	32.3	35.5	12.9	6.5	3.2	41.9	19.4
	中山	4	0	0	3	1	0	0	0	1
		100.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	わからない	22	1	4	14	0	2	1	5	2
		100.0	4.5	18.2	63.6	0.0	9.1	4.5	22.7	9.1
	無回答	24	0	0	2	0	0	22	0	0
		100.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	91.7	0.0	0.0

(6) 市内の道路を快適に通行できると思う度合い(問10)

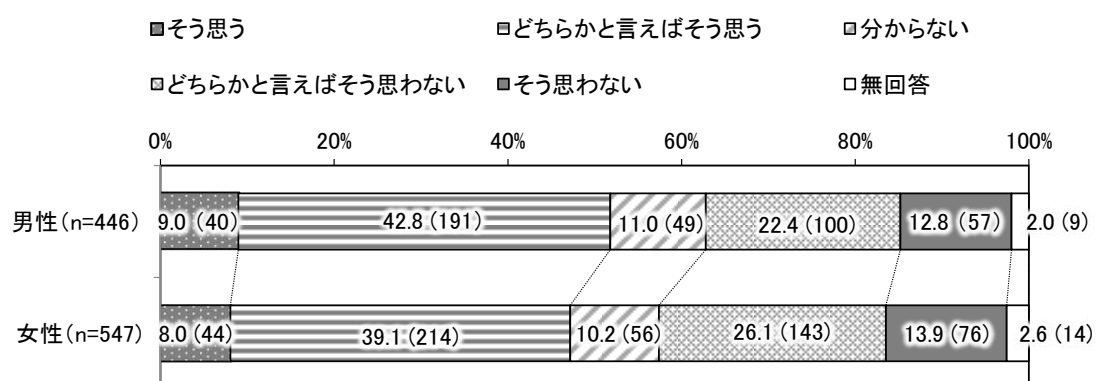
問10. 市内の道路を快適に通行できると思いますか。(○を1つだけ)

「どちらかと言えばそう思う」の割合が39.7%で最も高くなっている。



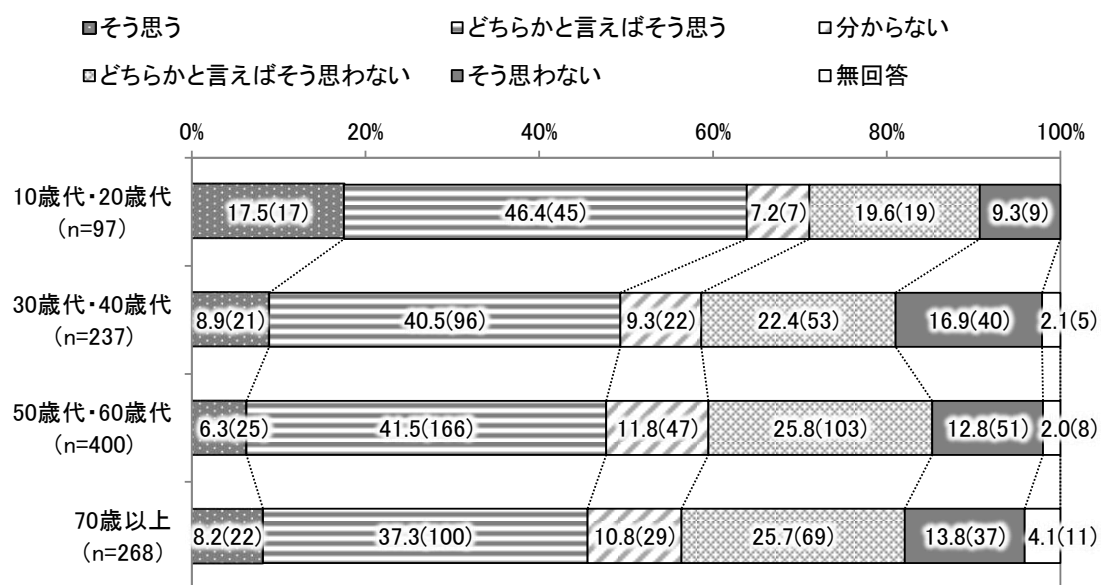
- ▶ 「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合が48.0%、「分からない」の割合が10.4%、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合が37.2%となっています。
- ▶ 令和5年度調査と比較すると、『そう思う』の割合はほぼ横ばい、『そう思わない』の割合が3.9ポイント減少しています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、『そう思う』の割合は、女性（47.1％）と比較すると男性（51.8％）の方が高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、『そう思う』の割合が最も高いのは10歳代・20歳代（63.9％）で、年代が上がる＆『そう思う』の割合は低くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

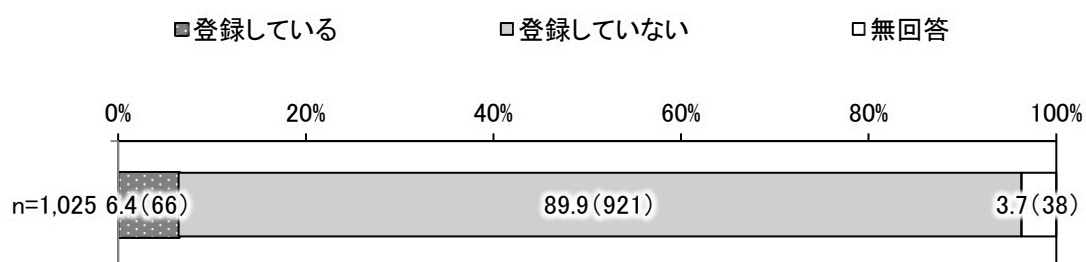
【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	そう 思う	ど ち ら か と 言 え ば そ う 思 う	分 か ら な い	ど ち ら か と 言 え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	『 そ う 思 う 』	『 そ う 思 わ な い 』
全 体		1025	85	407	107	244	137	45	492	381
		100.0	8.3	39.7	10.4	23.8	13.4	4.4	48.0	37.2
居 住 小 学 校 区 別	柳河	99	9	36	9	30	14	1	45	44
		100.0	9.1	36.4	9.1	30.3	14.1	1.0	45.5	44.4
	城内	40	4	10	10	9	7	0	14	16
		100.0	10.0	25.0	25.0	22.5	17.5	0.0	35.0	40.0
	矢留	59	4	20	5	20	7	3	24	27
		100.0	6.8	33.9	8.5	33.9	11.9	5.1	40.7	45.8
	東宮永	47	3	24	3	7	10	0	27	17
		100.0	6.4	51.1	6.4	14.9	21.3	0.0	57.4	36.2
	両開	55	8	22	5	12	7	1	30	19
		100.0	14.5	40.0	9.1	21.8	12.7	1.8	54.5	34.5
	昭代第一	78	3	28	5	27	14	1	31	41
		100.0	3.8	35.9	6.4	34.6	17.9	1.3	39.7	52.6
	昭代第二	48	6	20	2	12	7	1	26	19
		100.0	12.5	41.7	4.2	25.0	14.6	2.1	54.2	39.6
	蒲池	115	11	54	18	20	9	3	65	29
		100.0	9.6	47.0	15.7	17.4	7.8	2.6	56.5	25.2
	皿垣	30	6	8	2	10	4	0	14	14
		100.0	20.0	26.7	6.7	33.3	13.3	0.0	46.7	46.7
	有明	20	1	9	3	5	2	0	10	7
		100.0	5.0	45.0	15.0	25.0	10.0	0.0	50.0	35.0
	中島	55	5	25	6	14	5	0	30	19
		100.0	9.1	45.5	10.9	25.5	9.1	0.0	54.5	34.5
	六合	36	2	18	2	10	2	2	20	12
		100.0	5.6	50.0	5.6	27.8	5.6	5.6	55.6	33.3
	大和	47	2	23	4	13	4	1	25	17
		100.0	4.3	48.9	8.5	27.7	8.5	2.1	53.2	36.2
	豊原	46	2	19	5	9	7	4	21	16
		100.0	4.3	41.3	10.9	19.6	15.2	8.7	45.7	34.8
	藤吉	97	13	33	12	20	16	3	46	36
		100.0	13.4	34.0	12.4	20.6	16.5	3.1	47.4	37.1
	矢ヶ部	19	1	7	2	4	5	0	8	9
		100.0	5.3	36.8	10.5	21.1	26.3	0.0	42.1	47.4
	二ッ河	53	5	21	4	12	9	2	26	21
		100.0	9.4	39.6	7.5	22.6	17.0	3.8	49.1	39.6
	垂見	31	0	15	5	7	3	1	15	10
		100.0	0.0	48.4	16.1	22.6	9.7	3.2	48.4	32.3
	中山	4	0	3	0	0	1	0	3	1
		100.0	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	25.0
	わからない	22	0	11	4	3	4	0	11	7
		100.0	0.0	50.0	18.2	13.6	18.2	0.0	50.0	31.8
	無回答	24	0	1	1	0	0	22	1	0
		100.0	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	91.7	4.2	0.0

(7)「柳川市公式LINE」の認知度(問11)

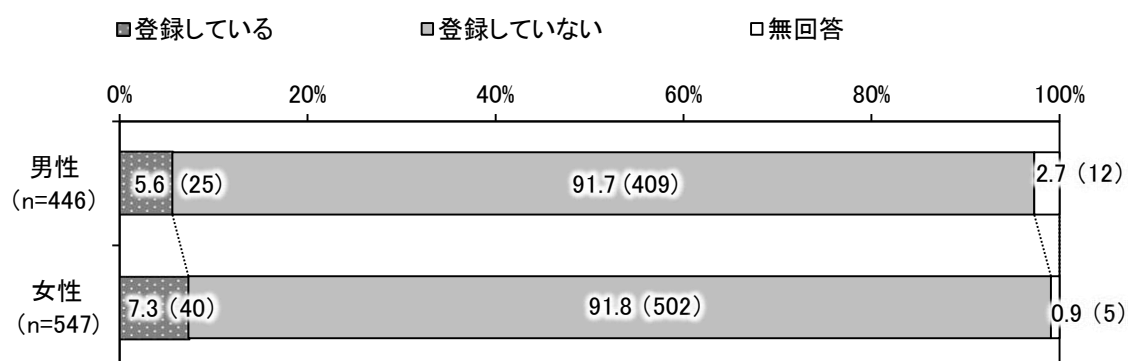
問 1 1. 昨年3月からスタートした「柳川市公式LINE」の友だち登録をしていますか。また、その理由もお答えください。(○を1つだけ)

「登録していない」の割合が89.9%で半数を超えている。



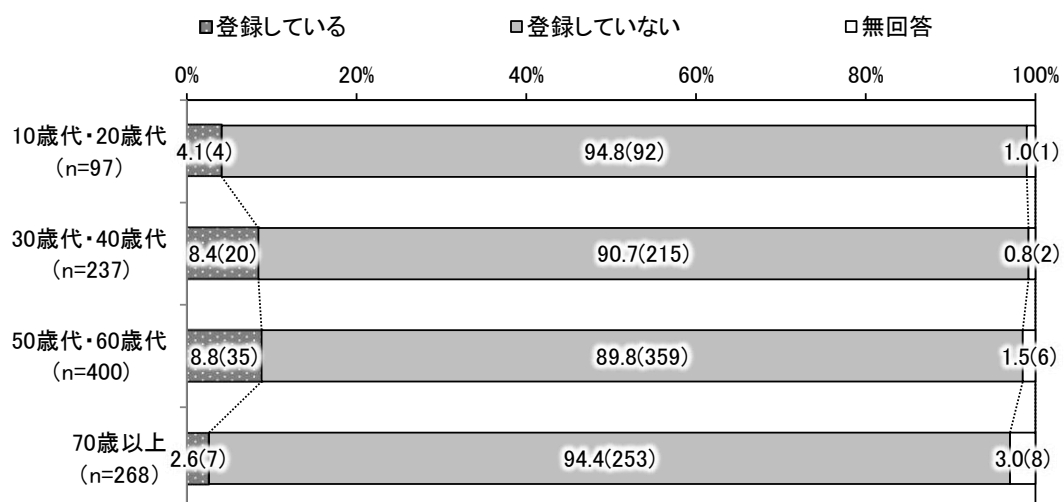
- ▶ 「登録している」の割合は6.4%、「登録していない」の割合は89.9%となっています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、「登録している」の割合は、男性（5.6%）と比較すると女性（7.3%）の方が高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、「登録している」の割合が最も高い年代は、50歳代・60歳代で8.8%、最も低い年代は70歳以上で2.6%となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段:件数、下段:%】

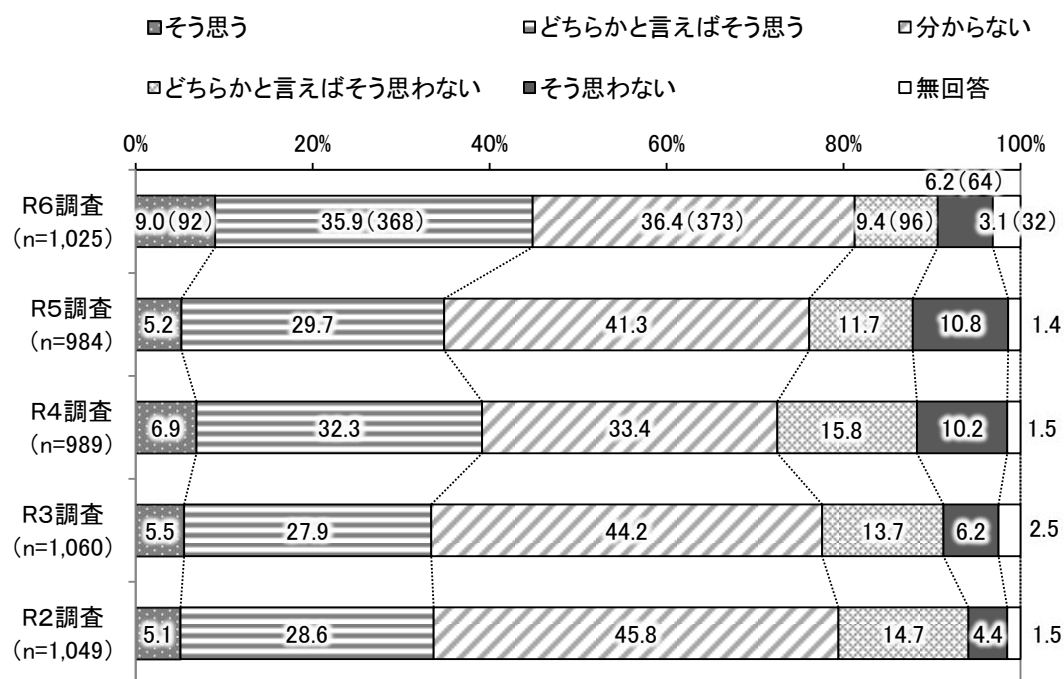
		回答者数 (件)	登録 している	登録 していない	無 回 答
全 体		1025 100.0	66 6.4	921 89.9	38 3.7
居 住 小 学 校 区 別	柳河	99 100.0	4 4.0	95 96.0	0 0.0
	城内	40 100.0	5 12.5	35 87.5	0 0.0
	矢留	59 100.0	4 6.8	54 91.5	1 1.7
	東宮永	47 100.0	4 8.5	42 89.4	1 2.1
	両開	55 100.0	6 10.9	49 89.1	0 0.0
	昭代第一	78 100.0	7 9.0	69 88.5	2 2.6
	昭代第二	48 100.0	3 6.3	45 93.8	0 0.0
	蒲池	115 100.0	7 6.1	105 91.3	3 2.6
	皿垣	30 100.0	0 0.0	29 96.7	1 3.3
	有明	20 100.0	1 5.0	19 95.0	0 0.0
	中島	55 100.0	1 1.8	52 94.5	2 3.6
	六合	36 100.0	3 8.3	32 88.9	1 2.8
	大和	47 100.0	3 6.4	43 91.5	1 2.1
	豊原	46 100.0	5 10.9	40 87.0	1 2.2
	藤吉	97 100.0	6 6.2	90 92.8	1 1.0
	矢ヶ部	19 100.0	0 0.0	19 100.0	0 0.0
	二ッ河	53 100.0	5 9.4	47 88.7	1 1.9
	垂見	31 100.0	2 6.5	28 90.3	1 3.2
	中山	4 100.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0
	わからない	22 100.0	0 0.0	22 100.0	0 0.0
	無回答	24 100.0	0 0.0	2 8.3	22 91.7

3. 文化・歴史・景観・観光について

(1) 文化芸術活動が盛んに行われていると思う度合い(問12)

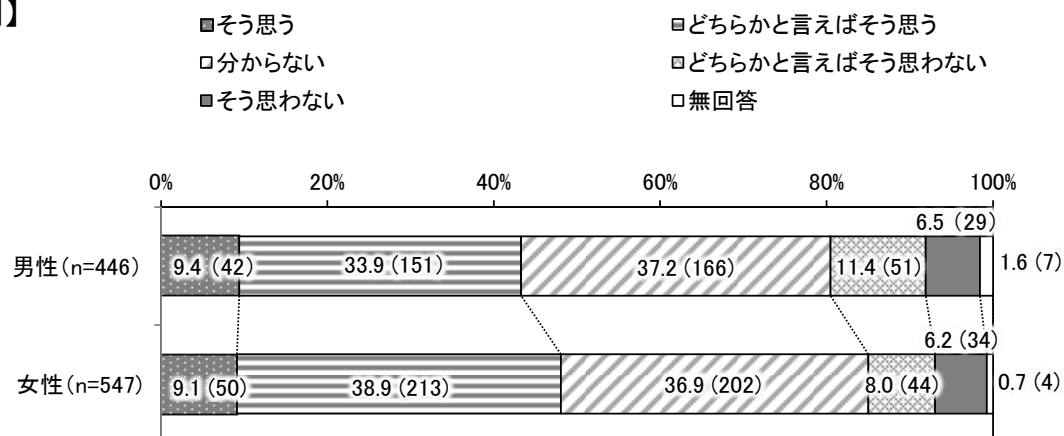
問 1 2. 柳川市は文化芸術活動が盛んに行われていると思いますか。(○を1つだけ)

『そう思う』の割合が44.9%で、令和2年以降、最も高い水準となっている。



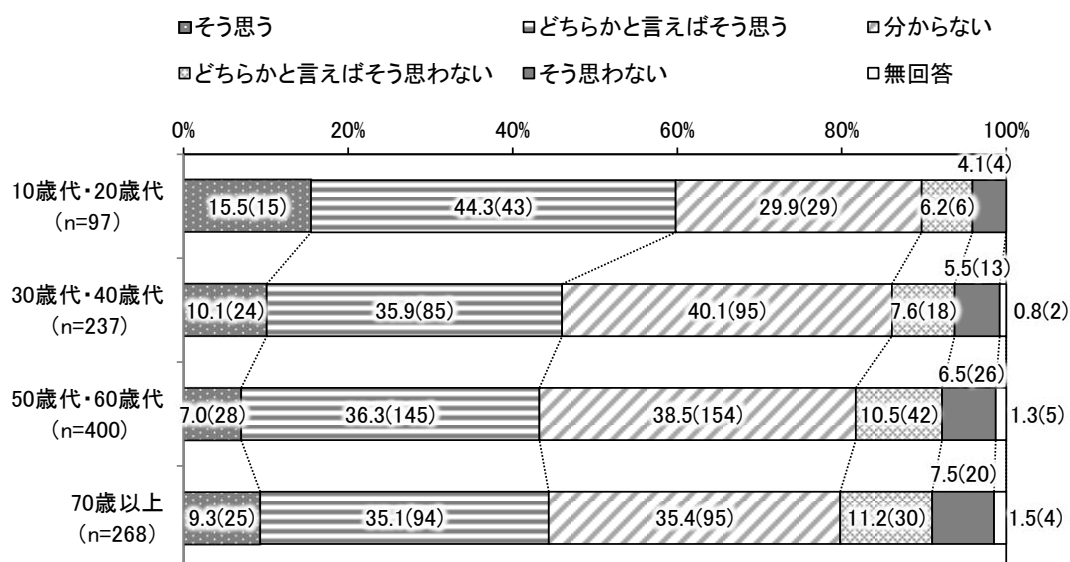
- ▶ 「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合が44.9%、「分からない」の割合が36.4%、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合が15.6%となっています。
- ▶ 令和5年度調査と比較すると、『そう思う』の割合が10ポイント増え、令和2年度調査以降、最も高い水準となっています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、『そう思う』の割合は、男性（43.3%）と比較すると女性（48.0%）の方が高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、『そう思う』の割合が最も高いのは10歳代・20歳代で、唯一半数を超え、59.8%となっています。最も低いのは50歳代・60歳代で43.3%となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

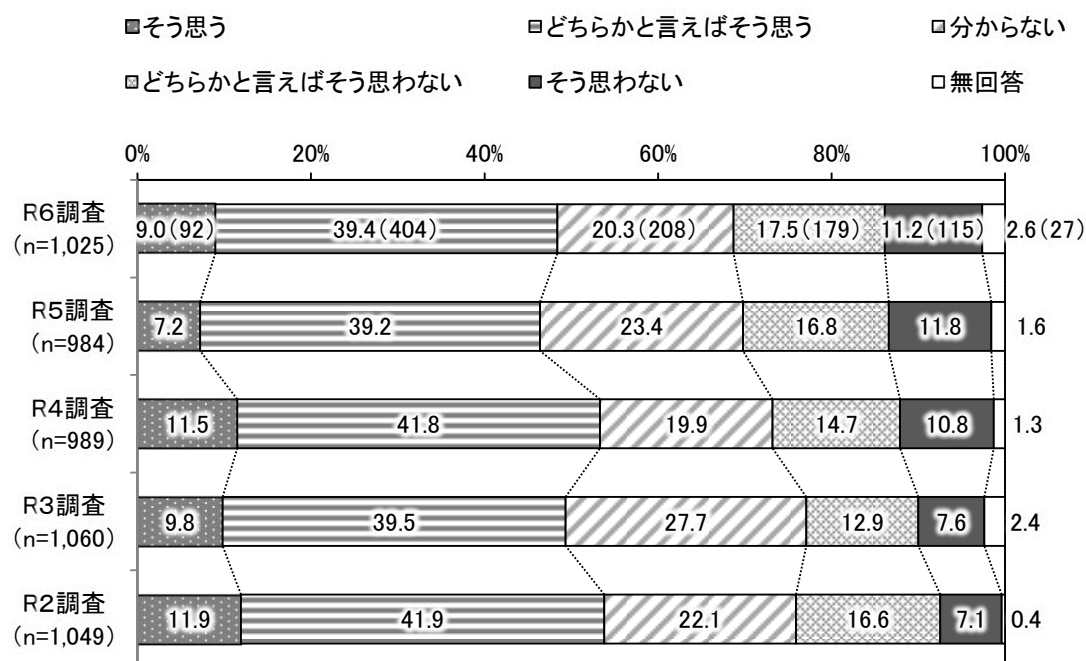
【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	そう思う	どちらかと言えばそう思う	分からない	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答	『そう思う』	『そう思わない』
全 体		1025	92	368	373	96	64	32	460	160
		100.0	9.0	35.9	36.4	9.4	6.2	3.1	44.9	15.6
居住小学校区別	柳河	99	17	40	26	8	8	0	57	16
		100.0	17.2	40.4	26.3	8.1	8.1	0.0	57.6	16.2
	城内	40	5	17	14	2	1	1	22	3
		100.0	12.5	42.5	35.0	5.0	2.5	2.5	55.0	7.5
	矢留	59	8	21	20	4	5	1	29	9
		100.0	13.6	35.6	33.9	6.8	8.5	1.7	49.2	15.3
	東宮永	47	4	17	18	4	4	0	21	8
		100.0	8.5	36.2	38.3	8.5	8.5	0.0	44.7	17.0
	両開	55	6	15	25	4	4	1	21	8
		100.0	10.9	27.3	45.5	7.3	7.3	1.8	38.2	14.5
	昭代第一	78	4	26	26	13	8	1	30	21
		100.0	5.1	33.3	33.3	16.7	10.3	1.3	38.5	26.9
	昭代第二	48	4	18	15	7	4	0	22	11
		100.0	8.3	37.5	31.3	14.6	8.3	0.0	45.8	22.9
	蒲池	115	15	39	46	10	4	1	54	14
		100.0	13.0	33.9	40.0	8.7	3.5	0.9	47.0	12.2
	皿垣	30	2	9	11	5	3	0	11	8
		100.0	6.7	30.0	36.7	16.7	10.0	0.0	36.7	26.7
	有明	20	0	7	8	4	1	0	7	5
		100.0	0.0	35.0	40.0	20.0	5.0	0.0	35.0	25.0
	中島	55	2	19	21	6	5	2	21	11
		100.0	3.6	34.5	38.2	10.9	9.1	3.6	38.2	20.0
	六合	36	2	16	15	0	2	1	18	2
		100.0	5.6	44.4	41.7	0.0	5.6	2.8	50.0	5.6
	大和	47	2	15	22	6	2	0	17	8
		100.0	4.3	31.9	46.8	12.8	4.3	0.0	36.2	17.0
	豊原	46	3	21	16	4	2	0	24	6
		100.0	6.5	45.7	34.8	8.7	4.3	0.0	52.2	13.0
	藤吉	97	10	35	35	7	8	2	45	15
		100.0	10.3	36.1	36.1	7.2	8.2	2.1	46.4	15.5
	矢ヶ部	19	1	10	5	2	1	0	11	3
		100.0	5.3	52.6	26.3	10.5	5.3	0.0	57.9	15.8
	二ッ河	53	5	20	22	5	1	0	25	6
		100.0	9.4	37.7	41.5	9.4	1.9	0.0	47.2	11.3
	垂見	31	2	12	13	4	0	0	14	4
		100.0	6.5	38.7	41.9	12.9	0.0	0.0	45.2	12.9
	中山	4	0	1	3	0	0	0	1	0
		100.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	わからない	22	0	9	11	1	1	0	9	2
		100.0	0.0	40.9	50.0	4.5	4.5	0.0	40.9	9.1
	無回答	24	0	1	1	0	0	22	1	0
		100.0	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	91.7	4.2	0.0

(2) 柳川市の水辺の景観や掘割が保全されていると感じる度合い(問13)

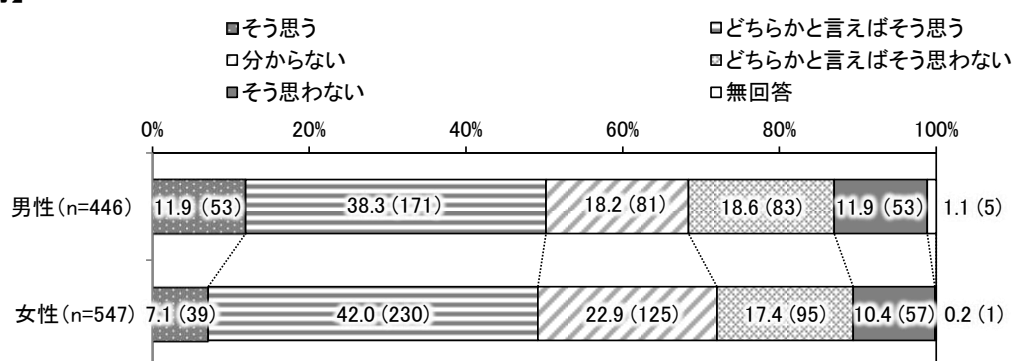
問 1 3 . 水辺の景観や掘割が保全されていると感じますか。(○を1つだけ)

「どちらかと言えばそう思う」の割合が39.4%で最も高くなっている。



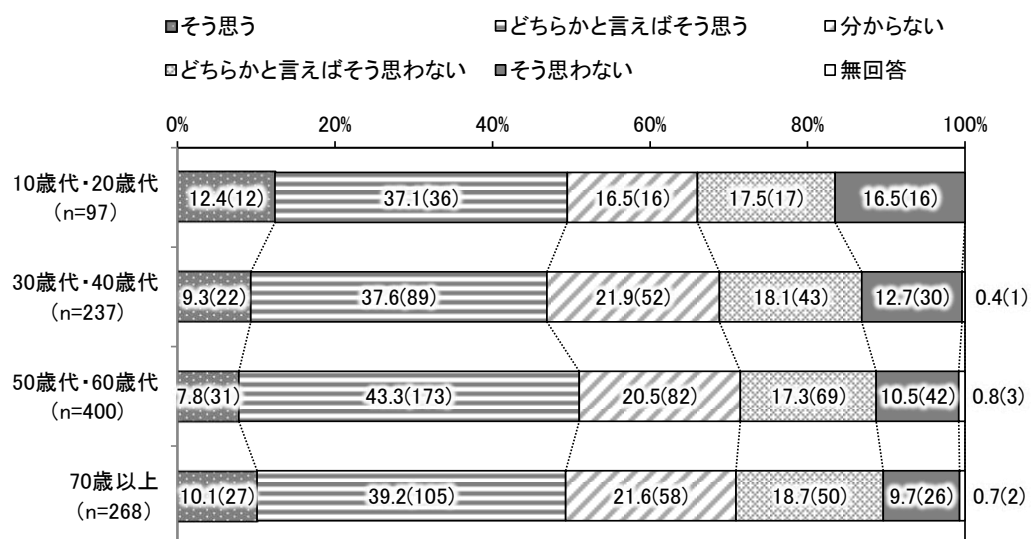
- ▶ 「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合は48.4%、「分からない」の割合が20.3%、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合が28.7%となっています。
- ▶ 令和5年度調査と比較すると、『そう思う』の割合は2ポイント増加し、『そう思わない』の割合はほぼ横ばいとなっています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、『そう思う』の割合は、女性（49.1％）と比較すると男性（50.2％）の方が高く、また半数を超えています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、『そう思う』の割合が最も高いのは、50歳代・60歳代（51.1％）で、唯一半数を超えています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

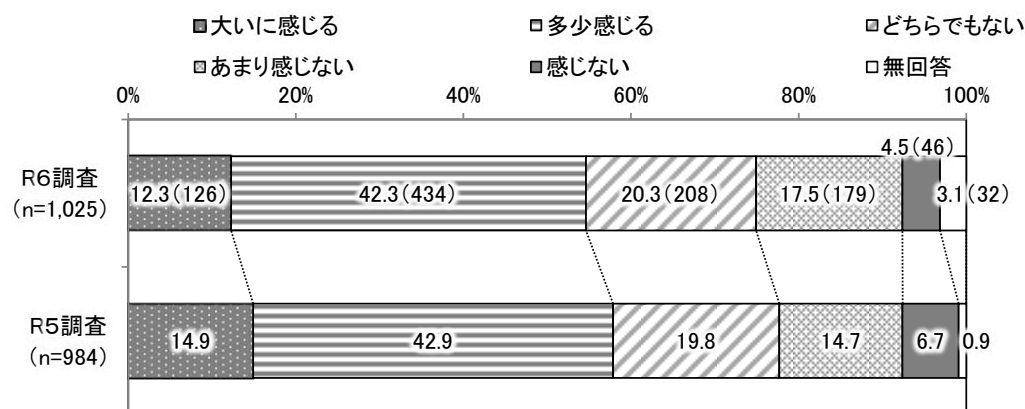
【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	そう 思う	どちら かと言 えばそ う	分 から ない	ど ち ら か と 言 え ば そ う	そ う 思 わ ない	無 回 答	『 そ う 思 う 』	『 そ う 思 わ ない 』
全 体		1025	92	404	208	179	115	27	496	294
		100.0	9.0	39.4	20.3	17.5	11.2	2.6	48.4	28.7
居 住 小 学 校 区 別	柳河	99	13	33	15	21	17	0	46	38
		100.0	13.1	33.3	15.2	21.2	17.2	0.0	46.5	38.4
	城内	40	2	18	6	6	6	2	20	12
		100.0	5.0	45.0	15.0	15.0	15.0	5.0	50.0	30.0
	矢留	59	5	26	10	12	5	1	31	17
		100.0	8.5	44.1	16.9	20.3	8.5	1.7	52.5	28.8
	東宮永	47	5	19	7	6	10	0	24	16
		100.0	10.6	40.4	14.9	12.8	21.3	0.0	51.1	34.0
	両開	55	5	22	6	14	8	0	27	22
		100.0	9.1	40.0	10.9	25.5	14.5	0.0	49.1	40.0
	昭代第一	78	5	32	17	14	10	0	37	24
		100.0	6.4	41.0	21.8	17.9	12.8	0.0	47.4	30.8
	昭代第二	48	4	21	5	12	6	0	25	18
		100.0	8.3	43.8	10.4	25.0	12.5	0.0	52.1	37.5
	蒲池	115	11	41	34	20	8	1	52	28
		100.0	9.6	35.7	29.6	17.4	7.0	0.9	45.2	24.3
	皿垣	30	3	12	8	5	2	0	15	7
		100.0	10.0	40.0	26.7	16.7	6.7	0.0	50.0	23.3
	有明	20	0	8	7	4	1	0	8	5
		100.0	0.0	40.0	35.0	20.0	5.0	0.0	40.0	25.0
	中島	55	6	17	19	9	4	0	23	13
		100.0	10.9	30.9	34.5	16.4	7.3	0.0	41.8	23.6
	六合	36	7	16	6	4	2	1	23	6
		100.0	19.4	44.4	16.7	11.1	5.6	2.8	63.9	16.7
	大和	47	2	24	9	8	4	0	26	12
		100.0	4.3	51.1	19.1	17.0	8.5	0.0	55.3	25.5
	豊原	46	1	24	9	5	7	0	25	12
		100.0	2.2	52.2	19.6	10.9	15.2	0.0	54.3	26.1
	藤吉	97	8	39	22	17	11	0	47	28
		100.0	8.2	40.2	22.7	17.5	11.3	0.0	48.5	28.9
	矢ヶ部	19	1	9	2	1	6	0	10	7
		100.0	5.3	47.4	10.5	5.3	31.6	0.0	52.6	36.8
	二ッ河	53	5	27	7	10	4	0	32	14
		100.0	9.4	50.9	13.2	18.9	7.5	0.0	60.4	26.4
	垂見	31	3	8	12	7	1	0	11	8
		100.0	9.7	25.8	38.7	22.6	3.2	0.0	35.5	25.8
	中山	4	1	1	1	1	0	0	2	1
		100.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0
	わからない	22	5	6	5	3	3	0	11	6
		100.0	22.7	27.3	22.7	13.6	13.6	0.0	50.0	27.3
	無回答	24	0	1	1	0	0	22	1	0
		100.0	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	91.7	4.2	0.0

(3) 掘割への愛着や誇りの度合い(問14)

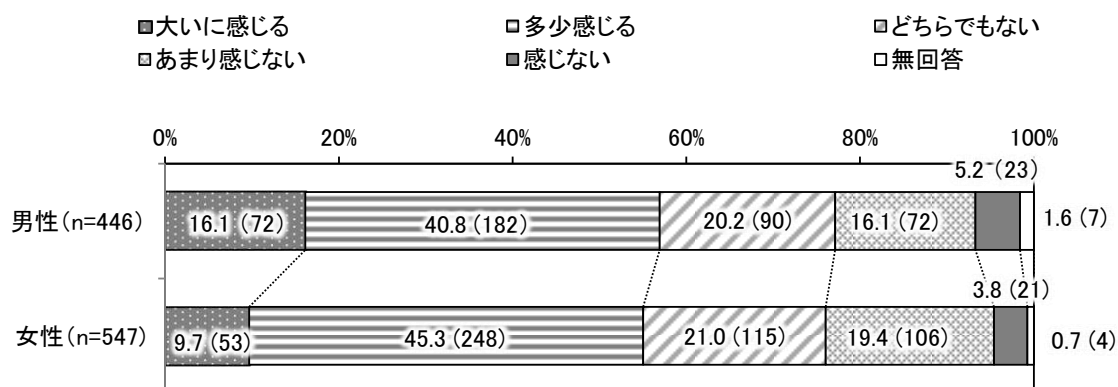
問 1 4 . あなたは掘割に、愛着や誇りを感じますか。(○を1つだけ)

「多少感じる」の割合が42.3%で最も高くなっている。



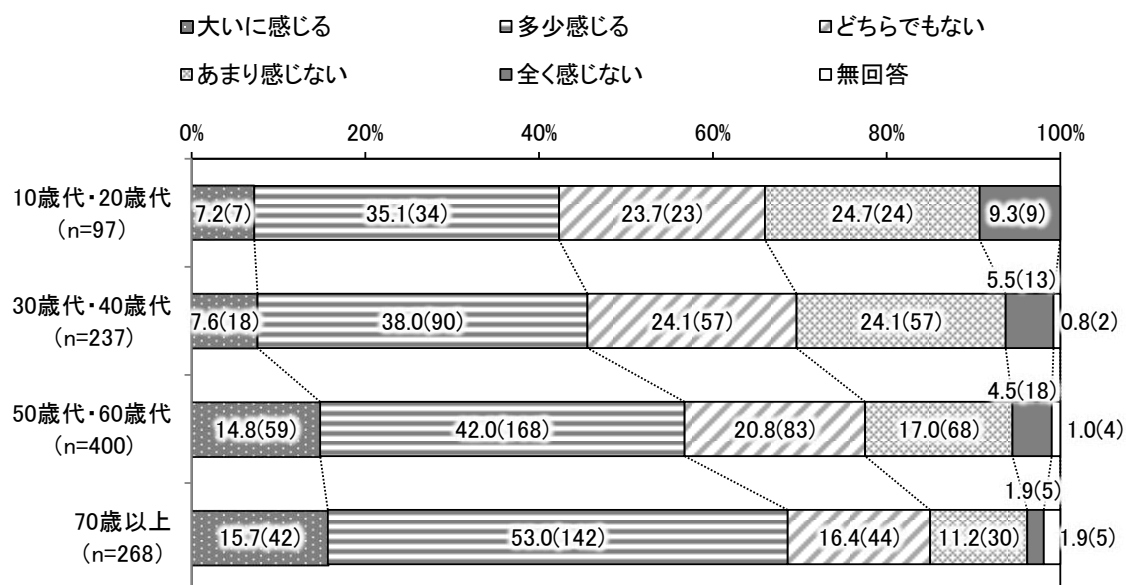
- ▶ 「大いに感じる」と「多少感じる」を合わせた『感じる』の割合は54.6%、「どちらでもない」の割合が20.3%、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた『感じない』の割合が22.0%となっています。
- ▶ 令和5年度調査と比較すると、『感じる』の割合は3.2ポイント減少し、『感じない』の割合はほぼ横ばいとなっています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、『感じる』の割合は、女性（55.0%）と比較すると男性（56.9%）の方が高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、『感じる』の割合が最も高いのは70歳以上（68.7％）で、年代が下がるにつれて低くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

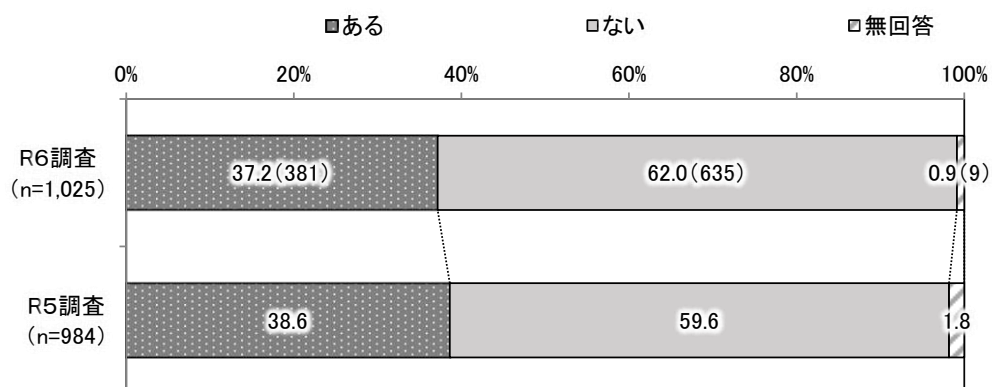
【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	大いに感じる	多少感じる	どちらでもない	あまり感じない	感じない	無回答	『感じる』	『感じない』
全 体		1025	126	434	208	179	46	32	560	225
		100.0	12.3	42.3	20.3	17.5	4.5	3.1	54.6	22.0
居住小学校区別	柳河	99	24	33	18	18	5	1	57	23
		100.0	24.2	33.3	18.2	18.2	5.1	1.0	57.6	23.2
	城内	40	8	18	6	3	3	2	26	6
		100.0	20.0	45.0	15.0	7.5	7.5	5.0	65.0	15.0
	矢留	59	14	26	8	8	2	1	40	10
		100.0	23.7	44.1	13.6	13.6	3.4	1.7	67.8	16.9
	東宮永	47	6	22	8	6	5	0	28	11
		100.0	12.8	46.8	17.0	12.8	10.6	0.0	59.6	23.4
	両開	55	8	24	10	8	5	0	32	13
		100.0	14.5	43.6	18.2	14.5	9.1	0.0	58.2	23.6
	昭代第一	78	8	32	17	20	1	0	40	21
		100.0	10.3	41.0	21.8	25.6	1.3	0.0	51.3	26.9
	昭代第二	48	6	29	4	7	2	0	35	9
		100.0	12.5	60.4	8.3	14.6	4.2	0.0	72.9	18.8
	蒲池	115	10	44	35	18	4	4	54	22
		100.0	8.7	38.3	30.4	15.7	3.5	3.5	47.0	19.1
	皿垣	30	5	13	6	6	0	0	18	6
		100.0	16.7	43.3	20.0	20.0	0.0	0.0	60.0	20.0
	有明	20	1	10	6	3	0	0	11	3
		100.0	5.0	50.0	30.0	15.0	0.0	0.0	55.0	15.0
	中島	55	3	25	12	11	4	0	28	15
		100.0	5.5	45.5	21.8	20.0	7.3	0.0	50.9	27.3
	六合	36	3	12	7	11	1	2	15	12
		100.0	8.3	33.3	19.4	30.6	2.8	5.6	41.7	33.3
	大和	47	1	23	14	7	2	0	24	9
		100.0	2.1	48.9	29.8	14.9	4.3	0.0	51.1	19.1
	豊原	46	6	20	11	7	2	0	26	9
		100.0	13.0	43.5	23.9	15.2	4.3	0.0	56.5	19.6
	藤吉	97	11	43	18	20	5	0	54	25
		100.0	11.3	44.3	18.6	20.6	5.2	0.0	55.7	25.8
	矢ヶ部	19	3	8	4	1	3	0	11	4
		100.0	15.8	42.1	21.1	5.3	15.8	0.0	57.9	21.1
	二ッ河	53	4	24	10	14	1	0	28	15
		100.0	7.5	45.3	18.9	26.4	1.9	0.0	52.8	28.3
	垂見	31	3	13	6	8	1	0	16	9
		100.0	9.7	41.9	19.4	25.8	3.2	0.0	51.6	29.0
	中山	4	0	3	1	0	0	0	3	0
		100.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
	わからない	22	2	10	7	3	0	0	12	3
		100.0	9.1	45.5	31.8	13.6	0.0	0.0	54.5	13.6
	無回答	24	0	2	0	0	0	22	2	0
		100.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	91.7	8.3	0.0

(4) この1年以内の掘割に接する機会の有無(問15)

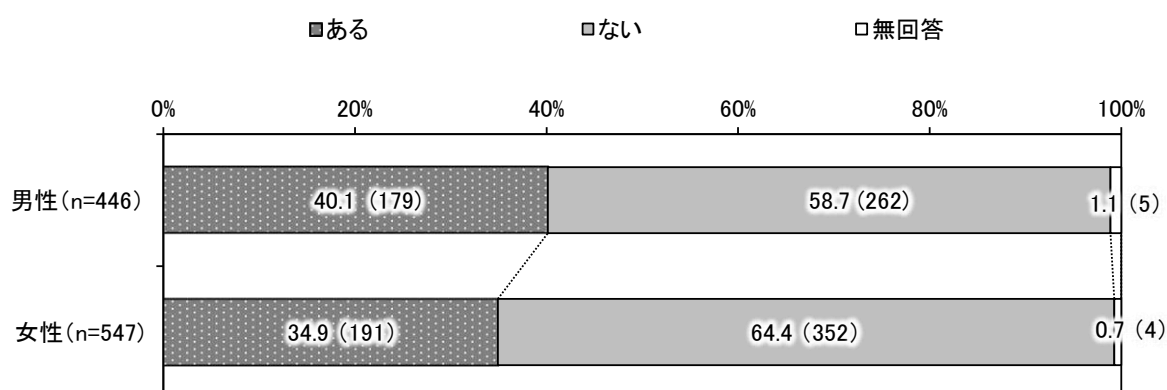
問15. この1年以内に、掘割に接する機会（川下りや水辺のイベント、農業利用、釣り、清掃など）はありましたか。（○を1つだけ）

「ない」の割合が62.0%で半数を超えている。



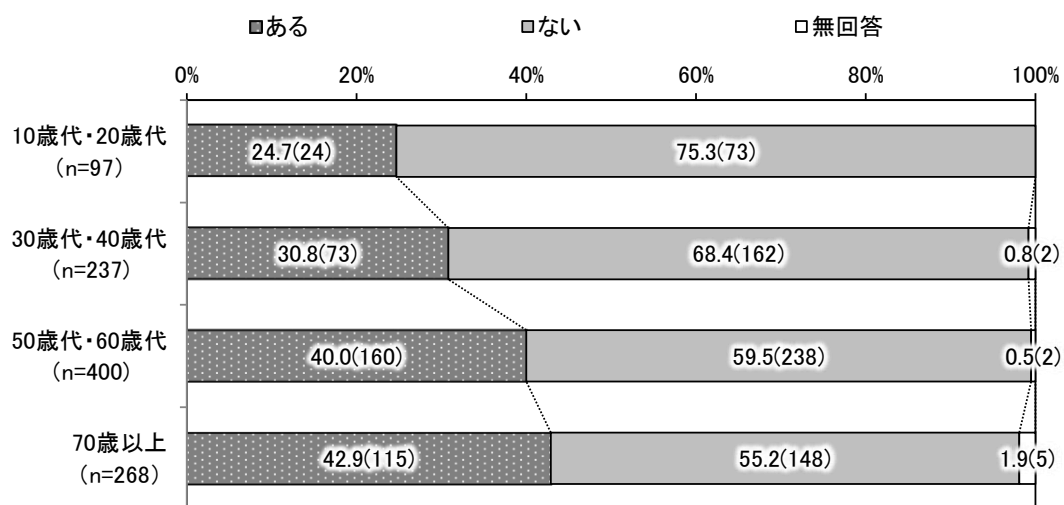
- ▶ 「ある」の割合は37.2%、「ない」の割合は62.0%となっています。
- ▶ 令和5年度調査と比較すると、「ある」の割合は1.4ポイント減少し、「ない」の割合は2.4ポイント増加しています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、「ある」の割合は、女性（34.9%）と比較すると男性（40.1%）の方が高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、「ある」の割合は70歳以上が最も高く42.9%で、年代が下がるにつれて低くなっており、10歳代・20歳代が最も低く24.7%で、70歳以上と18.2ポイントの差があります。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

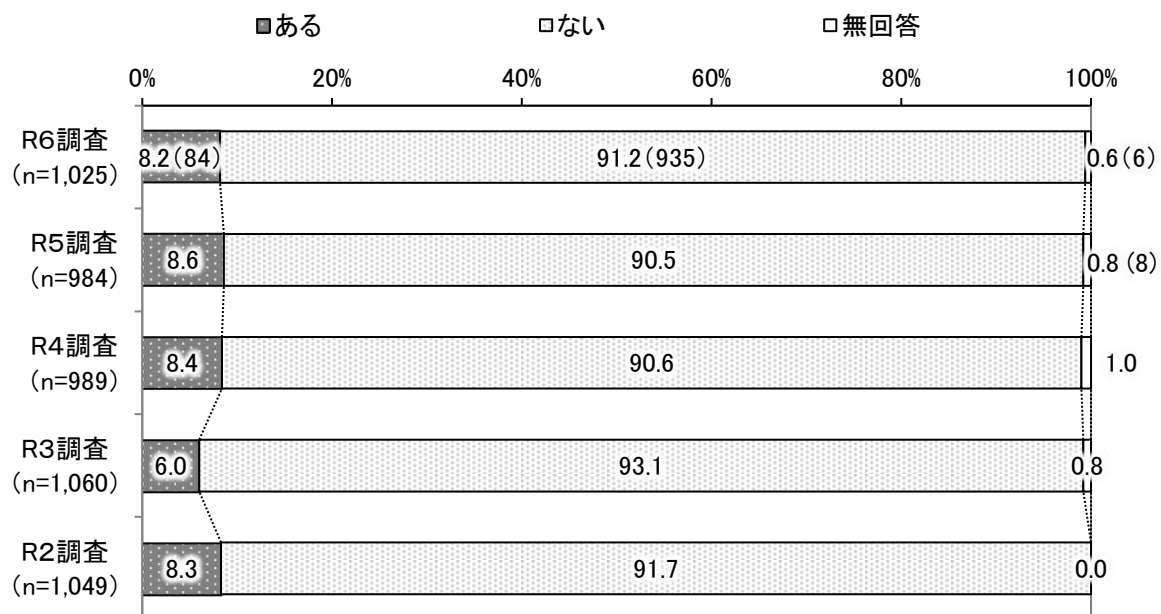
【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体		1025 100.0	381 37.2	635 62.0	9 0.9
居 住 小 学 校 区 別	柳河	99 100.0	39 39.4	59 59.6	1 1.0
	城内	40 100.0	20 50.0	20 50.0	0 0.0
	矢留	59 100.0	27 45.8	30 50.8	2 3.4
	東宮永	47 100.0	25 53.2	21 44.7	1 2.1
	両開	55 100.0	37 67.3	17 30.9	1 1.8
	昭代第一	78 100.0	31 39.7	47 60.3	0 0.0
	昭代第二	48 100.0	23 47.9	25 52.1	0 0.0
	蒲池	115 100.0	27 23.5	88 76.5	0 0.0
	皿垣	30 100.0	13 43.3	17 56.7	0 0.0
	有明	20 100.0	9 45.0	10 50.0	1 5.0
	中島	55 100.0	11 20.0	44 80.0	0 0.0
	六合	36 100.0	12 33.3	24 66.7	0 0.0
	大和	47 100.0	12 25.5	35 74.5	0 0.0
	豊原	46 100.0	10 21.7	36 78.3	0 0.0
	藤吉	97 100.0	31 32.0	64 66.0	2 2.1
	矢ヶ部	19 100.0	5 26.3	14 73.7	0 0.0
	二ッ河	53 100.0	23 43.4	30 56.6	0 0.0
	垂見	31 100.0	8 25.8	23 74.2	0 0.0
	中山	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0
	わからない	22 100.0	8 36.4	14 63.6	0 0.0
	無回答	24 100.0	9 37.5	14 58.3	1 4.2

(5) この1年以内の川下り経験の有無(問16)

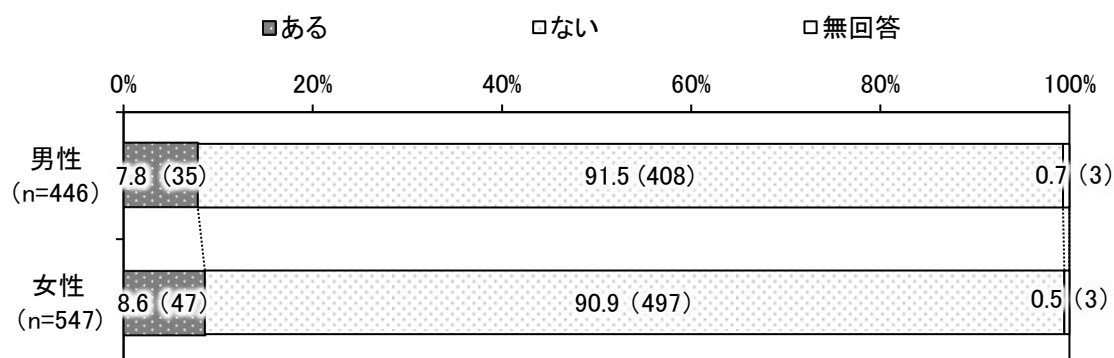
問16. この1年以内に川下りをしたことがありますか。(○を1つだけ)

「ない」の割合が91.2%で半数を超えている。



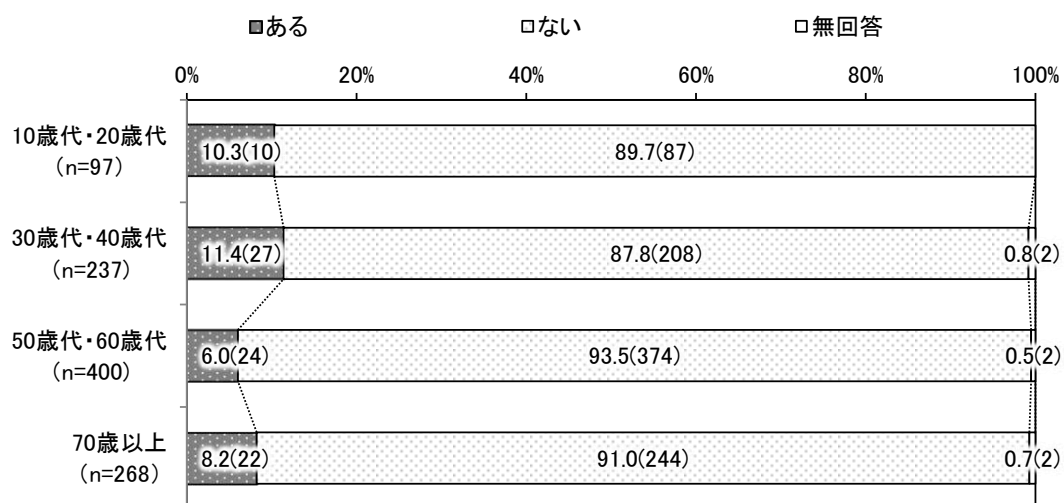
- ▶ 「ある」の割合は8.2%、「ない」の割合は91.2%となっています。
- ▶ 令和2年度調査から今年度にかけて、回答傾向に大きな変化はみられません。

【性別】



- ▶ 性別にみると、「ある」の割合は、男性（7.8％）と比較すると女性（8.6％）の方が高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、「ある」の割合は10歳代・20歳代（10.3％）、30歳代・40歳代（11.4％）で1割を超えているが、50歳代・60歳代（6.0％）、70歳以上（8.2％）で1割を切り、低い割合となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

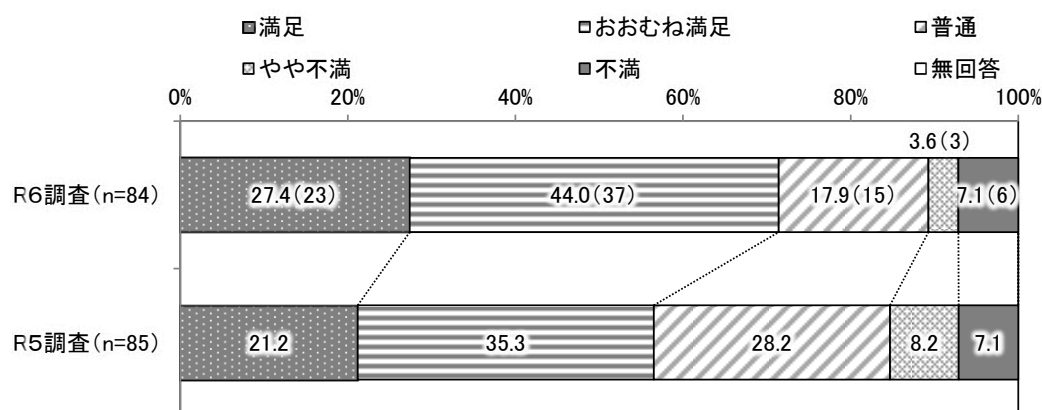
【上段：件数、下段：%】

		回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体		1025 100.0	84 8.2	935 91.2	6 0.6
居住小学校区別	柳河	99 100.0	13 13.1	84 84.8	2 2.0
	城内	40 100.0	7 17.5	33 82.5	0 0.0
	矢留	59 100.0	4 6.8	54 91.5	1 1.7
	東宮永	47 100.0	7 14.9	40 85.1	0 0.0
	両開	55 100.0	3 5.5	52 94.5	0 0.0
	昭代第一	78 100.0	3 3.8	74 94.9	1 1.3
	昭代第二	48 100.0	4 8.3	44 91.7	0 0.0
	蒲池	115 100.0	7 6.1	108 93.9	0 0.0
	皿垣	30 100.0	3 10.0	27 90.0	0 0.0
	有明	20 100.0	2 10.0	17 85.0	1 5.0
	中島	55 100.0	0 0.0	55 100.0	0 0.0
	六合	36 100.0	2 5.6	34 94.4	0 0.0
	大和	47 100.0	2 4.3	45 95.7	0 0.0
	豊原	46 100.0	5 10.9	41 89.1	0 0.0
	藤吉	97 100.0	8 8.2	89 91.8	0 0.0
	矢ヶ部	19 100.0	4 21.1	15 78.9	0 0.0
	二ッ河	53 100.0	4 7.5	49 92.5	0 0.0
	垂見	31 100.0	2 6.5	29 93.5	0 0.0
	中山	4 100.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0
	わからない	22 100.0	3 13.6	19 86.4	0 0.0
	無回答	24 100.0	1 4.2	22 91.7	1 4.2

(6) 川下り全体の満足度(問17)

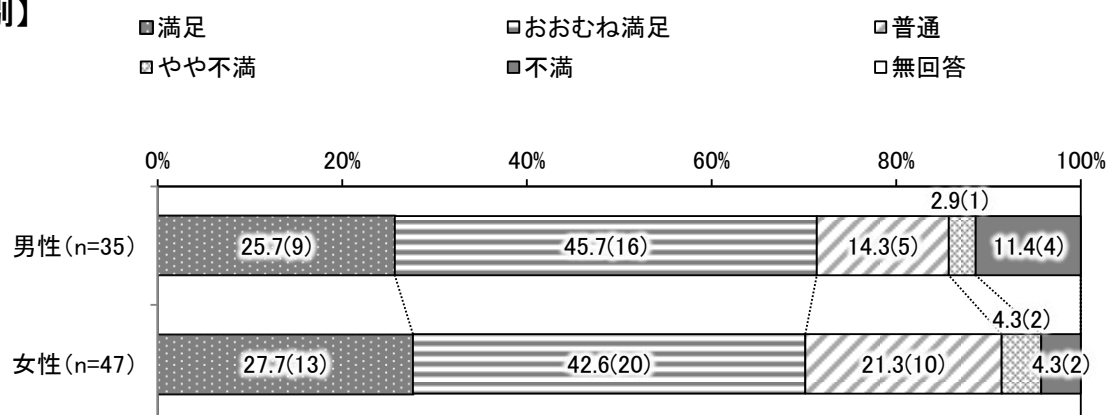
問17. 川下り全体の満足度をお答えください。(○を1つだけ)

「おおむね満足」の割合が44.0%で最も高くなっている。



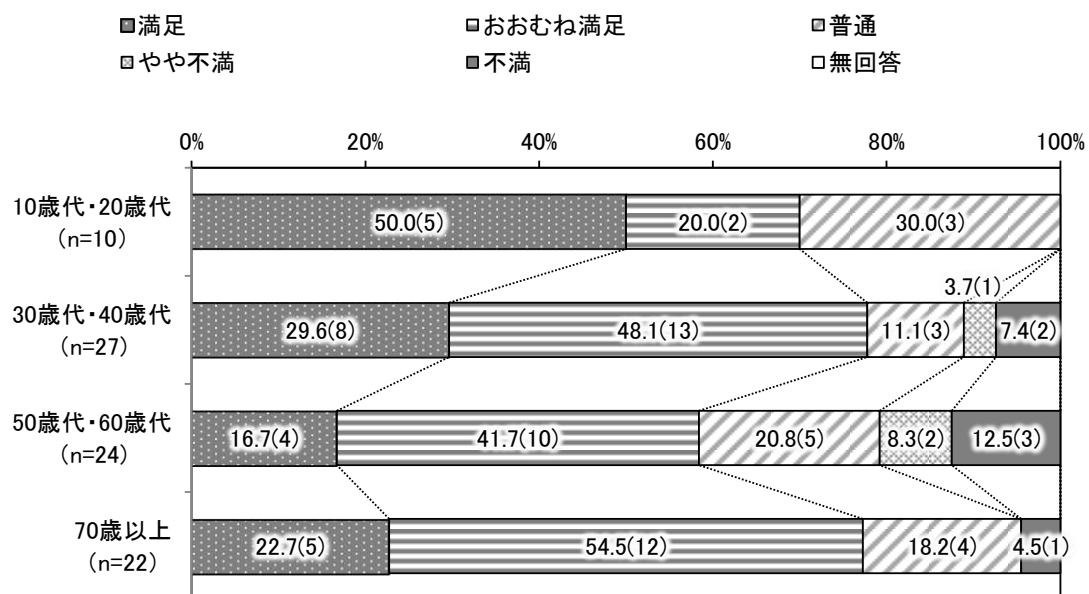
- ▶ この1年以内に川下りをしたことがあると回答した84人の内、「満足」の割合が27.4%、「おおむね満足」の割合が44.0%、「普通」の割合が17.9%、「やや不満」の割合が3.6%、「不満」の割合が7.1%となっています。
- ▶ 令和5年度調査と比較すると、「満足」の割合が6.2ポイント増加していますが、「不満」の割合は同じとなっています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、「満足」と「おおむね満足」を合わせた『満足』の割合は、女性(70.3%)と比較すると男性(71.4%)の方が高くなっています。
- ▶ 一方で「不満」の割合は、女性が4.3%であるのに対し、男性は11.4%と2倍以上の差があります。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、『満足』の割合が最も高いのは 30 歳代・40 歳代で 77.7%、最も低いのは 50 歳代・60 歳代で 58.4%となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

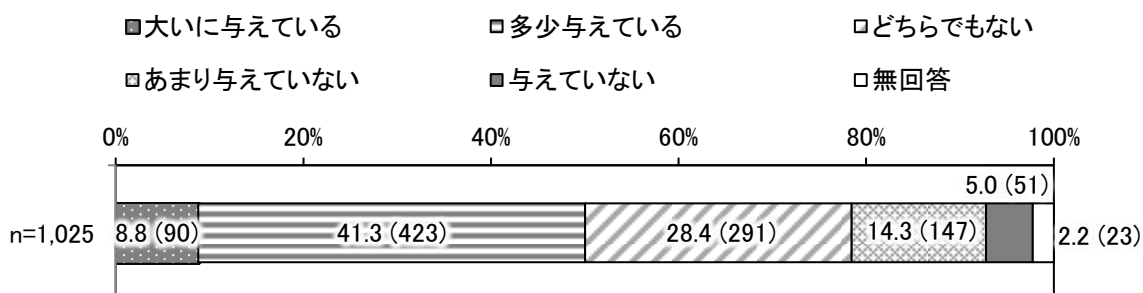
【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	満足	おおむね満足	普通	やや不満	不満	『満足』	『不満』
全 体		84	23	37	15	3	6	60	9
		100.0	27.4	44.0	17.9	3.6	7.1	71.4	10.7
居住小学校区別	柳河	13	2	4	3	2	2	6	4
		100.0	15.4	30.8	23.1	15.4	15.4	46.2	30.8
	城内	7	0	5	0	0	2	5	2
		100.0	0.0	71.4	0.0	0.0	28.6	71.4	28.6
	矢留	4	2	2	0	0	0	4	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	東宮永	7	3	3	1	0	0	6	0
		100.0	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	85.7	0.0
	両開	3	0	1	1	1	0	1	1
		100.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3
	昭代第一	3	0	2	1	0	0	2	0
		100.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
	昭代第二	4	1	2	1	0	0	3	0
		100.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0
	蒲池	7	1	6	0	0	0	7	0
		100.0	14.3	85.7	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	皿垣	3	1	1	1	0	0	2	0
		100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
	有明	2	0	1	1	0	0	1	0
		100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	中島	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	六合	2	0	2	0	0	0	2	0
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	大和	2	2	0	0	0	0	2	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	豊原	5	1	3	0	0	1	4	1
		100.0	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0	80.0	20.0
	藤吉	8	2	2	4	0	0	4	0
		100.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	矢ヶ部	4	2	2	0	0	0	4	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	二ッ河	4	3	1	0	0	0	4	0
		100.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	垂見	2	1	0	1	0	0	1	0
		100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	中山	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	3	1	0	1	0	1	1	1
		100.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3
	無回答	1	1	0	0	0	0	1	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

(7) 柳川市の観光における市民生活への影響の度合い(問19)

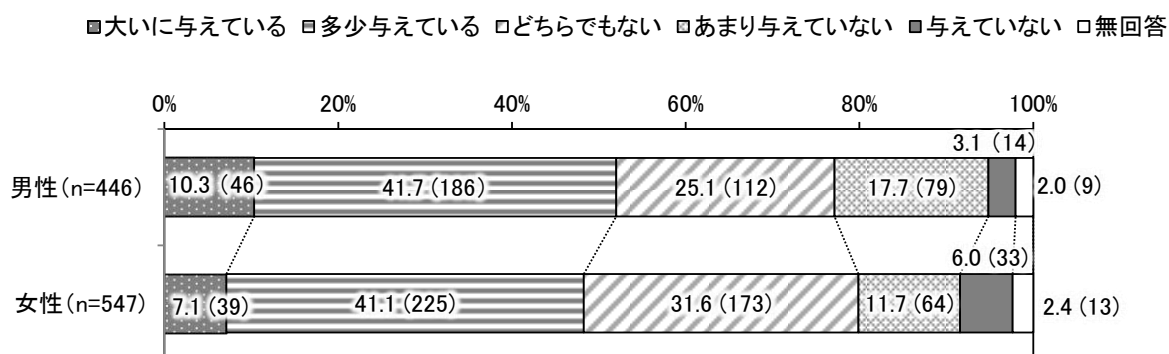
問 19. 柳川市の観光は市民生活に良い影響を与えていますか。(○を1つだけ)

「多少与えている」の割合が 41.3%で最も高くなっている。



- ▶ 「大いに与えている」と「多少与えている」を合わせた『与えている』の割合が 50.1%、「どちらでもない」の割合が 28.4%、「あまり与えていない」と「与えていない」を合わせた『与えていない』の割合が 19.3%となっています。

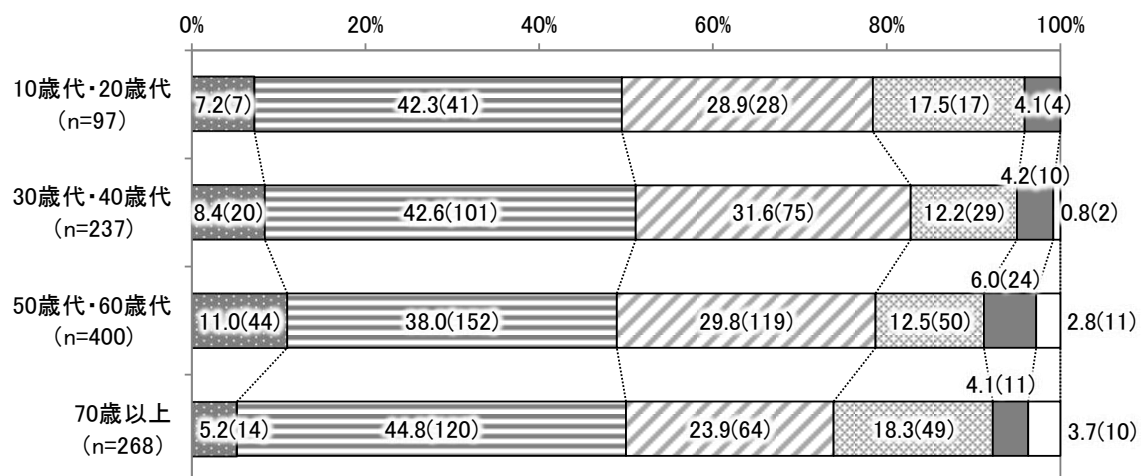
【性別】



- ▶ 性別にみると、『与えている』の割合は、女性（48.2%）と比較すると男性（52.0%）の方が高くなっています。

【年齢別】

■大いに与えている □多少与えている □どちらでもない □あまり与えていない ■与えていない □無回答



- ▶ 年齢別にみると、『与えている』の割合は、10歳代・20歳代は49.5%、30歳代・40歳代は51.0%、50歳代・60歳代は49.0%、70歳以上は50.0%となっており、年代によって特出した差はありません。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

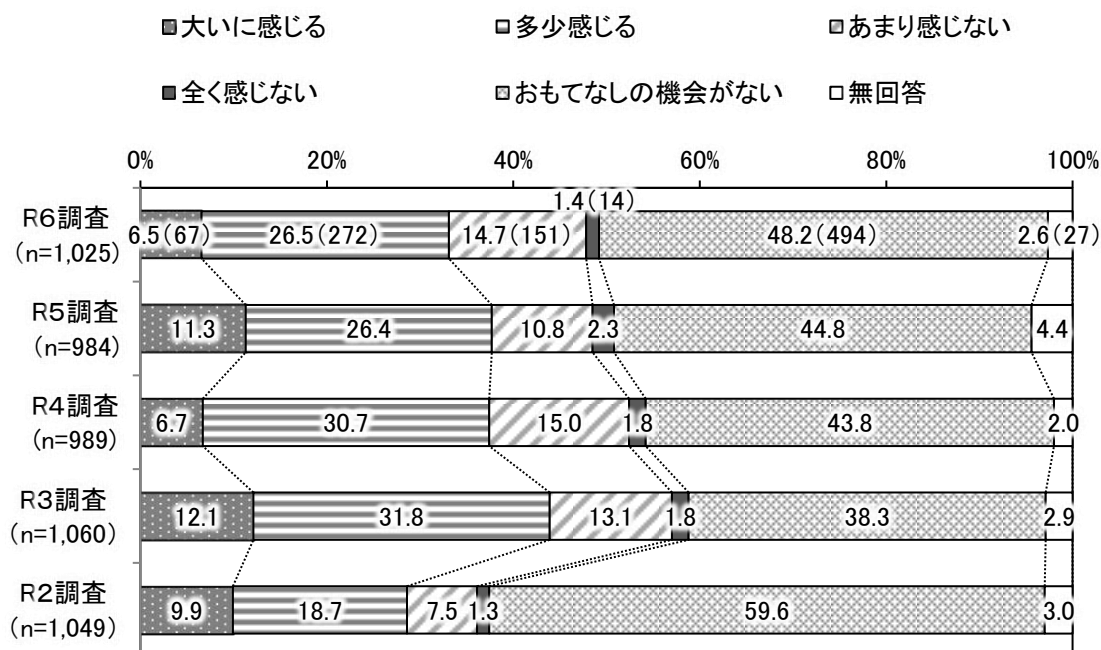
【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	大いに与えている	多少与えている	どちらでもない	あまり与えていない	与えていない	無回答	『与えている』	『与えていない』
全 体		1025 100.0	90 8.8	423 41.3	291 28.4	147 14.3	51 5.0	23 2.2	513 50.0	198 19.3
居住小学校区別	柳河	99 100.0	9 9.1	45 45.5	22 22.2	12 12.1	7 7.1	4 4.0	54 54.5	19 19.2
	城内	40 100.0	9 22.5	15 37.5	6 15.0	8 20.0	1 2.5	1 2.5	24 60.0	9 22.5
	矢留	59 100.0	7 11.9	20 33.9	16 27.1	10 16.9	5 8.5	1 1.7	27 45.8	15 25.4
	東宮永	47 100.0	4 8.5	23 48.9	11 23.4	5 10.6	3 6.4	1 2.1	27 57.4	8 17.0
	両開	55 100.0	4 7.3	20 36.4	16 29.1	11 20.0	3 5.5	1 1.8	24 43.6	14 25.5
	昭代第一	78 100.0	9 11.5	28 35.9	21 26.9	12 15.4	6 7.7	2 2.6	37 47.4	18 23.1
	昭代第二	48 100.0	4 8.3	17 35.4	10 20.8	11 22.9	3 6.3	3 6.3	21 43.8	14 29.2
	蒲池	115 100.0	8 7.0	54 47.0	38 33.0	9 7.8	2 1.7	4 3.5	62 53.9	11 9.6
	皿垣	30 100.0	4 13.3	11 36.7	9 30.0	4 13.3	2 6.7	0 0.0	15 50.0	6 20.0
	有明	20 100.0	1 5.0	10 50.0	5 25.0	3 15.0	0 0.0	1 5.0	11 55.0	3 15.0
	中島	55 100.0	2 3.6	20 36.4	19 34.5	9 16.4	2 3.6	3 5.5	22 40.0	11 20.0
	六合	36 100.0	3 8.3	9 25.0	17 47.2	5 13.9	1 2.8	1 2.8	12 33.3	6 16.7
	大和	47 100.0	2 4.3	22 46.8	19 40.4	4 8.5	0 0.0	0 0.0	24 51.1	4 8.5
	豊原	46 100.0	3 6.5	22 47.8	10 21.7	5 10.9	6 13.0	0 0.0	25 54.3	11 23.9
	藤吉	97 100.0	12 12.4	41 42.3	25 25.8	14 14.4	5 5.2	0 0.0	53 54.6	19 19.6
	矢ヶ部	19 100.0	1 5.3	8 42.1	5 26.3	4 21.1	1 5.3	0 0.0	9 47.4	5 26.3
	二ッ河	53 100.0	2 3.8	28 52.8	15 28.3	7 13.2	1 1.9	0 0.0	30 56.6	8 15.1
	垂見	31 100.0	0 0.0	10 32.3	14 45.2	7 22.6	0 0.0	0 0.0	10 32.3	7 22.6
	中山	4 100.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0
	わからない	22 100.0	1 4.5	9 40.9	7 31.8	3 13.6	2 9.1	0 0.0	10 45.5	5 22.7
	無回答	24 100.0	5 20.8	9 37.5	5 20.8	3 12.5	1 4.2	1 4.2	14 58.3	4 16.7

(8) 観光客へのおもてなしをして良かったと思う度合い(問20)

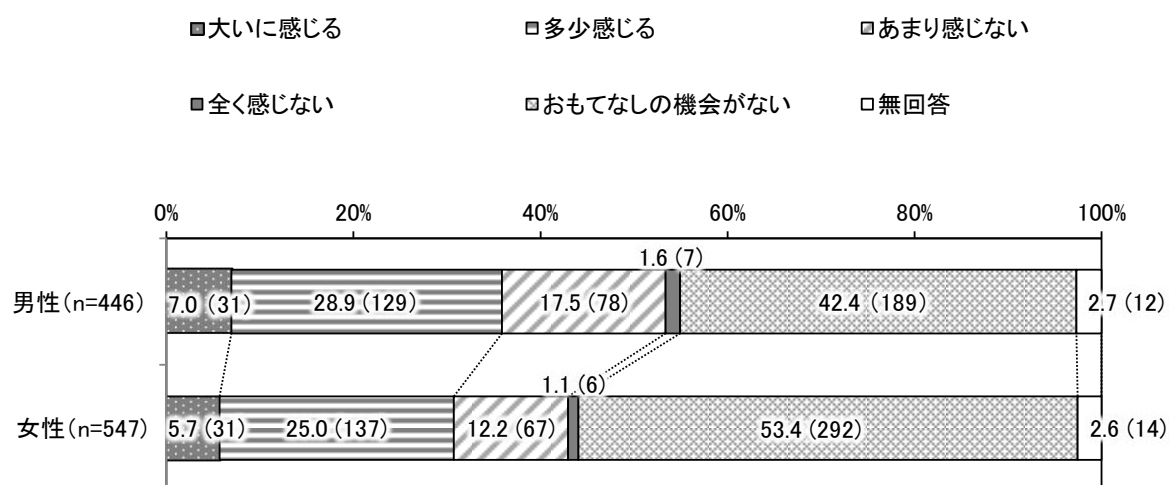
問20. 観光客などに対しておもてなしをしてよかったと感じますか。(○を1つだけ)

「おもてなしの機会がない」の割合が48.2%で最も高くなっている。



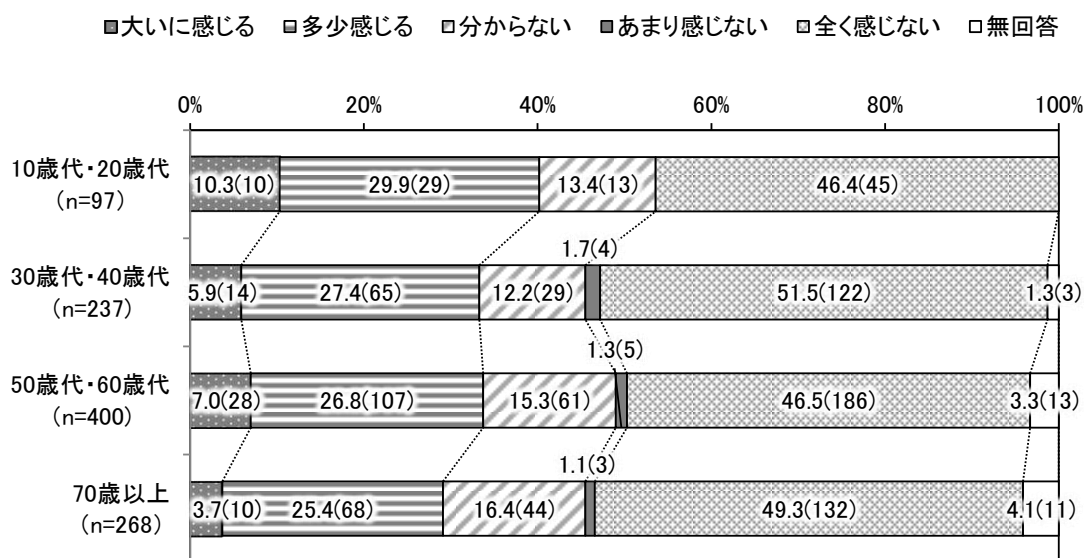
- ▶ 「大いに感じる」と「多少感じる」を合わせた『感じる』の割合が33.0%、「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた『感じない』の割合が16.1%、「おもてなしの機会がない」の割合が48.2%となっています。
- ▶ 令和5年度調査と比べ、『感じる』の割合が4.7ポイント減少し、『感じない』の割合は3.0ポイント増加しています。
- ▶ 令和3年度調査以降、「おもてなしの機会がない」の割合が年々高くなっています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、『感じる』の割合は、女性（30.7％）と比較すると男性（35.9％）の方が高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、『感じる』の割合が最も高いのは10歳代・20歳代（40.2％）で、最も低いのは70歳以上（29.1％）となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

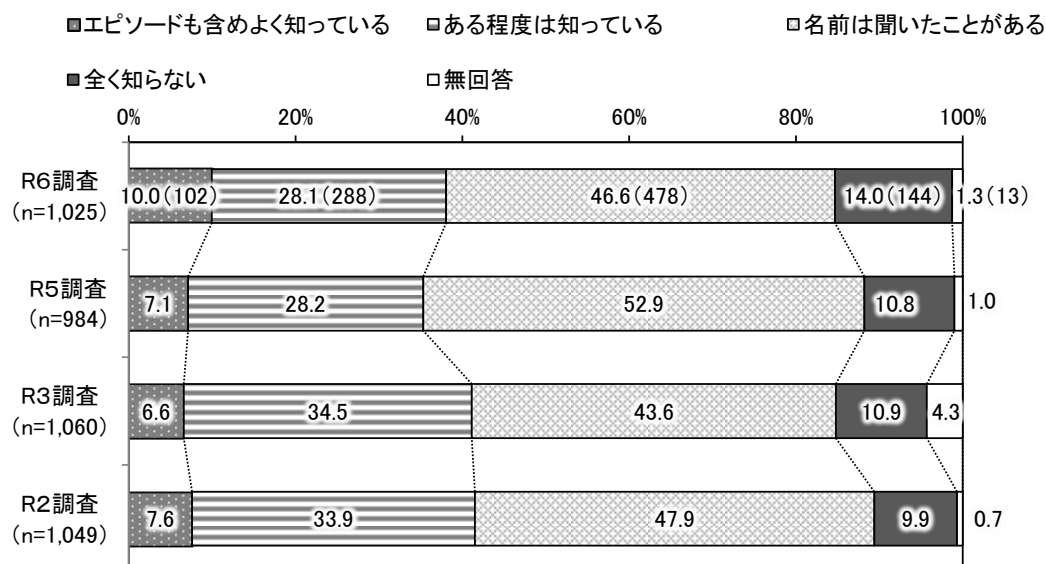
【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	大いに感じる	多少感じる	あまり感じない	全く感じない	おもてなしの機会がな い	無回答	『感じる』	『感じない』
全 体		1025	67	272	151	14	494	27	339	165
		100.0	6.5	26.5	14.7	1.4	48.2	2.6	33.1	16.1
居住小学校区別	柳河	99	11	29	18	3	35	3	40	21
		100.0	11.1	29.3	18.2	3.0	35.4	3.0	40.4	21.2
	城内	40	4	17	5	0	14	0	21	5
		100.0	10.0	42.5	12.5	0.0	35.0	0.0	52.5	12.5
	矢留	59	5	13	8	0	31	2	18	8
		100.0	8.5	22.0	13.6	0.0	52.5	3.4	30.5	13.6
	東宮永	47	2	10	9	0	26	0	12	9
		100.0	4.3	21.3	19.1	0.0	55.3	0.0	25.5	19.1
	両開	55	2	8	14	1	29	1	10	15
		100.0	3.6	14.5	25.5	1.8	52.7	1.8	18.2	27.3
	昭代第一	78	4	20	9	1	43	1	24	10
		100.0	5.1	25.6	11.5	1.3	55.1	1.3	30.8	12.8
	昭代第二	48	3	10	7	1	27	0	13	8
		100.0	6.3	20.8	14.6	2.1	56.3	0.0	27.1	16.7
	蒲池	115	7	34	15	1	53	5	41	16
		100.0	6.1	29.6	13.0	0.9	46.1	4.3	35.7	13.9
	皿垣	30	3	5	6	0	15	1	8	6
		100.0	10.0	16.7	20.0	0.0	50.0	3.3	26.7	20.0
	有明	20	0	8	1	0	10	1	8	1
		100.0	0.0	40.0	5.0	0.0	50.0	5.0	40.0	5.0
	中島	55	1	11	11	1	28	3	12	12
		100.0	1.8	20.0	20.0	1.8	50.9	5.5	21.8	21.8
	六合	36	1	8	6	0	20	1	9	6
		100.0	2.8	22.2	16.7	0.0	55.6	2.8	25.0	16.7
	大和	47	1	14	5	0	25	2	15	5
		100.0	2.1	29.8	10.6	0.0	53.2	4.3	31.9	10.6
	豊原	46	2	10	4	1	28	1	12	5
		100.0	4.3	21.7	8.7	2.2	60.9	2.2	26.1	10.9
	藤吉	97	8	32	11	2	43	1	40	13
		100.0	8.2	33.0	11.3	2.1	44.3	1.0	41.2	13.4
	矢ヶ部	19	3	7	1	0	8	0	10	1
		100.0	15.8	36.8	5.3	0.0	42.1	0.0	52.6	5.3
	二ッ河	53	4	12	5	1	30	1	16	6
		100.0	7.5	22.6	9.4	1.9	56.6	1.9	30.2	11.3
	垂見	31	0	10	6	1	12	2	10	7
		100.0	0.0	32.3	19.4	3.2	38.7	6.5	32.3	22.6
	中山	4	0	2	2	0	0	0	2	2
		100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	わからない	22	1	8	4	0	8	1	9	4
		100.0	4.5	36.4	18.2	0.0	36.4	4.5	40.9	18.2
	無回答	24	5	4	4	1	9	1	9	5
		100.0	20.8	16.7	16.7	4.2	37.5	4.2	37.5	20.8

(9) 柳川初代藩主「立花宗茂」とその妻「闇千代」の認知度(問21)

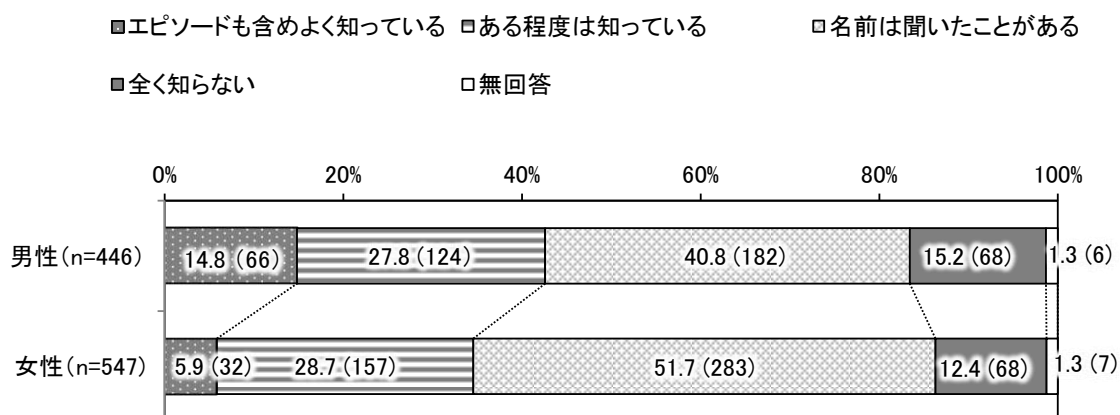
問 2 1. 柳川初代藩主「立花宗茂」とその妻「闇千代（ぎんちよ）」を知っていますか。（○を1つだけ）

「名前は聞いたことがある」の割合が46.6%で最も高くなっている。



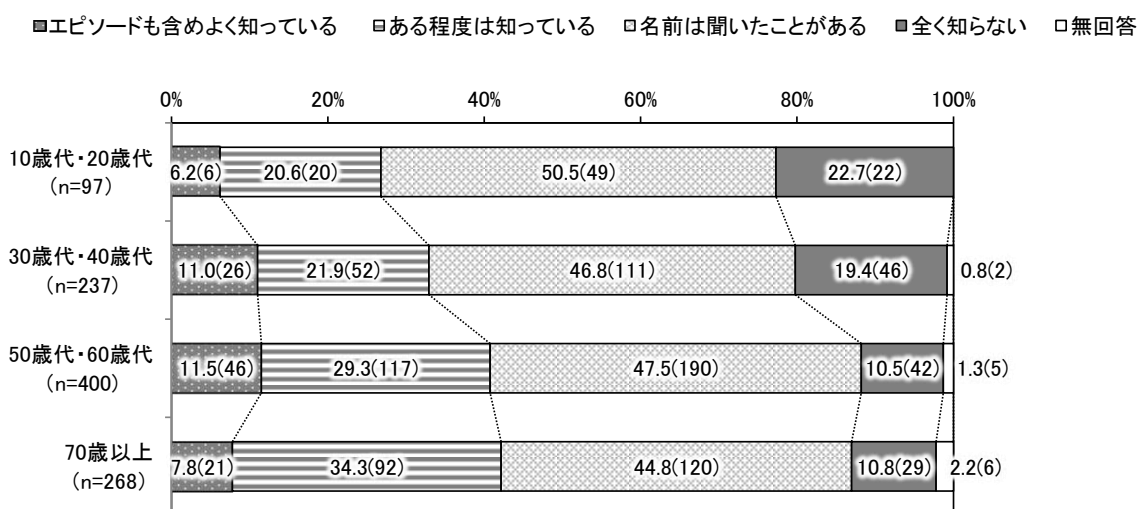
- ▶ 「エピソードも含めてよく知っている」と「ある程度は知っている」と「名前は聞いたことがある」を合わせた『知っている』の割合が84.7%、「全く知らない」の割合が14.0%となっています。
- ▶ 「エピソードも含め良く知っている」及び「全く知らない」の割合が令和2年度調査以降、最も高い水準となっています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、『知っている』の割合は、男性（83.4％）と比較すると女性（86.3％）の方が高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、『知っている』の割合は 50 歳代・60 歳代（88.3％）が最も高くなっています。
- ▶ 10 歳代・20 歳代（22.7％）及び 30 歳代・40 歳代（19.4％）においては、「全く知らない」の割合が他の年代よりも高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：%】

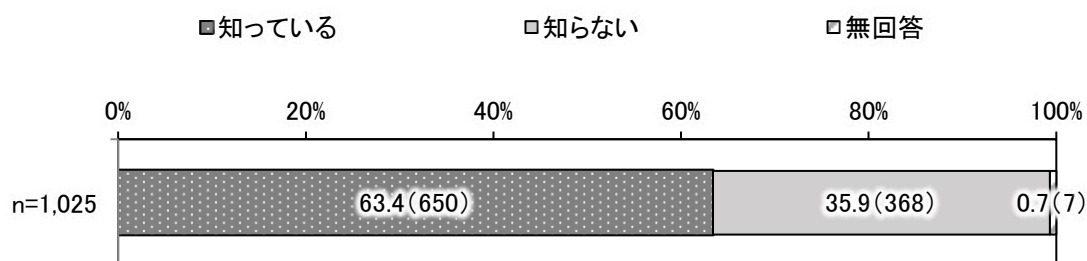
		回答者数 (件)	エピソードも 知っている	ある程度は 知っている	名前を聞いた ことがある	全く知らない	無回答	『知っている』
全 体		1025	102	288	478	144	13	868
		100.0	10.0	28.1	46.6	14.0	1.3	84.7
居住小学校区別	柳河	99	10	39	38	10	2	87
		100.0	10.1	39.4	38.4	10.1	2.0	87.9
	城内	40	9	11	17	2	1	37
		100.0	22.5	27.5	42.5	5.0	2.5	92.5
	矢留	59	3	14	35	6	1	52
		100.0	5.1	23.7	59.3	10.2	1.7	88.1
	東宮永	47	4	17	20	5	1	41
		100.0	8.5	36.2	42.6	10.6	2.1	87.2
	両開	55	7	12	26	10	0	45
		100.0	12.7	21.8	47.3	18.2	0.0	81.8
	昭代第一	78	8	29	35	5	1	72
		100.0	10.3	37.2	44.9	6.4	1.3	92.3
	昭代第二	48	8	14	20	6	0	42
		100.0	16.7	29.2	41.7	12.5	0.0	87.5
	蒲池	115	8	23	60	23	1	91
		100.0	7.0	20.0	52.2	20.0	0.9	79.1
	皿垣	30	1	10	17	1	1	28
		100.0	3.3	33.3	56.7	3.3	3.3	93.3
	有明	20	0	8	8	3	1	16
		100.0	0.0	40.0	40.0	15.0	5.0	80.0
	中島	55	3	15	24	13	0	42
		100.0	5.5	27.3	43.6	23.6	0.0	76.4
	六合	36	4	10	15	7	0	29
		100.0	11.1	27.8	41.7	19.4	0.0	80.6
	大和	47	7	10	22	6	2	39
		100.0	14.9	21.3	46.8	12.8	4.3	83.0
	豊原	46	3	12	24	7	0	39
		100.0	6.5	26.1	52.2	15.2	0.0	84.8
	藤吉	97	11	30	42	14	0	83
		100.0	11.3	30.9	43.3	14.4	0.0	85.6
	矢ヶ部	19	1	7	10	1	0	18
		100.0	5.3	36.8	52.6	5.3	0.0	94.7
	二ッ河	53	6	8	33	5	1	47
		100.0	11.3	15.1	62.3	9.4	1.9	88.7
	垂見	31	4	7	12	8	0	23
		100.0	12.9	22.6	38.7	25.8	0.0	74.2
	中山	4	0	1	2	1	0	3
		100.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	75.0
	わからない	22	2	4	9	7	0	15
		100.0	9.1	18.2	40.9	31.8	0.0	68.2
	無回答	24	3	7	9	4	1	19
		100.0	12.5	29.2	37.5	16.7	4.2	79.2

4. 公衆衛生について

(1) 市のがん検診の認知度(問22)

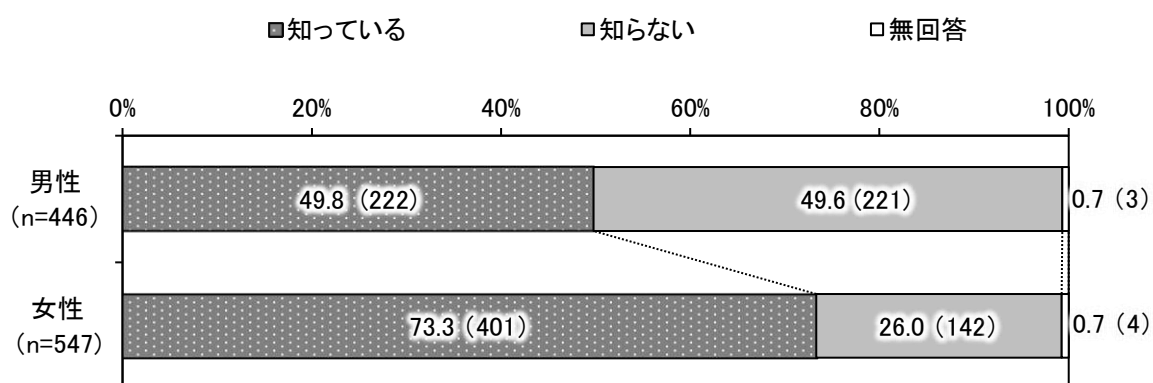
問22. 市のがん検診は[男性40歳以上]、[女性20歳以上]であれば受けることができることを知っていますか。(○を1つだけ)

「知っている」の割合が63.4%で半数を超えている。



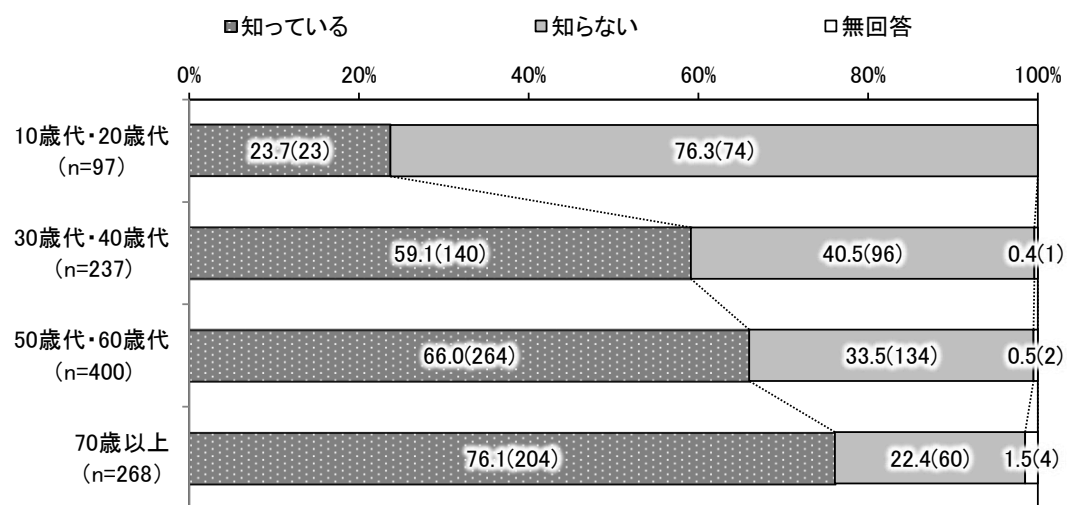
- ▶ 「知っている」の割合が63.4%、「知らない」の割合が35.9%となっています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、「知っている」の割合は、男性は49.8%で半数を超えていないのに対し、女性は73.3%で男性よりも顕著に高い結果となっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢にみると、「知っている」の割合は、70歳以上が76.1%と最も高く、年代が下がるにつれて低くなっています。
- ▶ 最も低い10歳代・20歳代は23.7%で、70歳以上の76.1%と比較すると、52.4ポイントの差が生じています。

【居住小学校区別】

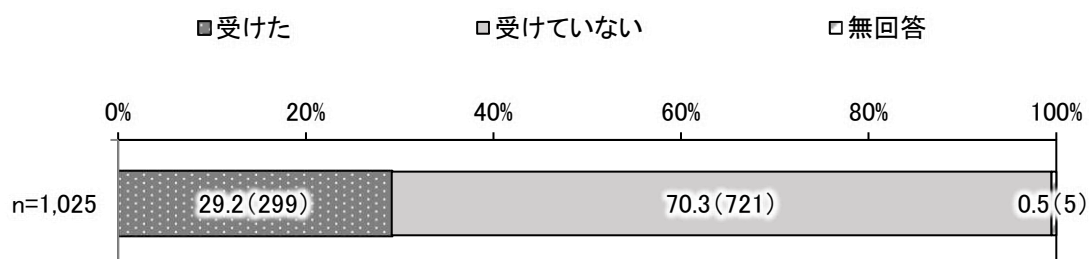
【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体		1025 100.0	650 63.4	368 35.9	7 0.7
居住小学校区別	柳河	99 100.0	64 64.6	34 34.3	1 1.0
	城内	40 100.0	24 60.0	16 40.0	0 0.0
	矢留	59 100.0	41 69.5	18 30.5	0 0.0
	東宮永	47 100.0	31 66.0	16 34.0	0 0.0
	両開	55 100.0	33 60.0	22 40.0	0 0.0
	昭代第一	78 100.0	48 61.5	30 38.5	0 0.0
	昭代第二	48 100.0	30 62.5	17 35.4	1 2.1
	蒲池	115 100.0	68 59.1	46 40.0	1 0.9
	皿垣	30 100.0	21 70.0	9 30.0	0 0.0
	有明	20 100.0	10 50.0	9 45.0	1 5.0
	中島	55 100.0	42 76.4	13 23.6	0 0.0
	六合	36 100.0	24 66.7	11 30.6	1 2.8
	大和	47 100.0	31 66.0	16 34.0	0 0.0
	豊原	46 100.0	31 67.4	15 32.6	0 0.0
	藤吉	97 100.0	55 56.7	42 43.3	0 0.0
	矢ヶ部	19 100.0	14 73.7	5 26.3	0 0.0
	二ッ河	53 100.0	33 62.3	20 37.7	0 0.0
	垂見	31 100.0	22 71.0	8 25.8	1 3.2
	中山	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0
	わからない	22 100.0	8 36.4	14 63.6	0 0.0
	無回答	24 100.0	19 79.2	4 16.7	1 4.2

(2) この１年以内のがん検診の受診の有無(問23)

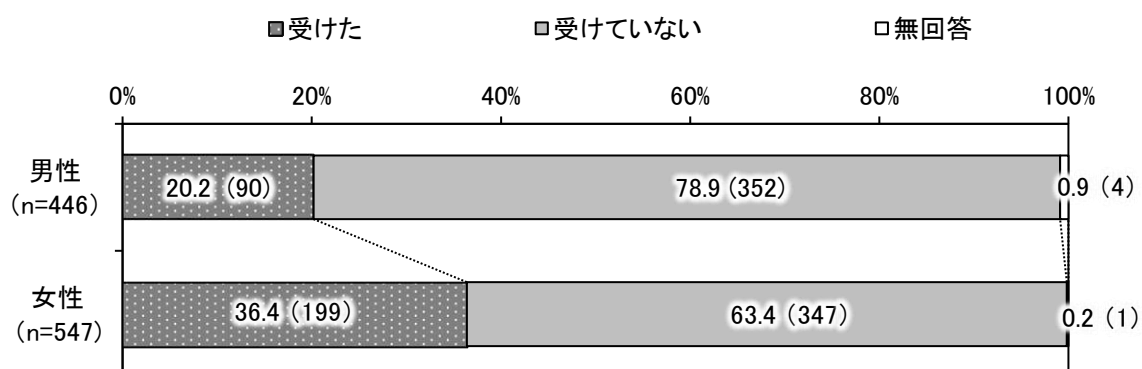
問 2 3. この１年以内のがん検診を受けましたか。(○を１つだけ)

「受けていない」の割合が70.3%で半数を超えている。



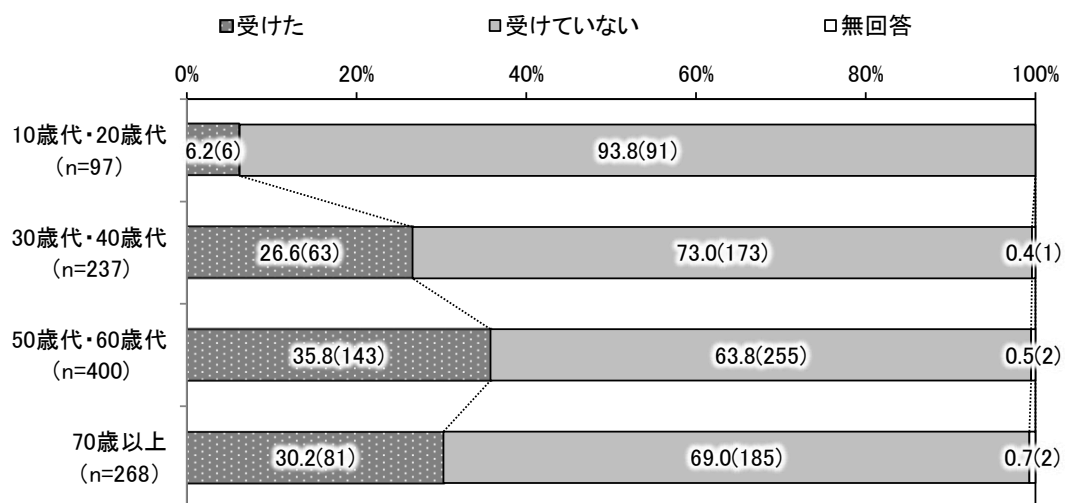
- ▶ 「受けた」の割合が29.2%、「受けていない」の割合が70.3%となっています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、「受けた」の割合は、男性（20.2%）と比較すると女性（36.4%）の方が高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、「受けた」の割合が最も高いのは50歳代・60歳代（35.8％）で、最も低いのは10歳代・20歳代（6.2％）となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

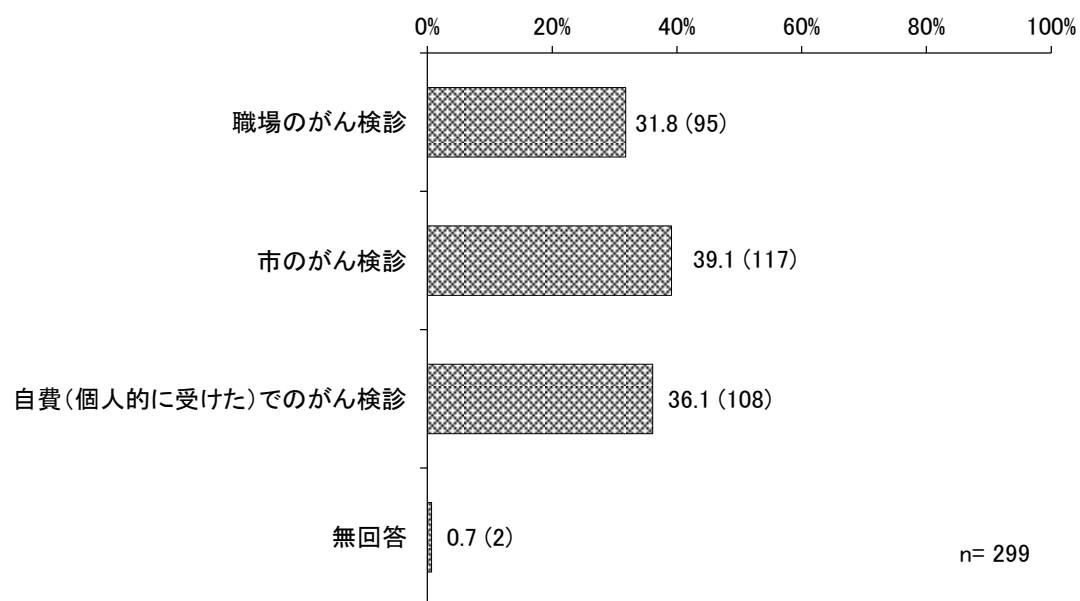
【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	受けた	受けていない	無回答
全 体		1025	299	721	5
		100.0	29.2	70.3	0.5
居住小学校区別	柳河	99	28	70	1
		100.0	28.3	70.7	1.0
	城内	40	15	25	0
		100.0	37.5	62.5	0.0
	矢留	59	16	43	0
		100.0	27.1	72.9	0.0
	東宮永	47	20	27	0
		100.0	42.6	57.4	0.0
	両開	55	11	44	0
		100.0	20.0	80.0	0.0
	昭代第一	78	20	58	0
		100.0	25.6	74.4	0.0
	昭代第二	48	20	27	1
		100.0	41.7	56.3	2.1
	蒲池	115	32	83	0
		100.0	27.8	72.2	0.0
	皿垣	30	10	20	0
		100.0	33.3	66.7	0.0
	有明	20	4	15	1
		100.0	20.0	75.0	5.0
	中島	55	17	37	1
		100.0	30.9	67.3	1.8
	六合	36	11	25	0
		100.0	30.6	69.4	0.0
	大和	47	12	35	0
		100.0	25.5	74.5	0.0
	豊原	46	13	33	0
		100.0	28.3	71.7	0.0
	藤吉	97	29	68	0
		100.0	29.9	70.1	0.0
	矢ヶ部	19	4	15	0
		100.0	21.1	78.9	0.0
	二ッ河	53	18	35	0
		100.0	34.0	66.0	0.0
	垂見	31	9	22	0
		100.0	29.0	71.0	0.0
	中山	4	1	3	0
		100.0	25.0	75.0	0.0
	わからない	22	2	20	0
		100.0	9.1	90.9	0.0
	無回答	24	7	16	1
		100.0	29.2	66.7	4.2

(3) がん検診を受けた方法(問24)

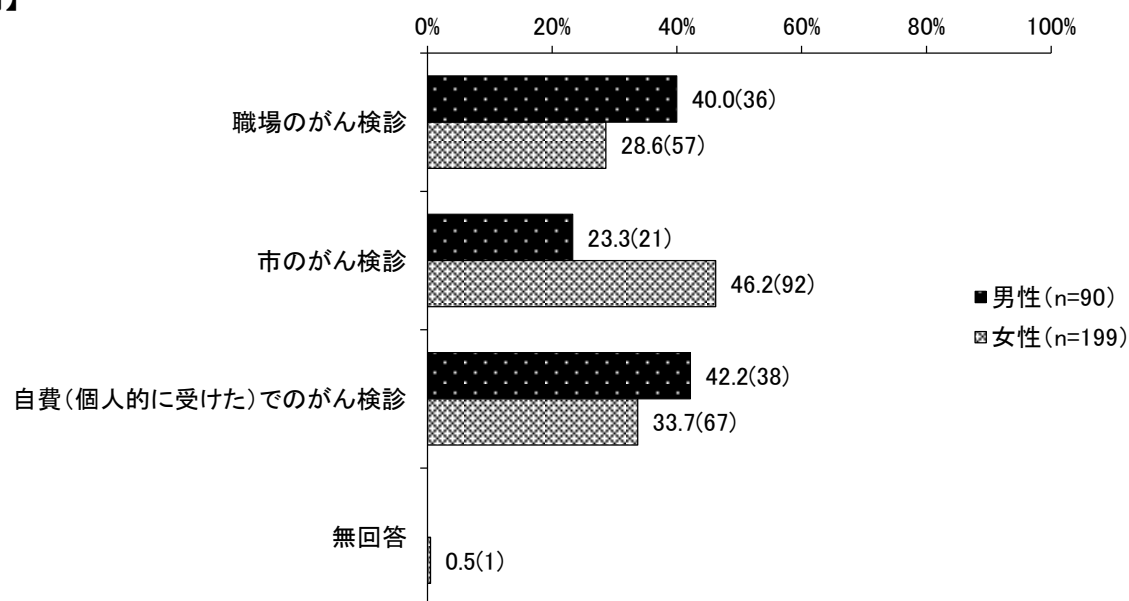
問 2 4 . がん検診を受けた方法を教えてください。(〇はいくつでも)

「市のがん検診」の割合が 39.1%と最も高くなっている。



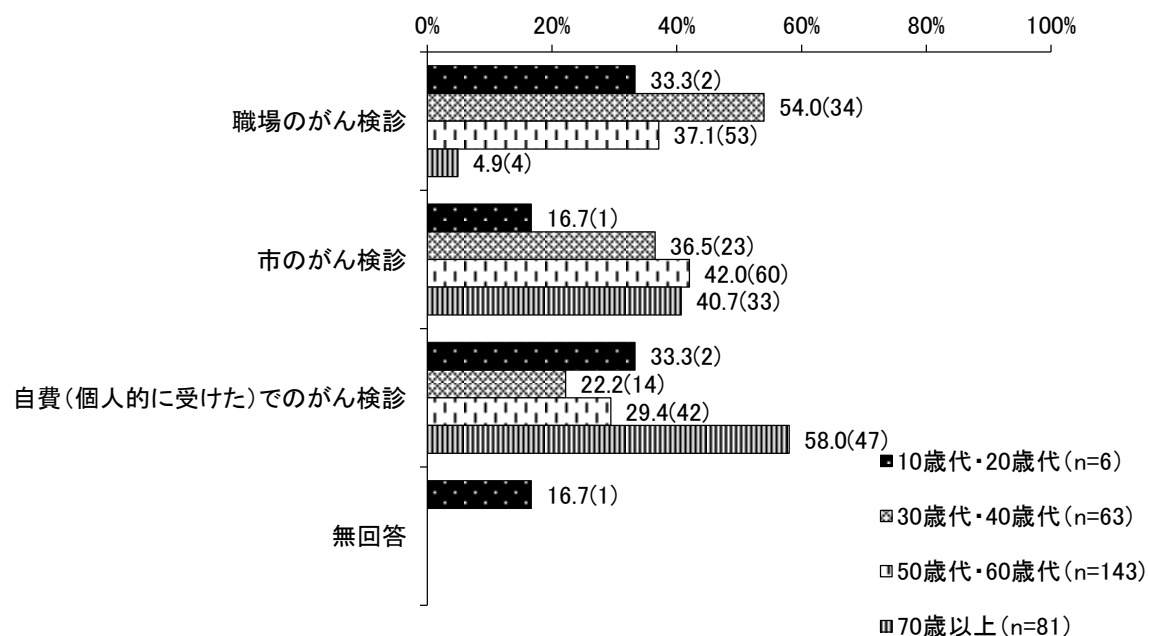
- ▶ この 1 年以内になん検診を受けたと回答した 299 人の内、「職場のがん検診」の割合が 31.8%、「市のがん検診」の割合が 39.1%、「自費(個人的に受けた)でのがん検診」の割合が 36.1%となっています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、回答割合が最も高い項目は、男性は「自費(個人的に受けた)でのがん検診」(42.2%)、女性は「市のがん検診」(46.2%)となっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、10歳代・20歳代において割合が高い項目は「職場のがん検診」(33.3%)、「自費(個人的に受けた)でのがん検診」(33.3%)で、30歳代・40歳代は「職場のがん検診」(54.0%)、50歳代・60歳代は「市のがん検診」(42.0%)、70歳以上は「自費(個人的に受けた)でのがん検診」(58.0%)となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

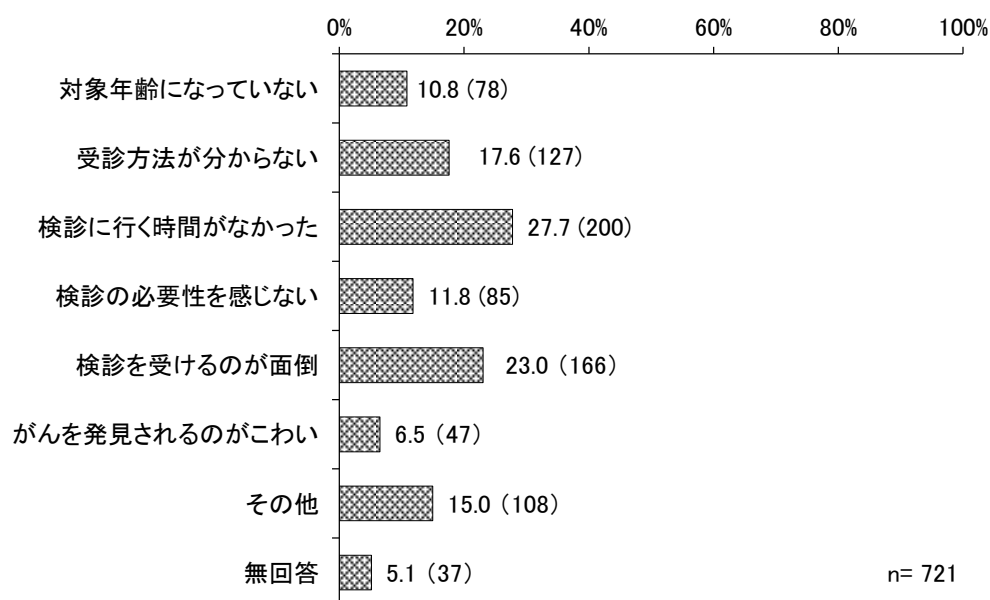
【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	職場の がん検診	市の がん検診	た) 自費 で(個人の がん検診に 受け	無 回 答
全 体		322 100.0	95 29.5	117 36.3	108 33.5	2 0.6
居 住 小 学 校 区 別	柳河	29 100.0	10 34.5	11 37.9	8 27.6	0 0.0
	城内	15 100.0	4 26.7	6 40.0	5 33.3	0 0.0
	矢留	17 100.0	3 17.6	5 29.4	9 52.9	0 0.0
	東宮永	20 100.0	6 30.0	8 40.0	5 25.0	1 5.0
	両開	12 100.0	4 33.3	1 8.3	7 58.3	0 0.0
	昭代第一	22 100.0	6 27.3	7 31.8	9 40.9	0 0.0
	昭代第二	22 100.0	6 27.3	9 40.9	7 31.8	0 0.0
	蒲池	33 100.0	10 30.3	18 54.5	5 15.2	0 0.0
	皿垣	10 100.0	3 30.0	6 60.0	1 10.0	0 0.0
	有明	5 100.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0
	中島	17 100.0	3 17.6	8 47.1	6 35.3	0 0.0
	六合	14 100.0	5 35.7	7 50.0	2 14.3	0 0.0
	大和	12 100.0	3 25.0	5 41.7	4 33.3	0 0.0
	豊原	17 100.0	5 29.4	4 23.5	8 47.1	0 0.0
	藤吉	31 100.0	12 38.7	8 25.8	11 35.5	0 0.0
	矢ヶ部	4 100.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0
	二ッ河	22 100.0	8 36.4	7 31.8	7 31.8	0 0.0
	垂見	9 100.0	2 22.2	2 22.2	5 55.6	0 0.0
	中山	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	わからない	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0
	無回答	7 100.0	2 28.6	1 14.3	3 42.9	1 14.3

(4) がん検診を受けない理由(問25)

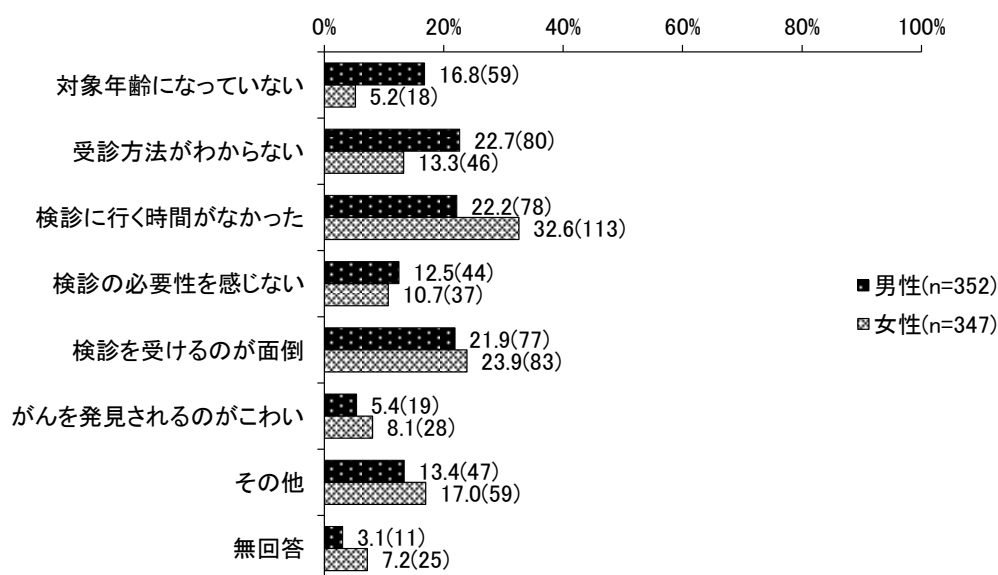
問 2 5 . がん検診を受けていない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「検診に行く時間がなかった」の割合が 27.7%と最も高くなっている。



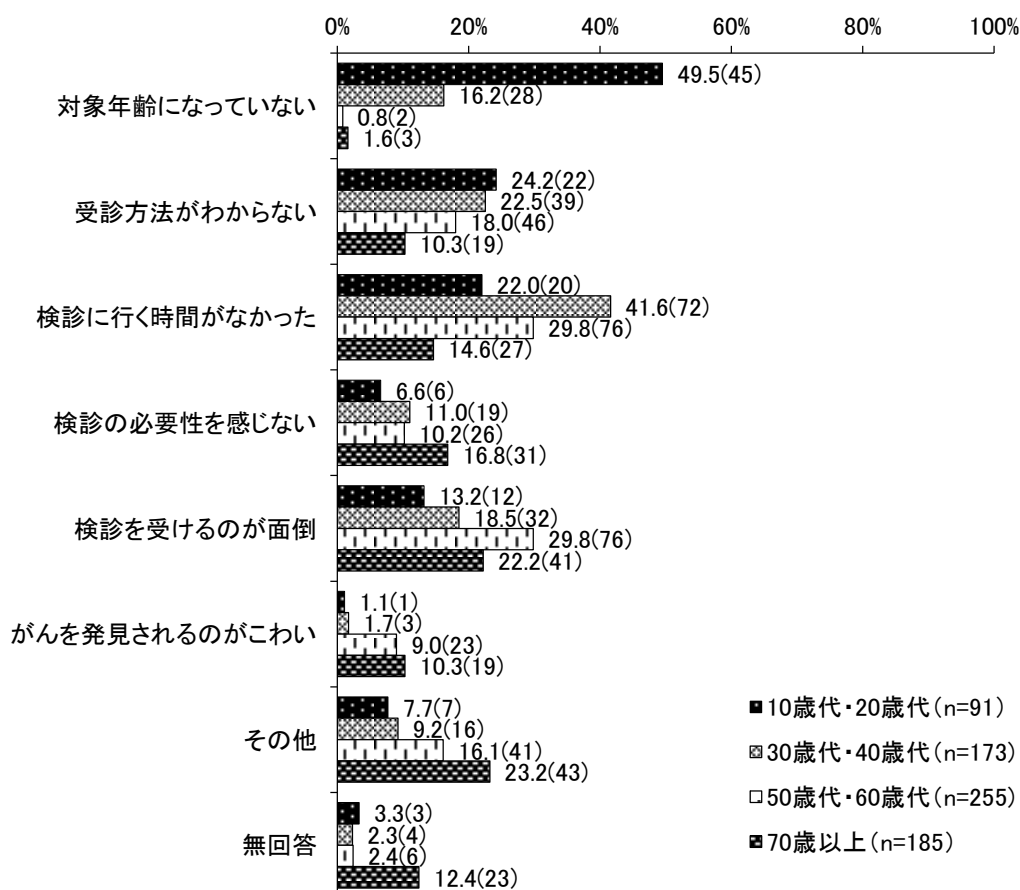
- ▶ この 1 年以内にかん検診を受けていないと回答した 721 人の内、「対象年齢になっていない」の割合が 10.8%、「受診方法が分からない」の割合が 17.6%、「検診に行く時間がなかった」の割合が 27.7%、「検診の必要性を感じない」の割合が 11.8%、「検診を受けるのが面倒」の割合が 23.0%、「がんを発見されるのが怖い」の割合が 6.5%、「その他」の割合が 15.0%となっています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、受診しない理由は、男性においては22.7%で「受診方法がわからない」が最も高く、女性においては32.6%で「検診に行く時間がなかった」が最も高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、受診しない理由の最も高い割合は、10歳代・20歳代は「対象年齢になっていない」(49.5%)、30歳代・40歳代は「検診に行く時間がなかった」(41.6%)、50歳代・60歳代は「検診に行く時間がなかった」、「検診を受けるのが面倒」(29.8%)、70歳以上は「その他」(23.2%)となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

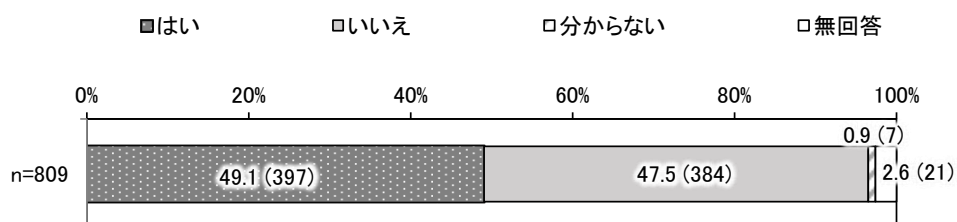
【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	対象年齢 になっていない	受診方法が わからない	検診に行く 時間がなが かった	検診の必要 性を感じな い	検診を受ける のが面倒	がんを発見 されるのが こわい	その他	無回答
全 体		848 100.0	78 9.2	127 15.0	200 23.6	85 10.0	166 19.6	47 5.5	108 12.7	37 4.4
居住小学校区別	柳河	89 100.0	7 7.9	14 15.7	26 29.2	9 10.1	16 18.0	6 6.7	8 9.0	3 3.4
	城内	28 100.0	5 17.9	4 14.3	6 21.4	3 10.7	1 3.6	1 3.6	6 21.4	2 7.1
	矢留	50 100.0	3 6.0	6 12.0	13 26.0	6 12.0	9 18.0	4 8.0	7 14.0	2 4.0
	東宮永	31 100.0	1 3.2	4 12.9	4 12.9	2 6.5	9 29.0	3 9.7	5 16.1	3 9.7
	両開	50 100.0	5 10.0	5 10.0	13 26.0	4 8.0	13 26.0	2 4.0	6 12.0	2 4.0
	昭代第一	71 100.0	3 4.2	8 11.3	21 29.6	8 11.3	14 19.7	5 7.0	8 11.3	4 5.6
	昭代第二	36 100.0	4 11.1	6 16.7	7 19.4	3 8.3	8 22.2	2 5.6	5 13.9	1 2.8
	蒲池	98 100.0	6 6.1	17 17.3	22 22.4	10 10.2	19 19.4	3 3.1	15 15.3	6 6.1
	皿垣	24 100.0	1 4.2	2 8.3	1 4.2	7 29.2	4 16.7	3 12.5	3 12.5	3 12.5
	有明	19 100.0	2 10.5	5 26.3	2 10.5	1 5.3	5 26.3	2 10.5	1 5.3	1 5.3
	中島	39 100.0	2 5.1	10 25.6	9 23.1	3 7.7	6 15.4	2 5.1	5 12.8	2 5.1
	六合	27 100.0	3 11.1	2 7.4	7 25.9	4 14.8	6 22.2	1 3.7	4 14.8	0 0.0
	大和	44 100.0	2 4.5	7 15.9	14 31.8	1 2.3	13 29.5	2 4.5	2 4.5	3 6.8
	豊原	35 100.0	1 2.9	7 20.0	8 22.9	4 11.4	8 22.9	2 5.7	5 14.3	0 0.0
	藤吉	82 100.0	15 18.3	16 19.5	13 15.9	6 7.3	12 14.6	5 6.1	13 15.9	2 2.4
	矢ヶ部	18 100.0	1 5.6	2 11.1	4 22.2	2 11.1	3 16.7	0 0.0	5 27.8	1 5.6
	二ッ河	42 100.0	6 14.3	3 7.1	13 31.0	4 9.5	8 19.0	2 4.8	6 14.3	0 0.0
	垂見	24 100.0	3 12.5	3 12.5	6 25.0	4 16.7	5 20.8	1 4.2	1 4.2	1 4.2
	中山	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	わからない	22 100.0	7 31.8	3 13.6	6 27.3	1 4.5	2 9.1	1 4.5	2 9.1	0 0.0
	無回答	16 100.0	0 0.0	1 6.3	5 31.3	3 18.8	5 31.3	0 0.0	1 6.3	1 6.3

(5) 国民健康保険か否か(問26) ※40 歳以上

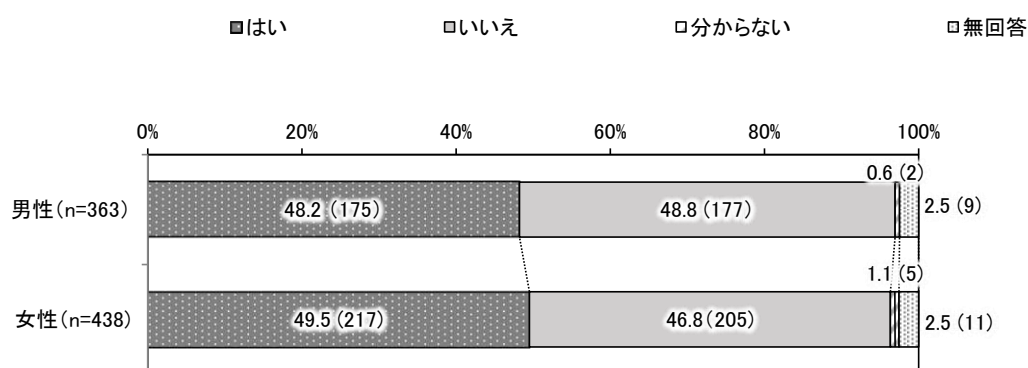
問 2 6 . 加入している保険は、国民健康保険ですか。(○を 1 つだけ)

「はい」の割合が 49.1%で、「いいえ」の割合（47.5%）よりも 1.6%高くなっている。



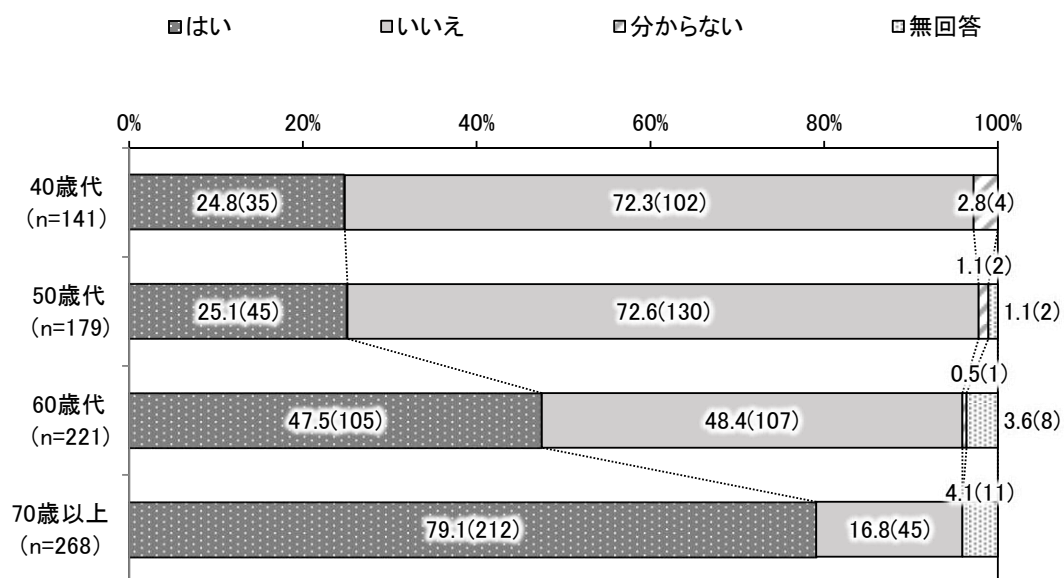
- ▶ 40 歳以上の回答対象者 809 人の内、「はい」の割合が 49.1%、「いいえ」の割合が 47.5%となっています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、「はい」の割合は男性（48.2%）、女性（49.5%）で大きな差は見られません。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、「はい」と回答した割合が最も高いのは70歳以上（79.1％）で、年代が下がるにつれて低くなっています。
- ▶ 40歳代～50歳代は「はい」と回答した割合が30％に満たず、60歳以上と大きな差がみられます。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

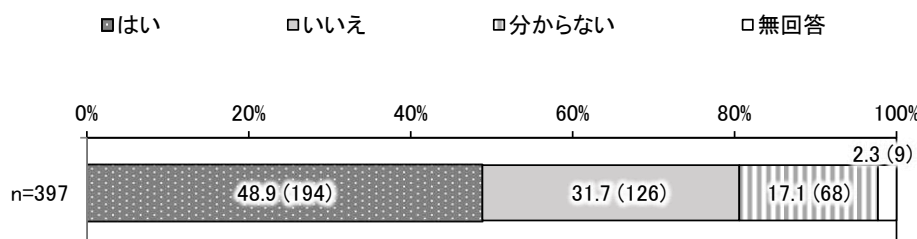
【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	はい	いいえ	分からない	無回答
全 体		809	397	384	7	21
		100.0	49.1	47.5	0.9	2.6
居住小学校区別	柳河	77	40	33	1	3
		100.0	51.9	42.9	1.3	3.9
	城内	31	22	8	0	1
		100.0	71.0	25.8	0.0	3.2
	矢留	49	21	28	0	0
		100.0	42.9	57.1	0.0	0.0
	東宮永	41	23	16	0	2
		100.0	56.1	39.0	0.0	4.9
	両開	44	19	22	2	1
		100.0	43.2	50.0	4.5	2.3
	昭代第一	64	27	34	1	2
		100.0	42.2	53.1	1.6	3.1
	昭代第二	38	21	17	0	0
		100.0	55.3	44.7	0.0	0.0
	蒲池	91	42	44	3	2
		100.0	46.2	48.4	3.3	2.2
	皿垣	26	14	11	0	1
		100.0	53.8	42.3	0.0	3.8
	有明	17	7	9	0	1
		100.0	41.2	52.9	0.0	5.9
	中島	49	30	17	0	2
		100.0	61.2	34.7	0.0	4.1
	六合	30	15	14	0	1
		100.0	50.0	46.7	0.0	3.3
	大和	41	25	16	0	0
		100.0	61.0	39.0	0.0	0.0
	豊原	40	16	23	0	1
		100.0	40.0	57.5	0.0	2.5
	藤吉	74	24	49	0	1
		100.0	32.4	66.2	0.0	1.4
	矢ヶ部	15	11	4	0	0
		100.0	73.3	26.7	0.0	0.0
	二ッ河	41	18	20	0	3
		100.0	43.9	48.8	0.0	7.3
	垂見	25	14	11	0	0
		100.0	56.0	44.0	0.0	0.0
	中山	3	2	1	0	0
		100.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	わからない	11	5	6	0	0
		100.0	45.5	54.5	0.0	0.0
	無回答	2	1	1	0	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0

(6) 特定検診の受診の意思(問27)

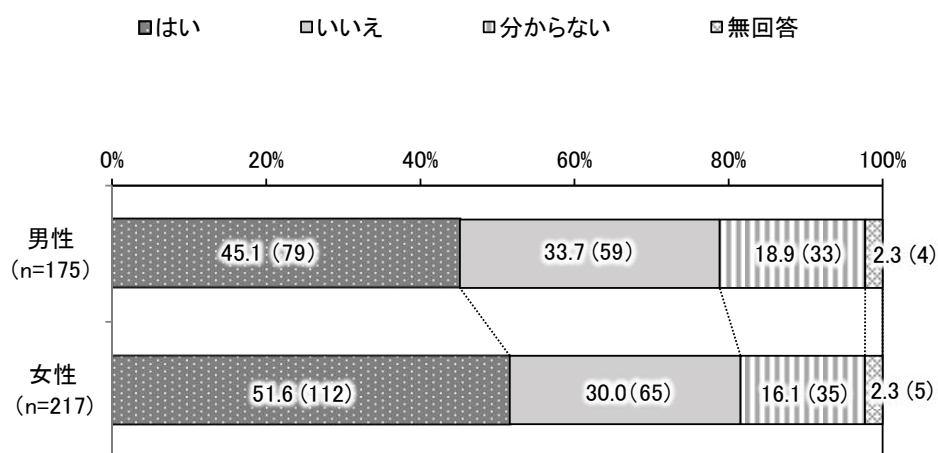
問 2 7 . 今年度、特定検診を受診しますか。(○を1つだけ)

「はい」の割合が48.9%で、「いいえ」の割合(31.7%)よりも17.2%高くなっている。



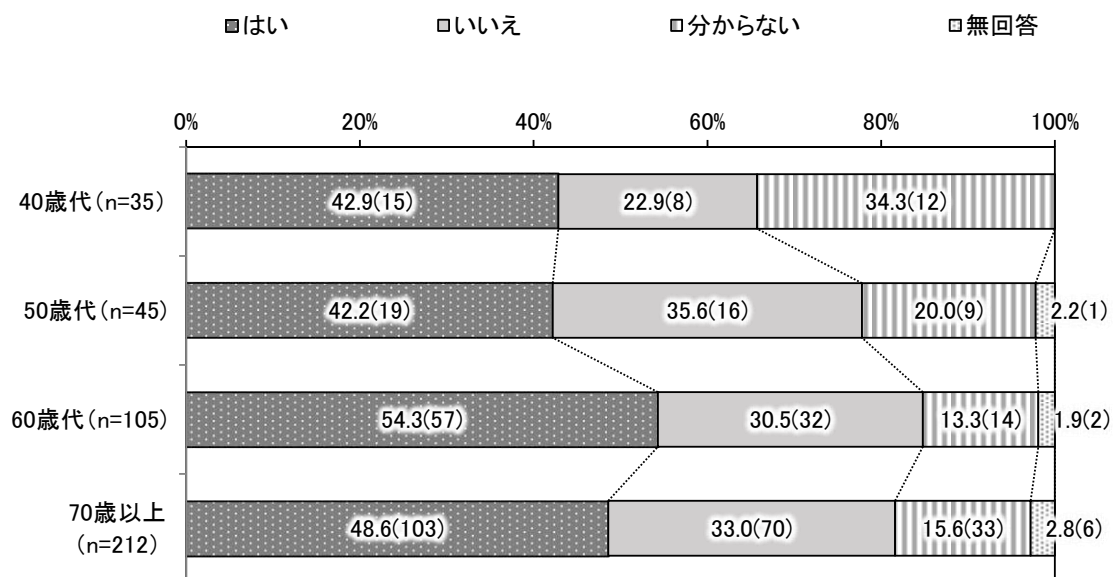
- ▶ 40 歳以上で国民健康保険に加入している 397 人の内、「はい」の割合が48.9%、「いいえ」の割合が31.7%となっています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、男性(45.1%)、女性(51.6%)共に「はい」の割合が高く、特に女性は「はい」の割合が半数を超えています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、どの年代も「はい」の割合が高くなっており、割合が最も高い年代は60歳代(54.3%)となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

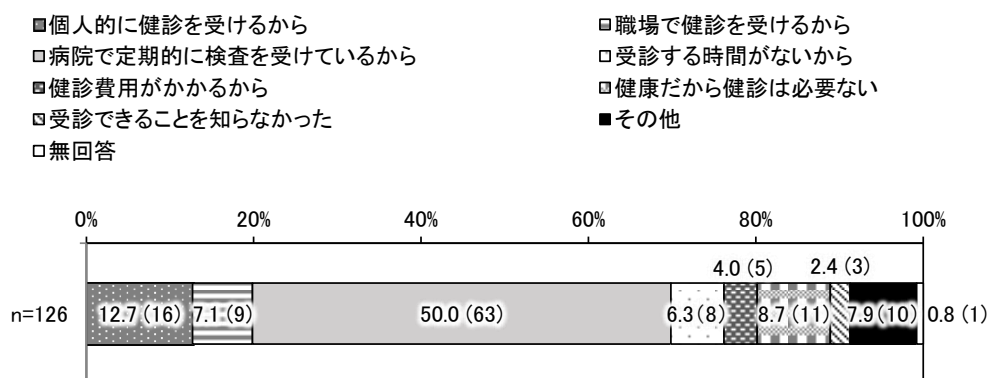
【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	はい	いいえ	分からない	無回答
全 体		397 100.0	194 48.9	126 31.7	68 17.1	9 2.3
居 住 小 学 校 区 別	柳河	40 100.0	24 60.0	10 25.0	6 15.0	0 0.0
	城内	22 100.0	11 50.0	9 40.9	2 9.1	0 0.0
	矢留	21 100.0	7 33.3	9 42.9	4 19.0	1 4.8
	東宮永	23 100.0	10 43.5	10 43.5	3 13.0	0 0.0
	両開	19 100.0	5 26.3	5 26.3	9 47.4	0 0.0
	昭代第一	27 100.0	12 44.4	8 29.6	6 22.2	1 3.7
	昭代第二	21 100.0	14 66.7	5 23.8	2 9.5	0 0.0
	蒲池	42 100.0	20 47.6	12 28.6	9 21.4	1 2.4
	皿垣	14 100.0	6 42.9	3 21.4	3 21.4	2 14.3
	有明	7 100.0	2 28.6	1 14.3	4 57.1	0 0.0
	中島	30 100.0	18 60.0	9 30.0	2 6.7	1 3.3
	六合	15 100.0	10 66.7	2 13.3	3 20.0	0 0.0
	大和	25 100.0	12 48.0	6 24.0	6 24.0	1 4.0
	豊原	16 100.0	5 31.3	7 43.8	3 18.8	1 6.3
	藤吉	24 100.0	15 62.5	7 29.2	2 8.3	0 0.0
	矢ヶ部	11 100.0	5 45.5	4 36.4	2 18.2	0 0.0
	二ッ河	18 100.0	9 50.0	8 44.4	1 5.6	0 0.0
	垂見	14 100.0	6 42.9	7 50.0	0 0.0	1 7.1
	中山	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	わからない	5 100.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(7) 特定検診を受診しない理由(問28)

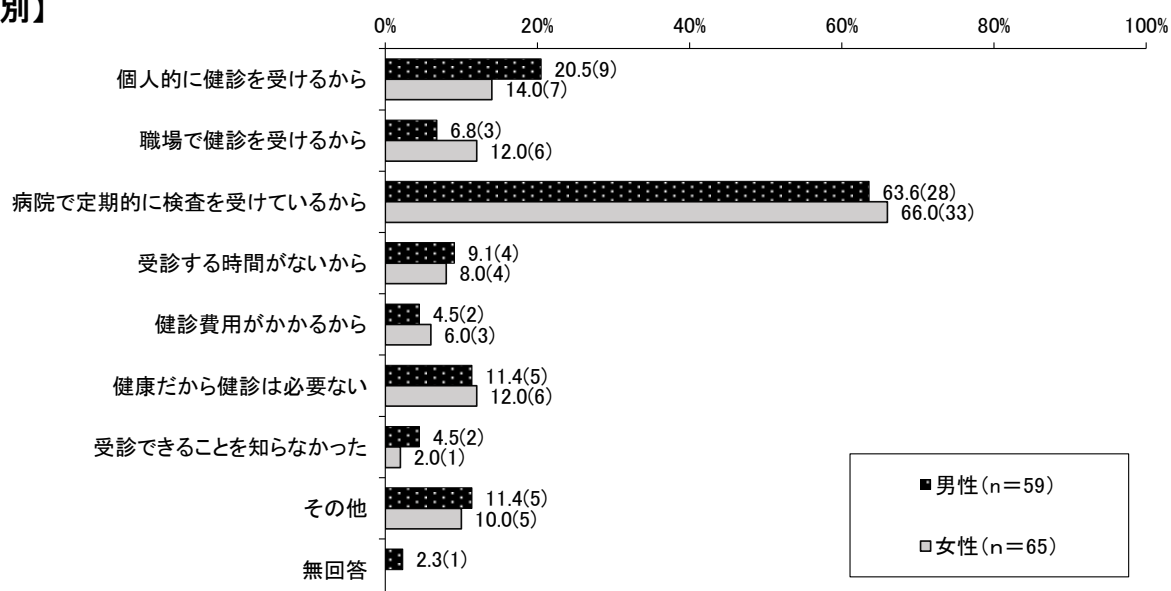
問 2 8 . 特定健診を受診しない理由は何ですか。(○を 1 つだけ)

「病院で定期的に検査を受けているから」の割合が 50.0%で最も高くなっている。



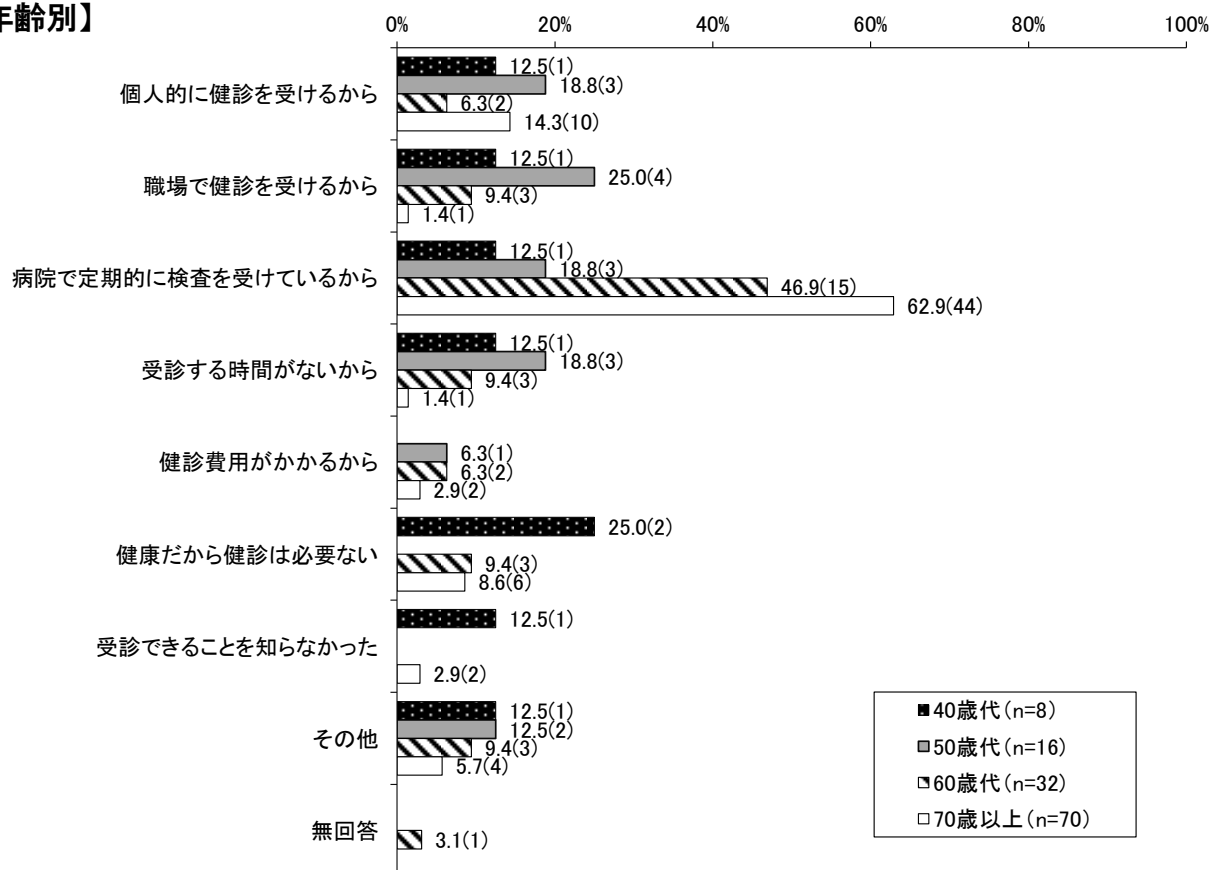
- ▶ 40 歳以上で国民健康保険に加入しており、特定検診を受診しないとしている 126 人の内、「個人的に健診を受けるから」の割合が 12.7%、「職場で健診を受けるから」の割合が 7.1%、「病院で定期的に検査を受けているから」の割合が 50.0%、「受診する時間がないから」の割合が 6.3%、「健診費用がかかるから」の割合が 4.0%、「健康だから健診は必要ない」の割合が 8.7%、「受診できることを知らなかった」の割合が 2.4%、「その他」の割合が 7.9%となっています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、最も割合が高い項目は、男性（63.6%）、女性（66.0%）共に「病院で定期的に検査を受けているから」となっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、40 歳代で最も割合が高い項目は「健康だから検診は必要ない」(25.0%)、50 歳代は「職場で検診を受けるから」(25.0%)、60 歳代・70 歳以上は「病院で定期的に検査を受けているから」(46.9%・62.9%) となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段:件数、下段:%】

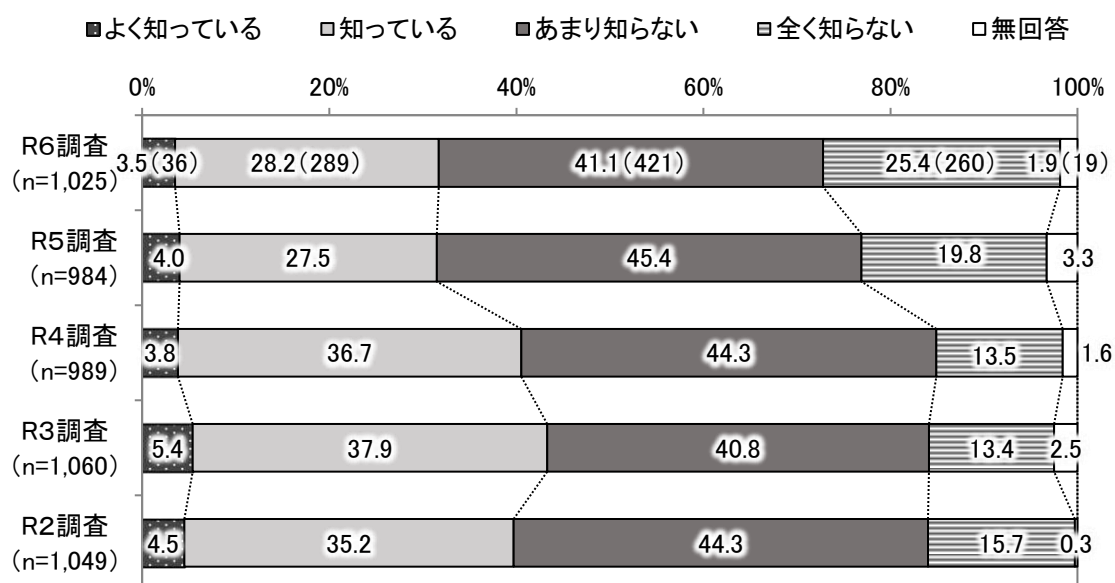
		回答者数 (件)	個人的に 健診を受け る	職場で健診 を受けるか	病院で定期的 に検査を 受けているから	受診する時間 がないか	健診費用が かかるから	健康だから 健診は必要 ない	受診できる ことを知ら なかった	その他	無回答
全 体		126 100.0	16 12.7	9 7.1	63 50.0	8 6.3	5 4.0	11 8.7	3 2.4	10 7.9	1 0.8
居住小学校区別	柳河	10 100.0	2 20.0	0 0.0	2 20.0	3 30.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
	城内	9 100.0	1 11.1	2 22.2	5 55.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0
	矢留	9 100.0	1 11.1	0 0.0	5 55.6	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0
	東宮永	10 100.0	1 10.0	1 10.0	7 70.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	両開	5 100.0	2 40.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	昭代第一	8 100.0	2 25.0	1 12.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0
	昭代第二	5 100.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
	蒲池	12 100.0	1 8.3	1 8.3	7 58.3	1 8.3	0 0.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0
	皿垣	3 100.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	有明	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	中島	9 100.0	2 22.2	0 0.0	6 66.7	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	六合	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	大和	6 100.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0
	豊原	7 100.0	1 14.3	0 0.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0
	藤吉	7 100.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	3 42.9	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3
	矢ヶ部	4 100.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	二ッ河	8 100.0	0 0.0	1 12.5	6 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0
	垂見	7 100.0	2 28.6	0 0.0	3 42.9	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0
	中山	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	わからない	4 100.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

5. 柳川市認定ブランドについて

(1)「柳川ブランド認定品」の認知度(問29)

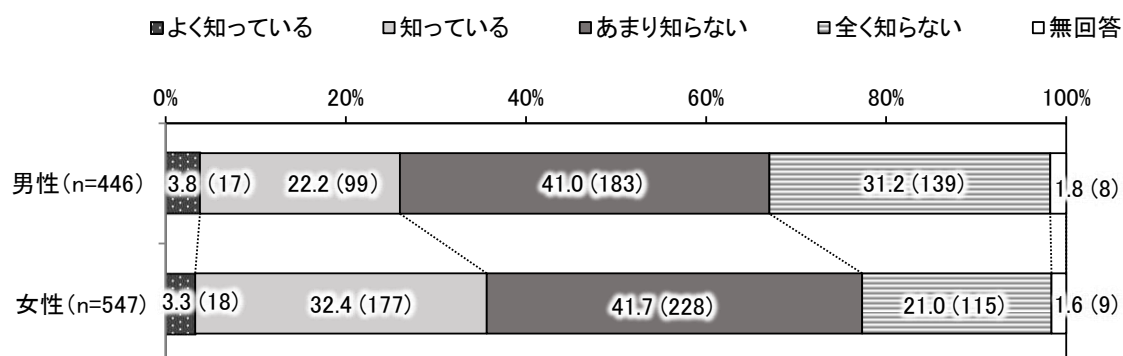
問29. 商品の地域性や安全性等を評価し、認定される「柳川ブランド認定品」を知っていますか。(○を1つだけ)

「あまり知らない」の割合が41.1%で最も高くなっている。



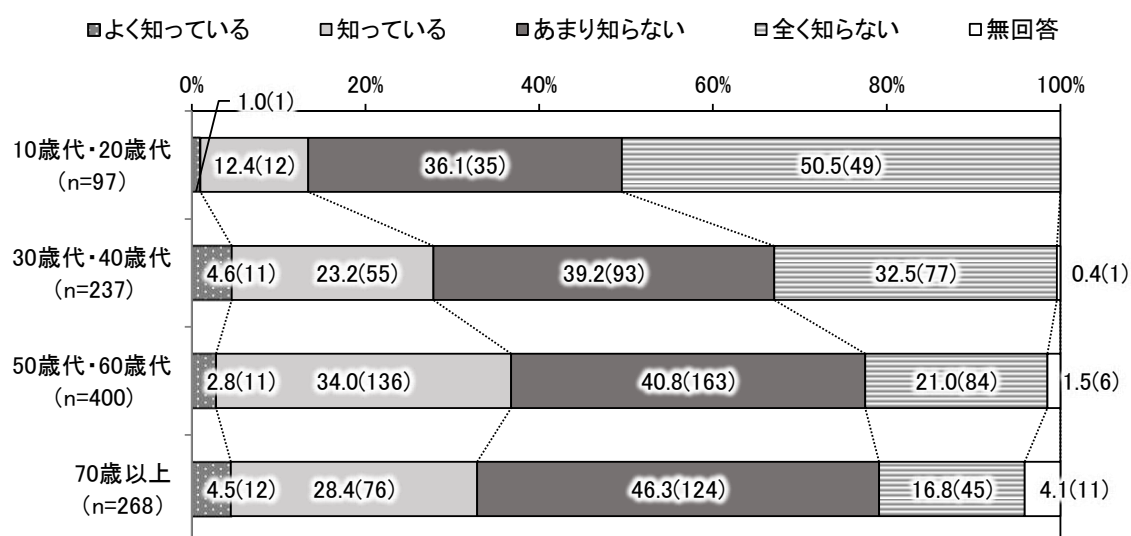
- ▶ 「よく知っている」と「知っている」を合わせた『知っている』の割合が31.7%、「あまり知らない」と「全く知らない」を合わせた『知らない』の割合が66.5%となっています。
- ▶ 令和5年度調査と比較すると、『知っている』の割合は、ほぼ横ばいなのに対し、『知らない』の割合が1.3ポイント増加しています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、『知っている』の割合は男性、(26.0%)と比較して女性 (35.7%)の方が高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、『知っている』の割合が最も高いのは 50 歳代・60 歳代 (36.8%) で、最も低いのは 10 歳代・20 歳代 (13.4%) となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段:件数、下段:%】

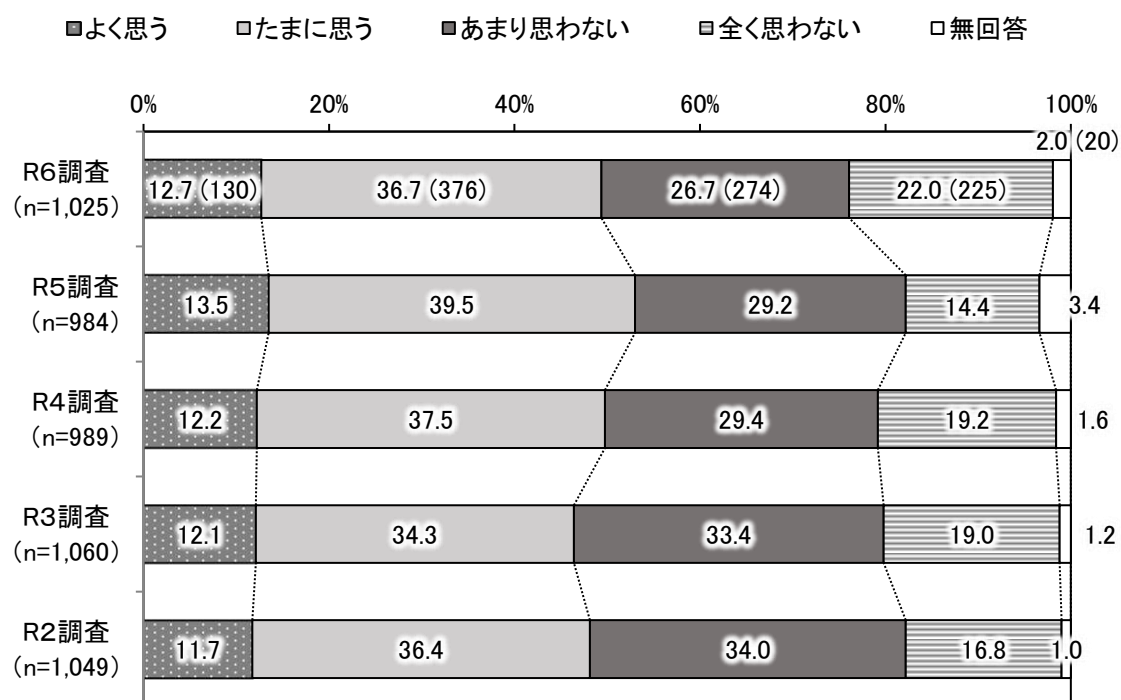
		回答者数 (件)	よく知っている	知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答	『知っている』	『知らない』
全 体		1025 100.0	36 3.5	289 28.2	421 41.1	260 25.4	19 1.9	325 31.7	710 69.3
居住小学校区別	柳河	99 100.0	6 6.1	36 36.4	28 28.3	27 27.3	2 2.0	42 42.4	64 64.6
	城内	40 100.0	3 7.5	16 40.0	13 32.5	7 17.5	1 2.5	19 47.5	29 72.5
	矢留	59 100.0	1 1.7	16 27.1	24 40.7	17 28.8	1 1.7	17 28.8	40 67.8
	東宮永	47 100.0	3 6.4	15 31.9	14 29.8	14 29.8	1 2.1	18 38.3	29 61.7
	両開	55 100.0	4 7.3	12 21.8	26 47.3	13 23.6	0 0.0	16 29.1	38 69.1
	昭代第一	78 100.0	3 3.8	28 35.9	31 39.7	16 20.5	0 0.0	31 39.7	59 75.6
	昭代第二	48 100.0	1 2.1	14 29.2	18 37.5	14 29.2	1 2.1	15 31.3	32 66.7
	蒲池	115 100.0	3 2.6	21 18.3	51 44.3	35 30.4	5 4.3	24 20.9	72 62.6
	皿垣	30 100.0	2 6.7	8 26.7	16 53.3	4 13.3	0 0.0	10 33.3	24 80.0
	有明	20 100.0	0 0.0	5 25.0	9 45.0	4 20.0	2 10.0	5 25.0	14 70.0
	中島	55 100.0	2 3.6	11 20.0	28 50.9	12 21.8	2 3.6	13 23.6	39 70.9
	六合	36 100.0	1 2.8	6 16.7	17 47.2	12 33.3	0 0.0	7 19.4	23 63.9
	大和	47 100.0	0 0.0	13 27.7	24 51.1	10 21.3	0 0.0	13 27.7	37 78.7
	豊原	46 100.0	0 0.0	10 21.7	26 56.5	9 19.6	1 2.2	10 21.7	36 78.3
	藤吉	97 100.0	2 2.1	30 30.9	36 37.1	29 29.9	0 0.0	32 33.0	66 68.0
	矢ヶ部	19 100.0	1 5.3	3 15.8	9 47.4	6 31.6	0 0.0	4 21.1	12 63.2
	二ッ河	53 100.0	2 3.8	21 39.6	17 32.1	13 24.5	0 0.0	23 43.4	38 71.7
	垂見	31 100.0	0 0.0	11 35.5	15 48.4	4 12.9	1 3.2	11 35.5	26 83.9
	中山	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	わからない	22 100.0	0 0.0	3 13.6	11 50.0	8 36.4	0 0.0	3 13.6	14 63.6
	無回答	24 100.0	1 4.2	10 41.7	8 33.3	3 12.5	2 8.3	11 45.8	18 75.0

6. 公共交通について

(1) 路線バス・電車などの公共交通機関を利用しようと思う度合い(問30)

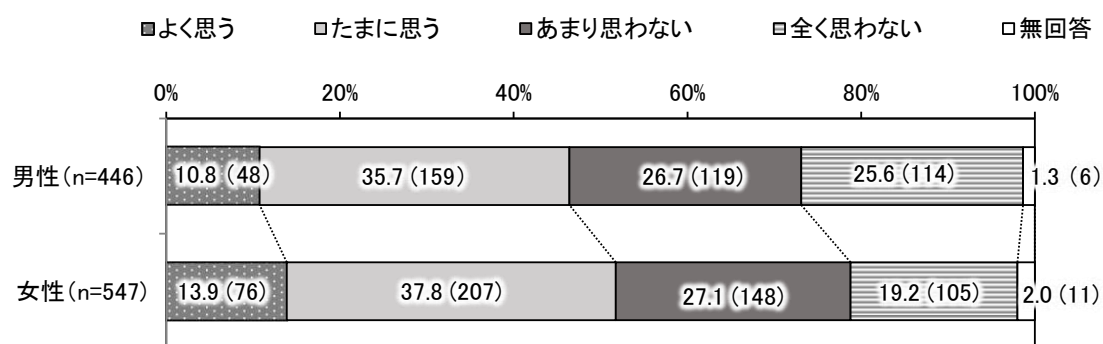
問30. 外出する際、路線バス・電車など公共交通機関を利用しようと思うことはありますか。
(○を1つだけ)

「たまに思う」の割合が36.7%で最も高くなっている。



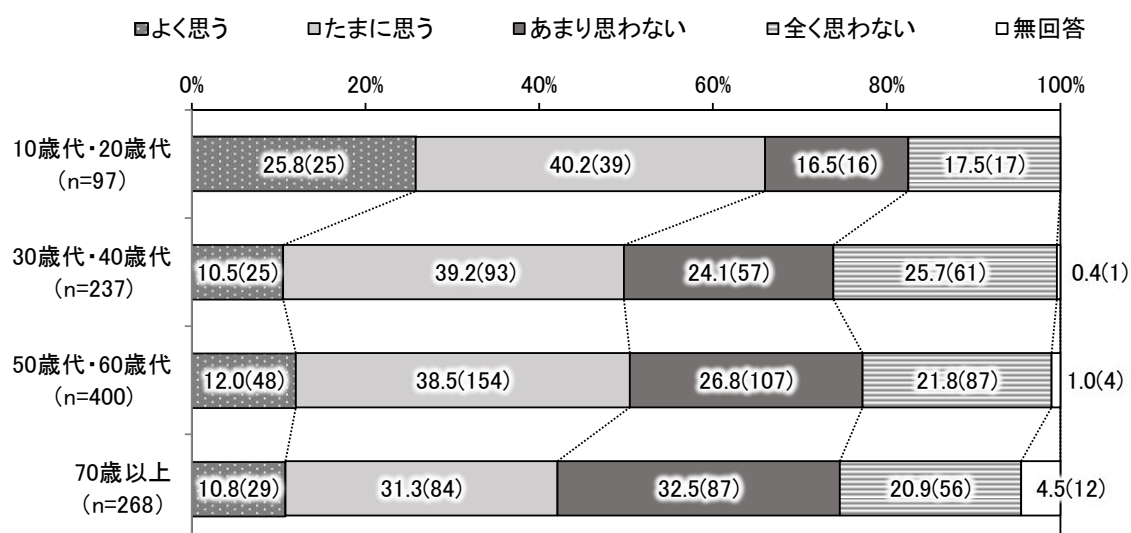
- ▶ 「よく思う」と「たまに思う」を合わせた『思う』の割合が49.4%、「あまり思わない」と「全く思わない」を合わせた『思わない』の割合が48.7%となっています。
- ▶ 令和5年度調査と比較すると、『思う』の割合が3.6ポイント減少しており、『思わない』の割合が5.1ポイント増加しています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、『思う』の割合が高いのは、男性（46.4％）と比較して女性（51.7％）の方が高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、『思う』の割合が高いのは10歳代・20歳代（66.0％）で、次に50歳代・60歳代（50.5％）となっています。
- ▶ 『思う』の割合が最も低いのは70歳以上（42.1％）となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

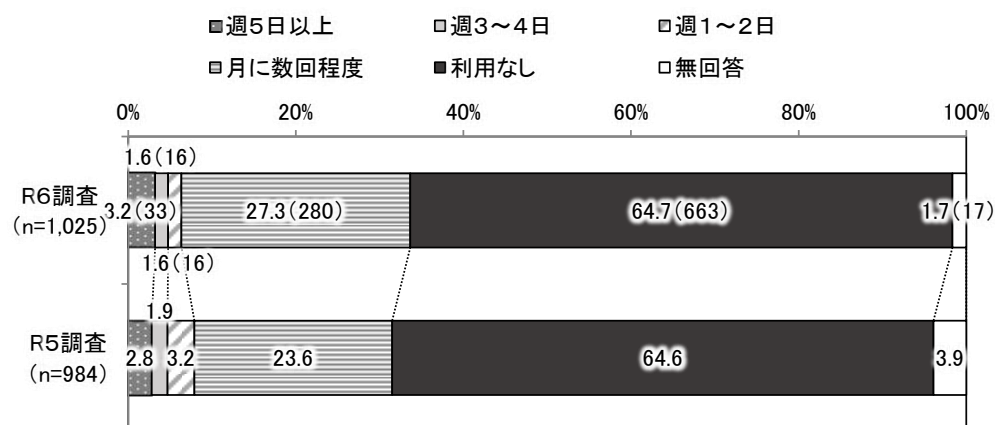
【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	よく 思う	たまに 思う	あまり 思わない	全く 思わない	無 回答	『 思う 』	『 思わ ない 』
全 体		1025 100.0	130 12.7	376 36.7	274 26.7	225 22.0	20 2.0	506 49.4	499 48.7
居住 小 学 校 区 別	柳河	99 100.0	23 23.2	37 37.4	16 16.2	19 19.2	4 4.0	60 60.6	35 35.4
	城内	40 100.0	6 15.0	23 57.5	1 2.5	9 22.5	1 2.5	29 72.5	10 25.0
	矢留	59 100.0	3 5.1	23 39.0	16 27.1	17 28.8	0 0.0	26 44.1	33 55.9
	東宮永	47 100.0	6 12.8	18 38.3	12 25.5	10 21.3	1 2.1	24 51.1	22 46.8
	両開	55 100.0	5 9.1	19 34.5	13 23.6	18 32.7	0 0.0	24 43.6	31 56.4
	昭代第一	78 100.0	6 7.7	26 33.3	23 29.5	23 29.5	0 0.0	32 41.0	46 59.0
	昭代第二	48 100.0	3 6.3	20 41.7	12 25.0	12 25.0	1 2.1	23 47.9	24 50.0
	蒲池	115 100.0	13 11.3	34 29.6	43 37.4	21 18.3	4 3.5	47 40.9	64 55.7
	皿垣	30 100.0	1 3.3	12 40.0	9 30.0	8 26.7	0 0.0	13 43.3	17 56.7
	有明	20 100.0	1 5.0	6 30.0	6 30.0	5 25.0	2 10.0	7 35.0	11 55.0
	中島	55 100.0	9 16.4	17 30.9	15 27.3	13 23.6	1 1.8	26 47.3	28 50.9
	六合	36 100.0	7 19.4	7 19.4	11 30.6	10 27.8	1 2.8	14 38.9	21 58.3
	大和	47 100.0	5 10.6	15 31.9	19 40.4	8 17.0	0 0.0	20 42.6	27 57.4
	豊原	46 100.0	5 10.9	20 43.5	16 34.8	4 8.7	1 2.2	25 54.3	20 43.5
	藤吉	97 100.0	16 16.5	45 46.4	17 17.5	19 19.6	0 0.0	61 62.9	36 37.1
	矢ヶ部	19 100.0	1 5.3	12 63.2	3 15.8	3 15.8	0 0.0	13 68.4	6 31.6
	二ッ河	53 100.0	7 13.2	18 34.0	16 30.2	12 22.6	0 0.0	25 47.2	28 52.8
	垂見	31 100.0	3 9.7	13 41.9	10 32.3	5 16.1	0 0.0	16 51.6	15 48.4
	中山	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	3 75.0
	わからない	22 100.0	7 31.8	5 22.7	7 31.8	3 13.6	0 0.0	12 54.5	10 45.5
	無回答	24 100.0	3 12.5	6 25.0	8 33.3	4 16.7	3 12.5	9 37.5	12 50.0

(2) 最近3か月間の公共交通機関の利用状況(問31)

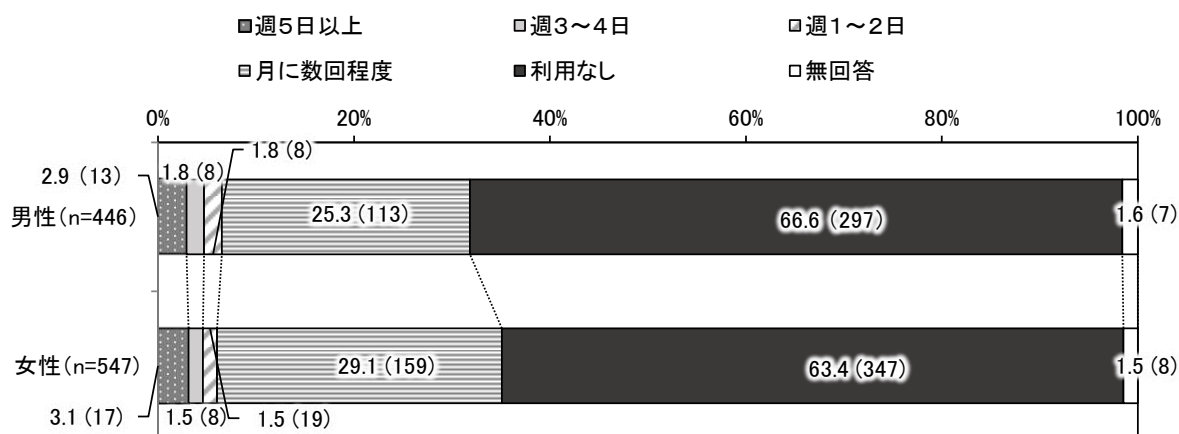
問31. 最近3か月間に公共交通機関（バス、電車、タクシー、コミュニティバス）をどの程度の頻度で利用しましたか。（○を1つだけ）

「利用なし」の割合が64.7%で最も高くなっている。



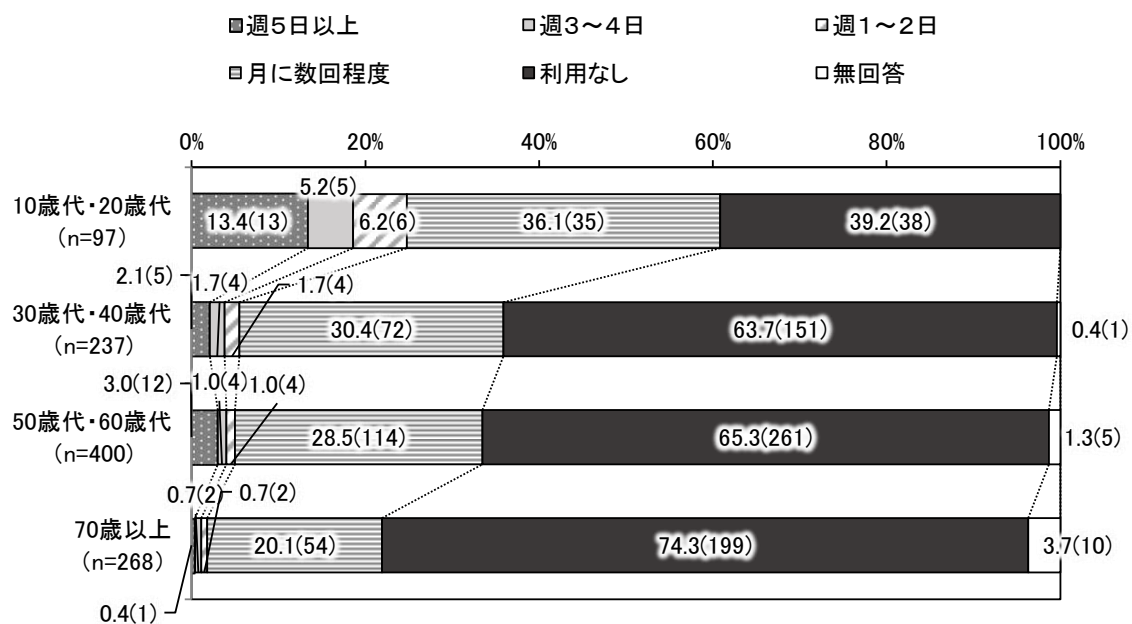
- ▶ 「週5日以上」の割合が3.2%、「週3～4日」の割合が1.6%、「週1～2日」の割合が1.6%、「月に数回程度」の割合が27.3%、「利用なし」の割合が64.7%となっています。
- ▶ 「週5日以上」、「週3～4日」、「週1～2日」、「月に数回程度」を合わせた『利用している』の割合は33.7%となっています。
- ▶ 令和5年度調査と比較すると、「月に数回程度」の割合が最も増加しています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、男性、女性共に「利用なし」の割合が最も高くなっており、60%程となっています。
- ▶ 『利用している』の割合は男性（31.8%）よりも女性（35.2%）の方が高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別に見ると、『利用している』の割合は10歳代・20歳代（60.9%）が最も高くなっており、他の年代と比較すると20ポイント程多くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

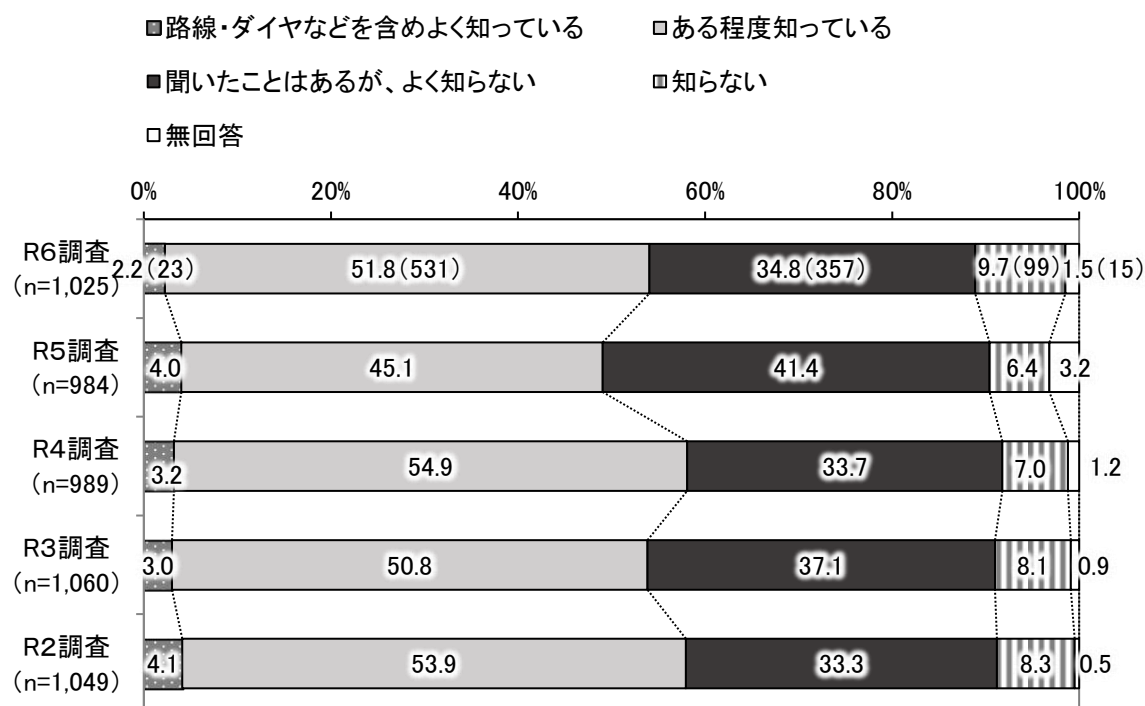
【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	週 5 日 以上	週 3 ～ 4 日	週 1 ～ 2 日	月 に 数 回 程 度	利用 なし	無 回 答	『利 用 あり』
全 体		1025 100.0	33 3.2	16 1.6	16 1.6	280 27.3	663 64.7	17 1.7	345 33.7
居住小学校区別	柳河	99 100.0	6 6.1	4 4.0	2 2.0	31 31.3	53 53.5	3 3.0	43 43.4
	城内	40 100.0	0 0.0	1 2.5	2 5.0	14 35.0	22 55.0	1 2.5	17 42.5
	矢留	59 100.0	1 1.7	0 0.0	1 1.7	11 18.6	45 76.3	1 1.7	13 22.0
	東宮永	47 100.0	0 0.0	1 2.1	1 2.1	12 25.5	32 68.1	1 2.1	14 29.8
	両開	55 100.0	1 1.8	1 1.8	1 1.8	12 21.8	40 72.7	0 0.0	15 27.3
	昭代第一	78 100.0	3 3.8	0 0.0	0 0.0	20 25.6	55 70.5	0 0.0	23 29.5
	昭代第二	48 100.0	1 2.1	0 0.0	0 0.0	10 20.8	36 75.0	1 2.1	11 22.9
	蒲池	115 100.0	5 4.3	1 0.9	1 0.9	27 23.5	79 68.7	2 1.7	34 29.6
	皿垣	30 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 23.3	22 73.3	1 3.3	7 23.3
	有明	20 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 25.0	13 65.0	2 10.0	5 25.0
	中島	55 100.0	1 1.8	2 3.6	0 0.0	16 29.1	35 63.6	1 1.8	19 34.5
	六合	36 100.0	3 8.3	0 0.0	2 5.6	7 19.4	24 66.7	0 0.0	12 33.3
	大和	47 100.0	0 0.0	0 0.0	1 2.1	12 25.5	34 72.3	0 0.0	13 27.7
	豊原	46 100.0	1 2.2	1 2.2	0 0.0	13 28.3	30 65.2	1 2.2	15 32.6
	藤吉	97 100.0	1 1.0	3 3.1	2 2.1	35 36.1	56 57.7	0 0.0	41 42.3
	矢ヶ部	19 100.0	1 5.3	0 0.0	1 5.3	8 42.1	9 47.4	0 0.0	10 52.6
	二ッ河	53 100.0	2 3.8	1 1.9	1 1.9	19 35.8	29 54.7	1 1.9	23 43.4
	垂見	31 100.0	2 6.5	0 0.0	0 0.0	10 32.3	19 61.3	0 0.0	12 38.7
	中山	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0
	わからない	22 100.0	2 9.1	1 4.5	1 4.5	6 27.3	12 54.5	0 0.0	10 45.5
	無回答	24 100.0	2 8.3	0 0.0	0 0.0	5 20.8	15 62.5	2 8.3	7 29.2

(3) 柳川市運行コミュニティバスの認知度(問32)

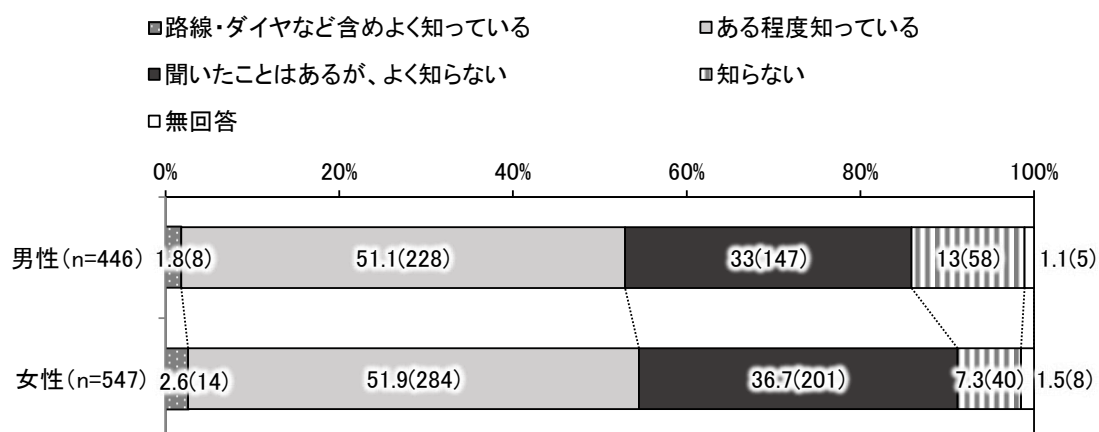
問32. 柳川市が運行しているコミュニティバスを知っていますか。(○を1つだけ)

「ある程度知っている」の割合が51.8%で最も高くなっている。



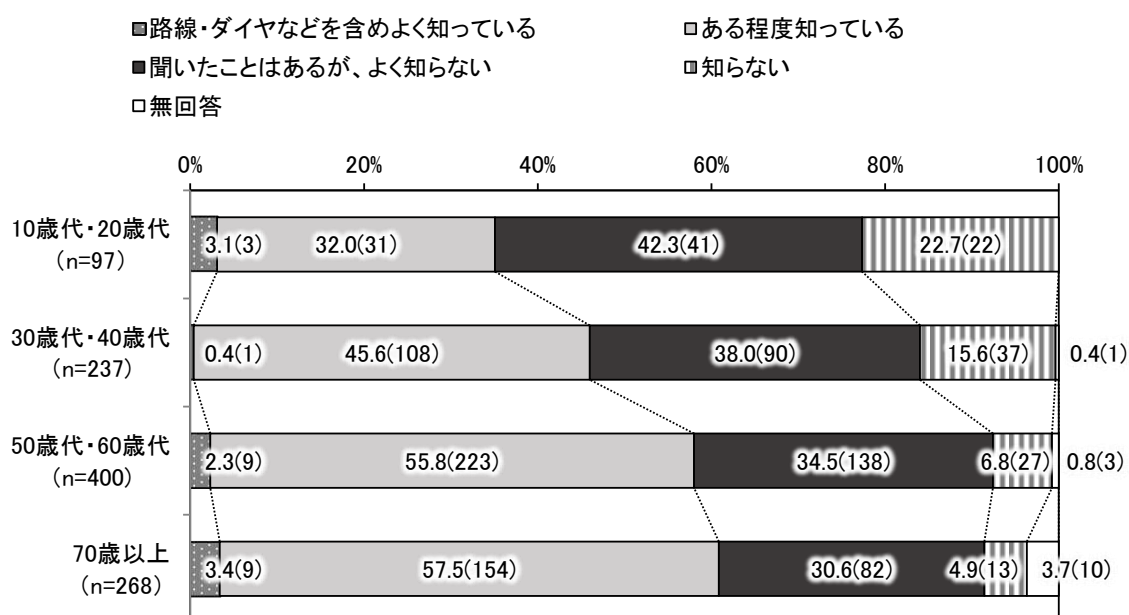
- ▶ 「路線・ダイヤなどを含めよく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』の割合は54.0%、「聞いたことはあるが、よく知らない」と「知らない」を合わせた『知らない』の割合は44.5%となっています。
- ▶ 令和5年度調査と比較すると、『知っている』の割合が4.9ポイント増加し、『知らない』の割合が3.3ポイント減少しています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、『知っている』の割合は、男性（52.9％）と比較すると女性（54.5％）の方が高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、『知っている』の割合が最も高いのは70歳以上（60.9％）で、年代が下がるにつれて低くなっており、最も低いのは10歳代・20歳代（35.1％）となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

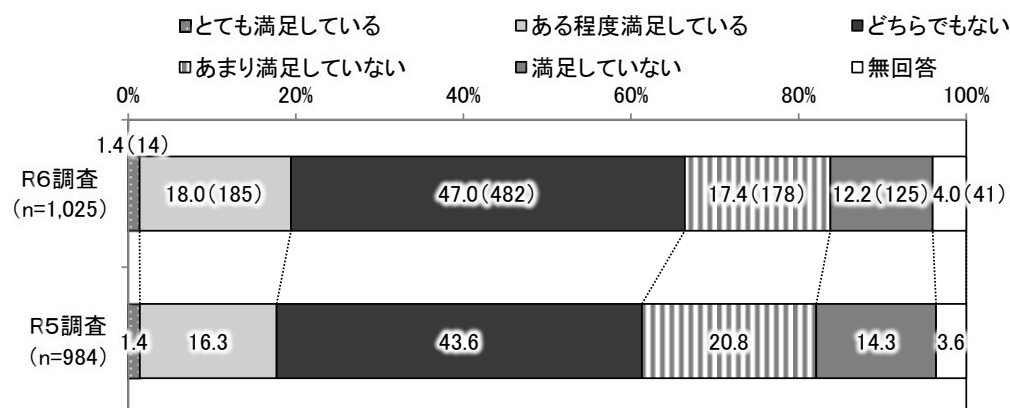
【上段：件数、下段：%】

		回答者数 (件)	路線・ダイヤなどを含 めよく知っている	ある程度知っている	聞いたことはあるが、 よく知らない	知らない	無回答	『知っている』	『知らない』
全 体		1025	23	531	357	99	15	554	456
		100.0	2.2	51.8	34.8	9.7	1.5	54.0	44.5
居住小学校区別	柳河	99	2	51	36	7	3	53	43
		100.0	2.0	51.5	36.4	7.1	3.0	53.5	43.4
	城内	40	0	22	10	7	1	22	17
		100.0	0.0	55.0	25.0	17.5	2.5	55.0	42.5
	矢留	59	0	39	17	2	1	39	19
		100.0	0.0	66.1	28.8	3.4	1.7	66.1	32.2
	東宮永	47	2	25	17	2	1	27	19
		100.0	4.3	53.2	36.2	4.3	2.1	57.4	40.4
	両開	55	2	37	12	4	0	39	16
		100.0	3.6	67.3	21.8	7.3	0.0	70.9	29.1
	昭代第一	78	1	43	25	9	0	44	34
		100.0	1.3	55.1	32.1	11.5	0.0	56.4	43.6
	昭代第二	48	0	30	13	4	1	30	17
		100.0	0.0	62.5	27.1	8.3	2.1	62.5	35.4
	蒲池	115	5	51	42	15	2	56	57
		100.0	4.3	44.3	36.5	13.0	1.7	48.7	49.6
	皿垣	30	0	15	13	2	0	15	15
		100.0	0.0	50.0	43.3	6.7	0.0	50.0	50.0
	有明	20	0	12	3	3	2	12	6
		100.0	0.0	60.0	15.0	15.0	10.0	60.0	30.0
	中島	55	2	26	22	4	1	28	26
		100.0	3.6	47.3	40.0	7.3	1.8	50.9	47.3
	六合	36	1	16	16	3	0	17	19
		100.0	2.8	44.4	44.4	8.3	0.0	47.2	52.8
	大和	47	0	24	18	5	0	24	23
		100.0	0.0	51.1	38.3	10.6	0.0	51.1	48.9
	豊原	46	1	21	19	4	1	22	23
		100.0	2.2	45.7	41.3	8.7	2.2	47.8	50.0
	藤吉	97	3	53	33	8	0	56	41
		100.0	3.1	54.6	34.0	8.2	0.0	57.7	42.3
	矢ヶ部	19	0	8	7	4	0	8	11
		100.0	0.0	42.1	36.8	21.1	0.0	42.1	57.9
	二ッ河	53	1	23	24	5	0	24	29
		100.0	1.9	43.4	45.3	9.4	0.0	45.3	54.7
	垂見	31	0	11	16	4	0	11	20
		100.0	0.0	35.5	51.6	12.9	0.0	35.5	64.5
	中山	4	1	1	1	1	0	2	2
		100.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0	50.0
	わからない	22	1	7	8	6	0	8	14
		100.0	4.5	31.8	36.4	27.3	0.0	36.4	63.6
	無回答	24	1	16	5	0	2	17	5
		100.0	4.2	66.7	20.8	0.0	8.3	70.8	20.8

(4) 市内の公共交通に対する満足度(問33)

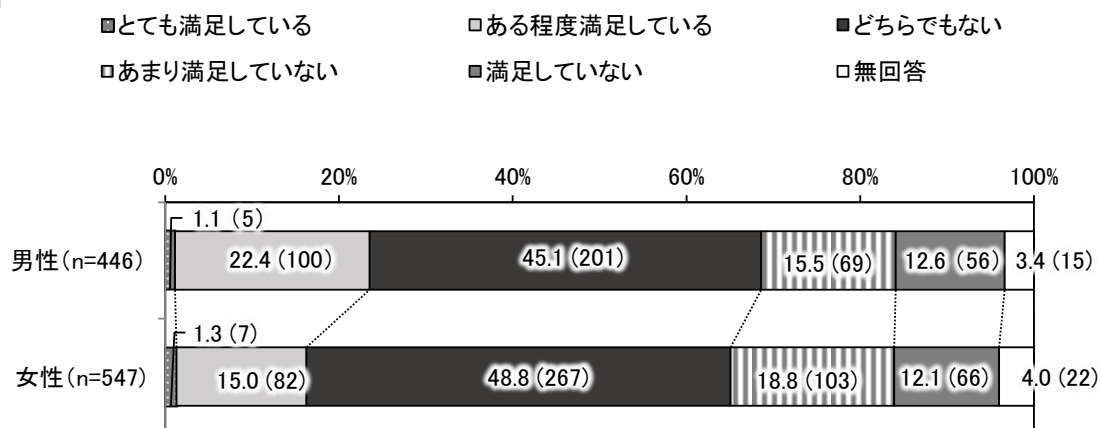
問 3 3. 市内の公共交通に対する満足度を教えてください。(○を 1 つだけ)

「どちらでもない」の割合が 47.0%で最も高くなっている。



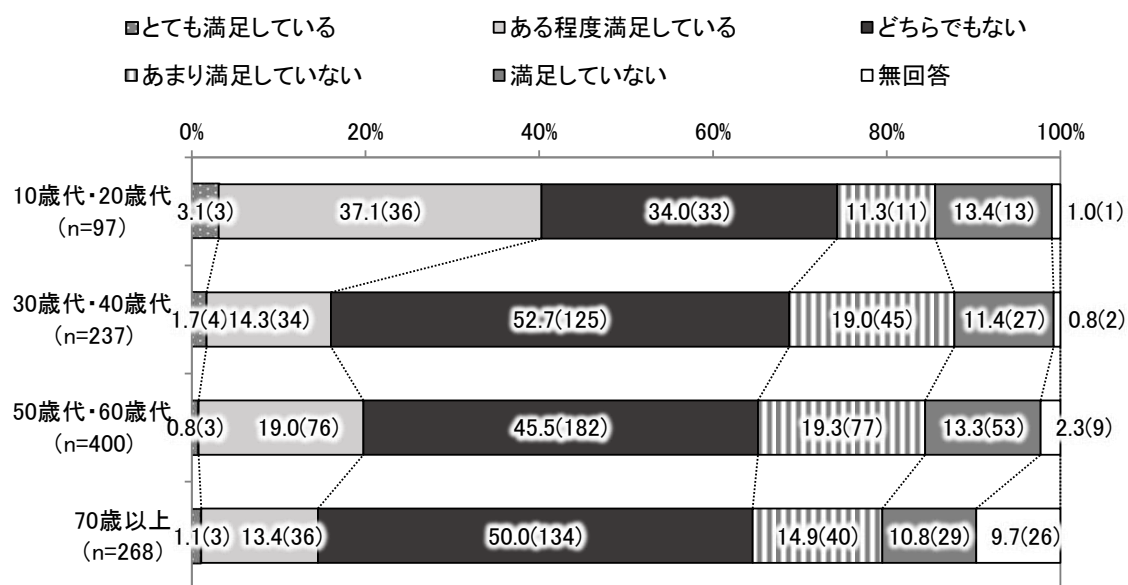
- ▶ 「とても満足している」と「ある程度満足している」を合わせた『満足している』の割合が 19.4%、「どちらでもない」の割合が 47.0%、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた『満足していない』の割合が 29.6%となっています。
- ▶ 令和 5 年度調査と比較すると、『満足している』の割合が 1.7 ポイント増加し、『満足していない』の割合が 5.5 ポイント減少しています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、『満足している』の割合は、女性（16.3%）と比較すると男性（23.5%）の方が高くなっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、『満足している』の割合が高いのは10歳代・20歳代（40.2％）で、最も低いのは70歳以上（14.5％）となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	とても満足している	ある程度満足している	どちらでもない	あまり満足していない	満足していない	無回答	『満足している』	『満足していない』
全 体		1025	14	185	482	178	125	41	199	303
		100.0	1.4	18.0	47.0	17.4	12.2	4.0	19.4	29.6
居住小学校区別	柳河	99	5	23	48	12	7	4	28	19
		100.0	5.1	23.2	48.5	12.1	7.1	4.0	28.3	19.2
	城内	40	1	12	14	7	3	3	13	10
		100.0	2.5	30.0	35.0	17.5	7.5	7.5	32.5	25.0
	矢留	59	0	11	30	8	9	1	11	17
		100.0	0.0	18.6	50.8	13.6	15.3	1.7	18.6	28.8
	東宮永	47	1	9	21	8	5	3	10	13
		100.0	2.1	19.1	44.7	17.0	10.6	6.4	21.3	27.7
	岡開	55	0	5	27	8	15	0	5	23
		100.0	0.0	9.1	49.1	14.5	27.3	0.0	9.1	41.8
	昭代第一	78	0	13	33	17	14	1	13	31
		100.0	0.0	16.7	42.3	21.8	17.9	1.3	16.7	39.7
	昭代第二	48	0	8	18	8	11	3	8	19
		100.0	0.0	16.7	37.5	16.7	22.9	6.3	16.7	39.6
	蒲池	115	1	17	62	18	9	8	18	27
		100.0	0.9	14.8	53.9	15.7	7.8	7.0	15.7	23.5
	皿垣	30	0	2	18	5	5	0	2	10
		100.0	0.0	6.7	60.0	16.7	16.7	0.0	6.7	33.3
	有明	20	1	1	8	4	4	2	2	8
		100.0	5.0	5.0	40.0	20.0	20.0	10.0	10.0	40.0
	中島	55	1	9	24	17	2	2	10	19
		100.0	1.8	16.4	43.6	30.9	3.6	3.6	18.2	34.5
	六合	36	0	9	15	7	4	1	9	11
		100.0	0.0	25.0	41.7	19.4	11.1	2.8	25.0	30.6
	大和	47	0	6	21	8	8	4	6	16
		100.0	0.0	12.8	44.7	17.0	17.0	8.5	12.8	34.0
	豊原	46	0	9	25	2	9	1	9	11
		100.0	0.0	19.6	54.3	4.3	19.6	2.2	19.6	23.9
	藤吉	97	1	26	46	17	5	2	27	22
		100.0	1.0	26.8	47.4	17.5	5.2	2.1	27.8	22.7
	矢ヶ部	19	0	4	7	5	2	1	4	7
		100.0	0.0	21.1	36.8	26.3	10.5	5.3	21.1	36.8
	二ッ河	53	0	11	24	10	7	1	11	17
		100.0	0.0	20.8	45.3	18.9	13.2	1.9	20.8	32.1
	垂見	31	1	3	19	6	2	0	4	8
		100.0	3.2	9.7	61.3	19.4	6.5	0.0	12.9	25.8
	中山	4	0	0	2	1	1	0	0	2
		100.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0
	わからない	22	1	5	10	5	1	0	6	6
		100.0	4.5	22.7	45.5	22.7	4.5	0.0	27.3	27.3
	無回答	24	1	2	10	5	2	4	3	7
		100.0	4.2	8.3	41.7	20.8	8.3	16.7	12.5	29.2

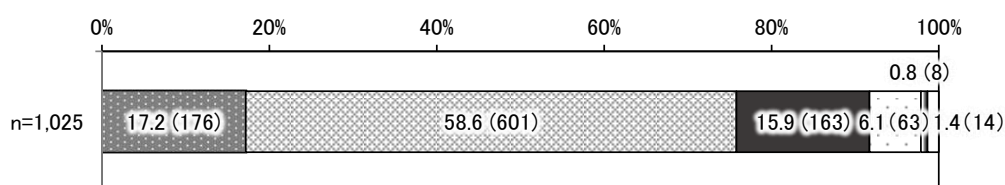
7. 市役所について

(1) この1年以内の来庁頻度(問34)

問34. この1年以内に市役所（柳川庁舎・大和庁舎・三橋庁舎）にどの程度の頻度で来庁されましたか。（○を1つだけ）

「年に1、2回程度」の割合が58.6%で最も高くなっている。

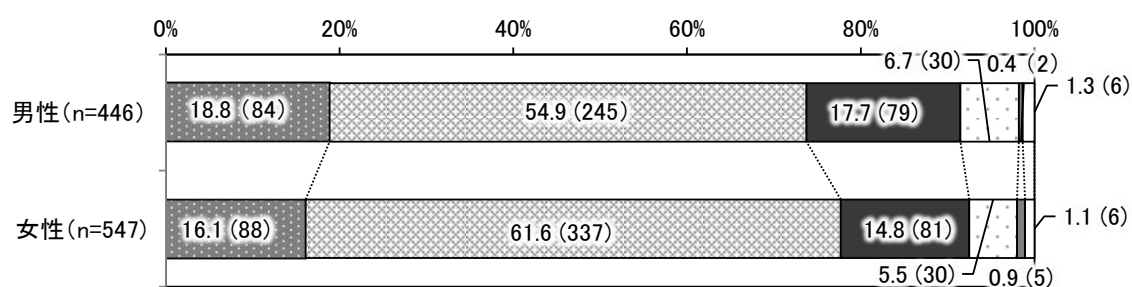
■行ったことがない □年に1、2回程度 ■2、3ヵ月に1回程度 □月1、2回程度 ■週1回以上 □無回答



- ▶ 「行ったことがない」の割合が17.2%、「年に1、2回程度」の割合が58.6%、「2、3ヵ月に1回程度」の割合が15.9%、「月に1、2回程度」の割合が6.1%、「週に1回程度以上」の割合が0.8%となっています。

【性別】

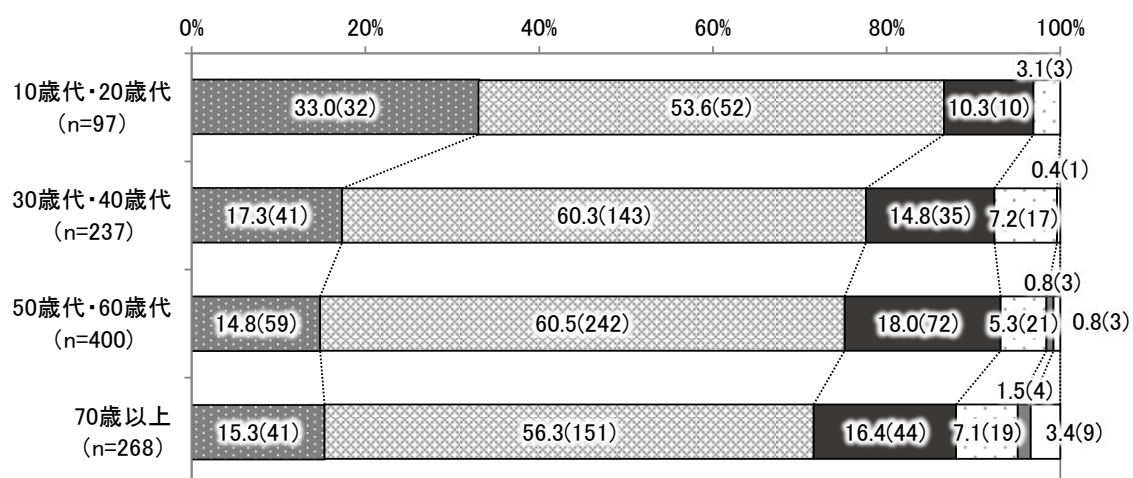
■行ったことがない □年に1、2回程度 ■2、3ヵ月に1回程度
□月1、2回程度 ■週1回程度以上 □無回答



- ▶ 性別にみると、「行ったことがない」の割合は、女性（16.1%）と比較して男性（18.8%）の方が高くなっています。

【年齢別】

■行ったことがない □年に1、2回程度 ■2、3ヵ月に1回程度 □月1、2回程度 ■週1回以上 □無回答



- ▶ 年齢別にみると、「行ったことがない」の割合が最も高いのは10歳代・20歳代（33.0％）となっており、30歳以上は20％未満となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

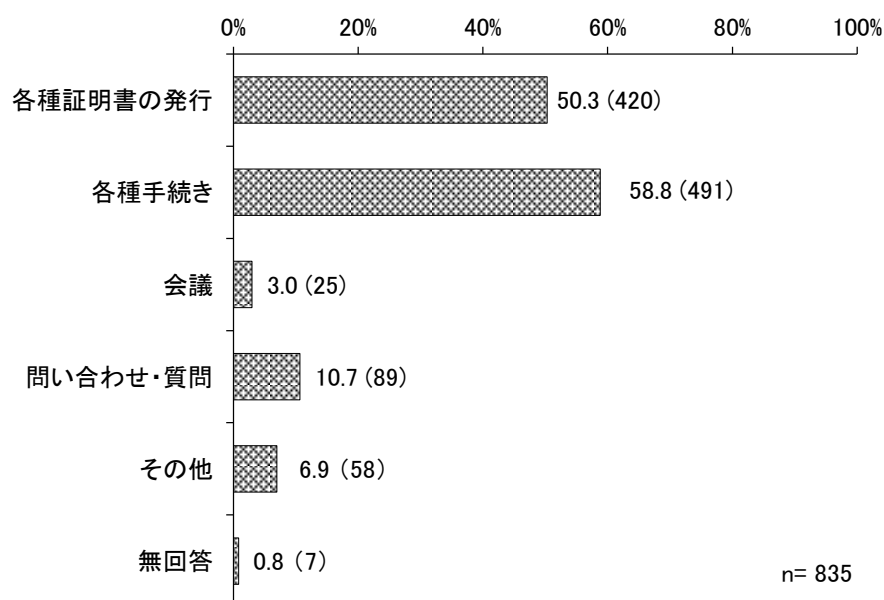
【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	行 っ た こ と が な い	年 に 1、 2 回 程 度	2、 3 カ 月 に 1 回 程 度	月 1、 2 回 程 度	週 1 回 以 上	無 回 答	『 行 っ た こ と が あ る 』
全 体		1025 100.0	176 17.2	601 58.6	163 15.9	63 6.1	8 0.8	14 1.4	835 81.5
居 住 小 学 校 区 別	柳河	99 100.0	14 14.1	56 56.6	21 21.2	6 6.1	0 0.0	2 2.0	83 83.8
	城内	40 100.0	13 32.5	14 35.0	8 20.0	4 10.0	0 0.0	1 2.5	26 65.0
	矢留	59 100.0	8 13.6	37 62.7	8 13.6	6 10.2	0 0.0	0 0.0	51 86.4
	東宮永	47 100.0	8 17.0	26 55.3	8 17.0	3 6.4	1 2.1	1 2.1	38 80.9
	両開	55 100.0	13 23.6	30 54.5	8 14.5	4 7.3	0 0.0	0 0.0	42 76.4
	昭代第一	78 100.0	14 17.9	48 61.5	8 10.3	6 7.7	1 1.3	1 1.3	63 80.8
	昭代第二	48 100.0	12 25.0	25 52.1	6 12.5	3 6.3	1 2.1	1 2.1	35 72.9
	蒲池	115 100.0	18 15.7	75 65.2	14 12.2	5 4.3	1 0.9	2 1.7	95 82.6
	皿垣	30 100.0	2 6.7	16 53.3	9 30.0	3 10.0	0 0.0	0 0.0	28 93.3
	有明	20 100.0	3 15.0	8 40.0	5 25.0	2 10.0	0 0.0	2 10.0	15 75.0
	中島	55 100.0	7 12.7	39 70.9	7 12.7	1 1.8	0 0.0	1 1.8	47 85.5
	六合	36 100.0	7 19.4	22 61.1	5 13.9	1 2.8	1 2.8	0 0.0	29 80.6
	大和	47 100.0	6 12.8	29 61.7	7 14.9	4 8.5	1 2.1	0 0.0	41 87.2
	豊原	46 100.0	9 19.6	27 58.7	8 17.4	1 2.2	0 0.0	1 2.2	36 78.3
	藤吉	97 100.0	16 16.5	59 60.8	18 18.6	3 3.1	1 1.0	0 0.0	81 83.5
	矢ヶ部	19 100.0	5 26.3	7 36.8	5 26.3	2 10.5	0 0.0	0 0.0	14 73.7
	二ッ河	53 100.0	6 11.3	32 60.4	10 18.9	5 9.4	0 0.0	0 0.0	47 88.7
	垂見	31 100.0	7 22.6	21 67.7	2 6.5	1 3.2	0 0.0	0 0.0	24 77.4
	中山	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0
	わからない	22 100.0	3 13.6	14 63.6	5 22.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 86.4
	無回答	24 100.0	3 12.5	14 58.3	1 4.2	3 12.5	1 4.2	2 8.3	19 79.2

(2) 来庁の目的(問35)

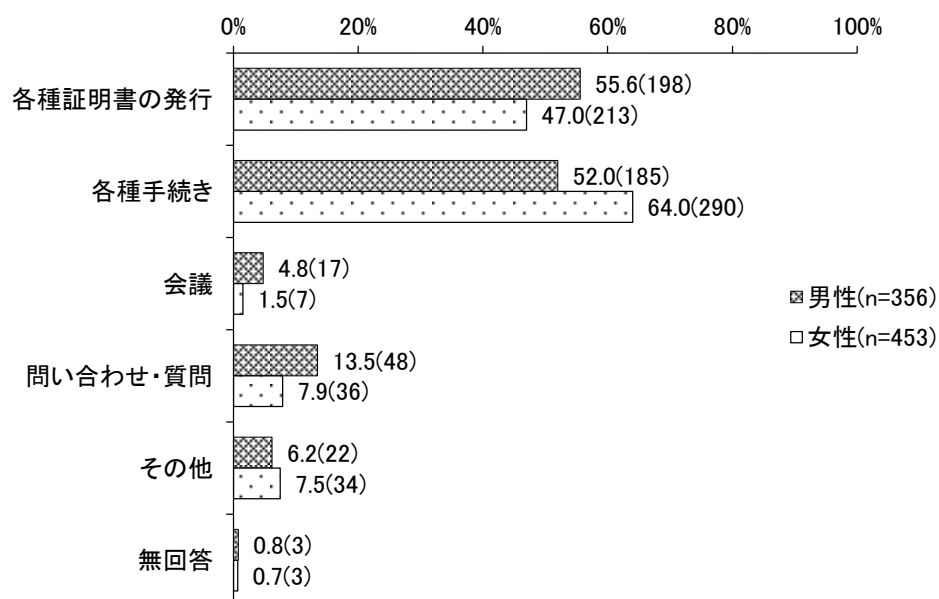
問35. 来庁された目的は何ですか。(〇はいくつでも)

「各種手続き」の割合が58.8%で最も高くなっている。



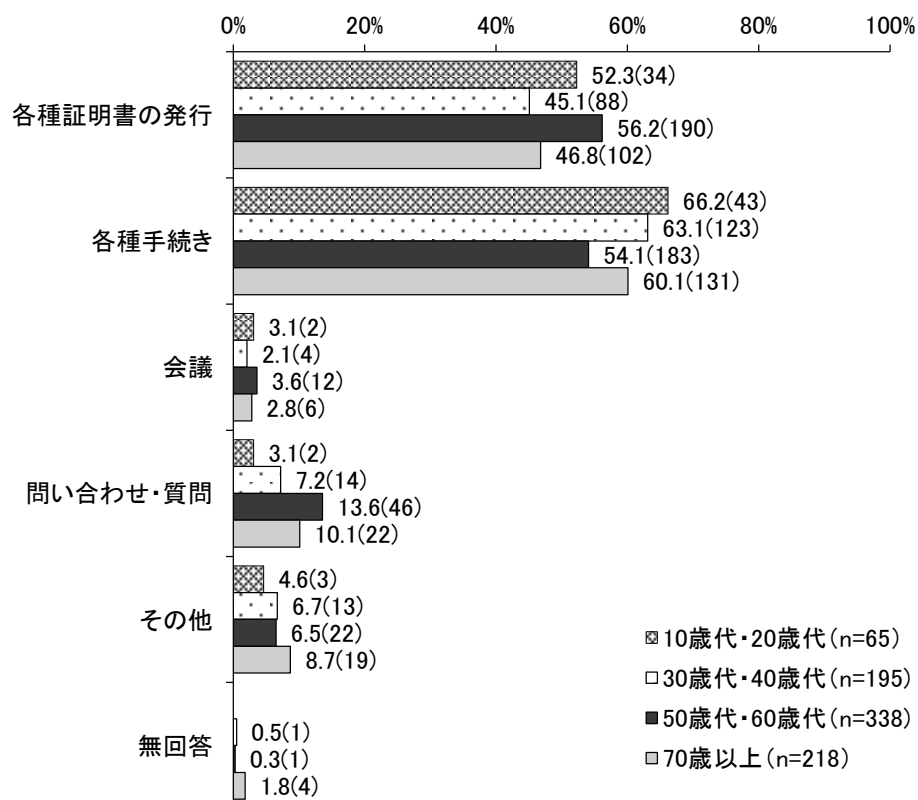
- ▶ この1年以内に来庁したことのある835人の内、「各種証明書の発行」の割合が50.3%、「各種手続き」の割合が58.8%、「会議」の割合が3.0%、「問い合わせ・質問」の割合が10.7%、「その他」の割合が6.9%となっています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、男性の回答で割合が最も高い項目は「各種証明書の発行」(55.6%)で、女性の回答で割合が最も高い項目は「各種手続き」(64.0%)となっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、50歳代・60歳代を除く年代の割合が最も高い項目は「各種手続き」となっています。
- ▶ 50歳代・60歳代で割合が最も高い項目は「各種証明書の発行」(56.2%)となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

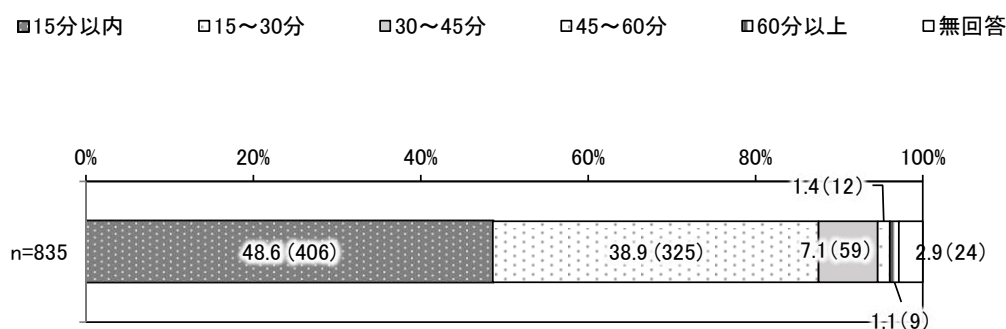
【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	各種 証明書 の発行	各種 手続き	会 議	問 い 合 わ せ ・ 質 問	そ の 他	無 回 答
全 体		1090 100.0	420 38.5	491 45.0	25 2.3	89 8.2	58 5.3	7 0.6
居 住 小 学 校 区 別	柳河	114 100.0	51 44.7	45 39.5	2 1.8	9 7.9	7 6.1	0 0.0
	城内	32 100.0	9 28.1	17 53.1	2 6.3	3 9.4	1 3.1	0 0.0
	矢留	60 100.0	27 45.0	23 38.3	2 3.3	3 5.0	5 8.3	0 0.0
	東宮永	52 100.0	20 38.5	20 38.5	1 1.9	8 15.4	2 3.8	1 1.9
	両開	53 100.0	24 45.3	20 37.7	1 1.9	5 9.4	2 3.8	1 1.9
	昭代第一	76 100.0	28 36.8	38 50.0	1 1.3	4 5.3	5 6.6	0 0.0
	昭代第二	54 100.0	21 38.9	23 42.6	2 3.7	4 7.4	4 7.4	0 0.0
	蒲池	121 100.0	49 40.5	59 48.8	0 0.0	8 6.6	5 4.1	0 0.0
	皿垣	35 100.0	12 34.3	12 34.3	1 2.9	4 11.4	5 14.3	1 2.9
	有明	21 100.0	9 42.9	9 42.9	2 9.5	0 0.0	1 4.8	0 0.0
	中島	58 100.0	27 46.6	25 43.1	0 0.0	2 3.4	4 6.9	0 0.0
	六合	40 100.0	14 35.0	23 57.5	1 2.5	2 5.0	0 0.0	0 0.0
	大和	51 100.0	19 37.3	24 47.1	1 2.0	6 11.8	1 2.0	0 0.0
	豊原	48 100.0	16 33.3	25 52.1	1 2.1	3 6.3	3 6.3	0 0.0
	藤吉	106 100.0	39 36.8	52 49.1	2 1.9	10 9.4	2 1.9	1 0.9
	矢ヶ部	26 100.0	6 23.1	12 46.2	1 3.8	5 19.2	2 7.7	0 0.0
	二ッ河	61 100.0	24 39.3	23 37.7	4 6.6	3 4.9	6 9.8	1 1.6
	垂見	29 100.0	11 37.9	12 41.4	0 0.0	3 10.3	2 6.9	1 3.4
	中山	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	わからない	27 100.0	7 25.9	17 63.0	0 0.0	3 11.1	0 0.0	0 0.0
	無回答	24 100.0	7 29.2	10 41.7	1 4.2	4 16.7	1 4.2	1 4.2

(3) 来庁時の平均所要時間(問36)

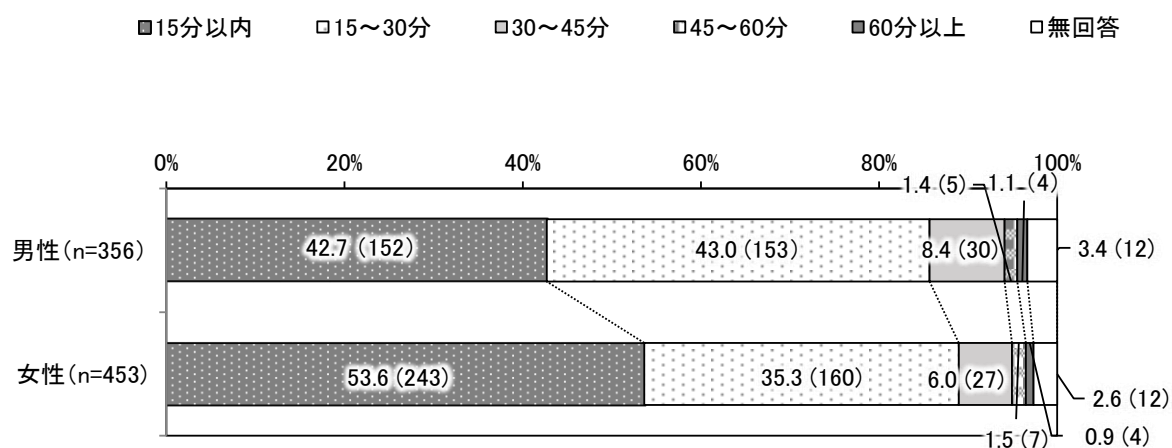
問36. 来庁された際の平均所要時間（滞在時間）はどれくらいでしたか。（○を1つだけ）

「15分以内」の割合が48.6%で最も高くなっている。



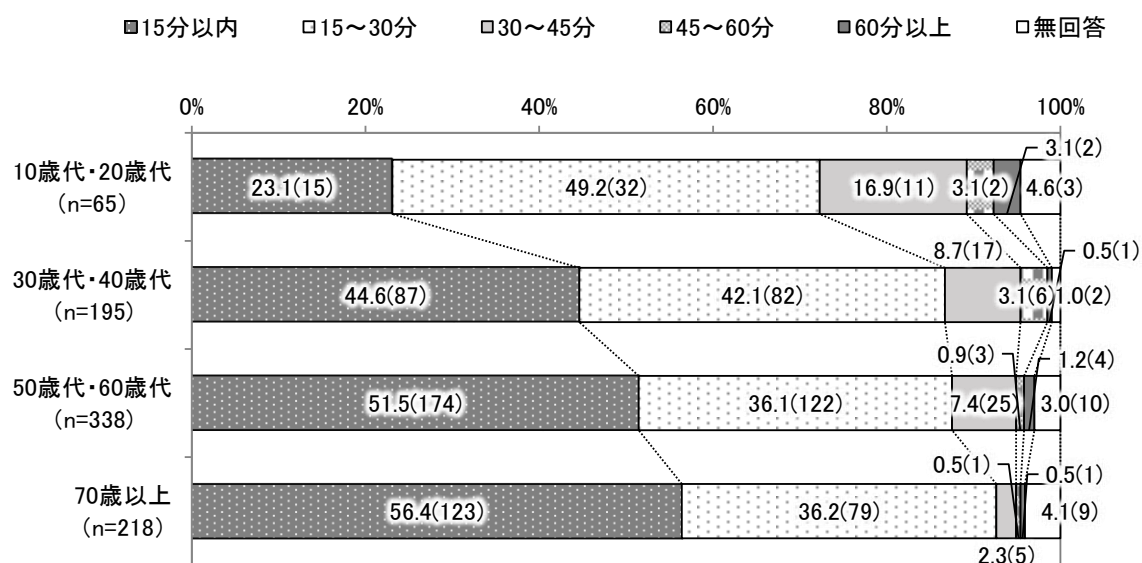
- ▶ この1年以内に来庁したことのある835人の内、所要時間が「15分以内」の割合が48.6%、「15～30分」の割合が38.9%、「30～45分」の割合が7.1%、「45～60分」の割合が1.4%、「60分以上」の割合が1.1%となっています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、男性の回答割合が最も高い項目は「15～30分」(43.0%)、女性は「15分以内」(53.6%)となっています。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、10歳代・20歳代（49.2％）は「15～30分」の割合が最も高く、30歳代・40歳代（44.6％）、50歳代・60歳代（51.5％）、70歳以上（56.4％）は「15分以内」の割合が最も高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

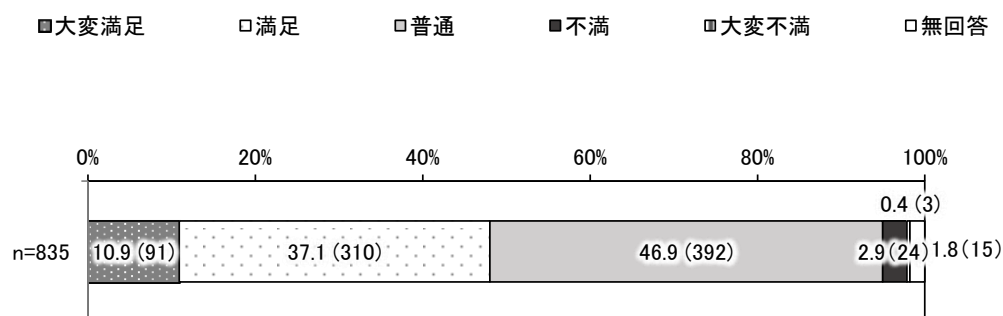
【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	1 5 分 以 内	1 5 分 以 上 3 0 分	3 0 分 以 上 4 5 分	4 5 分 以 上 6 0 分	6 0 分 以 上	無 回 答
全 体		835 100.0	406 48.6	325 38.9	59 7.1	12 1.4	9 1.1	24 2.9
居 住 小 学 校 区 別	柳河	83 100.0	44 53.0	26 31.3	7 8.4	3 3.6	2 2.4	1 1.2
	城内	26 100.0	16 61.5	9 34.6	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	矢留	51 100.0	32 62.7	17 33.3	1 2.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0
	東宮永	38 100.0	21 55.3	12 31.6	3 7.9	0 0.0	0 0.0	2 5.3
	両開	42 100.0	20 47.6	17 40.5	3 7.1	1 2.4	0 0.0	1 2.4
	昭代第一	63 100.0	26 41.3	29 46.0	4 6.3	0 0.0	1 1.6	3 4.8
	昭代第二	35 100.0	18 51.4	12 34.3	1 2.9	1 2.9	0 0.0	3 8.6
	蒲池	95 100.0	41 43.2	44 46.3	5 5.3	2 2.1	0 0.0	3 3.2
	皿垣	28 100.0	14 50.0	11 39.3	1 3.6	0 0.0	0 0.0	2 7.1
	有明	15 100.0	8 53.3	4 26.7	2 13.3	1 6.7	0 0.0	0 0.0
	中島	47 100.0	28 59.6	12 25.5	5 10.6	1 2.1	0 0.0	1 2.1
	六合	29 100.0	13 44.8	13 44.8	1 3.4	1 3.4	1 3.4	0 0.0
	大和	41 100.0	17 41.5	15 36.6	4 9.8	1 2.4	1 2.4	3 7.3
	豊原	36 100.0	23 63.9	11 30.6	1 2.8	0 0.0	1 2.8	0 0.0
	藤吉	81 100.0	31 38.3	36 44.4	10 12.3	1 1.2	0 0.0	3 3.7
	矢ヶ部	14 100.0	7 50.0	6 42.9	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	二ッ河	47 100.0	20 42.6	22 46.8	3 6.4	0 0.0	1 2.1	1 2.1
	垂見	24 100.0	13 54.2	8 33.3	2 8.3	0 0.0	0 0.0	1 4.2
	中山	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	わからない	19 100.0	6 31.6	10 52.6	3 15.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	19 100.0	8 42.1	9 47.4	1 5.3	0 0.0	1 5.3	0 0.0

(4) 来庁時の職員の対応(問37)

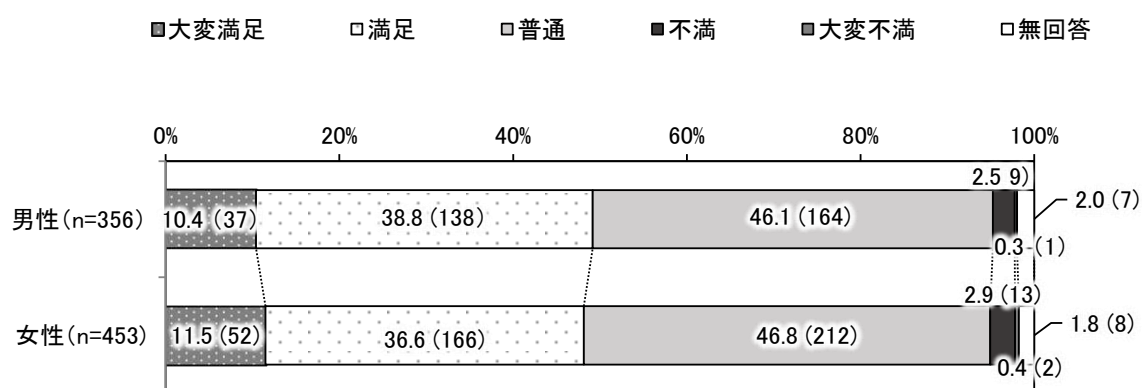
問 3 7 . 来庁された際の職員の対応はどうでしたか。(○を1つだけ)

「普通」の割合が46.9%で最も高くなっている。



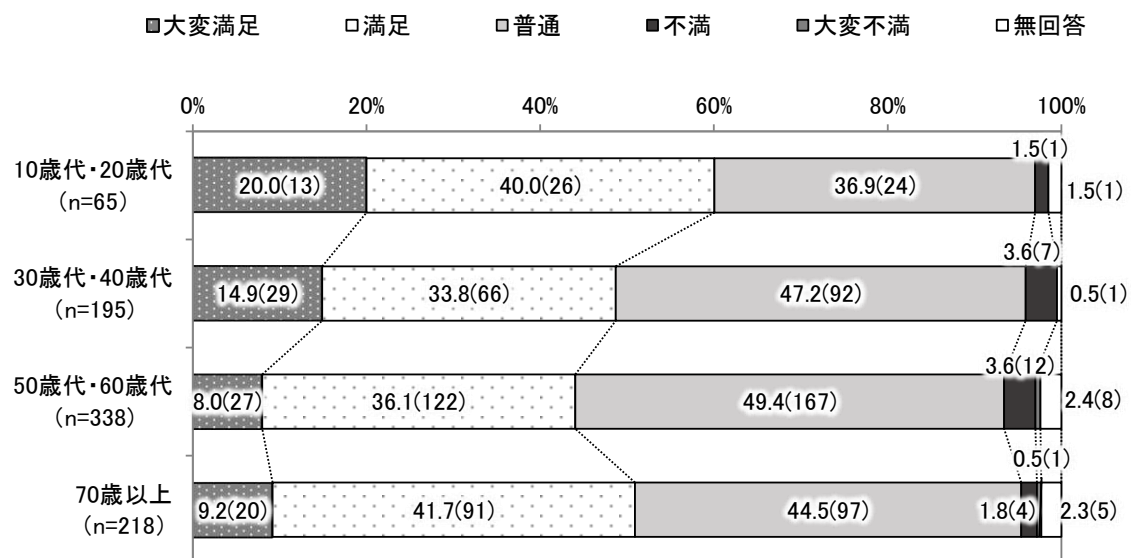
- ▶ この1年以内に来庁したことのある835人の内、対応した職員の印象において「大変満足」と「満足」を合わせた『満足』の割合が48.0%、「普通」の割合が46.9%、「不満」と「大変不満」を合わせた『不満』の割合が3.3%となっています。

【性別】



- ▶ 性別にみると、『満足』の割合は男性（49.2%）、女性（48.1%）で大きな差は見られません。

【年齢別】



- ▶ 年齢別にみると、『満足』の割合が最も高い年代は10歳代・20歳代（60.0%）で、年代が上がるにつれ低くなり、70歳以上で再度高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段:件数、下段:%】

		回答者数 (件)	大変満足	満足	普通	不満	大変不満	無回答	『満足』	『不満』
全 体		835	91	310	392	24	3	15	401	27
		100.0	10.9	37.1	46.9	2.9	0.4	1.8	48.0	3.2
居住小学校区別	柳河	83	12	30	37	2	1	1	42	3
		100.0	14.5	36.1	44.6	2.4	1.2	1.2	50.6	3.6
	城内	26	3	10	12	1	0	0	13	1
		100.0	11.5	38.5	46.2	3.8	0.0	0.0	50.0	3.8
	矢留	51	6	22	22	1	0	0	28	1
		100.0	11.8	43.1	43.1	2.0	0.0	0.0	54.9	2.0
	東宮永	38	0	16	20	1	0	1	16	1
		100.0	0.0	42.1	52.6	2.6	0.0	2.6	42.1	2.6
	両開	42	4	10	25	1	0	2	14	1
		100.0	9.5	23.8	59.5	2.4	0.0	4.8	33.3	2.4
	昭代第一	63	6	21	32	3	0	1	27	3
		100.0	9.5	33.3	50.8	4.8	0.0	1.6	42.9	4.8
	昭代第二	35	3	13	18	0	0	1	16	0
		100.0	8.6	37.1	51.4	0.0	0.0	2.9	45.7	0.0
	蒲池	95	7	39	47	1	0	1	46	1
		100.0	7.4	41.1	49.5	1.1	0.0	1.1	48.4	1.1
	皿垣	28	3	10	13	0	0	2	13	0
		100.0	10.7	35.7	46.4	0.0	0.0	7.1	46.4	0.0
	有明	15	2	5	8	0	0	0	7	0
		100.0	13.3	33.3	53.3	0.0	0.0	0.0	46.7	0.0
	中島	47	5	16	24	1	0	1	21	1
		100.0	10.6	34.0	51.1	2.1	0.0	2.1	44.7	2.1
	六合	29	2	16	11	0	0	0	18	0
		100.0	6.9	55.2	37.9	0.0	0.0	0.0	62.1	0.0
	大和	41	3	16	17	2	1	2	19	3
		100.0	7.3	39.0	41.5	4.9	2.4	4.9	46.3	7.3
	豊原	36	3	16	15	1	0	1	19	1
		100.0	8.3	44.4	41.7	2.8	0.0	2.8	52.8	2.8
	藤吉	81	14	26	34	4	1	2	40	5
		100.0	17.3	32.1	42.0	4.9	1.2	2.5	49.4	6.2
	矢ヶ部	14	1	7	6	0	0	0	8	0
		100.0	7.1	50.0	42.9	0.0	0.0	0.0	57.1	0.0
	二ッ河	47	9	16	19	3	0	0	25	3
		100.0	19.1	34.0	40.4	6.4	0.0	0.0	53.2	6.4
	垂見	24	1	8	13	2	0	0	9	2
		100.0	4.2	33.3	54.2	8.3	0.0	0.0	37.5	8.3
	中山	2	0	1	1	0	0	0	1	0
		100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	わからない	19	4	6	8	1	0	0	10	1
		100.0	21.1	31.6	42.1	5.3	0.0	0.0	52.6	5.3
	無回答	19	3	6	10	0	0	0	9	0
		100.0	15.8	31.6	52.6	0.0	0.0	0.0	47.4	0.0

IV. 参考資料

1. 自由記述

(1) 子育てがしやすい環境への自由回答(問9)

問9. 柳川市が子育てしやすい環境であるために、どのようなことを充実させるべきだと思いますか。

遊べる場所（公園、室内の遊び場等）の確保や金銭的援助に関する意見が多くなっている。

■子育てをしやすい環境に関する意見

キーワード	集計
遊べる場に関する事	98
金銭的援助(給付金等)	94
親への支援に関する事	59
養育費・保育費・教育費に関する事	52
医療費に関する事	46
子供を預けられる場所に関する事	45
安全な環境に関する事	23
教育環境に関する事	13
医療機関に関する事	8
一人親支援に関する事	3

- ▶ 子どもが放課後に遊べる場所や、雨天時に室内で遊べる場を確保してほしい等の意見が多く、次点では金銭的援助（給付金等）をするべきという意見が多く集まりました。
- ▶ 以下、記述内容を紹介します。（個人が特定されるような意見や「特になし」といった質問内容に沿わない意見は記載しておりません。）

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q9. 柳川市が子育てしやすい環境であるために、どのようなことを充実させるべきだと思いますか。(1/11)			
柳河	・ 公園のトイレをきれいにしてほしい。	女性	10歳代
柳河	・ 小さい子どもたちの支給は万全だと思いますが、高校生や大学生の支援があまり行き届いていない為、支援がしっかり行き届くような窓口などを増やす。	女性	20歳代
柳河	・ 通学路がせまい、学校が遠い。	女性	20歳代
柳河	・ 保育料を安くしたりしてほしい。	男性	20歳代
柳河	・ 金銭面での援助がより充実して欲しい。	女性	30歳代
柳河	・ 子育てサポートや住む地域の安全性、教育環境だと思います。	女性	30歳代
柳河	・ 第2子以降の保育料の無償化（所得制限なし）、産後ケア事業の充実、養育費立替支援事業。	女性	30歳代
柳河	・ 保育料無償化	女性	30歳代
柳河	・ 一人親支援	男性	30歳代
柳河	・ 給食費の無償化、乳幼児に対する子育て環境の充実（バスターミナルチケットの配布など）	男性	30歳代
柳河	・ 遊び場が少ない。	男性	30歳代
柳河	・ みやま市は高校生は医療費は無料でも柳川はお金がかかる。高校、大学が一番お金がかかるのでどうにかして欲しい。みんなで子育てするという意識が低い。	女性	40歳代
柳河	・ 若い人も集まれるような町づくり	女性	40歳代
柳河	・ 働き方改革（親ができるだけ早く家庭に帰ることができるようにする）	女性	40歳代
柳河	・ 買い物になかなか行きづらい（小さな子を連れて大変、急な熱などで外出できない）ので、定期便（オムツや麦茶など）サービスなどあれば助かる。タクシーチケットなど。現役のママさんと意見交換会などを設けると、生の情報を得られると思います。	女性	40歳代
柳河	・ 病院や保育施設の充実	女性	40歳代
柳河	・ 18才まで学費・医療費の無償化。広く子供達が遊べるような公園をもっと多くしてほしい。	男性	40歳代
柳河	・ 一人親家庭への支援をもっと充実させる。	男性	40歳代
柳河	・ 18才まで医療費無料	女性	50歳代
柳河	・ まずは大人がゆっくりとした時を過ごすことができるといいです	女性	50歳代
柳河	・ 安全で子供がのびのびと遊べる環境の施設をつくる	女性	50歳代
柳河	・ 医療費を高校まで無償、又は医療費の補助。	女性	50歳代
柳河	・ 若い子育て世代が安心して住める仕事の改革。三世同居でなくてもゆとりをもって生活できる経済基盤づくり。	女性	50歳代
柳河	・ 公園の美化管理の強化・学生（自転車）の通行路を確保し、事故などないようにして欲しい。	男性	50歳代
柳河	・ 教育の質の高さ。	男性	50歳代
柳河	・ 保育園を増やしたり、職場や商業施設等に保育所を設けること。	男性	50歳代
柳河	・ 「子育て支援施設このゆびとまれ」等の充実	女性	60歳代
柳河	・ 急に何かあった時に、相談できる人や場所を分かりやすくしてあげて欲しい。	女性	60歳代
柳河	・ 公園が少ない。	女性	60歳代
柳河	・ 対話が中心	女性	60歳代
柳河	・ 町内が仲良くする事、今は子供達に話しかけづらい。	女性	60歳代
柳河	・ 地域の行事を増やすことより、個々の能力を後押しするような行政の仕掛けが必要です。	男性	60歳代
柳河	・ 短時間でも預かってくださる施設があれば助かると思います。	女性	70歳以上
柳河	・ 登下校の安全	女性	70歳以上
柳河	・ 保育士さんにストレスを溜めさせない環境にする事	女性	70歳以上
柳河	・ 冒険公園のような、子どもがのびのび遊べる場と、そこで見守る人材がいる居場所があればいいと思う。	女性	70歳以上
柳河	・ 子供会費が高い。	女性	不明
城内	・ 子供と遊べる場所を増やす。	男性	10歳代

IV. 参考資料

居住校区		主な記述内容	性別	年齢別
Q9.		柳川市が子育てしやすい環境であるために、どのようなことを充実させるべきだと思いますか。(2/11)		
城内		・ 公園の整備、歩行者道路の整備。	男性	30歳代
城内		・ 子ども（高校生以下）の習い事やスポーツ、留学等チャレンジするための支援。補助金等。柳川市出身となる子どもの将来への投資となる。	男性	30歳代
城内		・ 子供の遊び場の充実。補助金など	男性	30歳代
城内		・ 公園を拡張、トイレの整備（子供を狙う犯罪者が多いので）開けた公園やトイレを作り、安全に配慮する。	女性	40歳代
城内		・ まず子育て以前の産みやすい環境や住みやすい環境を整える事が大事だと思います。住みやすい、産みやすい町にする為には第一に制度（充実した）、手当て、設備の導入。	女性	50歳代
城内		・ 保育料の見直し。	男性	50歳代
城内		・ 公園の設備や土の上で遊べる場所。	男性	50歳代
城内		・ 通学路に歩道が無いのは危険。防犯カメラも無いのは不安。	男性	50歳代
城内		・ 病児保育の拡充。もっと利用できる施設を増やして、保護者が安心して子育てができる環境を整えること。	男性	50歳代
城内		・ 子育て中の家庭へ家事支援などのサービス事業を行う。（保育施設等への送迎、洗濯、掃除など）市からサービス券などを支給し、使用してもらう。	女性	60歳代
城内		・ 住んでいる地区のコミュニケーションを充実させる。	女性	60歳代
城内		・ 少子化対策と若い世代の柳川市への呼び込み。	男性	60歳代
城内		・ 子育て以前の前提として、安心安全な暮らしができる環境が必要。	答えたくない	60歳代
城内		・ 小児科病院を増やす	不明	70歳以上
城内		・ 児童の歩道を完備してもらいたい。車道のすぐそばを通学している個所がいっぱいある。	女性	70歳以上
城内		・ 子供と大人のふれあい。	女性	70歳以上
城内		・ 道路の整備（通学道路）、給食費を公費で。	女性	70歳以上
城内		・ 安全な公園や安心して預けられる施設、教育の補助金	男性	70歳以上
矢留		・ 給食費を無償化してほしい。	女性	20歳代
矢留		・ 若い人がよく目にするSNSを使って柳川市の子育て支援についてもっと発信する。	女性	20歳代
矢留		・ 手当や、保育園、幼稚園を増やしたり、子供が遊べる施設を増やすといいと思う。	女性	20歳代
矢留		・ 遊び場（公園の整備、草・遊具が古い等）・他の市町村と比べて支援が少ない。ただ、保育園等は入りやすいと感じるので、その点は◎	女性	30歳代
矢留		・ 病後児保育の拡大（病院受診時間拡大）子どもむけイベントの頻度増やしてほしい（コンサートなど）	女性	30歳代
矢留		・ 公園を増やす。	男性	30歳代
矢留		・ 母親へのサポート	男性	30歳代
矢留		・ 地域行事の見直しが必要。現代は週末も仕事や、子供の行事で地域行事に参加出来ないことが多い	女性	40歳代
矢留		・ 公園など遊ばせる場所の確保や子育て補助など。	男性	40歳代
矢留		・ お金	男性	40歳代
矢留		・ 育休の徹底	男性	40歳代
矢留		・ 若い人が住む街をめざすべき。	男性	40歳代
矢留		・ 保険料や学費、学校給食費など、親の経済的負担を軽くなる制度を取入れてほしいと思う。	男性	40歳代
矢留		・ 子育ての前に若い人が柳川を出ていく。若い人が住む街をめざすべき。	男性	40歳代
矢留		・ 医療、食、住に関する充実	女性	50歳代
矢留		・ 医療費の補助	男性	50歳代
矢留		・ 雇用場の誘致及び若年層の定住できる環境及び保障	男性	50歳代
矢留		・ 保険代の無償化または安くする。	男性	50歳代
矢留		・ 医療費	女性	60歳代
矢留		・ 子供のことを一番に考えていけばよいと思う。	女性	60歳代

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q9. 柳川市が子育てしやすい環境であるために、どのようなことを充実させるべきだと思いますか。(3/11)			
矢留	・ 他の市に比べて手当がない。	女性	60歳代
矢留	・ 幼い時に芸術に触れる機会が多いと良いと思います。柳川でもやっているかもしれませんが、都会では幼児向けのコンサートなどもあるので、うらやましいです。	女性	60歳代
矢留	・ 企業誘致。出来ないなら、柳川駅近くに無料駐車場を作る。	男性	60歳代
矢留	・ 病児保育の充実（施設の拡充、費用の補助など）親が安心して働ける環境が必要。	男性	60歳代
矢留	・ 保育園の数は多い方だと思う。もっと充実した公園を造る。	男性	60歳代
矢留	・ 小学校が統廃合で少なくなるから。	女性	70歳以上
矢留	・ 保育者の人数が多いと良い。	女性	70歳以上
矢留	・ 教育、給食費を無料化	男性	70歳以上
東宮永	・ 公共交通機関、公園の設置	女性	20歳代
東宮永	・ 小学校の近くに住んでいるが、小学校が合併するという話を聞いて、自分の子が小学生になった時が心配、合併しないでほしい。	女性	20歳代
東宮永	・ 子供達の安全、教育、遊び、支援	答えたくない	30歳代
東宮永	・ 共働き夫婦の支援として園児が病気になった時の預かり所の確保。	女性	50歳代
東宮永	・ 手当等を充実させると良いと思います。	女性	50歳代
東宮永	・ 住む地域の安全性・教育環境 周辺の施設・親が住みやすい環境など。	女性	50歳代
東宮永	・ 保育施設の充実、医療補助、出産・育児手当の増額	女性	50歳代
東宮永	・ 子供達の為の公園、プールなどの施設	女性	60歳代
東宮永	・ 地域の人達と交流が出来る為にも、地区に予算を組んで助成金を出す等の対策が必要だと思う。	女性	60歳代
東宮永	・ 保育園の待機児童がなくなるように対策を行う。	女性	60歳代
東宮永	・ 行政の政策に期待する。	男性	60歳代
東宮永	・ 補助	男性	60歳代
東宮永	・ 教育費の負担を減らす。	女性	70歳以上
東宮永	・ おむつの無償化など	男性	70歳以上
東宮永	・ 地域に子供達と親がともに遊んだり、運動できるような総合運動場の作成が必要。	男性	70歳以上
東宮永	・ 柳川市出身者の方で文学・スポーツ等で著名な人も多いと思います。子供の皆様に講演会等を沢山開催して柳川市民の楽しい生活ぶり、そして頑張り方等を理解させて、子供の皆様に充実した体験を身に付けて頂きたい。	男性	70歳以上
両開	・ 医療費成年迎えるまで無料、学費（高校、大学）支援	男性	10歳代
両開	・ スーパーに行っても、子供を乗せるカートがないので、子供を連れて買い物するのが困難。	女性	20歳代
両開	・ 補助金	女性	20歳代
両開	・ 補助金、バスの運営	女性	20歳代
両開	・ 子育て世代が働きやすい環境づくり	女性	30歳代
両開	・ 室内で安全に遊べる場所が少ない。	女性	30歳代
両開	・ 働いていなくても、子どもを保育所などに預けられる制度など。	女性	30歳代
両開	・ お金の支援	男性	30歳代
両開	・ 金と愛	男性	30歳代
両開	・ 高校卒業するまで、医療費を無料にしてほしい。	女性	40歳代
両開	・ 小中学校の給食費の無償化を行っている自治体が増えているので柳川市も頑張ってもらいたい。子ども医療の助成対象を高校生まで拡大してほしい。	女性	40歳代
両開	・ 病児保育	女性	40歳代
両開	・ 子どもが流入するような市の政策が、それも大胆にするべき。少子化対策、中小企業支援（特に人材）は柳川市の大きな課題。	男性	40歳代
両開	・ 小児科が柳川市には少ないので増やして欲しい。	男性	40歳代
両開	・ いじめ問題への対応。	男性	40歳代
両開	・ もう少し子育て世代に補助（助成）とかあったほうがよいと思います。	女性	50歳代

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q9. 柳川市が子育てしやすい環境であるために、どのようなことを充実させるべきだと思いますか。(4/11)			
両開	・ 子供医療費の無償化を18歳まで拡大してほしい。児童手当（子ども手当）を18歳まで拡大してほしい。大学生の子供の特定健診・がん検診をしてほしい。	女性	50歳代
両開	・ 住んでいる所など周辺の治安や安全に遊べる場所とかなど。	女性	50歳代
両開	・ 親子のふれ合い場がない。	女性	50歳代
両開	・ 18才まで医療費無料	女性	60歳代
両開	・ 子供が遊びやすい場所がほしい。習い事が気軽にできる場所が欲しい。	女性	60歳代
両開	・ 経済面の支援	男性	60歳代
両開	・ 子どもが安全に遊べるように、公園の手入れをしてもらいたい。	男性	60歳代
両開	・ 若い人の高収入 仕事の確保	男性	70歳以上
両開	・ 真心	男性	70歳以上
昭代第一	・ 子供達が学童保育にかかわらず、防犯、環境に配慮し、柳川駅周辺だけではなくて、お年寄りが多くなり各地域での公民館などを利用し、交流を増やす。	女性	20歳代
昭代第一	・ 出産や保育料の負担軽減や支援金	男性	20歳代
昭代第一	・ 医療費	女性	30歳代
昭代第一	・ 金銭的補助（例：給食費の無償化、育児用品の購入クーポンなど）	女性	30歳代
昭代第一	・ 子育て世帯への手厚い補償	女性	30歳代
昭代第一	・ 子育て中の親の要望や意見を聞いて、早急に行動できるような行政の仕組み。	女性	30歳代
昭代第一	・ 学校教育の自由度の上昇（ホームスクーリングなどの多様性）、子育て支援金	男性	30歳代
昭代第一	・ 子育て手当支給	男性	30歳代
昭代第一	・ お金	女性	40歳代
昭代第一	・ 医療費、給食費を無料にしてほしいです。	女性	40歳代
昭代第一	・ 運動ができる体育館施設の充実。公民館など身近な施設も子供たちが安心して遊べるような環境になればと思います。今は遊びに行く候補にも入っていない。	女性	40歳代
昭代第一	・ 仕事と家庭を両立しやすいように、企業の活性化を進める	女性	40歳代
昭代第一	・ 子育てしながら働きやすい環境を充実させてもらいたい。	女性	40歳代
昭代第一	・ 子供の給食費無料	女性	40歳代
昭代第一	・ 発達障がいなど生きていくのに助けが必要な子どもへの理解が必要だと思う。	女性	40歳代
昭代第一	・ 医療費（18歳まで無料など）教育費	男性	40歳代
昭代第一	・ 子供の医療費、高校生まで0円（無料）	男性	40歳代
昭代第一	・ 時代に合った政策をしてください。	男性	40歳代
昭代第一	・ 医療費	女性	50歳代
昭代第一	・ 子供食堂や一時保育所、キッズルームやコーナー常に子供がいても、居場所がある状況を大人が作る。	女性	50歳代
昭代第一	・ 若い方たちが、地場で安定した収入を得られるような環境をつくること。	女性	50歳代
昭代第一	・ 相談事とかしやすいといいなと思った。	女性	50歳代
昭代第一	・ 子供向けのショッピングモール等の大型施設をつくる。	男性	50歳代
昭代第一	・ 遠くまで行かなくても校区内で遊べる場所	女性	60歳代
昭代第一	・ 公園	女性	60歳代
昭代第一	・ 地域のコミュニティーをもっと増やす。その為のしくみ・施策が必要と思います。	女性	60歳代
昭代第一	・ 園の人手不足の解消に力を入れる。一時預かりの充実。	男性	60歳代
昭代第一	・ 子育て世代への住宅、支援の充実。	男性	60歳代
昭代第一	・ 子供たちの給食費が無料になるといいですね。	男性	60歳代
昭代第一	・ 子育てしている親のお金・税金等、保育縁金の補助、小中高の学費補助。 ・ 住まいなど市営住宅・県営住宅賃金の補助。新築の補助をしてほしい。	女性	70歳以上
昭代第一	・ 医療費、学費の援助を厚くする。	男性	70歳以上
昭代第二	・ 夜間の救急病院を開設するべき。	女性	10歳代
昭代第二	・ 小学生が遊びに行ける所に公園がない。	男性	10歳代
昭代第二	・ 公園・遊具を増やす	男性	20歳代

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q9. 柳川市が子育てしやすい環境であるために、どのようなことを充実させるべきだと思いますか。(5/11)			
昭代第二	・ 医療費の補助（高校生18才まで）、夜間の子どもが受診できる病院、進学時のお祝金や補助。	女性	30歳代
昭代第二	・ 高校生までの子供に対する金銭的な支援、子育て世代への補助。	女性	30歳代
昭代第二	・ 室内で遊べるところが欲しい	女性	30歳代
昭代第二	・ 保育料の引き下げ等の支援・拡充していただいたら助かります。	男性	30歳代
昭代第二	・ 教育の無償化	男性	40歳代
昭代第二	・ 税金が高い	男性	40歳代
昭代第二	・ 私の子育ての頃よりママ友のつながりが出来ていると思う。ママ達がお昼寝ができる時間に、マッサージやカイロプラティック等を受けられると気分転換になると思う（パパでもOK）	女性	50歳代
昭代第二	・ 放課後でも安心して遊びに行ける場所。	女性	50歳代
昭代第二	・ 子育てに関する事、子供が生まれた時の手当てなど。	男性	50歳代
昭代第二	・ 各地区に（人口の多少にかかわらず）遊具のある公園や広場が欲しい。安全確保で。	女性	60歳代
昭代第二	・ 給食費（小・中学校）、医療費（高校まで）を無償にしてほしい。	女性	60歳代
昭代第二	・ 公園。施設。	女性	60歳代
昭代第二	・ 手厚い子供給付金。奨学金の無償化。	女性	60歳代
昭代第二	・ 正しい子供に育つように願う。	女性	60歳代
昭代第二	・ 中学生、高校生の子育て世代への住民税の税率を下げる等（0才～12才）までは国での保障が充実していいと思う。	女性	60歳代
昭代第二	・ 土・日・祝だけの休日診療ではなく、夜間の当番医が欲しい。	女性	60歳代
昭代第二	・ 大企業の複数誘致。	男性	60歳代
昭代第二	・ 18才迄の給食費と医療費の完全無償化を切に願います。	女性	70歳以上
昭代第二	・ 子供達を見守り	女性	70歳以上
昭代第二	・ 保育園のサービスよい。	女性	70歳以上
昭代第二	・ 親の仕事安定、しっかりした企業があれば。	男性	70歳以上
昭代第二	・ むつごろうランドの近くに店がないから昼食ができない売店を作って欲しい。	男性	70歳以上
昭代第二	・ 広報活動を積極的にやるべき。	男性	70歳以上
昭代第二	・ 子供の為に公金を入れる。	男性	70歳以上
蒲池	・ 公共の施設をもっと増やすべきだと思う。（公園や遊び場）	女性	10歳代
蒲池	・ 治安を良くする。	女性	10歳代
蒲池	・ まだ子どもがいないので具体的には分かりませんが、保育園にスムーズに入れたり、医療費がかからなかったりしたら育てやすいのかなあとと思います。	女性	20歳代
蒲池	・ 子どもがいないので、現在のシステムを知らないがおむつの無料回収や助成金の充実が必要だと思う。	女性	20歳代
蒲池	・ 小さな子供でも室内で遊べる施設を増やしてほしい。他の市町村でも行っているような給付金がない。ベビーカーごと私用できるような広いトイレが少ない。福岡市のおむつ定期便のような制度がほしい。	女性	20歳代
蒲池	・ 予防接種等の会場、サークルなどを可能であれば各校区に設置、屋内遊具施設の充実化。	女性	20歳代
蒲池	・ 支援金	男性	20歳代
蒲池	・ 金銭的な補助	女性	30歳代
蒲池	・ 室内で遊べる場所、保育園の充実、小学校の放課後児童クラブの入りやすさ。	女性	30歳代
蒲池	・ 周辺施設を充実して頂く、公園やレジャー施設まで距離がある。近所に公園がない。（古い遊具しかなく危険）	女性	30歳代
蒲池	・ 通学路で車の往来が激しい道に歩道が出来れば安全でいいなと思います。	女性	30歳代
蒲池	・ 企業誘致	男性	30歳代

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q9. 柳川市が子育てしやすい環境であるために、どのようなことを充実させるべきだと思いますか。(6/11)			
蒲池	・ 学童に入れない子がいるので、学童の増加や一つの施設で学童と習い事できる教室、勉強（宿題など）ができる場所があれば、移動も少なくお迎えの負担が楽になると思います。 ・ 雨の日や猛暑の日でも室内で遊べる施設	女性	40歳代
蒲池	・ 子供の医療費の助成を拡大して欲しい（高校生まで）	女性	40歳代
蒲池	・ 若い世代の人達が長く住んでもいいように空家に住んでくれる方を募集したり、子育てに力を入れているPRをしていくべきだと思う。高齢者が多すぎる。最低賃金の安さを改革すべき。	女性	40歳代
蒲池	・ 小さなお子さんとお両親（とくにママ）が、楽しく過せるコミュニティが増えるといいと思います。ゲームやネットではなく、すばらしい自然の環境があるのに、当たり前になってるけど、市内でキャンプや星を見たり、水遊びしたり、子供が自主的に外に出るプランを作って家と家族だけではない生活を楽しめるように。	女性	40歳代
蒲池	・ 少子化問題、子供を生んでも安心して子育て出来るような支援。	女性	40歳代
蒲池	・ 病気の子供を預かってくれる所を増してほしい。	女性	40歳代
蒲池	・ 子育て支援や道路、学校	男性	40歳代
蒲池	・ 保育料の軽減	男性	40歳代
蒲池	・ 3才未満も保育料の無償化。育休は1才までなので、1才から保育園に預けないといけないが保育料が高い。	女性	50歳代
蒲池	・ 核家族も多く子育て、教育は親がしますが、小さい頃から人と関わるのが当たり前とする環境にし、そういう場を設けてもらいたいです。	女性	50歳代
蒲池	・ 学童保育の拡充。	女性	50歳代
蒲池	・ 子どもが安心して遊べる公園などを充実したら良いと思う。	男性	50歳代
蒲池	・ 子供に対するハード面（施設）と金銭面の補助。	男性	50歳代
蒲池	・ 他の環境がどうなのかわからないが、例えば、学童に希望した場合は、皆が入れる環境を作って欲しい。	男性	50歳代
蒲池	・ 医療・保育・教育の無償化。	女性	60歳代
蒲池	・ 学費無償化、医療費の負担を無償化。	男性	60歳代
蒲池	・ 託児所等の充実	男性	60歳代
蒲池	・ 学童保育の充実、地区ごとの遊び場の充実。	女性	70歳以上
蒲池	・ 保育園の充実、高校の授業料無料化、小中学校の給食の無償化。	女性	70歳以上
蒲池	・ 産業の充実	男性	70歳以上
蒲池	・ 1.住まい（住宅） 2.利便性 3.働く場所（近く必要） 4.仲間づくり 5.子供への援助、体験、支援他	男性	70歳以上
蒲池	・ 各地区の学校を統合しない方が良い。	男性	70歳以上
蒲池	・ 子供の為のインフラ設備向上	男性	70歳以上
蒲池	・ 子供を守る為のパトロール	男性	70歳以上
蒲池	・ 地区の人達の朝の挨拶が少なく、子供達にも挨拶だけでも良いと思う。	男性	70歳以上
血垣	・ 働きやすい環境が整っている、公園やレジャー施設が近くにある。	女性	20歳代
血垣	・ 出産後の利用できるサービスについてもっと広めること。室内施設をもっと小学生でも利用できる施設があると嬉しい。	女性	30歳代
血垣	・ ファミリーサポートセンターの活用と低額利用（もっと）、保育所の充実（中身も）	女性	40歳代
血垣	・ 産後里帰りや帰れない事情ある時1ヶ月など利用できる施設があるといい。	女性	40歳代
血垣	・ 教育費や医療費の補助 ・ 公園や施設の充実（大規模な公園、運動場）	男性	40歳代
血垣	・ 小中学校の給食費負担の軽減、できれば無償化	女性	50歳代
血垣	・ 子供の医療費無料（中学生まで）	男性	50歳代
血垣	・ 子育ての医療保障の拡充。子供たちが遊べる施設を増やす。	女性	70歳以上
血垣	・ 小中学校再編・残された小学校の体育館グラウンドは避難所、レクリエーションの場として残すべきだと思います。	男性	70歳以上

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q9. 柳川市が子育てしやすい環境であるために、どのようなことを充実させるべきだと思いますか。(7/11)			
有明	・ 子どもが遊べるところを作る。	男性	10歳代
有明	・ 給付金	男性	20歳代
有明	・ オムツの無料配布	男性	30歳代
有明	・ 子ども医療費助成	女性	40歳代
有明	・ 金銭面での支援	男性	40歳代
有明	・ 現在進められている小・中学校統合を円滑にする。他県からの移住の方を増やす。	女性	50歳代
有明	・ 共働き世帯への支援	女性	50歳代
有明	・ 外灯を増やしてほしい。	女性	60歳代
有明	・ 公園を整備してほしい。	男性	60歳代
中島	・ 子どもの医療費の補助、子どもの居場所を作る。	女性	10歳代
中島	・ 子育てのための経済的支援、保育園・学童の充実、オムツなど消耗品の支給、授乳スペース・おむつ台の設置。	女性	20歳代
中島	・ 子どもが居る人も居ない人も働きやすい環境を整え、出産や育児で経済的自立を奪われないようにするべきだと思います。	女性	30歳代
中島	・ 学童や保育園などの誰でも利用、安心して女性が働ける為の充実した環境が多くある事を望みます。	女性	40歳代
中島	・ 子育て支援拠点施設を増やす。スクールゾーンを安全なものにする。(自転車通学も歩きの通学も)	女性	40歳代
中島	・ 自然が多いところはいいが、草木の手入れがもう少しいいと思う。	女性	40歳代
中島	・ 医療費がかかる又高い。 ・ 公園が少ない。	男性	40歳代
中島	・ 給食費の無料化・高校生までの医料費の低減など。	男性	40歳代
中島	・ お金よりも病気やお母さんがリフレッシュできるように安心して子供を預けられる場所があれば助かる	女性	50歳代
中島	・ 公園など子供の安心して遊ぶ施設が少くないので充実させるべき。 ・ 医療補助（ワクチン等の補助）などの支援。	女性	50歳代
中島	・ 公園や親子が楽しめる施設 育児にかかる費用のサポート。	女性	50歳代
中島	・ 週1日でもお手伝いさん（家政婦）を依頼できる様にする等	女性	50歳代
中島	・ 八女市のように中学生まで医療費無料。 ・ 教育現場の質の向上、子どもに関わる大人側の意識改革。	男性	50歳代
中島	・ 学校の統合を縮小すべきだった。	不明	60歳代
中島	・ 若い人々が住みたくなる事が1番だと思います。魅力のある仕事だったり、若者（子育て家庭）の優遇されるような手当てだったり、公的だけでなく保育環境の充実できればと思います。	女性	60歳代
中島	・ 保育園を無料にすればいいと思う。	女性	60歳代
中島	・ 緑豊かな広い公園	女性	60歳代
中島	・ 給食費の無償化	男性	60歳代
中島	・ 若者が就業することができる産業誘致（ITに地域性はない）その為の子育てがしやすい環境整備。	男性	60歳代
中島	・ 公園	女性	70歳以上
中島	・ 声かけ。若い人、老いた人との声かけが子育てに繋がると思います。	女性	70歳以上
中島	・ 地域の人たちの思いやりも。	女性	70歳以上
中島	・ 子供達が遊べる公園を作してほしい。	男性	70歳以上
六合	・ 保育園など子供を預ける場所の信頼できる先生	女性	20歳代
六合	・ 公園や子どもが遊べる環境を整える。	女性	30歳代
六合	・ 若い親世代の雇用の確保や福岡市熊本市への通勤のしやすさ。 ・ 親との同居以外の核家族向け住居の提供。	男性	30歳代
六合	・ もう少し子供達が安全に遊べる公園を増やしてほしい。 ・ 子育てサポートを充実させるべき	女性	40歳代

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q9.	柳川市が子育てしやすい環境であるために、どのようなことを充実させるべきだと思いますか。(8/11)		
六合	・ 医療費・給食費無償化	女性	40歳代
六合	・ すべて無料	男性	40歳代
六合	・ 交通の便	男性	50歳代
六合	・ 福利厚生のある企業の誘致。	男性	50歳代
六合	・ 公園の拡充。小学校跡を、そのまま使える様にしてほしい。	男性	60歳代
六合	・ 挨拶運動や、ボランティア活動など人との交流を充実できると良いと思います。	女性	70歳以上
六合	・ 公園などの遊び場、児童手当の充実	男性	70歳以上
大和	・ 1人親のための扶養手当	女性	20歳代
大和	・ 子供が室内で過ごしたり遊べたりする場所を増やす。	女性	20歳代
大和	・ 補助金や子育てしやすい相談の場、子供を育てる地域の目を増やすべきだと思う。	女性	20歳代
大和	・ 産後ショートステイができる施設を増やしてほしい。利用できる期間も増やしてほしい。	男性	30歳代
大和	・ 中学生まで医療費の無償化 ・ 子供が遊べる場所（公園など） ・ 子供の手当での増額	女性	40歳代
大和	・ ふれあいの場所	女性	40歳代
大和	・ 育児手当を増やす。	女性	40歳代
大和	・ 小学校の合併に伴い、子供の通学路のガードレール設置の見直しをしてほしいです。	女性	40歳代
大和	・ 手当や医療費等	女性	50歳代
大和	・ 公園やスポーツなどできる施設をつくる。	男性	50歳代
大和	・ 外で遊べるスペースがあればいいと思います	女性	60歳代
大和	・ 親子でふれあえる場所	女性	60歳代
大和	・ 人とのつながり	女性	60歳代
大和	・ 教育、教師の充実	男性	60歳代
大和	・ 両親の職場の子育て支援の環境、及び市を含めた周りの支援	男性	60歳代
大和	・ 公園などで遊べる環境が足りない。	女性	70歳以上
大和	・ 育児が不足	男性	70歳以上
豊原	・ 子どもを預ける場所、遊べる場所を増やす。 ・ 子育てをする家庭への金銭的援助	女性	20歳代
豊原	・ 誰でも気軽に訪れることが出来る場所や受け入れ時間を増やす（相談やリラックス）	男性	20歳代
豊原	・ コミュニケーション	女性	30歳代
豊原	・ 公園やプール等、遊べる環境が少ない、図書館も古く活気がない。	女性	30歳代
豊原	・ 子どもが遊べる場所づくり	女性	30歳代
豊原	・ 医療費（高校生まで助成）	女性	40歳代
豊原	・ 給食費を無料にしてほしい。	女性	40歳代
豊原	・ 公園など遊べる場所があったがいい。	女性	40歳代
豊原	・ 制限なく学童に入れる環境を作り、働きやすいようサポートがある施設や制度を作る。	女性	40歳代
豊原	・ 自然を守る、働き口を増やす。	女性	50歳代
豊原	・ これからの社会を担う子供達の為、知識が必要だが、それと正しい道徳や人に対する思いやりの心を育てる教育。	女性	60歳代
豊原	・ 外遊びができる安全な場所	女性	60歳代
豊原	・ 教育環境と親の生活環境	女性	60歳代
豊原	・ 補助金制度	女性	60歳代
豊原	・ 給食の無料	男性	60歳代
豊原	・ 働き場所を確保すること。	男性	60歳代
豊原	・ 医療費、教育費等の引き下げ ・ 学校外でのスポーツ充実（送迎バス等）	女性	70歳以上
豊原	・ 子供達が遊べる公園が少ないのでもっと安全な場所に設置して欲しい。	女性	70歳以上

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q9. 柳川市が子育てしやすい環境であるために、どのようなことを充実させるべきだと思いますか。(9/11)			
豊原	・ 保育園とか幼稚園を充実させたいのでは。	女性	70歳以上
豊原	・ 子供が遊べる公園、児童センター	男性	70歳以上
藤吉	・ 公園や室内でも遊べる場所を作ること。	女性	10歳代
藤吉	・ 公園までの市営バスを日曜日も運行するのはどうでしょうか。	男性	20歳代
藤吉	・ 子どもが遊べる遊具付の公園が少ない。	男性	20歳代
藤吉	・ 子供手当、児童手当	男性	20歳代
藤吉	・ 手当ととか、学童保育をもっと積極的にして欲しい。	男性	20歳代
藤吉	・ 物心両面の補助とケア	男性	20歳代
藤吉	・ 子どもが遊べるキッズスペース併設のカフェやランチができる場所がほしい。	女性	30歳代
藤吉	・ 出産や子育てに関する金銭的な援助	女性	30歳代
藤吉	・ 小学校を選べるようにしてほしい。 ・ 保育料が高い。 ・ おむつのゴミ袋を無料にしてほしい。	女性	30歳代
藤吉	・ 大きい公園を増やしてほしい。	女性	30歳代
藤吉	・ 金銭面、足を運べる距離に公園を充実させてほしい。	男性	30歳代
藤吉	・ 公園の充実	男性	30歳代
藤吉	・ 産後のママに対するケアに予算を使うべき。	男性	30歳代
藤吉	・ 2人目保育料無料にする（上の子の年齢に関係なく）。2歳くらいまでオムツ券などの配布やオムツの割引、医療費の補助。 ・ 図書館にイートインスペースを設ける。	答えたくない	30歳代
藤吉	・ 金銭的援助	女性	40歳代
藤吉	・ 小さくてもいいので公園を増やしてほしい。	女性	40歳代
藤吉	・ おむつ手当等の金銭面の拡充	男性	40歳代
藤吉	・ 子どもの医療費無償化や学費補助。子育て世帯の移住支援。地域の安全化。反社の排除。	男性	40歳代
藤吉	・ 遊ぶ施設の充実	男性	40歳代
藤吉	・ 遊具が充実している広い公園を作る。	男性	40歳代
藤吉	・ 子育て支援が他の県や市よりも充実していない。（施設や支援金等）	答えたくない	40歳代
藤吉	・ 病育保育の充実。里帰り出産時、入院中の一時保育施設の確保。	女性	50歳代
藤吉	・ 子供を出産した後、安心して預けることができる保育園・幼稚園を充実させて欲しい。	女性	50歳代
藤吉	・ 遊び場の提供、ママ同士の交流の場の充実	女性	50歳代
藤吉	・ 金銭や福祉の補助	男性	50歳代
藤吉	・ 子育て支援等を充実していくべきと思う。	男性	50歳代
藤吉	・ 子供食堂を作る事や、子供手当の充実をする事です。	男性	50歳代
藤吉	・ 治安がいいことで犯罪不審者がいない事	男性	50歳代
藤吉	・ 子供が集える施設	女性	60歳代
藤吉	・ 小学校の合併は急ぎすぎ。町に1つの学校があるだけで活性化があると思う。	女性	60歳代
藤吉	・ 色んな面での無償化推進	女性	60歳代
藤吉	・ 地域での子育てを考える。学童の充実（民間の経営）。	女性	60歳代
藤吉	・ 働く場所を増やし時間をパート、フルタイムなどその人その人に合わせてゆとりのある生活ができるように。	女性	60歳代
藤吉	・ 遊び場所	女性	60歳代
藤吉	・ 家の近くに公園などを作ってほしい（遊び場として）	男性	60歳代
藤吉	・ 教育費の無償化	男性	60歳代
藤吉	・ 子ども向けの色々なイベントがあればいいと思う。	男性	60歳代
藤吉	・ 子育て支援に力を入れる。	男性	60歳代
藤吉	・ 地域で子供達だけで行くような遊び場所が少ない	男性	60歳代
藤吉	・ 道路整備。学校校区の適正化。	男性	60歳代

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q9. 柳川市が子育てしやすい環境であるために、どのようなことを充実させるべきだと思いますか。(10/11)			
藤吉	・ 魅力ある雇用環境と保育施設	男性	60歳代
藤吉	・ 子供の遊べる場所がほしい（住んでいる場所の近くに）	女性	70歳以上
藤吉	・ 児童、学生への援助	男性	70歳以上
矢ヶ部	・ もっと充実した金銭的な子育て支援。年齢が上の方との繋がりが増える活動など。	女性	20歳代
矢ヶ部	・ 都会すぎないから。学校合併はちょっと嫌ですが。	女性	30歳代
矢ヶ部	・ 子育て施設の日曜の開放（このゆびとまれ）	女性	30歳代
矢ヶ部	・ 道路と歩道の整備	女性	50歳代
矢ヶ部	・ 地域の人々とのコミュニケーション。みんなで子供達を見守る。	女性	50歳代
矢ヶ部	・ 親が共働きが増えてくると思うので、子供を預けられる施設を増やしていくべきだと思います。	男性	50歳代
矢ヶ部	・ 現在進行中ですが、道路と歩道の整備	女性	50歳代
矢ヶ部	・ 保育所、学童保育の充実、共働きがしやすい事が第一。	女性	70歳以上
矢ヶ部	・ 金銭面で教育資金の支援することを充実すること。（子育て世代が実感する支援策を作り実行すること	男性	70歳以上
二ッ河	・ 金銭的支援	女性	20歳代
二ッ河	・ 公園や室内遊具の充実、給付金など。	女性	20歳代
二ッ河	・ 手当など増やした方がいいと思う。	女性	20歳代
二ッ河	・ 補助金を出す。子育て相談ができる場所を増やす。SNSにのせて宣伝する。	女性	20歳代
二ッ河	・ 子育てをしている家庭に対する補助金や減税をする。 ・ 学校教育に予算を設定し、学校現場の負担を減らす。 ・ 一人親家庭に対して、見回りを行うなどして、子どもが規則正しく生活できているか確認する。	男性	20歳代
二ッ河	・ 医療費、小、中学校の給食無償化。	男性	20歳代
二ッ河	・ 子どもを持つ家庭が住みやすく、子育てをしやすい支援があること。相談、サポート環境が整ってること。	女性	30歳代
二ッ河	・ 子育てしやすいようにもっと支援を充実させる。給食費無償化、第二子以降の保育料無償化。	女性	30歳代
二ッ河	・ 医療費の免除を18歳以下にして欲しい。給食費の自己負担をなくして欲しい。	女性	40歳代
二ッ河	・ 子育て支援の充実をさせる。	女性	40歳代
二ッ河	・ 子育て世代定住促進	女性	40歳代
二ッ河	・ 子供が外で遊べる場所（徒歩や自転車で行ける距離に）	女性	40歳代
二ッ河	・ 公園	男性	40歳代
二ッ河	・ 手当の拡充	男性	40歳代
二ッ河	・ ～大学までの授業料無償化あるいは半分無償化があれば助かると思う。	女性	50歳代
二ッ河	・ 両親が働く家庭は急に病気をした子供を預かってくれるところがありますが、条件が厳しく多くの子供を保育されないの、条件をもっとゆるくすれば安心して働く事もでき、子育てしやすくなるのかなと考えます。	女性	50歳代
二ッ河	・ 給食費無償	男性	50歳代
二ッ河	・ 治安	男性	50歳代
二ッ河	・ 保育料を下げる。保育士の給料を上げる。	男性	50歳代
二ッ河	・ 給食費をタダに。学童の活用。	女性	60歳代
二ッ河	・ 近隣同士の繋がりが。イベントを増やす。	女性	60歳代
二ッ河	・ 子供たちが安心して遊べるための公園の充実。	女性	60歳代
二ッ河	・ 医療無償化年齢の引き上げ。	男性	60歳代
二ッ河	・ 若い夫婦が仕事をしやすい様に。	女性	70歳以上
二ッ河	・ 集会など地区全体をみてほしい。集中している。	女性	70歳以上
二ッ河	・ 施設、公園、柳川の特徴ある身近な祭り等	男性	70歳以上
二ッ河	・ 保育所の充実	男性	70歳以上
二ッ河	・ 見守り	男性	70歳以上

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q9. 柳川市が子育てしやすい環境であるために、どのようなことを充実させるべきだと思いますか。(11/11)			
垂見	・ 子ども手当、学費、施設	女性	30歳代
垂見	・ 子育て支援	男性	30歳代
垂見	・ 参加しやすい交流の場をもっとみんなに知ってもらう必要がある。	女性	40歳代
垂見	・ 保育園や学童の充実、入れない等ないようにしていく。(補助金などあれば)	女性	40歳代
垂見	・ 家族が一つになり、皆で子育てしやすい環境を作っていくことが大事だと思います。	男性	40歳代
垂見	・ 土日祝の預かり保育施設。給付金等。	男性	40歳代
垂見	・ 幼保小中高生に対応できる専門家の配置。気軽にできる子育てに関する相談窓口。経済的支援。子育てに関するネットワークの構築。	男性	60歳代
中山	・ 子育て支援費が必要であると考える。	女性	10歳代
わからない	・ 子育て支援制度を充実、児童扶養手当の増額、ショッピングモールの誘致、魅力ある公園づくり、若者に向けた対策。	男性	20歳代
わからない	・ 子育て世代に対しての現金支給、柳川藩券を毎日配る。	男性	20歳代
わからない	・ 未満児の保育料を減額してほしい。	男性	20歳代
わからない	・ 手当てや制度、住民税が高いこと。	女性	30歳代
わからない	・ 景気が良くないので、そもそも国民の大半は、生活苦なので子育てに絞らずに生活拡充などに目を向けてほしい。	男性	30歳代
わからない	・ 若い世代が増える企業増やす。収入増、活気。	女性	50歳代
わからない	・ 交通安全、手当て、給付金の充実。	男性	50歳代

(2)「柳川市公式 LINE」の登録理由、未登録理由(問11)

問 1 1. 昨年3月からスタートした「柳川市公式LINE」の友だち登録をしていますか。また、その理由もお答えください。

『登録済み』の理由で最も多いのは「情報を確認するため」で、『未登録』の理由でっとも多いのは「知らなかった」であった。

■『登録済み』の理由

キーワード	集計
情報を確認するため	44
便利そう	4
市報の代わり	2
流れで	2

■『未登録』の理由

キーワード	集計
知らなかった	405
必要性を感じない	91
自分で登録出来ない(操作が分からない)	49
LINEを登録していない	28
スマホを持っていない	26
分からない	13
LINEが信用できない	6
登録を検討中	2
面倒くさい	2
登録していたがやめた	2

- ▶ 『登録済み』の理由で最も多いのは「情報を確認するため」で、次点では「便利そう」となっています。
- ▶ 『未登録』の理由では、「知らなかった」が顕著に多く、認知度を上げる取組が必要です。
- ▶ 以下、上記以外の記述内容を紹介します。(個人が特定されるような意見や「特になし」といった質問内容に沿わない意見は記載しておりません。)

居住校区	主な記述内容	登録の状況	性別	年齢別
Q11. 昨年3月からスタートした「柳川市公式LINE」の友だち登録をしていますか。また、その理由もお答えください。				
東宮永	・ LINEでは時代遅れ、発想が古い。	未	答えたくない	30歳代
蒲池	・ 勤務先が柳川市ではないから。	未	男性	60歳代
有明	・ あまり携帯を見ない。	未	男性	60歳代
中島	・ 今の友達で十分。	未	女性	70歳以上
大和	・ あまり利用しないから。	未	女性	60歳代
藤吉	・ 友だちが多くなりすぎている。	未	男性	50歳代
ニッ河	・ 仲良しの友のラインのみ。	未	女性	70歳以上

(3) 川下り全体の満足度の理由(問18)

問18. 問17で回答した満足度の理由をお答えください。

『満足』の理由として最も多いのは「担当した船頭のサービスが良かった」という意見で、『不満』として最も多いのは「川や景色への不満」という意見である。

■『満足』の理由

キーワード	集計
担当した船頭のサービスが良かった	14
楽しい	12
気持ちがいい、安らげる	8
景色がいい	6
風情がある	5
珍しい	2

■『不満』の理由

キーワード	集計
川、景色への不満	4
サービスが物足りない	3

- ▶ 『満足』の理由で最も多いのは「担当した船頭のサービスが良かった」で、次点では「楽しい」となっています。
- ▶ 『不満』の理由で最も多いのは「川、景色への不満」で、川の水質の改善や景観への整備を求める意見がありました。
- ▶ 以下、上記以外の記述内容を紹介します。(個人が特定されるような意見や「特になし」といった質問内容に沿わない意見は記載しておりません。)

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q18. Q17で回答した満足度の理由をお答えください。 「満足」の理由			
柳河	・ たった1時間があり、その間も船頭さんのパフォーマンスで飽きずに楽しむことができた。	女性	30歳代
柳河	・ 今年3月末、小中の同級生と一般貸切りで乗りました。桜も咲いていてお弁当、お酒も持ち込んでゆっくり楽しめました。ただ、水の流れがもう少し良くならないかなと思ったところです。	女性	50歳代
矢留	・ 静かで風流である。ゴチャゴチャしていない。	男性	60歳代
東宮永	・ 心のやすらぎ	男性	60歳代
東宮永	・ 船頭等の対応が良かった。	男性	70歳以上
昭代第二	・ 市内在住でもなかなか川下り観光は出来ないけど、洗練された船頭さんの案内での観光は良いですね。	女性	70歳以上
蒲池	・ 結婚式で川上りをした。県外の人たちの反応もよかったし、唯一無二なところが良いと思う。	女性	20歳代
血垣	・ 船頭さん、最高の方でした。船頭さん不足してますので、良い企画をお願いします。川の水は濁ってきれいではない。	女性	40歳代
大和	・ いろいろなイベントがあつていいと思う。	女性	40歳代
大和	・ 舟に乗ってからの景色が素晴らしい。乗らないと柳川の良さが分からない。	女性	70歳以上
豊原	・ 全国的に比べられる場所が他にない。	男性	70歳以上
藤吉	・ 柳川市に移住してきた私は、経験した事がなかった為すごく満足でした。	男性	40歳代
藤吉	・ 船頭さんの対応、説明が良かった。	女性	60歳代
矢ヶ部	・ ビールを買ったり、お客さんを一番に考えてくれた。	女性	30歳代
矢ヶ部	・ 某会社のOBで同期入社の会(5名)で私の病気のリハビリ中の励ましの気持ちで皆が来てくれました。私もおもてなしの気持ちをもって接しましたので、喜んで帰りました。	男性	70歳以上
二ッ河	・ 気持ちがいい感じがした。	男性	10歳代
二ッ河	・ 職場の人たちと行って、船頭さんが掘割の歴史や白秋先生のうたなどを聞かせてくれて、みんな楽しむことができたから。	男性	20歳代
二ッ河	・ 初めて、川下りをして、柳川の知らない所を知ることができた。(いい意味で) 船頭さんから色々話を聞いて、また川下りや柳川散策をしてみたいと思った。	女性	40歳代
垂見	・ ゆっくりと柳川を感じることができる。なかなか川下りをする機会は地元に住んでるとないので、たまには地上からではなく、川から見る景色はとってもいい。	女性	40歳代
わからない	・ 童謡を歌ってくれたりして楽しめました！	男性	20歳代
無回答	・ 船頭さんの対応が素晴らしかった。	無回答	無回答

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q18. Q17で回答した満足度の理由をお答えください。 「やや満足」の理由 (1/2)			
柳河	・ 柳の木が風情があっていい。夜の川下り<ライトアップ>も充実した方が 良い。(定期的に)	女性	40歳代
柳河	・ 日頃川下りする事はありませんが、毎年春に友人を呼んで自分も観光客に なって川下りを楽しんでいます。①川下り②うなぎ③さげもん 船に乗っ て、お昼うなぎを食べて、さげもんめぐりを楽しむ。女子会は楽しいで す。川下り、うなぎ、さげもん、です。	女性	70歳以上
城内	・ 川下りはとても気持ちよく楽しかったのですが最終乗船の時間が早過ぎ る。	女性	40歳代
城内	・ 舟にテーブル、座椅子、座布団までVIPな気分になりました。	女性	60歳代
城内	・ けばけばしい建物がない。	無回答	70歳以上
城内	・ 柳川らしい風情の中を竿一本で、生声で説明したり、歌ったり、日本のい ろんな川下りでは、モーターを使ったり、ハンドマイクで聞き取りにくい など…これからも柳川の川下りは変わらないで欲しい。	女性	70歳以上
矢留	・ 水が豊富、きれいだった。	男性	50歳代
東宮永	・ 昔よりは掘割もきれいになっていると思う。水もきれいになっていたと感 じました。	女性	60歳代
東宮永	・ 私の友人、知人の皆様が柳川を訪問され川下りを体験した方は、皆、口を 揃えて「ゆっくりとした景観が最高、そして船頭さんの唄、案内も…川の 水さえもう少し綺麗かったら最高の最高だね」と言ってくれます。満足 度100%を目指して努力しましょう。	男性	70歳以上
東宮永	・ 掘割がもう少しきれいであれば良かった。	女性	70歳以上
両開	・ 柳川の文化を知れた。(船頭さんの知識)	女性	40歳代
昭代第一	・ 東京から来た友人が乗船したいと言ったので一緒に乗った。	女性	40歳代
昭代第一	・ 時期的にコタツのある季節で、孫が喜んだ。 船頭さんの歌がとても素敵でした。	女性	60歳代
昭代第二	・ 外国人向けの説明の為に英語などを学んで努力されてる船頭さんたちがす ごいと思いました。	女性	30歳代
昭代第二	・ 10ヶ所以上の川下りの経験あるが川というだけで心が安らぐ。不満に思っ た所(場所)は思い出せない。	男性	70歳以上
蒲池	・ 久しぶりの川下りは風情があり良いと感じた為。	男性	30歳代
蒲池	・ 子どもと一緒に初めて川下りした為楽しめた。	女性	30歳代
蒲池	・ 川下りはステキな観光ツールですが、舟を漕いでいない時の船頭さんが残 念な態度をされているのを見てがっかりしました。また、チケット売場な どもあまりきれいではない箇所も残念です。	女性	40歳代
蒲池	・ 水天宮の時に子供が楽しんできた。	女性	40歳代
蒲池	・ 船頭さんと乗り合わせた方がい人達だったから。(しかし、水が汚い、 ごみが多かった)	女性	70歳以上
皿垣	・ 風情ある町並み。	男性	20歳代
六合	・ 仲間と楽しんだ。	男性	40歳代
六合	・ お花の結婚式。2月だったので凍る様な寒さの中、外で新郎新婦の来るの を待つのに30分以上?、少し時期を考えてほしい川下りでした。柳川での 川下りも、色々な対応をしてお年寄りにも優しいサービスを。	男性	60歳代
豊原	・ 飲食ができる。	男性	60歳代
豊原	・ 接待した友だちが喜んでくれた。	女性	60歳代

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q18. Q17で回答した満足度の理由をお答えください。 「やや満足」の理由 (2/2)			
豊原	・ のんびりできた。	男性	70歳以上
藤吉	・ 美味いうなぎが食べれて船頭さんのパフォーマンスもあったから。でも、船上からの景観をそれほど美しいとは思えなかった。	女性	50歳代
矢ヶ部	・ 私40年ぶりに川下りを昨年2回利用しました。広島から友人が来たので案内しました。ゆったりとした感じが良かったですが、若い船頭さんで1回は一生懸命でしたが、歌とか、説明とかがいまいち…あとの1回は、年配の方で1回目より良かったです。友人が広島からくるので、これからも川下りに乗る機会があると思います。同じ船に外国人の人が多かったので、柳川もすごいなあと感じました。しかし、マナーがいまいち!!	女性	70歳以上
ニッ河	・ 川下り体験は久々で楽しかったし、船頭さんの歌やパフォーマンスはおもしろかった。ただ一時間近くずっと乗っていると小さい子は飽きてくるし、日吉神社横みたいに川の上の出店やショッピングモールなど、または見どころ(映えスポット)を作ってもらえるともっと受けるかと思います。観光客ももっとお金を落としやすくなるかも。	女性	50歳代

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q18. Q17で回答した満足度の理由をお答えください。 「普通」の理由			
柳河	・ 私達の子供の頃からみたら、水の透明度がなく、知り合いを招待して川下りをしたのですが、ちょっと恥ずかしかった。昔は、川で洗濯、茶碗を洗ったりした時もあったが、今程川の水は汚くはなかったと思います。子供の時は、泳いだりもしていたのですが、今の川では泳ごうとは思いませんね。(笑)	女性	70歳以上
東宮永	・ 以前に比べて、掘割の景観が変わった場所(沖端地区)があるところが残念。	女性	40歳代
両開	・ 船頭さんの質によりけり。	女性	20歳代
昭代第一	・ ゆったりとした船の進み方。船頭さんとのやりとり、会話。川ぞいの風ざい。	女性	60歳代
昭代第二	・ 船頭さんによって盛り上げ方も違うし、同乗したグループによっても居心地悪い時がある。	女性	60歳代
皿垣	・ 昔から発展、魅力的な部分の向上があまりないように感じる。	女性	40歳代
有明	・ 行きだけで、帰りはまた川下り料金を払わなければならなかったのも、少々高い。	女性	60歳代
垂見	・ 特記する所がない。	女性	60歳代
わからない	・ 川が汚い。近くを立ち寄れる店がない。業務の方の対応は非常に良かった。	男性	20歳代

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q18. Q17で回答した満足度の理由をお答えください。 「やや不満」の理由			
柳河	・ 説明不足の船頭さんにたまに当たると損した気分になる。	女性	40歳代
両開	・ 水が汚ない。	男性	50歳代

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q18. Q17で回答した満足度の理由をお答えください。 「不満」の理由			
柳河	・ 昔の掘割ではない。	男性	50歳代
柳河	・ 元の職場の同僚が柳川を案内してほしいというので川下りや路地を数人でまわりました。年配でもあったので一番老舗の運行会社をと思い、乗船したのですが、同僚も私もあまりの操船技術のひどさ、案内のひどさに閉口しました。風の強い日とはいえ、川の護岸にぶつかること数回、白秋や柳川に関係のない歌を歌うことは特に柳川市民としてとても恥ずかしかったです。外国のお客様へのサービスかもしれませんがゆったりした風情をすべて味わえず大変残念でした。	男性	60歳代
城内	・ シャトルバスが少なすぎて意味を成していない。	男性	30歳代
豊原	・ 友人が遊びに来た際に川下りをしましたが、あまり喜んでもらえませんでした。私もまた乗りたいとは思えず残念です。例えば柳の下ではなく桜の木やアジサイの花を増やしてお花や新緑紅葉と季節毎に楽しめてまた乗りたいと思えるような川下りにしてほしいです。「柳を見に行こう！」という人はいません！	女性	50歳代
わからない	・ 料金を払う程、キレイではなくむしろ汚いくらいある。雑草の処理はもちろん、もう少しワクワクするものが欲しい。（花やオブジェ）	女性	30歳代

(4) がん検診を受けていない理由(問25)

問25. がん検診を受けていない理由を教えてください。(7. その他における自由回答)

「その他」のがん検診を受けていない理由で最も多いのは「他の検査を受けており、必要が無いと判断した」であった。

■がん検診を受けていない理由

キーワード	集計
他の検査を受けており、必要が無いと判断した	18
現在は受けていないが、職場で受ける予定	16
過去に受けたため、必要ないと判断した	10
知らなかった	10
検査に行けない状況のため(施設に入所している、妊娠中である等)	10
受ける必要が無いと考えている	7
かかりつけ医と相談して決めている	4
特に理由は無い	3
仕事が忙しいから	2
検査の金銭的負担が大きいと受けられない	1

- ▶ がん検診を受けていない理由は、「他の検査を受けており、必要が無いと判断した」という意見が最も多くみられました。次点では、「現在は受けていないが、職場で受ける予定」となっています。
- ▶ 以下、上記以外の記述内容を紹介します。(個人が特定されるような意見や「特になし」といった質問内容に沿わない意見は記載しておりません。)

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q25. がん検診を受けていない理由を教えてください。			
柳河	・ 病院で検診を受けたい。	女性	70歳以上
城内	・ 長生きしたくないので。	男性	50歳代
矢留	・ がんもひとつの寿命だと思う。	男性	40歳代
昭代第一	・ 国民健康保険でないため、受けてよいのかわからない。	女性	60歳代
昭代第一	・ 検診の方法が嫌いです。	女性	70歳以上
蒲池	・ コロナになり、それから行ってない。	女性	50歳代
六合	・ 毎年定期検診は行っている。	女性	70歳以上
藤吉	・ 今年は受けたいと思ってる。	女性	70歳以上
矢ヶ部	・ 案内が無かった。	男性	70歳以上
ニッ河	・ 行きたいと思うが勇気がなかった。	女性	40歳代
ニッ河	・ コロナが何年か続き、検診に行く機会がなかった。	女性	60歳代

(5) 特定検診を受診しない理由(問28)

問28. 特定検診を受診しない理由を教えてください。(8. その他における自由回答)

「その他」の特定検診を受診しない理由で最も多いのは「他の検査を受けており必要が無いと判断した」であった。

■ 特定検診を受診しない理由

キーワード	集計
他の検査を受けており必要が無いと判断した	3
検査が面倒	2

- ▶ 特定検診を受診しない理由として、「他の検査を受けており必要が無いと判断した」、「検査が面倒」という意見がありました。
- ▶ 以下、上記以外の記述内容を紹介します。(個人が特定されるような意見や「特になし」といった質問内容に沿わない意見は記載しておりません。)

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q28. 特定検診を受診しない理由を教えてください。			
柳河	・ もう、いいかなと思っている。	女性	70歳以上
矢留	・ もしガンで手術が必要だとしても、身体を傷つけてまで長生きしたいと思わない。	男性	40歳代
昭代第一	・ 結果が怖いので。	女性	60歳代

(6) 来庁の目的(問35)

問35. 来庁された目的は何ですか。(5. その他における自由回答)

「その他」の来庁した目的として最も多いのは「投票」であった。

■ 来庁の目的

キーワード	集計
投票	11
仕事関係	9
納税	7
公的書類の授受等	6
公共料金の支払い	3
ハローワーク	2

- ▶ 来庁した目的として最も多いのは「投票」、次に「仕事関係」という結果となりました。
- ▶ 以下、上記以外の記述内容を紹介します。(個人が特定されるような意見や「特になし」といった質問内容に沿わない意見は記載しておりません。)

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q35. 来庁された目的は何ですか。			
柳河	・ ボランティアしている関係で行く事がある。	女性	70歳以上
柳河	・ リサイクル	女性	50歳代
昭代第一	・ 相談	女性	40歳代
昭代第二	・ 血圧を測る。	女性	70歳以上
中島	・ 献血	女性	60歳代
二ッ河	・ 要望	男性	60歳代

(7) 職員の対応に『不満』の理由(問38)

問38. その理由を教えてください。

職員への『不満』で最も多いのは「職員の態度」であった。

■職員の対応に『不満』の理由

キーワード	集計
職員の態度	17
対応が遅い	6
不親切	6
職員によって対応が異なる(知識の偏りがある)	2

- ▶ 職員の対応に『不満』である理由に最も多い意見は「職員の態度」で、次点では「対応が遅い」、「不親切」と続きます。
- ▶ 以下、上記以外の記述内容を紹介します。(個人が特定されるような意見や「特になし」といった質問内容に沿わない意見は記載しておりません。)

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別
Q38. その理由を教えてください。(Q37. 職員に不満に回答)			
わからない	・ 職員である自覚がない。良い人もいました。	女性	30歳代

(8) 行政への意見(問39)

問 3 9. 最後に、柳川市のまちづくりについて、ご意見等があればご記入ください。

行政への意見において使われたキーワードで最も多いのは「観光」であった。

有効票が 1,025 票ある中で、自由意見を頂いたのは 449 票です。その意見を整理すると以下の結果となっています。

■意見の分類結果

分類	件数
現状報告	10
問答・所信	247
要望	151
アンケートに関して	3
その他	38
計	449

▶ 現状報告

「現状報告」と分類した意見は、日頃心がけている意見等を分類しています。

意見例は、「街角の花壇がいつ見ても整備され、花が咲いているのを見るとホッとします。」や、「いつもありがとうございます。30 代後半になったので、柳川市民として協力していかなければならないと感じております。」等があります。

▶ 問答・所信

「問答・所信」と分類した意見は、アンケートを受けて、抱いた感想等を分類しています。

意見例は、「時間が出来たら、老人大学で色々な体験をしたいです。それに伴い充実した環境作りをしてもらいたい。」や、「人口減少に歯止めがかかる様な施策があれば良いのかなと思います。」等があります。

▶ 要望

「要望」と分類した意見は、市や特定施設への要望等を分類しています。

意見例は、「駅の周りだけではなく、商店街（京町、辻町周辺）の開発をお願いしたい。沖端周辺はもっと風情を大切にしたい取り組みをしていただきたい。」や、「バスなどをもっと増やしてほしい。」等があります。

▶ アンケートに関して

「アンケートに関して」と分類した意見は、今回のアンケートの設問に対する問いやアンケートに対する要望等を分類しています。

意見例は、「アンケート答えるのに時間 5 分程度とあるが、焦って落ちついて書けませんでした。」等があります。

また、頂いた意見において、市民の関心のあるキーワードを整理すると以下の結果となります。

■意見の分類結果（キーワード別）

キーワード	集計
観光におけるキーワード	
観光	60
川下り	49
堀の整備	20
商店街の活性化	17
うなぎ	10
水質改善	10
駅前の活性化	8
御花	4
花	4
花火大会	3
さげもん	3
観光客のマナー	3
外国語ガイド	2
子育てにおけるキーワード	
子育て支援	21
子どもの遊び場、公園整備	14
子育て世代	12
交通・道路整備におけるキーワード	
道路整備	46
公共交通	25
行政におけるキーワード	
若者への対応	20
税金の使い道	18
高齢者への対応	18
アピール不足	15
ゴミ	14
大型商業施設、娯楽施設の誘致	13
企業の誘致	11
イベント	11
大河ドラマ	10
空き家	9
カフェ	9
街灯	9
駐車場	8
働く場所の確保	8
人口減少	8
移住、永住	7
第一次産業	5
図書館	4
少子高齢化	4
地元の食材、特産物	4
災害	4
大規模商業施設、娯楽施設の誘致	3
企業誘致、働く場所の確保	3
水道整備	3

IV. 参考資料

記述内容を以下に示します。

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「観光」についての意見（1/7）				
柳河	・ 観光だけに力を入れないで、しっかり市民全体の事を考えて下さい。大河ドラマに決まったところで、何にもならないと思います。柳川市に住み続けたいとは全く思いません。魅力がなさすぎます。観光地以外に住んでいる人の事、若い世代の事を全く考えていないとしか思えません。	女性	10歳代	問答・所信
柳河	・ 一年ほど前、由布院へ夫婦で旅行に行った際、平日にもかかわらずたくさんの外国人観光客でごった返しているのに大変驚いた。たくさんの飲食店、お土産屋さんがあり、とても楽しかった。たぶん外国人観光客も同じ気持ちだと思う。柳川の商店街で迷い込んだような外国人観光客をよく見かける。とても滑稽に感じてしまうのは僕だけでしょうか？もうちょっと観光客の人たちを受け入れられるような施設等あったらなぁと思う。	男性	40歳代	問答・所信
柳河	・ 西鉄～国道橋（柳川橋）～市内へ行くとき、せっかく観光客が来ているのに立ち寄りのお店がない。例えば湯布院の湯の坪街道みたいに歩いて楽しい通りにしてほしい。シャッター店舗をお安く賃貸して、いろんな人に貸し出して…とか魅力的なお店づくりに力を入れてほしい。	女性	50歳代	要望
柳河	・ 柳川市には、観光しかないと思いますが、ほとんど整備されていないと感じる。町を歩いている観光客を見かけるが、どこを観光する？と思ってしまう。もっと川下りコースをきれいにする。お店などいろんな施設をつくる。「御花」をメインにするなら、甲冑の展示などガラス張りにして厳格に見せるなど見せ方を大事にする。今のように普通に触れられるのはサビれていくだけ。	男性	50歳代	問答・所信
柳河	・ 柳川に住んで半世紀経ちますが、子供の頃から現在まで水郷、川下りを観光にうたっているにもかかわらず、掘割の汚さはあまり変わっていません。それどころか莫大な資金（税金）を投じて、西鉄柳川駅に水路を引く馬鹿げた工事が現在進行中です。まずは下水を整備し、掘割を誇れる美しさにしてこそその観光でしょう。水が汚いまま、見せかけだけの施設（無駄な）に血税を費やすとは!! いつまでたっても他県の友人に柳川の観光を勧められない現実が変わりません。	女性	50歳代	問答・所信
柳河	・ 川下りコースに、季節の花が少ない。5月にこいのぼりをコースに飾って欲しい。	女性	60歳代	要望
柳河	・ 柳川の街並みを歩いて散策できるエリアを今より広くして、観光だけでなく市民が楽しめる街づくりがもっと必要だと思います。レンタル自転車などで安全に観光できるとか、市民が利用できるとか、工夫すればもっと楽しい街になると思います。	男性	60歳代	問答・所信
柳河	・ 名物「うなぎめし」について、ここ数年「うなぎめし」を食べに行くが、とても残念に思うことがあります。柳川の観光の一部としての食、世界に誇れるような名物に精進して提供して欲しい。	女性	70歳以上	問答・所信
柳河	・ 柳川の掘割は貴重な資源です。その生態をおかすようなことはしない、（掘割をコンクリで固めない等、岸辺も大事にすると同時に幼児や児童が掘割に入っ	男性	70歳以上	問答・所信
柳河	て生命を落とすことのないような対策も万全にして欲しい等、生活の安心安全もきめ細かく配慮して欲しい）有明海の漁場を積極的に守り、保護して行って豊かだった有明海干潟の保全、これ以上環境を悪化させる施策にはしっかり反対していかないといけないと思います。			
柳河	・ どうして、川下りを西鉄柳川駅にするのか？柳川市内は通り過ぎるのではないのでしょうか？	女性	70歳以上	問答・所信
城内	・ 川下りの橋越えは、続けていったほうが良い文化だと思います。	男性	10歳代	問答・所信
城内	・ もっと観光地としての対策を練り、観光客を増やすべき	男性	30歳代	問答・所信

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「観光」についての意見（2/7）				
城内	- 御花周辺の観光施設などの手洗い場を増やす。沖端周辺に飲食店を誘致してほしい。 - 船着場の整備、増設。船頭の増員と指導・教育。 - ATMの増設で海外の人が使用できるように。 - 掘割を使ったレジャーを常設。	男性	30歳代	要望
城内	駅の所からの川下りコースの必要性はあるのでしょうか。結局、後々負の遺産となり私達市民が税金を払って運営しなければならない。もっと観光客が1日楽しめるお金をおとせるような町づくりをして行った方がいいのではないのでしょうか。	女性	50歳代	問答・所信
城内	水の濁りを清水に戻す。川下りに偏った整備だけではなく掘割全体の整備。川下りコースの整備だけでなくコース以外の掘割を整備して、清水が流れる都市づくり。その為には10年計画でもやってほしいです。	男性	70歳以上	要望
城内	掘割箇所個所に季節の花、あじさいロード、あやめロード、つつじロード、春の花ロード等々。花等を植える時は、ボランティアで人を集める。協力は致します。市報等で知らせて下さい。	女性	70歳以上	問答・所信
城内	沿岸道路ができてから、柳川市は少しは人が集まるようになったと思いますが、柳川市が発展するためにはもっと柳川市のことを知ってもらい必要があると思います。例えば柳川まりは有名ですが、商店街を復活させメイン通りを駅から作るか、（観光客）を通りやすくする、商店街でお土産を購入できるとか観光客が来ても泊まる場所がない為に柳川では観光だけで泊まる場所は他県へ逃げている現状を柳川で足止めできるような施設が必要ではないかと思います。又、白秋祭りのみならず柳川まりをもっとアピールするようなイベントを開催するとか、川下りの護岸を四季折々の花々が咲くように整備するとか観光客が感動して帰るような、また来たいと思ってくれる街づくりが必要かと思います。	女性	70歳以上	問答・所信
矢留	土・日・祝の水天宮は観光客がたくさんいいと思うが道路いっぱいに広がったりして歩いているので、車が通りにくい対策してほしい。当たりそうになったことが何回かある。	女性	20歳代	問答・所信
矢留	花火大会を復活してほしい。	男性	30歳代	要望
矢留	観光に力を入れているのは知っていますが、観光で柳川市の人口は増えますか。柳川市に会社が少ないから若い人が出ていき過疎化はさらに加速すると思う。過疎化の街に誰が観光するのか疑問である。空き家、荒れた田んぼ、どんどん増えてますよ。	男性	40歳代	問答・所信
矢留	観光と定住のすみ分けが必要だとは思いますが、観光地の店の方の意識として、この地で商売できている意図をよく理解して住民たちとの協力をしてほしい。また観光化する上で、観光客を対象とした値段設定などいかなものかという疑問もある。定住できないようにしている原因にもなっていないか？100年先の未来をよく考えてまちづくりに臨んでほしい。このままだと過疎化になるのは必然だと思う。	男性	50歳代	問答・所信
矢留	柳川観光のまち作りの計画性のなさ。一般市民への関係性がない。一部観光業者のみ	男性	60歳代	問答・所信
矢留	産業を増やさないかぎり、人口は減る一方だと思う。商店街の復活！昔は土曜夜市等があり、良かった。柳川城がほしいなあ。（¥の問題あるけど）	男性	60歳代	問答・所信
矢留	川下りの水があまりにも濁っているのでせつかくの川下りの方々も気分が半減するのではないのでしょうか。どうにかありませんか？	女性	70歳以上	問答・所信
東宮永	川下りは下るだけではなく何か遊びを取り入れてほしい。	女性	20歳代	要望

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「観光」についての意見 (3/7)				
東宮永	- 掘割（川下り）を中心とした観光都市として生き残るテーマパーク構想。第一弾として町全体を明るくする必要がある。そのために幹線道路の除草を徹底し草花で彩る。案内板以外の看板は景観を損なうので撤去する。 - 東宮永住民として旧クリーンセンターをサッカー場若しくはサッカーができる程度のグラウンドに整備する。小中学生の活動場所の提供。	女性	50歳代	問答・所信
東宮永	- 川下りの質の向上。例えば、ルートの両端へ花を植える。暑い時は扇風機をつける、座布団を置くなど。うなぎめしが高くなりすぎ。市で補助できないか。 - 遊歩道の整備の一つとして、車の駐車場を作っては。	男性	60歳代	問答・所信
昭代第一	- 柳川商店街の整備をしてほしい。（古い建物などは残してもよいので…） - 掘割の保全や水辺の景観を観光地以外の所でもやってほしい。 - 柳川駅周辺の店舗のゴミ出し方が気になる。（人目に付く所に山積みになって居る事がある）	女性	30歳代	要望
昭代第一	駅の川下りは必要ないと思う。	女性	40歳代	問答・所信
昭代第一	観光と住みたい街づくり、同時には難しい点があるのかもしれませんが、ある程度割り切って大胆な計画、実行が必要なのかもしれませんね。	女性	50歳代	問答・所信
昭代第一	まちづくりという事がよくはわかりませんが、観光地の柳川のメインである、店前をもう少し片付けてあれば?!と思います。観光客の多い地域だと思いますので。個人的な思いです。	女性	60歳代	問答・所信
昭代第一	柳川駅前の川下りコース設定についてどれ程の効果があるのか。費用対効果を明らかにして欲しい。舟会社の劣化が進んでいる。水上売店は、景観、防災の面で懸念がある。	男性	70歳以上	問答・所信
昭代第二	せっかくの観光地（沖端）などシャッターばかりで、まったく観光客に対するおもてなしを感じない。大分の昭和の町並みなど、行ってよかった楽しかったと思えるような観光地をつくったほうがよいと思う。おみやげを買う所も増やして盛りあげてほしい。	女性	30歳代	要望
昭代第二	- 観光を盛り上げるより市民にとって住みやすい町にしてほしい。 - 天神まで車で50分で行けて、柳川で乗り降りする人は多いのに交通の便が悪すぎ。糸島みたいにベッドタウンの需要を狙うべきでは？どうせ観光客は定住するわけでもないのに、人口の増加につながりません。 - 沖端の元祖本吉屋の角と西福寺から矢留小に行く角の道が狭すぎて、毎回観光客のかい車とはちあわせて危ない。観光に力を入れるなら入れるで安全に通れるようにしてほしい。 - DMMとかコーエーテクモとかゲーム会社とコラボすればいいと思う。	女性	30歳代	要望
昭代第二	- 柳川といえば、川下り！という観光資源があるのにあまり活かしきれていないように見え、もったいないと感じます。川下り自体は楽しんでいるように見えますが、御花や沖端水天宮あたりの観光スポットがあまりにも魅力に欠けると感じます。市の方々からすると、御花だったり、白秋生家、旧戸島家住宅などがあると思われるかもしれませんが、ある程度落ちついた（年がいった）夫婦向けであり、家族（子どもが小さい）や若者が観光するには魅力があまりないと感じざるを得ないと思います。ほとんどの木を切ってしまったため、景観も損なわれてしまったようにも感じます。 - よく車が通る道にもかかわらず、道幅が狭い所が多すぎて、運転しにくいと感じます。	男性	30歳代	問答・所信

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「観光」についての意見（4/7）				
昭代第二	・ 観光地として道路の雑草などが気になります。子供たちの体力づくりで小学校の体育館でバレーボールをするのですが市中（古くて重くネットで引っ掛ける部分が壊れている）修理をお願いしたが、拒否された。ネットも古くて使えない。そういうものの見直し、活用するなど考えてほしい。 ・ 曲がり角のミラーが角度違い、濁っている、木々で隠れているなど危ないところ有り。 ・ 交通機関、免許返納したり70歳以上の方の移動（見物、お出かけ）が多くできると体力増進、元気なシニアが増え医療費が減るなど良い事につながると思いますね！年をとっても住みやすい柳川市です。	女性	60歳代	要望
昭代第二	・ 柳川市民なのに、なかなかうなぎが食べれてないので、少しでも補助があれば良いと思う。柳川は大スキです。観光客も大事にしつつ、市民が安心して生活できればよいと思います。沖端の川下り周辺の店が早く閉まるので、夜の町を散歩・観光する人にとっては、さびしいのでは・・・と思う。	女性	60歳代	要望
昭代第二	・ 川下りの水が濁っている時がある。	女性	70歳以上	問答・所信
昭代第二	・ 川下りコース、特に沖端近辺の美化に努めてほしい!!	女性	70歳以上	要望
蒲池	・ 観光客が宿泊して、観光地の珍しい体験などができる場所をもっと積極的に増やしたら良いと思う。	男性	50歳代	問答・所信
皿垣	・ 観光地が発達して観光客が増えることはとても素晴らしいことです。その中で、地域の伝統や自然資源が損なわれないように配慮してほしいです。そこで、観光客だけでなく、地元住民の生活の質を向上させる取組みも大切にしたいです。すでに現時点でも、地域の魅力を最大限に引き出していただき、とても感謝しています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。	男性	40歳代	問答・所信
皿垣	・ 観光に力を入れてあるようだが、さほど効果があるようには感じない。川下りは多いかもしれないが、他に波及しているようには思わない。一次産業が盛んでなくなると衰退していくと思う。担い手の育成などに力を注ぐ方がよいのではと思う。	男性	50歳代	問答・所信
有明	・ 外国の方の観光も多くみられますが、川下り・うなぎで素通りするだけでなく、宿泊されるような施設の充実やそれぞれの町のアピールをして新たな観光名所を作る等試みたらどうかと思います。	女性	50歳代	問答・所信
中島	・ 観光地として、充実した町になればいいと思います。	女性	50歳代	問答・所信
中島	・ 町の景観が観光に来てもらえる景観でない。駅前、京町通り、沖端などさびれていてシャッター街になっている。倉敷の美観地区などを参考にし活気ある町にしてほしい。いまのままでは、せっかく観光にきて頂いた方がっかりして帰ってほしくないです。	女性	50歳代	要望
中島	・ 柳川駅前の掘割延長でどれだけの経済効果を見込んで進めているのかがあまりわからない!!	男性	70歳以上	問答・所信
六合	・ 川下りや、柳川有名なうなぎなどの大きな写真パネル、看板をもう少し設置してもいいのではないのでしょうか（アピール不足）海外の観光客の人達が見てわかる案内看板など。	女性	40歳代	問答・所信
六合	・ 川下り以外にも目玉になる観光資源が必要。	男性	40歳代	問答・所信
大和	・ 柳川市はそこそこの知名度はあるが、観光客の集客の為の魅力に欠けるところがあると思う。 ・ 外国人労働者が増えてきた昨今、移動手段が自転車のみで不便に思う。もう少し公共交通機関（市内の）があれば、お年寄りにも外国人にも住みやすいまちになるのでは、と思う。	女性	50歳代	問答・所信
大和	・ 年々インパウンドでにぎわう。柳川には北原白秋さんだけでなく、私は檀一雄さんの墓もあり、こちらも多くの人に知ってもらいたいと思います。	女性	60歳代	問答・所信

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「観光」についての意見（5/7）				
大和	・ 柳川駅前の川造りは税金のムダ、必要ない。川下りへの客がどれだけ乗降が望めるか疑問。	女性	70歳以上	問答・所信
大和	・ さげもんまつりで観光客がみえるするが、市内のムードが低すぎるし人を集める努力をして欲しいと思う。清掃ビューティクリーン作戦が夏場計画となっているが、春先とか涼しい季節に変更して欲しい。最近エコバック使用の為、紙袋に困っています。雑紙回収袋を配布して欲しい！資源物を増やして・燃やすしかないゴミの削減になるのでは？	女性	70歳以上	要望
大和	・ ポイント活動、観光客が市で配られたカードを各商店に出すと記念品がもらえる、そのような取組をしている町がありました。アピールできたらよいです。	女性	70歳以上	問答・所信
豊原	・ 今、柳川駅周辺の掘割の整備をしてありますが、完成後がどのような感じになるのか、楽しみにしています。柳川よかもん館をよく利用するのですが、以前に比べるとお客さんもとて多く、観光客の方もよく見かけます。野菜も魚もとても新鮮で特産物も購入できますし、もう少し規模を大きくしてもらいたいと思います。やなPayに他のQR決済ができるようになると利用しやすいです。	女性	40歳代	問答・所信
豊原	・ 観光アクセス（柳川駅～御花辺りへの観光客に利便性があって良いと思う）	男性	60歳代	問答・所信
藤吉	・ もう少し観光場所を増やして欲しい。お客さんが来ても案内する所が少ないと思う。もっと場所があれば観光客も増えると思う。交通機関ももっと発展すれば便利が良く出来ると思う。駅から離れてるし、もっと改善して欲しい。	男性	20歳代	要望
藤吉	・ 柳川駅からの直での川下りの水路計画は公費の無駄遣いと感じる。	男性	30歳代	問答・所信
藤吉	・ 廃校地を有効活用してほしい。金銭面、生活の充実感という面から、収益部分にもっと目を向けたらどうかと思う。ふるさと納税や投資、自然エネルギーからの収益・活用、観光客等に向けた企業の誘致。人口ピラミッド、寿命の点からどの年代にフォーカスを当てるのか。柳川市の経済発展のため頑張ってもらいたいです。	男性	30歳代	要望
藤吉	・ 観光スポットが、川下りくらいしか思い浮かばないので、知人から柳川に会いに行くよ!!と言われても、おもてなしできる気がせず「柳川以外で合流しよう!!」と言ってしまふので、季節問わずに数ヵ所、若い人たちも楽しめる場所があればと思います。 ・ 商店街の道路は、歩道が狭く、歩く側も車からしてもとても通りたくない道だと感じます。私はなるべく避けて違う道を使うようにしていますが、とても危険な通りだと感じています。※店などがありますので、限られた幅しかないのは、見て分かりますので、それはしかたないと思います。 ・ 柳川駅で観光案内の女性が英語で説明や道案内をしてありました!!外国の方だけで、電車で来られる方が多いみたいなので予約しなくても、歩いて一緒に回れるガイドさんがいると収益にもつながるなと感じました。	女性	30歳代	問答・所信
藤吉	・ 観光地である為、もっともっと商店街やお店などの活性化が必要だと思います。柳川といったら「うなぎ」「川下り」だけ、という印象が強い為、それ以外の目的でも、訪れたいような、町になるといいなと思います	女性	30歳代	問答・所信
藤吉	・ 川下りやうなぎを推して柳川をアピールし、観光客（インバウンド）需要を取り込む事も大事だと思いますが、一見さんは、その場限りでしかお金を落としません。他所から柳川にきたい住みたいと思わせる施策をお願いします。年金生活者しかいない状況になってしまうと当然破綻しますので、年配者への配慮も大事ですが、働く世代や子どもたちが大きくなって柳川に残って働きたいと思える市政を行ってほしいと思います。	男性	40歳代	要望

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「観光」についての意見 (6/7)				
藤吉	・ 川下りの水が澄んでいるといいなぁと常々思っている。川座のゴミ、堆積物（ヘドロ等）を除去できると少しは違ってくるような気がする。一度川下りをしたことがあるが、水が濁ってて少し残念な思いをしたことがある。	男性	50歳代	問答・所信
藤吉	・ 私としては、観光面でどうしても岡山の倉敷と比べてしまいますが、情緒あふれもっとお店とかが増えて欲しいなと思います。柳川駅前もきれいになりそうですし、活気が出ると良いですね。水都に柳川出身の芸能人が来てくれたら嬉しいな。大河誘致も期待していますよ。	女性	50歳代	要望
藤吉	・ 観光を中心とした地域活性化。 ・ インバウンドにもっと体験型の滞在イベント強化。 ・ ハンドメイド作家など拾い上げ、柳川独自のお土産作り又、それを古民家食事処活用などで販売して支える。 ・ 子供を産み育てやすくする為にも、子供の医療費負担をもっと減らし、気軽に預けられる(0歳児でも) 保育園の拡充、福岡市など都会と同じレベルの保育所無償化。 ・ コミュニティバスストップをもっと間隔開けずに、数百mで設ける。高齢者は200m歩くのにも大変である。高齢者が車の運転から解放され、行きたい所にコミュニティバスを使って行ければ、事故もかなり減り、高齢者の心身が充実したものになると思います。	女性	50歳代	問答・所信
藤吉	・ 柳川駅西の飲み屋通りが、もっと小綺麗になると良いと思います。歩道や自転車道、シニアカーや杖使用の人、車イス利用者が通りにくい所があるので整備すべきだと思います。やなPayに変わってから、きちんと作動しない店があり困っています。Wi-Fiが複数飛んでいるところは、フリーズしがちなので改善してください。夏の花火大会の復活を願います。花火を上げる数を減らしてでも復活してほしいです。	女性	50歳代	要望
藤吉	・ 駅前の川下り乗り場は必要があるのか。商店街の活性化。	女性	60歳代	問答・所信
藤吉	・ 柳川市の強みは観光です。観光面を発展させ、多くの人を呼び込み市内にお金を落としていただく。柳川は素晴らしい観光資源と歴史がある。柳川城再建（小さくてもよい）※これしかない。名城柳川城	男性	60歳代	問答・所信
藤吉	・ 川下りコースの美化、他県にも似た様な川下りは有るがもっときれいにしている。又、来ようとはならないかも・・・。沖端はさびれすぎ空き店舗も多いきたない。集合した飲食店街とかお土産街とか参考に出来る観光地が有るのでは？柳川でお金をつかってもらう為に柳川は観光しかないのも魅力的になってほしいです。	女性	60歳代	問答・所信
藤吉	・ 川下りに対し水が淀んでいる所が多く、常に水が流れている状況をつくって行くべきです。水が濁っている。（利用者に対して気の毒に思います）川下りをメインにするのであれば水の管理を徹底するべきだと思います。 ・ 市の野球場や子供達が安心して遊べる公園作りを望みます。又広い所での道の駅等作ってほしい。みやま市は色々作ってあります。市民が安心して生活出来る様、宜しくお願いします。	女性	60歳代	要望
矢ヶ部	・ 筑後市のホークスの2軍球場の様な、スポーツ関連の事業は、観光にすごく良いと思うので、もっと増やしてほしいです。また、掘割をきれいにしていきたいです。	女性	20歳代	問答・所信
矢ヶ部	・ 観光できる場所が限られているため、長く滞在しにくいし、リピーターはなかなか来ない気がする。観光客だけでなく市民が行きたくなくなるような飲食店（カフェなど）も増えてほしい。うなぎだけでは若者は来にくいと感じる。市民も楽しめる活気のある市になってほしい。	女性	40歳代	問答・所信

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「観光」についての意見 (7/7)				
ニッ河	・ 柳川市は筑後や八女に比べて、市内に買い物できるお店が少ないし、食事処も選択肢が少ないかなと思います。若い人が喜びそうなカフェやおしゃれな店を増やしてほしいです。川下り以外の観光開発や公園などの設備もお願いしたいです。	女性	50歳代	要望
垂見	・ 川下りを、もっと色とりどりの（ネオン）にして、気楽に誰でも柳川市を愛する町にして頂けたらありがたいです。一人一人が思いやりがあって、共感できる所があれば、共感しながら柳川市に住んで良かったと思える町になればと思います。	男性	40歳代	要望
垂見	・ 川下りや御花など、柳川といえばよく知られていて、自慢ではあります。しかし観光にばかり目が行って、住んでいる人からすれば、もっと違うことにお金を使ってほしいです。体育館もだいぶ古くなってますので、作ったらいいと思う。アリーナがあればいろんな人が来て、柳川にお金を落としてくれれます。スポーツできる場があると活気が出ます。長い目で見て、ほんとに必要なものにお金を使って下さい。 ・ 陸上競技場に反対してる人がいるようですが、若い人たちが来てくれるってすごくいい事です!! 反対してるのはスポーツもしない大人の人だろうから、そこは将来を見据えてしっかり計画お願いします!!	女性	40歳代	要望
わからない	・ 観光でまちづくりを行うならば掘割の清掃頻度を増やし、景観統一を行うと良いと思う。外国人観光客増えて歩道などマナーなどの文化の違いでトラブルが増えていると感じている。歩道などに複数の言語のマナーなどの標語を作してほしい。※横並びで歩く。タバコのポイ捨て。ゴミの不法投棄をよく見る。	男性	30歳代	要望
無回答	・ 柳川駅周辺など観光の整備はされていると思うが、沿岸道路など草がとても目立つ時期が多い。計画的に草とりをされていると思うが間隔を調整するなど検討をお願いします。	女性	40歳代	問答・所信
無回答	・ 柳川の川下り、うなぎのせいろ蒸し、お花等観光に力を入れるのは良いと思う。桜やしょうぶなど花も要所に季節ごとにあるが、例えば駅前とか観光名所にはいつもどの季節に行っても、何かしらの花が咲いていてキレイ、ゴミが落ちていない。など当たり前の事をもうちょっと重点的にしっかり取り組んで行けば口コミSNSなどで広がり、リピート率が高くなる。そんなまちになれば良いと思う。又、特産物（のりなど）をどこの飲食店にもあらゆるお土産屋さん、駅前に置いて飲食店なら小鉢に1品必ずつけるとか、カフェにも味付けのりなど1品つけるとか何かしら、名産をアピールするのも良いのではないかな。	無回答	無回答	問答・所信

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「子育て」についての意見 (1/2)				
柳河	・ 観光に力を入れるのもいいですが、もう少し、子育て世代が育児をしやすく、帰って来たいと思えるようにしてほしい。年収で保育料が決まりますが、手取りで考えてほしい。福岡市などでは、ミルクやおむつの配布をしているのを目にすると、柳川市でも実施して欲しいと思ってしまいます。クーポンがあるだけでも違います。検討して下さい。	男性	20歳代	要望
柳河	・ もう少し子育て支援が充実すると助かります。	男性	30歳代	問答・所信
柳河	・ 子供の医療費は、高校生までせめて1200円程にしてほしい。	女性	50歳代	問答・所信
柳河	・ 西鉄柳川駅前に川下りの舟を通すなど、柳川ならではの資源があるので十分に計画的に効果的に活用してほしい。 ・ 小中学校の再編等、予算にあう合理的な方法が（行政的に望ましい方向性が）あると思うが、若い世代が子育てしやすい町づくり、教育づくりをしなれば子育て世代はより都会な地域に出ていくばかりだと思う。教育・医療・福祉など、高齢者でなく、子供若者世代に必要な施策を実施してほしい。そうでないと、市・町ごとジリ貧だと思う。	女性	50歳代	要望
城内	・ これからの若い世代の人たちが暮らしやすい、子育てしやすい環境づくりが必要なのかな、と思います。市役所のみなさま、市民の為お仕事お疲れ様です。大変かと思いますが頑張ってください！柳川大好きです！	女性	50歳代	問答・所信
東宮永	・ 筑後の広域公園のような憩いの場が欲しい。やっぱりプールは必要です。	女性	60歳代	要望
両開	・ 子供に対する政策に特化した方が良い。県南部で「子育てするなら柳川市」と言われるような行動を市には期待したい。 ・ 観光に注力するのもよいが、現状は外需（海外）の力が大きいのではないか。やはり内需の底上げなくして柳川市の発展はない。（観光が内需ではないと言っているわけではない） ・ 両開には店がない、コンビニもない。宮永まで行かないと店がない。これでは高齢者の生活は不自由だ。今のままでは子供達が将来も両開に住もうと思えるはずがない。見捨てられてるようにすら思える。この現状を打開できるのは市の職員の方々だと思う。空き家問題もそう。このような問題をそのままにしているから、若者が柳川を出ていくと思う。固定概念にとらわれず、私達が将来希望を持てるような政策を市には期待したい。	男性	40歳代	問答・所信
両開	・ むつごろうランド、新しくなりましたが夏場でも遊べるよう浅い池やプールがあるといいなあと思います。今年は市のガン検診、受けてみようと思います。	女性	40歳代	問答・所信
昭代第一	・ もっと子育てしやすい町になってくれればなと思っています。スポーツが楽しめる施設が欲しいです。	男性	20歳代	要望
昭代第一	・ 手厚い子育て支援があるといい。（金銭的補助、英語教育、IT教育）大雨時の道路の冠水対策をしてほしい。	女性	30歳代	要望
昭代第一	・ 子供が遊べる所が少ない。子供だけで遊べる所が少ない。安全面で子だけで遊ばせるのも心配。安心して遊べる場所がほしい。室内遊戯場が少ない。	女性	40歳代	問答・所信
昭代第一	・ 柳川市とはまたその市民の方々は、発達障がいに対する理解がどの程度ありますか？すぐに薬や入院と言っでとじこめたり排除しようとする。	女性	40歳代	問答・所信
昭代第一	・ 市民のための公園や運動場また、室内で子供が安全に遊べる場所の環境を作ってほしい。	女性	40歳代	要望
昭代第二	・ 遊ぶところがない。	男性	10歳代	問答・所信
蒲池	・ 近いうちに子どもが欲しいと考えているので、子育て世代にやさしい環境だと嬉しいです。	女性	20歳代	問答・所信

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「子育て」についての意見（2/2）				
蒲池	・ 少子化問題は深刻で、すぐに解決にはつながりませんが、今の子供たちを大事に思うと学校のあり方が問題です。先生たち働き手のことも考えないといけません、子供たちの教育の場が確保されていないように感じます。具体的に中学生の部活動ですが、生徒数が少なかったり指導者の問題もありますが、どんな形であれ、全員スポーツを経験できる環境を作ってほしい。スポーツは健康、体づくりと精神面を育む。体が強く、精神が強く、コミュニケーション能力がある子供が社会で生き残っていきます。今のままでは経済的に余裕がある家庭や親が子供の教育に熱心な家庭しか充実した教育は受けられません。せめて、総合的に意味があるスポーツをできる環境があると、将来子供たちがその経験を活かし、生きていく上に役立つものになると思います。	女性	50歳代	問答・所信
皿垣	・ 公園作りなどに取り組んでもらって子育て世代として嬉しい。これから子育て世代のことを考えてもらおうと子どもを生みたいと思うのでお願いします。	女性	30歳代	問答・所信
有明	・ 陸上競技場等が無駄なものにお金をかけてほしくない。子育て支援や高齢者福祉など生活に密着した暮らしが向上するようお金を使ってほしい。子どももそうだが、親が住みやすい環境を整えないと住み続けたいとは思わない。	女性	40歳代	問答・所信
中島	・ 市道の舗装。 ・ 子育てに対する助成をもっと厚く。	男性	40歳代	問答・所信
中島	・ 子供達は宝です。柳川の未来を作る子供達を育てる親世代のみなさんの暮らしやすい柳川にして下さい。それと1つお願いがあります。老人会の定義を広報で教えていただきたいです。	女性	60歳代	問答・所信
六合	・ 子育てしやすい環境になるとと思いますが、子供の学校の制服にお金がかかりすぎと思います。安くなるか助成とかあればと思いました。 ・ 道路に草が生えている場所が多く、特に沿岸道路辺りに多く見られることがあるので、道路がきれいになっても、もったいないと思います。	女性	40歳代	問答・所信
大和	・ 大和町の小学校の統合は、本当に子ども達のためになるのでしょうか、学力の面が特に気になります。コロナ以来、学力が低下しているような気がします。人数の少ない学校での授業でもついていけないのに人数が増える中でついて行けるのでしょうか、学校の対応はどうなのでしょう。又、土曜、日曜、祝日等の子供の居場所はどのようなのでしょうか。近くの元の学校に遊びに行けなくなるとしたら、子供達はどこで過ごすのでしょうか。高齢者の方の生活も気になります。市のバスを利用しようにも、病院の指定の曜日は合わない、時間的に利用が難しいという方もいらっしゃると思います。買物、病院、郵便局等、すべて徒歩で頑張っている方もいます。	女性	60歳代	問答・所信
豊原	・ 柳を切られて悲しくなりました。働いていたいのに、学童の制限に悩まされています。特に高学年。1人での家での時間、他に受け入れてくれる施設つくるなど、子育てに優しい市であってほしいです。	女性	40歳代	問答・所信
藤吉	・ 他の市と比べて児童手当や子供手当等が充実していないように感じます。（まだ子供はいませんが…）	男性	20歳代	問答・所信
藤吉	・ 子育てしやすいまちづくりをしてください。	女性	30歳代	問答・所信
藤吉	・ 子供をこの市で産んでよかったと思えるよう改善してもらいたい。市としての産業が観光ばかりで、離れた地区では恩恵がない。	男性	40歳代	要望
藤吉	・ 経済を良くしてもらいたい。（企業誘致を頑張ろう） ・ 若いお母さんが働ける環境作り。	女性	60歳代	要望
無回答	・ 地域の広場は各所あるけど、子供の遊び場があまりないように思えます!! 家の前で子供達で遊んでいるが、ボールなどで近所の窓ガラスが壊れたと聞きました!! 子供たちが思うには、場所がないとのこと、もっとまちづくりを活用してもらいたいです!	無回答	無回答	問答・所信
無回答	・ 子供達が遊べる様な公園などももう少し数があったら良いかと思えます。	無回答	無回答	要望

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「公共交通・道路」についての意見 (1/2)				
柳河	・ 車を使う人が多いからか、歩道がない道が多く、ベビーカーや小さな子供を連れて歩くにはとても心配です。親切な方や自動車マナーが良い人が多く、トラブルにはなっていませんが、整備されていくと安心だと感じました。	女性	30歳代	要望
柳河	・ 商店街の歩道が狭く、路駐などもあり、通学時に危険だと感じる事がある。船下りの景観がもう少し整備されたら良いのになと思う。	女性	40歳代	問答・所信
柳河	・ 遊歩道をもっと分かりやすくしてほしい。途中、うす暗く、怖い所もあるので、明るく、歩きやすい遊歩道になってほしいです。柳川の掘割沿いの散歩コースをキレイにしてほしいです。	女性	40歳代	要望
柳河	・ コミュニティバスは時刻などわかりにくい。城内と城外をゆっくり回ってもらいたい。もっと、乗りやすく、カートを持っても大丈夫な様にして欲しい。コミュニティバスがよかもん館や商店街に停まる様にして欲しい。	女性	40歳代	要望
柳河	・ 柳川は観光の町としては素晴らしい町だとは思いますが、私は将来（老後に）住みたいとは思いません。高齢者にも暮らしやすい町づくりを考えてほしいものです。免許返納後のタクシー割引券が2年とは短すぎます。足の弱い母はバス停にもいけず、毎回毎回タクシーで行かせるというのは、年金暮らしの生活では大変です。コミュニティバスの見直しを考えていただきたい。	女性	50歳代	要望
柳河	・ 柳川市内だったら低料金一律¥300位で自宅まで来てくれて、用事が済めば又送ってくれる。そういう乗合タクシーを考えてもらいたいです。一人暮らしの年金生活している方、障害をもってある方々には助かると思います。	女性	70歳以上	問答・所信
城内	・ 伝習館高校、柳川高校前の4車線の道路（770号線）に信号なしの横断歩道があります。主に高校生の利用が多いとは思いますが、市の中心部にある広い道路で車両も速度を出し、非常に危険であると感じています。夜間は特に見えづらいです。せめて押しボタン式の信号をつけるなど、今ある横断歩道と合わせて整備する必要があると思います。事故がないよう安全なまちづくりをお願いしたい。	男性	30歳代	要望
城内	・ 道路の整備をしてほしい。	男性	50歳代	要望
城内	・ 杉森高～本町信号の朝は交通量が多く、バスも多く通る歩道の無い道を小学生が通学しているのを見ると怖くなる。かわいそうになる。いつか事故が起こる。公共施設も行き当たりバッタリの都市計画でバラバラに位置し、それぞれ広い駐車場を設け、平日はガラガラ、イベント時はシャトルバスって無計画にも程がある。これは大川市を見習うべき。	男性	50歳代	要望
矢留	・ とにかく道路の狭い場所が多く、通行が面倒。100年前の人力車時代の道路のようだ。広くしてほしい。	男性	50歳代	要望
昭代第一	・ 昭代の道が狭く走りづらいので広くしてほしい。街灯が無い所があるので増やしてほしい	男性	30歳代	要望
昭代第一	・ 観光に力をいれているのに道路整備がまだまだである。バスが通れない道路や駐車場問題を解消すべきでは。	男性	60歳代	問答・所信
昭代第一	・ 路線バスの本数が少ないので利用しにくい。少子化、高齢化問題がありますが市民が柳川市は暮らしやすいと思える幸福度の高い街になれば良いと思います。	男性	60歳代	問答・所信
昭代第二	・ 西鉄バスの運行本数を増やして欲しい。	女性	10歳代	要望
昭代第二	・ 柳川、道路が狭い。道路標識も薄く、汚いので運転しにくい。	女性	20歳代	問答・所信
昭代第二	・ 自転車道、歩道が狭い。	女性	50歳代	問答・所信
昭代第二	・ 沖端の石畳道路の雨の日は滑るからアスファルトの道に替えて欲しい。水の郷の駐車場で車が停められないときがある。	男性	70歳以上	要望
蒲池	・ 蒲池にも、蒲池駅または柳川駅行きのバスが通ってほしい。	女性	50歳代	要望
蒲池	・ 自分も含めて高齢化が進む中、外出しにくくなって来た。病院や公共施設等に行きたくても交通の便が悪く行けない。（コミュニティバスがあるにはあるが便が悪い）タクシー割引券があればいいと思う。	女性	70歳以上	問答・所信

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「公共交通・道路」についての意見 (2/2)				
蒲池	・ 現在移動は自分の車だが、数年後はコミュニティバスを利用しようと思います。その為バスの存続と本数を増やしてほしいと思います。	女性	70歳以上	問答・所信
皿垣	・ 元柳川市だけいろいろ整備されているが、田舎の方はそのまま道は狭いし道はがたがた、駅には駐車場もない車がないと生活できない。	女性	50歳代	問答・所信
皿垣	・ 家の前のクレークに面した道路の陥没部分をちゃんと補修してほしいです。	女性	70歳以上	要望
中島	・ 中島→上ヶ地の遊歩道付近に街灯を設置していただきたいです。夜は暗くて通るのが怖いし、危険です。	女性	20歳代	要望
中島	・ 道路の修理をお願いしたい。大和町中島地区の藤野医院、中島保育園の通りの雨の日に市役所の方から見てもらいたい。歩道は水たまりで通ることができません。何度かお願いしましたが…。良かったら柳川・三橋方面だけでなく大和町の方にも目を向けてもらいたい。過疎化してます。中島の方は。	女性	70歳以上	要望
六合	・ (1日) 大和町はバスがないので、とても不便です。今後はバスが利用出来る様にして頂きたいです。	男性	60歳代	要望
六合	・ 歩道の整備、多目的広場をつくる。	男性	70歳以上	要望
大和	・ バスなどをもっと増やしてほしい。	女性	40歳代	要望
豊原	・ コミュニティバスについて、町中を走っているのはよく見かける。時々、ここで乗れたらいいな、と思う時はある。乗り方、降り方、料金、もっと分かりやすく、もっとPRしていただくと利用しやすくなると思います	男性	50歳代	問答・所信
藤吉	・ 歩道が狭いので歩道の幅を広げて欲しい。 ・ 景観を重要視しているのは理解出来るが、駅付近の歩道のタイルはキャリーケースやベビーカーが押しづらいので変えて欲しい。	女性	30歳代	要望
藤吉	・ 駅の無料駐輪場が階段近くにあれば公共交通機関の利用頻度が増えると思います。	女性	40歳代	問答・所信
藤吉	・ とにかく道路のアスファルトが悪くて困っています。凸凹していたり、穴がいたり…。ジョギングをしますが、何度もこけそうになったりつかかりました。自転車の学生さんも上手に避けては行ってます(若さゆえ、、、) 沿岸道路の側道の蒲船津辺りはタイヤ側に水たまりが大量にできるので、雨上がりは車が水しぶきをあげて行くので歩行者は大変です。(これは県の仕事かも) 県にお伝えください。	女性	50歳代	要望
矢ヶ部	・ 私は車は運転しなくて、自転車で移動してます。自転車が安心して通行出来るよう道路を整備してもらいたい。車が横を通る時、怖いと思うことが何度もあり、なるべく区別してある道を通るけど家から辻町、京町までは毎日怖い思いをしている。昔は今みたいに車が少なかったのもう思わなかった。コミュニティバスを利用したくても近くに停留所がないので、タクシーの利用になる。(雨とか病院に行く時)	女性	70歳以上	問答・所信
無回答	・ 今古賀の交差点は、交通量も多く、自転車、徒歩の方と朝夕、渋滞する時間もありますが、道路が狭く、さらに歩道が極狭なので、たまに自転車と車が接触するかもとヒヤッとする時があります。歩道を整備して頂きたい。特に今古賀信号機の横の歩道は、一段高くなっていて、とても危ないです。早急に対応をお願いいたします。何年も前から伝えておりますが、他の道路が優先なのか、いつまでたってもそのままです。いつか事故がおきないかと、いつも心配しております。	無回答	無回答	要望

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「行政」についての意見 (1/17)				
柳河	・ 柳河小学校近く、柳川市常磐町の竹やぶ、草むら、ムカデ、へびなど多くみえます…。小さい子供達も多いので不安です。狸も一度見ました。	女性	30歳代	問答・所信
柳河	・ 大河ドラマの誘致活動を長期間行っていると思うがほんとうに必要なのか？決まったとして、観光客が増えたり柳川の事を知ってもらえるのはいいと思うが一過性のものにならないのか？それよりも子育て支援や不妊治療等、子供を育てるには柳川が良いと思ってもらえるようなまちづくりを進めていった方が良くと思う。	男性	30歳代	問答・所信
柳河	・ 柳川市内や中心部だけでなく、大和町・三橋町なども活性化するようにしてほしい。もっと大型ディスカウントスーパーや病院など増えてほしい。 ・ 市のがん検診などは対象者には通知や受診方法など分かりやすくしてほしい。公式LINEやホームページで確認して下さいというのは無しで!!住民税を多く払っている分、柳川市民でよかったと思わせてほしい。	女性	40歳代	要望
柳河	・ 柳川は年配の方が多く市ではありますが、若者のすみやすいまちづくりにも取りくんで頂けるように期待しています。	女性	40歳代	問答・所信
柳河	・ 地域おこし協力隊の柳川のアピールが足りない。	女性	40歳代	問答・所信
柳河	・ 駅のまわりが新しくなるのを楽しみにしています。柳川にも運動公園ができるといいなと思っています。	女性	40歳代	問答・所信
柳河	・ 地元の野菜を購入できる機会が少ないと感じます。時々よかもん館は利用しますが規模が小さいため、みやま市の道の駅まで足を伸ばさなくてはならないのが少し残念に思います。また、観光地の割にうなぎ以外の飲食店がほとんどない状況で魅力が少ないのではないのでしょうか。	男性	50歳代	問答・所信
柳河	・ 古くからあるものを大切にしてい居心地のよいまちにしたい。	女性	50歳代	問答・所信
柳河	・ 税金が高くないようにお願いしたいです。人件費、維持管理の削減、見直し。出費を減らしていければ良いと思います。	男性	50歳代	要望
柳河	・ 柳川市は高齢者が多いので高齢者にとっても住みやすいまちづくりにも力を入れて欲しいと思います。例えば、病院へ行く時公共機関やタクシー代の割引等。免許証を返納しても不便のないようにして欲しいです。	女性	50歳代	要望
柳河	・ 温暖化のため、子供（中学生まで）の夏休み期間を延長など行う。 ・ 柳川市議会議員の撤廃、0にする。 ・ クリークなどの整備。 ・ 食料品など市独自の消費税を無しにする。	男性	50歳代	問答・所信
柳河	・ 出生数が増えることによって、人口が増加する市になることです。	男性	50歳代	問答・所信
柳河	・ 市職員は、良く、やってくれてる。	男性	50歳代	問答・所信
柳河	・ 観光に関する質問が多いですね、立花をNHKのドラマに、冗談を言っていると考えている人が多い。可能性は極めて低いほぼ0、偏りすぎ。	女性	60歳代	問答・所信
柳河	・ 川下りの方にばかり税金を使われているが、もっと他に使ってほしい。	女性	60歳代	問答・所信
柳河	・ 子供が自由に遊べる空間、神社等、（公園とか）草が生い茂っていて遊べない所が多い。このような場所も使えるようにしたらどうかと思う。駅前の景観も悪い、玄関口なのでもっと管理してはどうかと思う。柳川を代表する場所は、川下りと御花だけではない様に思う。	女性	60歳代	問答・所信
柳河	・ 柳川市立小中学校の再編計画でR7年度より大和町が始まりますが、現実どうなっていくのか…。少子高齢化の中、子ども達の健やかな成長を願います。	女性	60歳代	問答・所信

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「行政」についての意見 (2/17)				
柳河	・ 数十年後を見据えた掘割を活かしたまちづくりをぜひ行っていただきたいです。あめんぼセンターの近所に住んでいるのですが、親水公園だったはずなのに壊れたまま放置された噴水に柳川市の観光、まちづくりが映し出されているように思います。川辺に開かれたまちを目指しているのなら、予算がないと言って放置せずクラウドファンディングなどの手法を使ってでも、子供や大人も憩うことのできる環境をつくるべきです。夏場などたくさんの子供達があの場所を楽しむ事が出来ると思います。数年前イギリスのヴォートンオンザウォーターという町に行ったのですが、そこは柳川と同じように街中に川が流れており、それはそれは素敵な町でした。柳川と決定的に違ったのは川の中に入って遊んだり、足をつけて涼んだり、とにかく水を前面に打ち出し楽しめる環境があるという事です。柳川は掘割というとても大きな財産があるのに残念ながらあまり生かされていないように思います。ぜひ市民から愛される掘割にするために、沖端地区だけでなく、市民がよく行く図書館の周辺や日吉神社の街並みを市民のために整備して頂きたいです。	男性	60歳代	問答・所信
柳河	・ 空き家問題がなかなか進まないように思います。固定資産税を上げて解体しない家が多いし、誰の土地なのかかわからないところもあります。柳川だけではないと思いますが、解体しないと活性化しないのでは？	女性	70歳以上	問答・所信
柳河	・ 町内費がどんな風に使われているのか気になります。町内費の会計は年一度の報告を義務づけて欲しいという事を指示して頂ければと思っています。お願いします。	女性	70歳以上	問答・所信
柳河	・ 西鉄柳川駅から川下りが出来る様に工事があっていますが必要ですか？まだ市内の道路や川の護岸工事などやらないといけない所が沢山あると思います。	女性	70歳以上	問答・所信
柳河	・ 観光の町、柳川として、全国的に知られているかと思いますが、今の柳川は人口が減る一方で、町の賑わいなんてどこにあるのかな？なんて思います。もう少し人口が増える様、企業の誘致等によって若い人が集まる街に力を入れてもらいたいです。	女性	70歳以上	要望
柳河	・ 空き家、空き地問題にもっと積極的に取り組んで頂きたいですね。	女性	70歳以上	問答・所信
柳河	・ 地球温暖化など、環境問題には歯止めがかかりません。私たち人間は、もっと人間本意ではなく、自然本位の方向に向かないと、大変なことになると感じています。	女性	70歳以上	問答・所信
柳河	・ アンケートなど問うなど無駄な経費。市議会、行政又区長は何しとる!!民意を問う前にまずは、首長始め行政主たる課長は、毎日と言わずとも柳川の町並裏々を足で見て廻り、市民の生の声を直接聞く事が早道ではないか。市民と行政との親密感がなさすぎる。足を運び生の声を聞けば自ずと答えは出る!!	男性	70歳以上	アンケートに関して
柳河	・ 高齢者世帯のお買物難民への個人事業ではなく市の対応を考えてほしい。 ・ 柳川駅にシアトル系カフェを。せっかくデザイン性の高い駅舎なので通勤者にも観光客にも喜ばれるよう。 ・ 映画館のないまちは、悲しいですが大川市が計画している様な大規模な施設は無用。柳川市の品の良さを、残して遅れ感のないダサくないまちになってほしい。	女性	無回答	要望
城内	・ 市民会館の跡地はどうなるのか気になる。	女性	20歳代	問答・所信
城内	・ 駅の周りだけではなく、商店街（京町、辻町周辺）の開発をお願いしたい。沖端周辺はもっと風情を大切にしたい取り組みをしていただきたい。	女性	40歳代	要望

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「行政」についての意見 (3/17)				
城内	・ ここ数年、県外から数名の「地域おこし協力隊」の方が来られるが、来年度から中止してほしい。船頭として今も働いている男性以外、何をしているのか活動の様子が全く伝わってこない。柳川市民の中でも、船頭の方以外は話題にものぼらない。私達、柳川市民の大切な税金を実質のない（柳川市民の間ではそう思われている）こと、人達に使わないで欲しい。	女性	40歳代	問答・所信
城内	・ 柳川をもっとPRするには、スポーツだと思う。昔は、柳高のテニス、野球が強く、盛り上がり活気づいていたが、今は特に柳高の野球部が低迷しており、柳川市民の応援も今一つ物足りない。今はもっと野球部の生徒さんがユニフォーム姿で市内の清掃活動や、イベントなどに参加し、活動する事で、市民の皆さんがもっと応援してくれる様になり、引いては野球部の生徒さんも活気づき、強くなり、甲子園へともなれば、昔みたいに柳川が活気づくのではないかな。	男性	50歳代	問答・所信
城内	・ 大河ドラマ招致は、いいかげんやめたが良いと思います。するなら吉政公でしょう？今の柳川の基礎は吉政公です!!	男性	50歳代	問答・所信
城内	・ 企業誘致、雇用創出等取り組みを進めて若い人たちの働く場を確保してほしい。 ・ 水の郷2Fのトレーニングルーム機能充実、事業展開を図ってほしい。現在の状況では手狭で、これ以上の事業展開には制約があると思うが、場所を2Fの視聴覚室に移設して、広いスペースを確保し、大木町のアクアスみたいに、スタッフもしっかり配置して各種のスタッフレッスン等健康づくりを推進してほしい。健診結果の通知とともに医療費削減の為に運動の動機づけを支援し、体験レッスン会なども同時にされたらどうでしょうか？近い将来、公共施設の統廃合等考える時にも、大和の保健福祉センターやサンブリッジの建物（トレーニング用具など）の使い方も検討されていくであろうけれども、水の郷は保険、健康づくりの拠点として機能面、事業展開の面でも充実を図ってほしい。	女性	60歳代	要望
城内	・ 人（全ての年代）が集うような場所と機会をつくって欲しい。 ・ 空き家や廃屋をなくす。 ・ 水の郷のような高齢者が気安く集まり易い場所を充実させる。	女性	60歳代	要望
城内	・ 人を大事にするまちにしてほしい。多様性を認め合い、お互いを思いやることができるように市で取り組む。〔例〕パートナーシップ制の導入etc	答えたくない	60歳代	問答・所信
城内	・ 一部の方が積極的にまちづくりに関わっておられ感心しています。一方何も興味もなく、不平ばかりを言う方もおられます。関心があっても、すべてを知らない方もおられます。どうやって、そんな方々を参加いただくか、いつも課題だと思えます。ごく身近の方とのふれ合いがもっと増えることを願います。大変なことと思わず参加できるよう、地域のコミュニティを今以上に発信していただければと思います。これからの子供達に楽しい人生を、今までお世話になってきた諸先輩を大切に思いやる、まちづくりを希望します。	女性	60歳代	問答・所信
城内	・ 知らないと答えた項目が多かった。広報活動を充実して欲しい。掘割の水質向上、川床の美化に取り組でもらいたい。	男性	60歳代	問答・所信
城内	・ 前年度末に退職して散歩を始めた。現役中は多忙でじっくり街中を見ることがなかった。もっとテレビなどでPRが必要だと感じている。	女性	60歳代	問答・所信
城内	・ 高齢化が進み、若い人がいない。学校を出たら市外に出る人が多い。前記の為、企業の誘致が必要と思われる。観光のみでは今後の発展は困難だと思われる。	無回答	70歳以上	問答・所信

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「行政」についての意見 (4/17)				
城内	・ 柳川駅前の工事中の川が完成した後、どうなるのかと心配です。新しい掘割を作る費用があれば、観光客も楽しめるような駅から町中の（シャッター通り）充実した計画を、遊歩道の整備など、掘割の傷んでいる所の修復など…。ライトアップもちゃんとした専門家の意見を聞いて欲しい。掘割に似合わないところでもない灯りを掘割に突き刺してある。景観条例をもっと活用できないでしょうか。	女性	70歳以上	要望
城内	・ 景観を言うのであれば少しの補助があってもいいのでは！毎年切っておりま す。植木屋さんに頼んでいます。隣の川岸に大木があり川を越え向こう岸に届 きそうです。市が全部受けるのですか？（高齢で施設に入居です）	女性	70歳以上	問答・所信
矢留	・ 津波タワーを設置してほしい。雇用保険手続きを柳川市内でできるように要望 してほしい。	男性	20歳代	要望
矢留	・ もっと周辺施設が充実してるまちづくりに力をいれてほしいです。	男性	40歳代	要望
矢留	・ 税金は必要なところに使用して下さい。	男性	40歳代	問答・所信
矢留	・ 柳川にこれからも住んでいきます。若者達が遊ぶ場所がないのでしょう。深夜 大声で歌って（ラップ調）寝れない日があります。赤ちゃんや病気の人もいま す。静かに遊んでいただきたい。色んな年代がこちよく暮らしていけるよう にお願いします。	女性	40歳代	問答・所信
矢留	・ 若い世代が暮しやすく、生活出来る様な経済的支援をお願いしたい。	男性	40歳代	要望
矢留	・ 人口減少に歯止めがかかる様な施策があれば良いのかなと思います。	男性	50歳代	問答・所信
矢留	・ もっと公平な職員配置を!!	男性	50歳代	問答・所信
矢留	・ 柳川城を建てるために、募金して集めたお金で燃えてなくなった幻の城を建て ません。	男性	50歳代	問答・所信
矢留	・ 町の美化運動をやってほしい（月1回程度）柳川市民として草が生えて美観をそ こなっているといつも思っている。市民としてはずかしい。幹線道路は特に思 う。これで観光の柳川といえるだろうか？	女性	50歳代	要望
矢留	・ 最近、柳川にも若い方がいるので、盛り上がるイベントなどを行ったら活気が 出ると思う。自然のある、のどかな町、歴史、文化などいろいろあるので、PR をしていければいい。Youtube、SNSなども活用して。食べ物飲食店が多様にあ ればいい。うなぎ屋だけでは高いしなかなか行けない。	男性	50歳代	問答・所信
矢留	・ 支援制度（柳川市独自）が、少ない地域に移住しようとは考えない。例えば、 EVカー支援においても柳川市は0円、人が集まる地域は生活面での支援が充実 している。他域の支援内容について存知しておられるのか疑問です。	男性	60歳代	問答・所信
矢留	・ 高齢者、一人世帯増の為、地域の区分の再編成が必要では。	男性	60歳代	問答・所信
矢留	・ 若い人達が仕事できるように、企業を誘致して欲しい。	女性	60歳代	要望
矢留	・ 住みやすいまちにして欲しい。職員さんの言い方がきつい時があります。忙し いのはわかりますがもう少し丁寧な対応をお願いします。	女性	60歳代	問答・所信
矢留	・ 街路樹の剪定、根本の草とりをしてスッキリ見えるように。市のものではない けど、柳川高校の南側、道路側の植木が延び放題にならないように切ったら、 車から見てもスッキリすると思う。道路の白線がはっきりするよう塗り替えを 定期的に。	女性	70歳以上	問答・所信
矢留	・ 昔の公民館が古く、災害時の避難所として利用出来る様にして頂きたい。家の 近くが利用しやすい。	男性	70歳以上	要望
矢留	・ 無駄な費用は止めること。他にやるべきことがあるだろう血税を大切に使うこ と。	女性	70歳以上	要望
矢留	・ 働く場所を増やし若者が定住できるよう望みます。白秋を大きく広め柳川を全 国へアピールすれば心の癒しになるでしょう。がんばってください。	男性	70歳以上	問答・所信

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「行政」についての意見 (5/17)				
東宮永	・ 大手企業の誘致お願いします。(コストコ、イケア、半導体工場、アウトレットパーク、武雄みたいな図書館) ←働き手がないと若者逃げますよ。リスクとらずにリターンなし。このアンケートは集約された物を上の人が目を通すのですか? そんなでしたらオワコンですよ。生の意見を見せた方がいいですよ。	答えたくない	30歳代	問答・所信
東宮永	・ 駅前の工事は大丈夫でしょうか? スムーズに行くのか心配です。東口の駐車場が少ない。	男性	60歳代	問答・所信
東宮永	・ 一年間通してイベントはいろいろとあっていますが市民が参加することは少ないのでは。	女性	70歳以上	問答・所信
東宮永	・ 空家対策(原則持主さんが対策するべし) 荒れている空家、防犯、安全面で気になる。いろんな多くの施設を見直してほしい沢山あり、活用となると…赤字のつけが柳川市の子どもたちにきますよ。三橋、大和、柳川、合併したのでそろそろ柳川市で。	女性	70歳以上	問答・所信
東宮永	・ 若年層の人が正社員で生活を心配しなくてよい職場が欲しい。実状はわかりませんが不安定雇用が多い気がします。まずは市役所関係から再雇用への不安を持たせない非正規雇用の方を本人の都合以外での非継続をやめて希望する人は不安なく継続して働ける環境を公的機関が率先して取り組んでほしい。でないと若い人の流出は止まりませんよ。	男性	70歳以上	問答・所信
東宮永	・ 町全体的に、活性化がなされていないようだ。部分的にはあるが断続的で総合的に多くの市民が興味も持ち、参加するように方向付けが大切ではないか? 実施方針が少し間違っているように思う。以上	男性	70歳以上	問答・所信
東宮永	・ 健康寿命を延ばす施策…独居老人等の食生活(栄養管理士等による料理講習)。耕作放棄地を利用した野菜づくり。	男性	70歳以上	問答・所信
東宮永	・ 柳川市の大災害時における防災取り組みが筑後地区の市町村に比べたら、かなり遅れている。避難所の設営、設備(テントの設営等)がなっていない市長のやる気のなさを思わせる。市職員も各地区の自主防災組織に任せてやる気があるのかなあとします。	男性	70歳以上	問答・所信
東宮永	・ 観光掘割は良いが、あとの掘割は泥や水草等で汚い。 ・ 道路の狭い所が多い。 ・ もっと市報で柳川の特産品やイベントを大々的にPRしたら。	男性	70歳以上	問答・所信
両開	・ 柳川は水郷と掲げているが掘割が汚い。もう少し市民に寄り添うイベントをした方がいい。	男性	10歳代	問答・所信
両開	・ 柳川城の再建 ・ 企業の誘致	女性	20歳代	問答・所信
両開	・ 灯りが無い場所に街灯が欲しい。	男性	20歳代	要望
両開	・ むつごろうランド外にサッカーゴールとバスケットゴールを転倒防止をして設置してほしい。柳川よかもん館は駐車場が狭く出入りがしづらいので移転した方が集客できそう。行ってみたいが狭いという声を聴く。両開に街灯を…中六十丁の大きな交差点は事故が多発するので信号をつけてほしい。	女性	30歳代	要望
両開	・ 大河ドラマ招致は、応援しています。実現したら良いな、と思っています!! 掘割の水が、もっときれいになったら良いなと思っています。 ・ 障害をお持ちの方やハンデのある方にも、もっと住みやすく優しい柳川市になっていたら良いなと、と思っています。	女性	30歳代	問答・所信
両開	・ 観光客の呼び込みは良いけどもっと市民が住みやすいよう他の市町村の良い所を参考にしてほしい	女性	30歳代	問答・所信
両開	・ 柳川市にもっと企業を誘致してほしい。	女性	40歳代	要望

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「行政」についての意見 (6/17)				
両開	・ 公共交通機関の充実。大学卒業しても、柳川市には仕事がない。（帰ってきたけど仕事がない。）柳川市は高齢者にやさしい町だと思う。もう少し、子育てしやすい町にしてほしい。（子供の医療費の無償化の拡大、子供手当の拡大）など。田舎に住んでいるので、車がないと不便なのですが、歳をとった時、コミュニティバスだけでは、不十分ではないでしょうか。又、歩道（通学路）の整備、ガードレールの設置、草取りをしてほしい。（特に雨の日は歩道（通学路）に水たまりが多すぎる。）	女性	50歳代	問答・所信
両開	・ 柳川市のマスタープラン作成を東京のコンサルタントに発注するのがダメ。柳川市のことは柳川市の中で行うのが好ましい。できない業者が多いならできるようにするのか行政であると思う。	男性	50歳代	問答・所信
両開	・ 市民を主体にしたイベント（あるとは思いますがさらに）	女性	50歳代	問答・所信
両開	・ 子供達への待遇も必要だろうけど、高齢者への色々な面でももう少し考えてほしいと思う。	女性	60歳代	要望
両開	・ 柳川駅前や沖端など整備がされています。柳川は福岡でも知名度があるので倉敷の美観地区や大分県日田市豆田町のような魅力のある観光地になる事を望んでいます。それと、大河ドラマ誘致が実現できますよう願っています。近所にも空き家放置や空き地など目立ちます。解体や整地には手続きや資金などの問題もありますが簡素化されるといいと思います。	女性	60歳代	問答・所信
両開	・ 市の活動に参加する事があまりないのでわかりません。ただ、最近思う事は、若い方が結婚しないでもういい年齢になっている人が多い。どうしたら良い縁に巡り合えるのか、これから先を案じます。	女性	60歳代	問答・所信
両開	・ 外部へ向けての情報発信が足りないのでは、歴史もあって、近隣の市町村に比べ色々ネタがあると思うが良さをアピールできていない。	男性	60歳代	問答・所信
両開	・ 廃油、布団の綿について、リサイクルしている所があれば持っていきたい。	女性	60歳代	問答・所信
両開	・ 昔の面影を大切にしてほしいです。	男性	70歳以上	要望
両開	・ グループにまかせてほしい。市が立ちいと金がかかる。ほとんどの市民は生活におわれている。金持ちに関与しすぎている。	男性	70歳以上	問答・所信
昭代第一	・ 掘割をきれいにする。 ・ 時代に合った教育支援。 ・ 子育て世代への支援金。	男性	30歳代	問答・所信
昭代第一	・ みやま市のように、ゴミ袋を各家庭に配布する等地域全体で盛り上げていく必要があると思う。（ごみを減らす活動をしていた時も、一体感が無く、みやま市に完敗だった。）道もガタガタな所が多く草も伸び放題。小学校裏の草など小学生がすっぽり隠れてしまうほど伸びていて危ないと感じます。コミュニティバスも使っている方はほんの一握りだと思います。子供から～お年寄りまでもっと使いやすくなればと思います。みんながもっと安心して快適に住むことができるようなまちになってくれればと思います。	女性	40歳代	問答・所信
昭代第一	・ 全市民が平等に幸せだと思えるような市政を行ってほしいです。一部の市民のみ、優遇される対策などは不満にしかありません。	女性	40歳代	問答・所信
昭代第一	・ コストコ、スターバックス ・ 高速道路、新幹線リレーかもめ ・ ドッグラン、カフェ（韓国） ・ 市民税安くする ・ バイクうるさい	男性	40歳代	要望

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「行政」についての意見 (7/17)				
昭代第一	・ 市民文化会館などの施設も良いですが、もっと市民の雇用を生み出せる場を作った方が良くと思います。大型ショッピングモール（や、近年の流行を見てIT企業誘致などをがんばっていただきたいです。私自身、市外のIT企業に通っています。できれば市内に通いたいとは常々感じています。とにかく雇用の場が少ないです。	女性	40歳代	問答・所信
昭代第一	・ 市民が自由に参加や意見言えるコミュニティ施設を見直してほしい。	女性	50歳代	問答・所信
昭代第一	・ 市会議員数が多すぎる。半数ぐらいで充分だと思う。	男性	50歳代	問答・所信
昭代第一	・ 企業誘致（小学校跡地利用） ・ 新規就農者支援（移住者を受入れ出来る程度に）＝住居、田畑、施設、指導、トータルでのサポート体制の整備 ・ 子育て支援策の充実（おばあちゃん世代の活用）「まかせて会員」の実情がわからないので記載しましたが… ・ 観光客向けの街整備 ・ 柳川駅から川下り船着き場（沖端）までの遊歩等の充実や途中に休憩できる場所（喫煙等） ・ 京町の歩道の整備	男性	50歳代	要望
昭代第一	・ 若い人たちが、住みやすい環境づくりが大切だと思います。	男性	60歳代	問答・所信
昭代第一	・ 観光客にお年寄りが自転車でペルをならす人がいる。（遊歩道で）いじめがない柳川へ。お年寄りの買い物問題。人口問題。20年後みやま市と合併ですか。	女性	60歳代	問答・所信
昭代第一	・ 駅前の駐車できる台数をもう少し増やして欲しい。	女性	60歳代	要望
昭代第一	・ 確定申込の窓口には、キッチンと対応出来る人を置いて欲しい。	男性	60歳代	問答・所信
昭代第一	・ 人体に影響があるであろう水道水、及びその配管（古くなって管内がボロボロ？）を整備して欲しい。 ・ 市街地区域の道路整備。市のまちづくりは先ず足許から!!	女性	70歳以上	要望
昭代第一	・ 無駄な箱物は建設しない。維持管理経費を考慮すれば負担が大きい。一部の業界、議員、住民等の機嫌取りの施策は行うべきではない。今後の人口推移を想定すれば、後世に負担を残すべきではない。無駄な施策は出来るだけ避けるべきである。	男性	70歳以上	問答・所信
昭代第一	・ 辻町のよかもん館裏の駐車場をきれいにして下さい。でこぼこがひどすぎる。	女性	70歳以上	要望
昭代第二	・ 図書館でA V コーナーがコロナ以後ビデオやDVDが視聴できないため視聴できるようにしてほしいです。コロナが5類に変更されたため。	男性	40歳代	要望
昭代第二	・ 農業体験や漁業体験等を通じて、老人と若い人の交流から色々な意見が出るのでは？と思います。今あるお祭りも続ける事が難しくなっていると聞きます。（人手不足で）参加型にするにしても、顔見知りではないと参加しにくいです。	女性	50歳代	問答・所信
昭代第二	・ 商店街が活発になれば、さらなるまちづくりになると思います。	男性	50歳代	問答・所信
昭代第二	・ 柳川商店街をもう少しどうにかして下さい。歩道は狭く、ベビーカーや車イスで通るとゴトゴトの歩道で安定が悪い。沖端の白秋生家の前も同じく、舌をかみそうになります。それと西鉄柳川駅の所に水路を引いて工事をされていますが完成したら西鉄だけでなく、全船会社合同で乗り入れが出来る様にして下さい。	女性	60歳代	要望
昭代第二	・ 税金は有効かつ公平に使用してもらいたい。	女性	60歳代	要望
昭代第二	・ 人口が増えるようにして欲しい。	女性	60歳代	要望
昭代第二	・ 税金、予算が適正に使われていればOK!!	男性	60歳代	要望
昭代第二	・ 議員の質問含めて、もう少し市民の声を聞く機会を増して欲しい。 ・ サービスを受けられる人が一部、一握りの人に限られていると思う。 ・ 税金が正しく配分、使われているか疑問だ。 ・ もう少し活気ある市にしたいですね。	女性	60歳代	要望

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「行政」についての意見 (8/17)				
昭代第二	・ 通るたびに沖端周辺の道路の雑草が気になるのですが、バス停には観光客の方が多く、できれば家の前の草取り、掃除して頂くのが一番ですけど。	男性	70歳以上	問答・所信
昭代第二	・ 行政は、公平、公正にやってもらえればと思います。	男性	70歳以上	問答・所信
昭代第二	・ 何かボランティアしたいと思って行った（参加）。年40～50日旅行していて柳川の良さを感じるようになってきているが、もう少しと思っている。	男性	70歳以上	問答・所信
昭代第二	・ 市の職員が多すぎる。	男性	70歳以上	問答・所信
昭代第二	・ ボランティアを多くしてほしい。1Hで100円ですが少し上げてきれいにしたいです。	女性	70歳以上	問答・所信
蒲池	・ 中・高生がもっと柳川に興味をもてるように駅の近くにカフェを建ててほしいです。	女性	10歳代	要望
蒲池	・ ゴミ袋の耐久性を上げてほしい。結ぶところがすぐちぎれます。	女性	20歳代	要望
蒲池	・ 市のイベントや検診など、まだ何があるのか知らないことが多く、まだ1度も参加したことがありません。もっと、周知していただけたら、参加できるのに、と今回のアンケートを通じて感じました。	女性	20歳代	問答・所信
蒲池	・ 以前に比べると、子育てのサポートセンターが増えている気がして助かっています。ありがとうございます。	男性	30歳代	問答・所信
蒲池	・ 非課税世帯や均等割りのみ課税世帯にばかり給付金を出さないで欲しい。所得割の対象者であっても若い世代の単身世帯などは、非課税世帯の高齢者よりよっぽど生活に余裕が無いと思う。所得割の分まで徴収されるばかりで、給付などの還元が少ないと感じる。	女性	30歳代	要望
蒲池	・ 川が多いので、学校の通学路などを中心にガードレールやフェンスなどを今より強化してもらえと助かります。（子供の目線(視線)だと川に落ちそうだなと思った所があった為）	女性	30歳代	問答・所信
蒲池	・ ムダづかいはしないでほしい。	女性	40歳代	要望
蒲池	・ 水路清掃をしてほしい	男性	40歳代	問答・所信
蒲池	・ ご年配の方が多い地域ですが、若い方とご年配の方をつなぐツールがないように思います。お仕事を引退される方の技術や作業場など若い方に譲る気持ちがある方もたくさんいるのでは？柳川にある事業を残すために、若い方の仕事を作るために「空き家バンク」のような窓口があって、かつ、相談できる所があることをアピールして欲しいです。	女性	40歳代	問答・所信
蒲池	・ 行なっている事業を明確に分かりやすく発信してほしい。	男性	40歳代	要望
蒲池	・ 行政によって差を感じる部分がありますが、春先と秋に各地域で燃やされる時間帯等を考えてもらいたい。アレルギーを持つ子供が増えてきている中で、「けむたい」「道路に耕した土を落としてる」とてもいい景観には見えません。もっとまちづくりを考えているのであれば、この部分を考えていかないと今の若い人たちはこのまま住み続けたいと思う人はほんのわずかだと思います。	女性	40歳代	要望
蒲池	・ もう少し働き盛り（30代～50代）への支援をしてほしい。子供や年寄りにだけ手厚いのは、税を納めている者に対して不公平だと思う。	女性	50歳代	問答・所信
蒲池	・ 何の理由もなく柳川に住む方々がどれだけのいるのか全くわかりませんが、柳川に住む理由がないと思ってます。まちづくりを市がどのように考えているのか市民に意見が言えるのですか。大きなお金などを使って工事などがあつてますが、誰のための工事なのかわかりません。市役所の方々の意見を聞きたいです。	女性	50歳代	問答・所信
蒲池	・ 家にそばの掘割に草木が茂っている。自分出来ればいいのだろうが怖い。切った草木の処理も難しい。蜂が巣を作らないか心配。5年ほど前に市からして頂いたのでそろそろなのかなと思ってます。して頂けるととてもありがたいです。	女性	50歳代	問答・所信

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「行政」についての意見 (9/17)				
蒲池	・ 高齢の方も大事だが、今から先、市の力となる若い世代と子供により力を入れて住んで生活して活力のある市の形になっていけばいいかなと思います。	男性	50歳代	問答・所信
蒲池	・ 人口の高齢化が現状であるが、次に来るのは、高齢者が亡くなり、且つ出生率の低下による人口減少にどの様に備えるか、が大問題である。真剣に考えないと手遅れとなる。そのためには、若者を留めおく、移住者を惹きつける何かが必要。 ・ 「地域資源を活かす」と言うが、現状は沖端地区だけが活かされているだけ。以前にもこのアンケートで書いたが、まずは、市内各地区の特色を鮮明にし、ALL柳川による地域資源の活用が必須。高い住民税を徴しておいて、沖端（市街地）一極集中、辺縁地域は置き去りでは、発展なし。Ex. 八女市→旧八女市、旧黒木町、旧立花町、旧上陽町、旧黒部村など、各地区が、魅力ある特色を出し、アピール。カラフルなイメージ。 ・ 特産品を考える。莫大な利益をもたらす特産品が必要。Ex. 八女市→「茶」の産地→莫大な利益をもたらしている。単なる茶葉の販売だけでなく、茶ペットボトルで大手飲料会社とタイアップ。また、茶を利用した様々な食品、製品と多用途に渡る。八女市の某製茶店は、地元では、こじんまりとした店舗も、東京六本木ヒルズにオフィス有。莫大な利益を大手企業相手に上げているもの。当然地元にも還元。	男性	50歳代	問答・所信
蒲池	・ 道路の補修計画を知りたい。	男性	60歳代	要望
蒲池	・ 柳川市内に道の駅のような店を作ってほしい。駐車場が少ない。信号機はセンサーでしてほしい。	男性	60歳代	要望
蒲池	・ 花や緑が多く、安全に過ごせるまちにしてほしい。	女性	60歳代	要望
蒲池	・ 税金を取りやすいところから、急に増やすのは、やめて！！増税分の使い道をはっきりさせて欲しい	男性	60歳代	要望
蒲池	・ 柳川駅周辺（蒲池駅、矢加部駅、徳益駅、中島駅）での宅地開発（住宅を増やす→人口増へ）。施設づくりも必要ですが、もっと身近な楽しめる場所、市民自由カフェ等、中小、個人への応援。 ・ 市民との意見交換会 ・ 個人商店、企業への援助、研修会 ・ 市民よりビジョン募集（柳川の10年後？将来像） ・ 川底が浅い（浚渫工事を）。ありがとうございました。宜しくお願いします。頑張ってください。	男性	70歳以上	問答・所信
蒲池	・ ごみ焼却場跡地の陸上競技場建設取り止め、残念です!!理由は色々あろうけど、何でもかんでも反対では、発展も無いのでは？	女性	70歳以上	問答・所信
蒲池	・ 柳川市民が安心して生活できる市であってほしい。若者に働く場を。少子化、過疎化対策・緑化対策、温暖化対策	女性	70歳以上	問答・所信
蒲池	・ 柳川市内中心街がほとんどシャッターが閉まっている状況のように思います。なんとかまちづくりを考えてほしいですね。複合商業施設など？どうでしょうか。一つの案です。	女性	70歳以上	問答・所信
皿垣	・ 機会があれば、市のイベントや地域のイベントに参加したいと思うが、開催日などの情報をもっとアピールしてほしい。イベント運営などのボランティア募集があれば参加してみたいです。	男性	40歳代	問答・所信
皿垣	・ 学校いじめのない環境作りをぜひ。	女性	40歳代	要望
皿垣	・ 産業創出。若い人が働ける環境が必要。	男性	50歳代	問答・所信

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「行政」についての意見 (10/17)				
皿垣	・ 市議会の動画をYouTubeにアップロードして、見やすくしてください。（現在見にくいです。） ・ 小中学校のPTAで、給食講習会へ2回ほど参加させていただきました。センターの皆さんの様々な工夫で、おいしい給食を子供たちが食べられていることに大変感動しました。一方で、家庭からの給食費の捻出は大きく、この負担が少なくなるとありがたいとも感じています。原材料高騰など様々な苦労があるのは承知しておりますが、地元の生産者の方々のご協力や、子供たちにも野菜を育てる行事などを通して、食育にもつながる取り組みをお願いできればと思います。それがいずれ「柳川ブランド認定品」の周知にもなっていくのではないのでしょうか。	女性	50歳代	問答・所信
皿垣	・ 地区の水路、道路の不具合、市への要望書を出してるが対応が遅い。5～6年かかってます。早急をお願いします。	男性	70歳以上	要望
皿垣	・ 今は車を運転するのであまり困ったことはないですが、これから運転しなくなったらどうなるかなと心配です。	女性	70歳以上	問答・所信
有明	・ 有明（二十五丁、谷垣）の所が外灯が少ないので、増やしてほしい夜は暗いです。	女性	60歳代	要望
有明	・ 人口減少で若い人が少なくなっているので、市内で就職して暮らしが成り立つ様な企業、農業を確立して欲しい。	男性	60歳代	要望
有明	・ もっと農業に力を入れてほしい。	男性	60歳代	問答・所信
有明	・ 大和町に住んでいますが、高齢になり、買い物に行くのに不便を感じます。空き高校などの活用を考えてほしい。	女性	70歳以上	要望
有明	・ 道路へのポイ捨て徹底してほしいですね。周辺に住む私たちは回収しています。ペットボトル、缶。コンビニの食べかす等々。お疲れ様です。	女性	70歳以上	要望
中島	・ 川下りやさげもん以外にも若い人向けのお店や飲食店が増えればいいなと思います。また雨の日には観光が難しくなる点も改善されると嬉しいです。子育てへの支援ももちろんですが、まず子どもを産んでも大丈夫と思えるサポートや環境がつくられることを期待しています。いつも市民の生活を支えてくださる職員さんたちに感謝しています。	女性	30歳代	問答・所信
中島	・ 中島小付近に、空家等が数多く点在しています。防犯上の面、空家周りの雑草など、子供たちが安心して通学できる様な対策をとって頂けると嬉しいです。又、高齢の方がもっと利用しやすいコミュニティバスやタクシーなど、気軽に使える運行時間の整備や周り方など充実していると助かる方も多いと感じます。	女性	40歳代	要望
中島	・ 図書館の本の種類、量を増やしてほしい。 ・ 新築住宅の補助金があるとうれしい。 ・ こども手当を増やしてほしい。 ・ 給食無料にしてほしい。 ・ プール作ってほしい（スポーツジムも）。 ・ 缶・ビン等ゴミの回収日をもっと増やしてほしい。 ・ 道、川にポイ捨てしないようにしたい。 ・ 他の学校との交流が部活以外でもあったらうれしい。	女性	40歳代	要望
中島	・ 中島の南部の街灯を増やしてほしい。	男性	40歳代	要望
中島	・ 色々な事業に対して財政難を感じる。例えば、むつごろうランドもできたが、筑後の広域公園に比べ、日陰も少なく利用者側の目線で作られていない。小学校、中学校の統合に関しても、改修など財政難を感じる。中途半端なお金の使い方、事業自体も中途半端に終わっている。必要なところにしっかりお金をかけないと若い人は八女市、筑後市、みやま市に家を建てていって。柳川市役所職員でどのくらいの方が柳川市に住んで家を建てているのでしょうか。現実に近隣の市に住んでいる方がメリットが多いです。	男性	50歳代	問答・所信

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「行政」についての意見 (11/17)				
中島	・ 観光に力を入れておられるのは良いと思いますが、駅はきれいでも今流行りのものが何もないのはいかがでしょうか。待ち合せや時間つぶしができる所が1ヶ所もない。	女性	50歳代	要望
中島	・ 道路拡張で出きた、小さい公園の正しい整備の見直しをお願いします。特に中島旧北二重公民館の北側です。※台風が来る前にお願いします。。	男性	50歳代	要望
中島	・ 短期的な工事ではなく、10年、20年先を見据えた計画を若い世代に立案していく時期に来ていると思われます。柳川市街の観光にも付加価値が必要ですし、有明海の漁業についても労働力の育成が必要ですし、筑後平野の農業にも特産物が増えれば良いと思います。能力のある人材は年齢に関係なく登用していきましょう。利権政治・行政は不要です。	男性	60歳代	問答・所信
中島	・ 柳川市の中心部分の整備は大変良く出来ていると思いますが、旧町部の整備が中心部よりあまり出来ていないと思う。柳川市は観光地で中心部に集中するのは理解するが、平等な税の使い方をしてほしい。もう少し地方の整備をよろしく	男性	60歳代	要望
中島	・ 旧小学校の有効利用のため、企業誘致。	男性	60歳代	問答・所信
中島	・ 新しく道路を建設するのは、もうやめた方がよいと思います。現在ある道路の保修工事でも、多くの税金が使われており次の世代への負担が増えます。	男性	60歳代	問答・所信
中島	・ 最近、雨の降り方が年々激しくなっていて、災害も多くなっていると思います。冠水で大豆がうまく育たず、また、強制排水ポンプうまく稼働していない時もあるので、新しいのと取り変えてほしいと思います。	女性	60歳代	要望
中島	・ 市は観光事業や川下り事業、大河ドラマ誘致など大和町に関係のない事業に税金が使いきつていないか。	無回答	60歳代	問答・所信
中島	・ 誰もが言っていますが、三橋ばかり整備されていると不満があります。柳川市全体を整備するようにすればいいと思う。柳川駅の今の工事は、ムダではないかという市民はたくさんいます。三橋町だけをきれいにせず、大和町をよく見たことがありますか？するならば柳川市全体をきれいにしていただきたいものです!!	男性	70歳以上	問答・所信
中島	・ 中島地区は海苔の生産があります。冬に時期、昼の間の機械の騒音は我慢出来ませんが、深夜、また夜通しの機械音に眠れなかった。翌日は体調不良になり本当に困っております。こんな意見は私1人でしょうか？	女性	70歳以上	問答・所信
中島	・ 新しくなる事は大変いいことだとは思いますが。古きよき事も残しておいてほしいと思います。	女性	70歳以上	問答・所信
六合	・ 道路の草が気になる。	女性	20歳代	問答・所信
六合	・ 市民の高齢化率を考えると、市民の声を聴けば聞くほど若者が流出していく街というのが率直な感想。若年層の大学進学率がどんどん増えている以上、その学歴に合った雇用がなければ子供が増えても地元には戻ってこない。1次産業と観光業ではその受け皿にならないことを危惧している。福岡市、熊本市（TSMC関連）と全国の中でも発展の目がある都市との中間地点にあるのでその立地に何とか希望を見出してほしい。	男性	30歳代	問答・所信
六合	・ 道路の狭さ。 ・ 物価高騰で辛い。（特に食費・光熱費）	女性	30歳代	要望
六合	・ 大和町にも、もう少しお金使って欲しい。新文化会館-災害時対応（最新空間）。通学路の安全な歩道がない。飲食店の誘地。学校統合に大和地区以外の人の感心なさすぎ。ふみ切りの広さ拡大。	男性	40歳代	要望
六合	・ 市街地は整備されて来ていると思うが、大和町は特に変化がないと感じる。自宅前にある用水路手前は市の土地だが除草等されない為、仕方なく除草等の手入れを行っている。市が責任持って管理してもらいたい。 ・ 県道83号（大和城島線）は改造バイクが遅くにかけて爆音で通行する為、子供が恐がっている。何とかしてもらいたい。	男性	50歳代	問答・所信

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「行政」についての意見 (12/17)				
六合	・ PTA会費の強制実態。間違っていると感じる。	男性	50歳代	問答・所信
六合	・ 時間が出来たら、老人大学で色々な体験をしたいです。それに伴い充実した環境作りをしてもらいたい。	男性	60歳代	問答・所信
六合	・ プラスチックゴミ収集の回数が増えたので良かったと思う。 ・ ゴミ収集車は狭い道路を猛スピードで運転している(60km/h)ので危機意識をもって安全な運転(30km/h)をするよう指導をしてほしい。 ・ 3月末で小学校を閉校して中島小に通学する等聞いているが、徒歩で通学する子ども達の安全をどうか第一に考えてほしい。R208は交通量も多い中で中学生の自転車通学も含めて絶対に事故がないように対策する「課」を設けるなどしてほしい。 ・ 人の悪口や仲間はずれ等で「いじめ、をよく耳にする。標語募集だけではなく小学校でのいじめについて学ぶ機会を増やして、いじめが原因で不登校や転校をする子が減ることを親も子ども社会(柳川市)も考えていくようにしてほしい。いじめる側が悪いという事を行きわたらせる！	女性	60歳代	問答・所信
六合	・ 学校再編後の跡地の活用や地域のあり方がどうなるか気になる。	男性	60歳代	問答・所信
六合	・ 近隣の市町村に比べて活気がないように感じます。「観光の川下り」しかないような気がします。商店街も閑散としてるし、かと言って、大型スーパーとかもないし。子育てにしても1ヶ所で全部出来るような施設があればと望みます。(子ども達を遊ばせられる室内の施設とか)	女性	60歳代	要望
六合	・ 家の前の道路に車から空き缶を捨てる人がまだ居られるのが残念です。	女性	70歳以上	問答・所信
大和	・ 大和庁舎にもたまに行くが、知らない事が多いみたいで時間がかかりかった。それなら遠くても最初から柳川市役所へ行けばよかったと思った。柳川庁舎で説明を受けた際に1人1人の知識のレベルが違いすぎて簡単なことでもこっちから聞かないと教えてくれなかった。説明をする側は何が必要かなど考えながら話すべき。あとは他の市に比べて通知がなんでも遅い。1番、私が言いたいことは子育て世代(母子家庭)の場合、扶養手当を大川や大牟田と同じにしないと人口は減るばかりだと思うのでそこをどうにかしてほしい!!ほんとに地域によっては、お年寄りばかりです。	女性	20歳代	問答・所信
大和	・ 燃えるごみの袋を大きくしてほしい。スーツケースを処分できるところを作してほしい。	男性	30歳代	要望
大和	・ 暗い道、街灯をもっとLEDとか、ゴミ箱の設置をいろいろな場所にしてほしい。市民にもっと、経済的によくなってほしい!!	女性	40歳代	要望
大和	・ 掘割の草が、伸び放題で、見苦しい所がよくあります。道路横など除草作業にも力を入れてほしいと思います。他の市町村に比べて、水道代が高いと思います。	女性	60歳代	要望
大和	・ 参加型イベントが少ない!	男性	70歳以上	問答・所信
大和	・ 柳川市長へ。私は大和町に住んでいる者です。合併とは何だったのか?旧柳川市、旧三橋町はここ数年大変な変わりようです。大和町住民として残念に思う。又、川下り業者、個人事業者、同じ事業主としてどうしても川下業の方が特割のように感じる。観光はわかるけど!!旧大和町の者としてちょっと不満。	女性	70歳以上	問答・所信
豊原	・ 切実に、子供達の遊び場が近隣にない。むつごろうランドに大きい公園が出来たのは嬉しいが、各地区学校から帰ってから遊びに行けるような近場の(小規模の)公園が少ない。大人も子供も運動しやすい街づくりをお願いします。また、イベント企画の際、どうしても沖端、柳川駅、川下りのコースなどが多い為、大和方面(旧大和町)からは遠い為か疎外感、自分達とは関係ないという気持ちがあるのではないかと思います。是非、市民全体で楽しめる場所や施設、イベント等つくって頂きたいです。	女性	30歳代	要望

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「行政」についての意見 (13/17)				
豊原	・ 元気になる教室のボランティア、65才未満でもボランティアのポイントがほしい。	女性	50歳代	問答・所信
豊原	・ 柳川市公式LINEをもっと広めて活用してください。情報発信が少なすぎます。例えば、藤棚やひまわり園の見どころや水都やながわのイベント情報なども欲しいです。 ・ 柳川市には西鉄電車の駅が6か所もあるのでその周辺を整備して住宅地を増やすと移住者や若者が増えるのではないのでしょうか。 ・ 柳川市で働く場所がない為に、若者人口が流出しているのが一番の問題です。稼げる職場を誘致してほしい。 ・ 柳川初代藩主の大河ドラマ化は厳しいと思うので、アニメ化された方が子供達にも興味を持たれて知ってもらえるのではないのでしょうか！外国人にも漫画は日本の文化でもあるので世界にも広がると思います。 ・ コミュニティバスが市民誰でも100円で乗れることを知られていません！私も知りませんでしたし、高齢者用と思っていました。時々バスを見かけますが、乗客を見たことがありません。PRが足りないのではないのでしょうか、また、バスのデザインがわかりにくいです。キャラクターのこっぱりー君を使った方が目立つのではないのでしょうか！	女性	50歳代	要望
豊原	・ 市職員の住民に対しての正しい対応を望む。	女性	60歳代	要望
豊原	・ 路地に入ると違法駐車が多くて困る事があります。道路のセンターラインが消えていると運転に支障をきたします（特に悪天候の時）「柳川に遊びにおいでよ」と言えるような“まち”であって欲しいです。とは言え、何をしたらいいのか何をして欲しいのかもわからず…お役に立てず申し訳ないです。	女性	60歳代	問答・所信
豊原	・ 当たり前のことですが、市中心部の活性化（観光に頼らずに）農業の振興、少子高齢化、人口減少の歯止めに取り組んでほしい。	男性	60歳代	問答・所信
藤吉	・ 観光客のためだけではなく、市民のためになることをしてほしい。	女性	10歳代	要望
藤吉	・ 図書館が年末年始行きたい時に同じく休刊となっているので行けません。もう少し開館日を長くして、夜も開けて欲しいです。 ・ 花火大会が無くなって残念です。 ・ コミュニティセンターは年寄りの人が多いイメージが有ります。もっと小、中、高生の勉強の場に活用させても良いのでは？ ・ うなぎが高くなって地元の人の方が食べる機会が無いです。 ・ 商工会が平日しか追加販売がしてないので行けません。	男性	20歳代	要望
藤吉	・ 商業施設（映画館など）を積極的に誘致して欲しい。	男性	20歳代	問答・所信
藤吉	・ 沿岸道路沿いの字図が更新されていないため、Googleマップに自宅が表示されない。情報を更新していただきたいです。	女性	30歳代	要望
藤吉	・ 駅前の開発に力を入れ過ぎではないか。川沿いの柵が所々途切れていて危険に感じる（藤吉地区）	男性	30歳代	問答・所信
藤吉	・ 観光地としてはそこそこ盛えていると思うが、「川下り」「うなぎ」「さげもん」以外は何かもない。（観光として人は来ると言うけど若い人は離れていくと思う） ・ 大河ドラマの宣伝が本当に意味があるのか分からない。衣装やグッズに税金かけるくらいなら、もっとおしゃれなカフェや商業施設を作してほしい。特に柳川駅付近に何も無いのはどうにかしてほしい。（口コミ等にも何もお店がないと書かれています） ・ 子育て中の人は、行く所がない。公園はあるけど、商業施設がなく、毎回大牟田や佐賀まで行かないといけないから屋内施設を作してほしい。京町商店街もシャッターが閉まっているお店ばかりで、道が狭くて危ない。道を広くするか、お店を増やす等して、活気を戻してほしい。柳川商店街とか特に何も無いのでその通りを、カフェや食べ歩きなど出来る店を増えたらと思います。	答えたくない	30歳代	要望
藤吉	・ 市民体育館～警察所間の交通量を減らしてほしい。	男性	30歳代	要望

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「行政」についての意見 (14/17)				
藤吉	・ 駅前コンコースの待ち合い車の混雑整理。	男性	40歳代	問答・所信
藤吉	・ 物価高で柳川市民の生活の充実をもう少し考えて欲しい。	答えたくない	40歳代	要望
藤吉	・ 期待しています。	男性	40歳代	問答・所信
藤吉	・ 駅前の道路工事を早く終わらせてほしい。	男性	40歳代	要望
藤吉	・ 柳川市商店街（京町）の活性化	男性	40歳代	問答・所信
藤吉	・ 不燃物ゴミ（ビン、缶）をリサイクルできる場所を増やしてほしい。地域では捨てにくい。	女性	50歳代	問答・所信
藤吉	・ きちんと入館してる方に声をかけてもらっている。窓口に入ると誰かしら出てきてもらっている。（きちんと気にかけていただいていると思う）ここ30年くらいは対応は官公庁はいいと考えます。人口が少なくなっているので企業の呼び込み大きい道路を大都市からやって欲しい。	男性	50歳代	問答・所信
藤吉	・ 子供と高齢者が暮らしやすい取組みに力を入れて欲しいと思います。	男性	50歳代	要望
藤吉	・ よくあるみちの駅みたいのがありますが、あまり利用していません。もっと、他の地域のようになれば、利用したいと思うと思います。	女性	50歳代	問答・所信
藤吉	・ 駅前にファストフード店があれば便利だと思います。	男性	50歳代	問答・所信
藤吉	・ 独居老人が実に多い。タクシーを利用する患者も多い。コミュニティバスに乗れない人も多い。救急車利用も多い。自分が高齢になっている時、（独居老人になっている可能性が高い）が不安。医療、福祉を充実してほしい。	女性	50歳代	要望
藤吉	・ 市職員を働き方改革の基本に、もっと大事にして欲しい。 ・ 台風、災害時の場合は、ゴミの収集は休んでいいのでは！ ・ 西鉄柳川駅前工事費用より、子供、老人、障害者に対する思いを！	男性	60歳代	要望
藤吉	・ 高齢者にも子供にもやさしいまちづくりをしてほしい。こじんまりした施設を充実させたら、もうビックプロジェクトはいらないと思う。人口減少なので維持するのも大変だと思います。柳川が良い街になってほしいと思う。	男性	60歳代	要望
藤吉	・ 観光客の方々が多く来て下さるのは嬉しいのですが、道路の歩き方やマナーがどうかと思う事があります。又、柳川駅前の乗船場工事での不便さ（本当に、あの場所に川下りの駅をつくっても大丈夫なのでしょうか？）道路と踏切の関係など。	女性	60歳代	問答・所信
藤吉	・ 西鉄柳川駅付近の工事を早々に完了し、交通状況を改善してほしい。 ・ 発想力豊かにまちづくりを実行していただきたい。	女性	60歳代	問答・所信
藤吉	・ 掘割の水が汚な過ぎる。水都とはほど遠いと感じる。掘割の水を流し、ゴミが滞留しないようにしてほしい。初夏当たりから臭いもひどい。町に活気がない。商業施設を充実させるべき。道路の舗装が悪く、穴が放置になるところが散見させる。	男性	60歳代	問答・所信
藤吉	・ 大型の企業誘致が必要、過疎化、衰退をしていく。新国道443号沿い、有明沿岸道路沿いの除外転用開発は観光客の導入に必要、トイレ休憩所と柳川物産直売所を計画すべき。人口減少問題は教育面で無償化を進めてほしい。子育てでの最重課題は大学の学費で、外国に見習ってほしい。（ヨーロッパ等）掘割の浄化は市全体で頑張ってもらいたい。市民も含めて。柳川の居住の利点（西鉄特急停車駅）（土地の坪単位が極めて安い）等を発信してほしい。市議会議員も柳川の政治家として市政に協力すべき。	男性	60歳代	問答・所信
藤吉	・ 人気のある芸能イベントを誘致してもらいたい。	男性	60歳代	問答・所信
藤吉	・ 柳川駅前の工事の必要性について疑問に感じている。	女性	70歳以上	問答・所信
藤吉	・ 財政の使用がかなり無用な金が使われているのでは！	女性	70歳以上	問答・所信
藤吉	・ 税務課、住民課の受け付けの人は事務精通された方を配置された方が良いでしょう。	男性	70歳以上	問答・所信
藤吉	・ 無駄が多い。	男性	70歳以上	問答・所信

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「行政」についての意見 (15/17)				
矢ヶ部	・ 生活するなかで、衣、食、住に関しての何か柳川独自のサービスがあればいいです。	女性	50歳代	問答・所信
矢ヶ部	・ 商業施設が充実したまちづくりを考えてもらいたいと思います。	男性	50歳代	問答・所信
矢ヶ部	・ 水路、草刈りなどの整備をしてほしい。定刻のサイレンは本当に必要か、見直してほしい。消防のサイレンも、夜中はびっくりして目覚める。	女性	50歳代	要望
矢ヶ部	・ 市の目的は観光業中心になってしまうのはよくわかりますが、生活者にとってはその他になってます。いかに普通の生活者に目を向けることが必要ではないでしょうか？	男性	70歳以上	問答・所信
ニッ河	・ 掘割をもう少しきれいにした方がいいと思う。高齢者への支援をもう少しした方がよいと思う。	女性	20歳代	要望
ニッ河	・ 柳川市全体の傾向として少子高齢化が進んでいるのはわかるが、子ども連れの家庭が楽しめるような大型商業施設が少ないため、子育てがしやすいまちづくりがされているとは言えないと感じます。高齢者に対する支援だけでなく、子育て世帯への支援、様々な年代が楽しめるような施設の充実を目指すことが、市民の暮らしやすいまちづくりにつながると思います。	男性	20歳代	問答・所信
ニッ河	・ 観光地（沖端や駅周辺など）は道路の整備など整っているが、生活道路も水たまりが大きくできる場所など素早く対応してほしい。	女性	40歳代	要望
ニッ河	・ まち全体、（柳川市街地以外にも）、交通機関を充実してほしい。コミュニティバスももう少し、みんなが乗りやすい感じにしてほしい。小・中学生とかも利用可？とかよく分からない。市街地以外にも、目を向けてほしい。子育て世代、高齢者世代が安心、快適に暮らせるようなまちにほしい。 ・ このアンケートを市民全員にしてもらおうのも、色々意見が聞けていいと思うので全員にしてほしい。	女性	40歳代	要望
ニッ河	・ 燃えないゴミ（ビンや大型の物、その他）を日・祝でも捨てられたらいいなと思います。	女性	50歳代	要望
ニッ河	・ 缶類、ビンの分別はされているが、よく洗わずに置いてあったり、前日にカギを開けられていることもあったりと、当番の日はとても大変。他の家の缶、ビンに触って分別したくないので、指導が必要だと思います。	男性	50歳代	問答・所信
ニッ河	・ 地域資源の活用が不十分。他地域、他業種と連携が必要。	男性	60歳代	問答・所信
ニッ河	・ 柳川市民プールを作してほしい。	男性	60歳代	要望
ニッ河	・ 若い人達が、仕事が出来るまちづくりにしてほしい。川下りだけでは（観光）、若い人は柳川に残ってくれない。まずは、若い人が住みやすい町に!!	女性	60歳代	要望
ニッ河	・ 柳川駅に川下り場を作っていますが、使用頻度が多いのだろうか？と考えることがある。今までの川下り状態で良かったのでは…と。 ・ 税金が高い。物価が上がり、生活が厳しくなっている。これからも市民の住みやすいまちづくりをお願いしたい。	女性	60歳代	要望
ニッ河	・ 老人会、町内会等充実した取り組みがなされています。満足しています。 ・ 西鉄柳川駅前の工事が長引いてます。自転車を利用してよく通りますが大変不便です。	男性	70歳以上	問答・所信
ニッ河	・ 年令、立場（おかれている）等で意見等色々。70代過ぎれば身近な活動に期待。若い人達の将来像に向けた市政活動を！若い人達を中心とした話し合等に期待！活動はみやま市が先行している様な。	男性	70歳以上	問答・所信
ニッ河	・ 三橋のAコープがぼろぼろで雨漏りしており心配です。コミュニティバスの休みが多くてあまり役に立たない。時間も少ない。もっと小さくてもいいから公園がほしい。休憩場所にイスを置いてほしい。	男性	70歳以上	要望
ニッ河	・ 三橋庁舎の前の工事を早くしてほしい。	男性	70歳以上	要望

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「行政」についての意見 (16/17)				
ニッ河	・ 高齢者は出かけたくても足がないので家にいることが多い。もっと活発に動けるようなまちづくりをしてほしい。	女性	70歳以上	要望
垂見	・ 柳川は車がないと生活しにくいと思う。コミュニティバスもあるが、そのバス停に行くまでが遠く、暑い日や雨の日こそ利用したくともおっくうになってしまう。もったいないと思う。 ・ 中学まで子ども医療証が使えるのは本当にありがたく感じた。ただ、高校になると色々な手当てが減ってしまい、かつ、出費が増える。他の市では市内に住む高校生に通学補助金が出るところもあるとのこと。柳川市でも取り入れられると助かると思った。 ・ ある程度収入があると色々な補助金を受けられなくなってしまう。結果出費の方が増え、収入が低かった時の方が楽に暮らせたようにも感じることも。柳川市で頑張ってる（働き過ぎて？）結果報われないと子供にも柳川市に住み続けることをすすめるににくいと思う。 ・ 観光や大河ドラマ招致に力を入れるより、今住んで働いてる人に還元して欲しい。	女性	40歳代	要望
垂見	・ 外国人の雇用を推進して、移住者を増やし、人口減少をくい止め、グローバルな市にしていく必要があると考える。	男性	50歳代	問答・所信
垂見	・ 燃えるゴミ袋の出し方についてお願いがあります。一般に、3袋まで出してよいとなっています。事業所も3袋まででは足りません。（事業所の形態にもよりますが）制限があるのかわからず出していますが3袋以上出して、回収する場合と3袋だけしか回収してくれない場合とあり、回収する方によって違います。できれば事業所については制限無しにしたいと思っています。	女性	50歳代	要望
垂見	・ 市内のあちこちで工事があつてます。何の工事なのかわからない事が多い。関心がないせいなのかもしれませんが。	女性	60歳代	問答・所信
垂見	・ 様々な審議会、検討委員会などの現状が分かりません。市施策会議などへの参加、応募などの呼びかけも数行だけで、声が小さいです ・ 様々な課題の検討、施策の具体化などを外部のメンバーに意見を求めるのはいいと思いますが、頼りすぎではありませんか。無作為抽出のアンケートだけではなく、議員や市職員にも無理な項目は除いて調査してありますか。一方で行政自らがネット、雑誌などによる情報収集だけではなく、さらに成功や再生した県内外の地に直接出向き、方法はもちろん、努力を学ぶ必要もあると思いませんか。良く出来ているパンフレットがある反面、無責任、無駄、無理なものも多く感じます。 ・ このアンケート実施を含め、本気で柳川市、市民のことを真剣に、そして責任感をもって臨んでくれる市の行政、外部有識者選定に期待したいです。	男性	60歳代	問答・所信
垂見	・ 箱物作り（土木・建築）に金をかけすぎないで欲しい。（本当に必要なのか、利権がらみと思いたくなる）	男性	70歳以上	問答・所信
垂見	・ 観光にばかり力がかかりすぎて農業への支援がないので、柳川への愛着がわからない。	女性	70歳以上	問答・所信
垂見	・ 旧三橋町中央公民館の存続を要望致します。	女性	70歳以上	要望
垂見	・ 高齢者をもっと考えて下さい。運転免許証を返上しようと思っても公共機関がなく困っています それと市の職員の方も市民からの要望があったらもう少し考えて下さい。連絡しても、来ますといってそのままです。	女性	70歳以上	要望

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「行政」についての意見 (17/17)				
中山	- 遊ぶ場所が限られている。ボーリングやカラオケなどの娯楽を増やしてほしい。子供達が楽しめるような施設があれば良いと考える。子育て支援金の配布をお願いします。 - 柳川市中心部から離れている地域では、近くに買い物に行くなら車に乗って移動するか、歩き、自転車、バイクくらいです。とても困ります。(近くにないので・・・) - 柳川駅内にゴミがちらほらあるようです。	女性	10歳代	要望
中山	空地や空畑が多く見かけますが、多大な土地に大きい工場や職場を誘致する事で市が発展すれば良いと思います。その運動がないのはどうしてでしょうか！休作を活用して下さい。	女性	70歳以上	問答・所信
わからない	- 若年者に対するサービスが少なすぎる。川下りの改修や立花宗茂などの伝統を伝えるだけでは所詮観光客止まり。とても住みたいと思える町ではない。 - これからは観光に力を入れるのではなく住みたいと思う町にしてほしい。例) スターバックス、イオンモール、コストコ、レストラン (ジョイフルしかない) などの建造物を設置。(映画館なども) - マンション、アパートの設置。 - 企業を増やす。 - 公共交通機関の充実化 (道路が狭い、全体的に窮屈) → JRがない。柳川市は友間は街灯がなく暗い。夜の観光にも力を入れるべきでは？ - 転入者よりも転出者が増えている現状です。この意見を聞いて検討だけで終わらないでください。必ず実現させてほしいです。未来の柳川市の為にお願いします。	男性	20歳代	要望
わからない	夜道が暗いので、街灯を増やすなどするべき。	男性	20歳代	要望
わからない	- 柳川の水道水は塩素が多いと思うので、改善して欲しい。(水垢、イオンデポジットがとてつきやすいから。) - 駅前観光客など多くの人が利用するため、街灯は多いが、それ以外の場所は街灯が少ないため、街灯設置をよろしくお願いします。	男性	20歳代	要望
わからない	もう少し若年層のために、お金を使って下さい。	女性	30歳代	要望
わからない	最近掘割の整備や、柳の木が切られている状況を見てます。今後新しい景観になることを目指していってほしいと思いますが、市民に浸透してなく、悲しい気持ちです。(古き、よき、景観がなくなることが) もう少しわかりやすいビジョンをアピールしてもらった方が周囲の人にも、市民1人1人が(知人や県外の人)に説明やアピールする場面が増え、より広報できるのではと思います。	女性	50歳代	問答・所信
わからない	非課税世帯だけ給付金をもらえて、その他の世帯は給付金がもらえないの不満です。	男性	50歳代	問答・所信
無回答	もう少し有意義な税金の使い方をして欲しい。	無回答	無回答	問答・所信
無回答	どの課に行くか分からなかった時、入口におられたスタッフの方が丁寧に教えて下さいました。市政UPの為笑顔、優しさで対応して下さい。	無回答	無回答	問答・所信

IV. 参考資料

居住校区	主な記述内容	性別	年齢別	意見分類
■ 「その他」についての意見				
柳河	・ 街角の花壇がいつ見ても整備され、花が咲いているのを見るとホッとします。	女性	70歳以上	現状報告
柳河	・ 何を聞きたいのかわからない。知りたいことがばやけている。	男性	70歳以上	アンケートに関して
矢留	・ 今住んでいる地域には、高齢の方も多く、買い物に行くにも車がないと行けないため、スーパー等あれば良いと思う。	女性	60歳代	問答・所信
東宮永	・ 今は不満な事は別にありません。	男性	50歳代	現状報告
東宮永	・ 柳川市のまちづくりについて、意見等ありません。近隣の皆様とも仲良く楽しい生活が来ています。柳川市民の皆様方に感謝、感謝です。本当に有り難うございます。	男性	70歳以上	現状報告
昭代第一	・ 柳川市役所については、とても親切に説明して頂けてうれしかったです。私は、何かと柳川に住んでいて不便を感じることも多く、もっと若い人たちが、住んでいればいいのになと思いました。お年寄りも大切にしなくてはいいませんが、若い人が活性化、そして田舎ならではの地域での活性化を願います。	女性	20歳代	問答・所信
昭代第一	・ スターバックスコーヒーを作ってほしい。	男性	30歳代	要望
昭代第一	・ 柳川市の地域の特性を強みとし、活かせるようになったら良いと思います。各年代、男、女、人達の活かし方、繋がり方など、柳川を（私達の地域）、もっと暮らしやすく魅力のある町に、地域にしたいと思っている方も多くいると思います。（市議の方々の活動を期待します）	女性	60歳代	問答・所信
昭代第二	・ 退職後はいろいろな事をしてみたいです。習字、絵画、体操等々参加したいと思っています。	女性	60歳代	現状報告
蒲池	・ いつもありがとうございます。30代後半になったので、柳川市民として協力していかなければならないと感じております。	女性	30歳代	現状報告
蒲池	・ がんばって下さい。	女性	50歳代	現状報告
蒲池	・ 校区や地区のクラブに参加しようと思います。	男性	70歳以上	現状報告
中島	・ スタバがあったらいいな。	女性	20歳代	要望
中島	・ アンケート答えるのに時間5分程度とあるが、焦って落ちついて書けませんでした。	女性	70歳以上	アンケートに関して
豊原	・ 本庁の受付にて優しく丁寧に対応してもらった。年寄りにはありがたいです。ありがとう。	女性	70歳以上	現状報告
藤吉	・ もっとおしゃれなカフェができてほしい。	女性	30歳代	問答・所信
藤吉	・ 柳川市は、とても住み良いまちだと思います。移動手段は自転車か徒歩ですが、街がコンパクトにまとまっていて便利です。また、市役所の職員の方はスマホが苦手な私に、マイナンバーカードの登録など、丁寧に教えて下さりありがとうございました。これからも頑張ってください。以上	男性	50歳代	現状報告
二ッ河	・ 柳川に住んでいるが、市外で仕事をしていることもあり、あまり柳川市の市政について考えることがなかった。また、市役所等に行く機会もなく、どんなことが行われているのか知る機会がなかった。もう少し市の政策や、柳川のイベントなどに興味を持ちたいと思う。	女性	30歳代	問答・所信
わからない	・ バス釣りをする為に移住しました。釣りをする環境は最高だと思います。	男性	20歳代	現状報告

2. 調査表

柳川市市民アンケート調査

アンケート調査へのご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対しご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

柳川市では、平成29年6月に市のまちづくりの基本的な指針となる「第2次柳川市総合計画（平成29年度～令和6年度）」を策定いたしました。

第2次柳川市総合計画は将来像を「水と人とまちが輝く柳川」とし、4つの目標をたてております。1つ目は1人でも多くの市民が柳川に愛着や誇りを持てるような取り組みを行う「柳川の歴史・文化・風土に誇りと愛着を持つふるさとづくり」、2つ目は若い世代が子育てや暮らしやすさを実感しながら、住み続ける「若い世代の希望を叶え、柳川の子育て、暮らしに幸せを感じるひとづくり」、3つ目は市民の満足度を上げることで市外に住む人が惹きつけられる「水郷柳川の風情や快適さに共感し人を惹きつけるまちづくり」、4つ目が地域資源を活かして柳川の稼ぐ力を育てる「柳川の地域資源や産物を誇れるしごとづくり」に取り組んでおります。

このアンケートは、4つの目標を達成し、将来像を実現させるために実施している事業の進捗度を検証し、今後のまちづくりに活用するために実施するものです。

多くの市民の皆様の声や、柳川市のまちづくりに反映させていきたいと考えておりますので、御協力の程よろしくお願いいたします。

令和6年7月

柳川市長 金子 健次

1. アンケート調査の対象者

このアンケート調査は、6月1日現在で柳川市在住の18歳以上の方から、無作為に抽出した2,000人を対象としています。

2. ご記入について

- ・ご回答は、あて名の御本人が記入してください。
(なお、ご本人による記入が難しい場合は、代理人による代筆で記入してください。)
- ・6月1日現在の内容でご記入ください。
- ・ご回答は、あてはまる番号を○で囲む等でお答えください。
- ・お答えが「その他」に当てはまる場合は、()内に具体的にお答えください。
- ・設問によって、○を付けていただく数を()内に指定していますので、ご注意ください。
- ・アンケートの回答にかかる所要時間は5分程度です。

3. ご返送について

記入された調査票は同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**7月22日(月)**までに郵便ポストに投函してください。

4. 調査票の取り扱いについて

調査結果は、統計的に処理を行いますので、個人が特定されることはありません。

(お問い合わせ先) 柳川市役所 総務部 企画課 企画係
住 所：〒832-8601 福岡県柳川市本町87番地1
電 話：0944-77-8423

1. あなた自身のことについてお尋ねします。

【Q1】あなたの性別をお選びください。(Oを1つだけ)

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
| 3. その他 | 4. 答えたくない |

【Q2】あなたの年齢をお選びください。(Oを1つだけ)

- | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|
| 1. 10 歳代 | 2. 20 歳代 | 3. 30 歳代 | 4. 40 歳代 |
| 5. 50 歳代 | 6. 60 歳代 | 7. 70 歳以上 | |

【Q3】住んでいる校区をお選びください。(Oを1つだけ)

- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 柳河 | 2. 城内 | 3. 矢留 | 4. 東宮永 |
| 5. 両開 | 6. 昭代第一 | 7. 昭代第二 | 8. 蒲池 |
| 9. 皿垣 | 10. 有明 | 11. 中島 | 12. 六合 |
| 13. 大和 | 14. 豊原 | 15. 藤吉 | 16. 矢ヶ部 |
| 17. ニッ河 | 18. 垂見 | 19. 中山 | 20. わからない |

2. 暮らしについてお尋ねします。

【Q4】住んでいる地区の担当民生委員を知っていますか。(Oを1つだけ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

【Q5】地域活動や地域ボランティアに参加していますか。(Oを1つだけ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 参加している | 2. 参加していない |
|-----------|------------|

【Q6】柳川市に愛着や誇りを感じますか。(Oを1つだけ)

- | | | |
|------------|-----------|----------|
| 1. 大いに感じる | 2. 多少感じる | 3. 分からない |
| 4. あまり感じない | 5. 全く感じない | |

【Q7】柳川市は人権が守られていると思いますか。(Oを1つだけ)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う |
| 3. 分からない | 4. どちらかと言えばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

→ 2 ページへ

【Q8】柳川市は子育てしやすい環境であると思いますか。(Oを1つだけ)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う |
| 3. 分からない | 4. どちらかと言えばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

【Q9】柳川市が子育てしやすい環境であるために、どのようなことを充実させるべきだと思いますか。

【Q10】市内の道路を快適に通行できると思いますか。(Oを1つだけ)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う |
| 3. 分からない | 4. どちらかと言えばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

【Q11】昨年3月からスタートした「柳川市公式LINE」の友だち登録をしていますか。また、その理由もお答えください。(Oを1つだけ)

- | | |
|------------|--------|
| 1. 登録している | (理由:) |
| 2. 登録していない | (理由:) |

3. 文化・歴史・景観・観光についてお尋ねします。

【Q12】柳川市は文化芸術活動が盛んに行われていると思いますか。(Oを1つだけ)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う |
| 3. 分からない | 4. どちらかと言えばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

【Q13】水辺の景観や掘割が保全されていると感じますか。(Oを1つだけ)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う |
| 3. 分からない | 4. どちらかと言えばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

【Q14】あなたは掘割に、愛着や誇りを感じますか。(Oを1つだけ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 大いに感じる | 2. 多少感じる |
| 3. どちらでもない | 4. あまり感じない |
| 5. 全く感じない | |

→ 3 ページへ

【Q15】この1年以内に、掘割に接する機会（川下りや水辺のイベント、農業利用、釣り、清掃など）はありましたか。（○を1つだけ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

【Q16】この1年以内に川下りをしたことがありますか。（○を1つだけ）

- | | |
|-------|----------------|
| 1. ある | 2. ない → 【Q19】へ |
|-------|----------------|

（Q16で（1年以内に川下りをしたことが）「ある」と回答した人にお尋ねします。）

【Q17】川下り全体の満足度をお答えください。（○を1つだけ）

- | | |
|-------|-----------|
| 1. 満足 | 2. おおむね満足 |
| 3. 普通 | 4. やや不満 |
| 5. 不満 | |

（Q16で（1年以内に川下りをしたことが）「ある」と回答した人にお尋ねします。）

【Q18】Q17で回答した満足度の理由をお答えください。

--

【Q19】柳川市の観光は市民生活に良い影響を与えていますか。（○を1つだけ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 大いに与えている | 2. 多少与えている |
| 3. どちらでもない | 4. あまり与えていない |
| 5. 与えていない | |

【Q20】観光客などに対しておもてなしをしてよかったと感じますか。（○を1つだけ）

- | | | |
|-----------|----------------|------------|
| 1. 大いに感じる | 2. 多少感じる | 3. あまり感じない |
| 4. 全く感じない | 5. おもてなしの機会がない | |

【Q21】柳川初代藩主「立花宗茂」とその妻「^{ざんちやう}蘭千代」を知っていますか。（○を1つだけ）

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. エピソードも含めよく知っている | 2. ある程度は知っている |
| 3. 名前は聞いたことがある | 4. 全く知らない |

→ 4 ページへ

4. 公衆衛生についてお尋ねします。

【Q22】市のがん検診は〔男性40歳以上〕、〔女性20歳以上〕であれば受けることができることを知っていますか。(〇を1つだけ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

【Q23】この1年以内にがん検診を受けましたか。(〇を1つだけ)

- | | |
|--------|--------------------|
| 1. 受けた | 2. 受けていない → 【Q25】へ |
|--------|--------------------|

(Q23で「受けた」と回答した人にお尋ねします。)

【Q24】がん検診を受けた方法を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1. 職場のがん検診 | 2. 市のがん検診 |
| 3. 自費(個人的に受けた)でのがん検診 | |

(Q23で「受けていない」と回答した人にお尋ねします。)

【Q25】がん検診を受けていない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 対象年齢になっていない | 2. 受診方法がわからない |
| 3. 検診に行く時間がなかった | 4. 検診の必要性を感じない |
| 5. 検診を受けるのが面倒 | 6. がんを発見されるのがこわい |
| 7. その他 () | |

(40歳以上の人にお尋ねします。)

【Q26】加入している保険は、国民健康保険ですか。(〇を1つだけ)

- | | | |
|-------|-----------------|-------------------|
| 1. はい | 2. いいえ → 【Q29】へ | 3. 分からない → 【Q29】へ |
|-------|-----------------|-------------------|

(Q26で(加入している保険は、国民健康保険ですか。)) → 「はい」と回答した人にお尋ねします。)

【Q27】今年度、特定健診を受診しますか。(〇を1つだけ)

- | | | |
|----------------|--------|-------------------|
| 1. はい → 【Q29】へ | 2. いいえ | 3. 分からない → 【Q29】へ |
|----------------|--------|-------------------|

(Q27で(今年度、特定健診を受診しますか。)) → 「いいえ」と回答した人にお尋ねします。)

【Q28】特定健診を受診しない理由は何ですか。(〇を1つだけ)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 個人的に健診を受けるから | 2. 職場で健診を受けるから |
| 3. 病院で定期的に検査を受けているから | 4. 受診する時間がないから |
| 5. 健診費用がかかるから | 6. 健康だから健診は必要ない |
| 7. 受診できることを知らなかった | |
| 8. その他 () | |

→ 5 ページへ

5. 柳川市認定ブランドについてお尋ねします。

【Q29】商品の地域性や安全性等を評価し、認定される「柳川ブランド認定品」を知っていますか。(○を1つだけ)

- | | |
|------------|-----------|
| 1. よく知っている | 2. 知っている |
| 3. あまり知らない | 4. 全く知らない |

6. 公共交通についてお尋ねします。

【Q30】外出する際、路線バス・電車など公共交通機関を利用しようと思うことはありますか。(○を1つだけ)

- | | |
|------------|-----------|
| 1. よく思う | 2. たまに思う |
| 3. あまり思わない | 4. 全く思わない |

【Q31】最近3か月間に公共交通機関(バス、電車、タクシー、コミュニティバス)をどの程度の頻度で利用しましたか。(○を1つだけ)

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 1. 週5日以上 | 2. 週3～4日 | 3. 週1～2日 |
| 4. 月に数回程度 | 5. 利用なし | |

【Q32】柳川市が運行しているコミュニティバスを知っていますか。(○を1つだけ)

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 路線・ダイヤなどを含めよく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 聞いたことはあるが、よく知らない | 4. 知らない |

【Q33】市内の公共交通に対する満足度を教えてください。(○を1つだけ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とても満足している | 2. ある程度満足している |
| 3. どちらでもない | 4. あまり満足していない |
| 5. 満足していない | |

→ 6 ページへ

7. 市役所についてお尋ねします。

【Q34】この1年以内に市役所（柳川庁舎・大和庁舎・三橋庁舎）にどの程度の頻度で来庁されましたか。（○を1つだけ）

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. 行ったことがない → 【Q39】へ | 2. 年に1、2回程度 |
| 3. 2、3ヵ月に1回程度 | 4. 月1、2回程度 |
| 5. 週1回以上 | |

（Q34で2～5（「年に1、2回程度」、「2、3ヵ月に1回程度」、「月1、2回程度」、「週1回以上」）と回答した人にお尋ねします。）

【Q35】来庁された目的は何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 各種証明書の発行 | 2. 各種手続き |
| 3. 会議 | 4. 問い合わせ・質問 |
| 5. その他（ | ） |

（Q34で2～5（「年に1、2回程度」、「2、3ヵ月に1回程度」、「月1、2回程度」、「週1回以上」）と回答した人にお尋ねします。）

【Q36】来庁された際の平均所要時間（滞在時間）はどれくらいでしたか。（○を1つだけ）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 15分以内 | 2. 15～30分 | 3. 30～45分 |
| 4. 45～60分 | 5. 60分以上 | |

（Q34で2～5（「年に1、2回程度」、「2、3ヵ月に1回程度」、「月1、2回程度」、「週1回以上」）と回答した人にお尋ねします。）

【Q37】来庁された際の職員の対応はどうでしたか。（○を1つだけ）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 大変満足 → 【Q39】へ | 2. 満足 → 【Q39】へ |
| 3. 普通 → 【Q39】へ | 4. 不満 |
| 5. 大変不満 | |

（Q37で「不満」または「大変不満」と回答した人にお尋ねします。）

【Q38】その理由をお答えください。

→ 7ページへ

8. 最後にお尋ねします。

【Q39】最後に、柳川市のまちづくりについて、ご意見等があればご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、**令和 6 年 7 月 22 日 (月)** までに

同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストへ投函してください。